

博士論文
(学術)

連体修飾用法における日本語の形容詞・連体詞「Xい」と「Xな」の使い分け
—大規模コーパスに基づく計量的研究—¹

劉 善鈺²

名古屋大学大学院
国際開発研究科

審査委員会

藤村 逸子（委員長）

木下 徹

加藤 高志

研究科教授会合格決定

2015 年 3 月 5 日

¹ The Use of Adjectival Forms "X-i" and "X-na" in Japanese Noun Modification: A Quantitative Study Based on Large-Scale Corpora

² Shanyu, LIU. China

目 次

第 1 章	序章	1
1.1	はじめに	1
1.2	研究目的と研究課題	5
1.3	研究方法と研究対象	5
1.4	本研究の構成	8
1.5	用語について	9
第 2 章	先行研究	12
2.1	形容詞に関する先行研究の概観	12
2.2	連体修飾に関する先行研究の概観	13
2.3	連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けに関する先行研究	14
2.3.1	森田(1977)	14
2.3.1.1	森田(1977)の「大きい・な」と「小さい・な」についての分析	14
2.3.1.2	森田(1977)における「おかしい・な」についての分析	15
2.3.1.3	森田(1977)における「あたたかい・な」についての分析	16
2.3.1.4	森田(1977)における「細かい・な」についての分析	16
2.3.1.5	森田(1977)における「やわらかい・な」についての分析	17
2.3.2	柴田(1982)	17
2.3.3	飛田・浅田(1991)	18
2.3.3.1	飛田・浅田(1991)の「大きい・な」「小さい・な」についての分析	18
2.3.3.2	飛田・浅田(1991)における「おかしい・な」についての分析	19
2.3.3.3	飛田・浅田(1991)における「あたたかい」についての分析	20
2.3.3.4	飛田・浅田(1991)における「こまかい」についての分析	20
2.3.3.5	飛田・浅田(1991)における「やわらかい・な」についての分析	21
2.3.4	三枝(1996)	22
2.3.5	佐々木(2002)	23
2.3.6	丹保(2011a, 2011b)	23
2.4	先行研究のまとめと問題点	23
第 3 章	データベースの構築	27
3.1	コーパスを利用した理由	27
3.2	コーパスの選定理由	28

3.3	使用したコーパス	28
3.3.1	『Yahoo!知恵袋』	29
3.3.2	『国会会議録』	29
3.3.3	『雑誌』	30
3.3.4	『新聞』	30
3.3.5	『BTSJ』	31
3.3.6	『名大会話コーパス』	31
3.3.7	『新潮文庫』	32
3.3.8	『近代女性雑誌コーパス』	32
3.3.9	『太陽コーパス』	32
3.3.10	本研究で利用する 9 つのコーパスのまとめ	33
3.4	分析対象用例の抽出	35
3.4.1	BCCWJ のサブコーパスに対する抽出作業	35
3.4.2	話し言葉コーパスに対する抽出作業	38
3.4.3	『新潮文庫』データに対する抽出作業	40
3.4.4	近代語コーパスに対する抽出作業	41
3.5	データベースの構築	42
3.6	データベースの充実	44
3.6.1	「X い」と「X な」の被修飾名詞	44
3.6.2	被修飾名詞の「語種」	45
3.6.3	被修飾名詞の「名詞種類」	46
3.6.4	連体修飾構造	47
3.7	データ判別に対する日本語母語話者チェック	49
3.8	分析対象とする用例	50
第 4 章	文内要素の形態統語的・意味的性質	52
4.1	問題点の確認	52
4.2	「い形」と「な形」の全体的な使用傾向	53
4.3	被修飾名詞の性質による使い分け	55
4.4	「X い」と「X な」の文中での機能による使い分け	60
4.4.1	連体修飾構造から見る「X い」と「X な」の使用傾向	61
4.4.2	「主語付き」連体修飾節の主語助詞	64
4.5	「非主語付き」連体修飾の被修飾名詞	67
4.5.1	[オオキい] [オオキな] が修飾する名詞	67
4.5.2	[チイさい] [チイサな] が修飾する名詞	73
4.5.3	[オカシい] [オカシな] が修飾する名詞	77

4.5.4	[アタタカイ] [アタタカナ] が修飾する名詞	80
4.5.5	[コマカイ] [コマカナ] が修飾する名詞	83
4.5.6	[ヤワラカイ] [ヤワラカナ] が修飾する名詞	85
4.6	まとめ	88
第 5 章 レジスター		91
5.1	はじめに	91
5.2	レジスターとレジスター分析	92
5.2.1	レジスターとは	92
5.2.2	Biber の多次元分析モデル	93
5.2.3	レジスター分析とコーパスに基づく研究の枠組み	94
5.3	レジスターの変異から見る「X い」と「X な」の使用傾向	94
5.3.1	レジスター別に見る [オオキい・オオキな] の使用傾向	96
5.3.2	レジスター別に見る [チイさい・チイさな] の使用傾向	99
5.3.3	レジスター別に見る [オカしい・オカシな] の使用傾向	101
5.3.4	レジスター別に見る [アタタカイ・アタタカナ] の使用傾向	102
5.3.5	レジスター別に見る [コマカイ・コマカナ] の使用傾向	104
5.3.6	レジスター別に見る [ヤワラカイ・ヤワラカナ] の使用傾向	106
5.4	「主語付き」連体修飾における使用傾向の確認	108
5.5	補足 1 : 被修飾名詞の語種による使い分け	111
5.6	補足 2 : 「X い」と「X な」の語彙項目による使い分け	113
5.7	まとめ	116
第 6 章 「X い」と「X な」の使い分けの基準		118
6.1	第 4 章と第 5 章の分析結果のまとめ	118
6.2	「X い」と「X な」の使い分けの基準	120
6.3	考察と示唆	125
第 7 章 近代語における「X い」と「X な」の使用傾向		127
7.1	はじめに	127
7.2	これまでの研究	128
7.2.1	小林(1987) : 「大きな」「小さな」「おかしな」の成立要因	128
7.2.2	山内(1999) : おほ(大・多)の変遷	129
7.2.3	蜂矢(1992, 2003)	129
7.2.4	まとめ	130
7.3	調査資料	131

7.4	分析と考察.....	135
7.4.1	〔大〕の各語形の年次別使用変移.....	135
7.4.2	〔小〕の各語形の年次別使用変移.....	137
7.4.3	「い形」と「な形」の年次別使用変移.....	140
7.4.4	コーパス間の比較.....	142
7.5	本章のまとめ.....	143
第8章	終章.....	146
8.1	結論.....	146
8.2	日本語学への貢献.....	149
8.3	今後の課題.....	150
引用文献		151
参考文献		154
関連 URL		162
謝 辞		163
付 録		165
付録Ⅰ：	『中納言』を利用した予備検索の検索条件設定.....	165
付録Ⅱ：	『BTSJ』から除外した日本語学習者の会話データ一覧	166
付録Ⅲ：	『新潮』の43作品の作品名一覧	167
付録Ⅳ：	具象名詞に分類した語	168
付録Ⅴ：	抽象名詞に分類した語	174
付録Ⅵ：	データ編.....	178

表目次

表 1.1	基礎資料としての「X い」「X な」23 組	6
表 1.2	『中納言』の予備検索結果.....	7
表 2.1	「大きい・な」「小さい・な」の使い分けに関する記述	24
表 2.2	「おかしい・な」「細かい・な」「やわらかい・な」に関する記述.....	25
表 3.1	利用したコーパスの内訳	34
表 3.2	『ひまわり』での検索文字列	42
表 3.3	各コーパスにおける「X い」と「X な」の分布	51
表 4.1	『新潮』における 6 組の語の出現頻度	53
表 4.2	被修飾名詞の種類による「い形」と「な形」の出現頻度	55
表 4.3	連体修飾構造の種類による「い形」と「な形」の出現頻度.....	61
表 4.4	『新潮』における「主語付き」用法の主語助詞.....	65
表 4.5	『新潮』における「オオキい」「オオキな」の被修飾名詞（頻度 3 以上）	68
表 4.6	『新潮』における「チイさい」「チイサな」の被修飾名詞（頻度 3 以上）	74
表 4.7	『新潮』における「オカシい」「オカシな」の被修飾名詞.....	78
表 4.8	『新潮』における「アタタカイ」「アタタカナ」の被修飾名詞	81
表 4.9	『新潮』における「コマカイ」「コマカナ」の被修飾名詞.....	83
表 4.10	『新潮』における「ヤワラカイ」「ヤワラカナ」の被修飾名詞	86
表 5.1	6 つの現代語コーパスの概観.....	95
表 5.2	6 つのレジスターにおける事例の分布（全体）	96
表 5.3	「大きい問題 vs. 大きな問題」「大きい声 vs. 大きな声」	97
表 5.4	6 つのレジスターにおける「主語付き」連体修飾用法の分布.....	108
表 5.5	各レジスターにおける「オオキ」「チイサ」の連体構造別出現頻度.....	109
表 5.6	6 つの現代語コーパスにおける被修飾名詞の語種分布	111
表 5.7	6 つのコーパスにおける「病院」の実例の出現頻度	112
表 6.1	名詞を修飾する「い形」と「な形」の使い分けモデル	122
表 7.1	『太陽』と『女性』の概要.....	131
表 7.2	近代語コーパスにおける「小」「大」の分布	132
表 7.3	『女性』と『太陽』における「い形」と「な形」の年次別出現頻度.....	140

目次

図 3.1	データベース（抜粋 1）	48
図 3.2	データベース（抜粋 2）	49
図 4.1	『新潮』における「X い」と「X な」の使用傾向	54
図 4.2	「オオキ」の両形と被修飾名詞の種類	56
図 4.3	「チイサ」の両形と被修飾名詞の種類	57
図 4.4	「オカシ」の両形と被修飾名詞の種類	57
図 4.5	「コマカ」の両形と被修飾名詞の種類	58
図 4.6	「アタタカ」の両形と被修飾名詞の種類	58
図 4.7	「ヤワラカ」の両形と被修飾名詞の種類	59
図 4.8	連体修飾構造別による「X い」と「X な」の使用傾向の比較	61
図 4.9	「主語付き」用法の主語助詞から見る「い形」と「な形」の使用	66
図 5.1	レジスター別に見る〔オオキい・オオキな〕の使用傾向（全体）	97
図 5.2	レジスター別に見る〔チイさい・チイサな〕の使用傾向（全体）	99
図 5.3	レジスター別に見る〔オカシい・オカシな〕の使用傾向（全体）	101
図 5.4	レジスター別に見る〔アタタカイ・アタタカナ〕の使用傾向（全体）	103
図 5.5	レジスター別に見る〔コマカイ・コマカナ〕の使用傾向（全体）	105
図 5.6	レジスター別に見る〔ヤワラカイ・ヤワラカナ〕の使用傾向（全体）	107
図 5.7	連体構造別から見る「オオキ」の「い形」と「な形」の使用傾向	109
図 5.8	連体構造別から見る「チイサ」の「い形」と「な形」の使用傾向	110
図 5.9	語種による「X い」と「X な」の使用傾向	112
図 5.10	『新聞』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向	113
図 5.11	『雑誌』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向	114
図 5.12	『会議』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向	114
図 5.13	『知恵』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向	114
図 5.14	『名大』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向	115
図 5.15	『BTSJ』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向	115
図 7.1	現代語コーパスにおける「オオキ」と「チイサ」の使用傾向	127
図 7.2	近代における〔大〕の各語形の年次別使用変移	136
図 7.3	近代における〔小〕の各語形の年次別使用変移	138
図 7.4	〔大〕の年次別使用傾向	141
図 7.5	〔小〕の年次別使用傾向	141
図 7.6	両コーパス間の「い形」と「な形」の使用傾向の比較	143

第 1 章 序章

1.1 はじめに

現代日本語の連体修飾語は、日本語文法において「体言＋の」、「動詞連体形」、「イ形容詞（いわゆる形容詞）連体形」、「ナ形容詞（いわゆる形容動詞）連体形」、「連体詞」、「副詞」などの文法形式で構成されうる¹。これらの形式の間には、下記のような対立が存在する。

- | | | | |
|----|---------------------------------|---|--------------|
| A) | 特別な <u>な</u> 日／特別の <u>の</u> 日 | → | ナ形容詞 vs. 体言 |
| B) | 赤い <u>の</u> コップ／赤の <u>の</u> コップ | → | イ形容詞 vs. 体言 |
| C) | 大きい <u>い</u> 声／大きな <u>な</u> 声 | → | イ形容詞 vs. 連体詞 |

A)～C)のような対立する文法形式は、日本語の品詞論を考えるうえで重要な問題であると認識され、日本語学からの分析に限らず、計量言語学や社会言語学の立場からの分析もあり、様々なアプローチがなされてきた。例えば、「な／の」についての研究としては田野村(2002)、荻野(2006)、李(2013)などが挙げられ、「い／の」に着目した研究としては沢田(1992)、藤村(2003)、木下(2005)などが存在する。

田野村(2002)は、朝日新聞記事 5 年分のデータベースを資料とし、「有○」「無○」という形で対立する語幹をもつ形容動詞（例えば、「有名な作家」vs.「無名の作家」）について、連体形における「な／の」の選択の実態を調査・分析している。その結果、「有○」の多くが、「な」をとるグループと「の」をとるグループに二分されている。そして、田野村は、「有○」について、「『な』類の形容動詞は程度の大小を問題とすることのできる属性を表すのに対し、『の』類の形容動詞はそうであるかないかと言えない択一的な属性を表す」（田野村 2002:209）と分析している。

荻野(2006)は、田野村(2002)の利用した新聞 5 年分という調査データが量としてやや少ないとし、「新聞 5 年分に比べて 100 倍から 1 万倍程度」の WWW²を使って、田野村(2002)の結果を追試した。調査した結果、「大筋において田野村の結果が追認されたといえることがある。もちろん、『有責』や『無為』のように大きな差が出たものもある。」（荻野 2006:311）と述べている。また、「WWW は新聞データに比べて非常にデータ量が多く、したがって、用例数の比率などを求めるときにも安定した結果を出すことができ

¹ 『日本語文法大辞典』(2001:851)によると、連体修飾語の末尾は、現代語の場合、次のような語で構成される。(1)連体詞（この道、あらゆる方法）。(2)体言+助詞「の」（ぼくの家、家の中）。(3)体言+格助詞又は副助詞+助詞「の」（ローマへの道、ここだけの話）。(4)活用語の連体形（行く年、来る年、赤い花、おだやかな気候、過ぎ去った日々、楽しかったこと）。(5)副詞（もっとと左）。(6)副詞+助詞「の」（ただの一言）。(7)用言の連用形+助詞「の」（多くの人）。

² 荻野(2006)の表記。World Wide Web（ワールド ワイド ウェブ）。

る」こと、「WWW は言語量が多いために、2 語以上の語結合の用例数を数えることができ、程度副詞が形容動詞を修飾しているかどうかを、内省でなく、比率で示すことができる」こと、の 2 点を示した。

李(2013)は、形状詞³の「ナ」と「ノ」による名詞修飾節（例えば、「高額なプレゼント」と「高額のプレゼント」）の使用実態を、クラスター分析と判別分析を使い、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』で調査・分析を行った。調査の結果、1)形状詞可能語⁴の共起パターンは 3 つ存在すること、2)形状詞可能語の共起パターンには語義数において有意な差が存在すること、3)「ノ共起」の形状詞可能語は「関係概念」を表すものが多く、「ナ共起」の形状詞可能語は「活動（出来事）概念」を表すものが多いこと、4)多様な語義を有する語は、ナとノのどちらともよく共起すること、5)語の基本語性を示す親密度とナ・ノの共起は無関係であること、の 5 点が明らかになった(李 2013:86)。

沢田(1992)は、日本語の色彩語が名詞と形容詞の 2 種類の品詞に分化していることに着目し、「い／の」の使い分け要因となる両品詞間の本質的な機能の違いを分析した。ここでは、名詞と形容詞の対立を、その情報伝達上の機能の対立と捉え、名詞には「指定機能」があり、形容詞には「描写機能」と「限定機能」があるとし、この違いを元に、色彩を表す名詞と形容詞の使い分けを論じている。

藤村(2003)は、大規模な電子コーパスから得られた実例に基づき、色彩名詞と色彩形容詞（例えば、「黒いパンツ」と「黒のパンツ」）の意味の差異を記述している。ここでは、色彩形容詞と色彩名詞の対立は、品詞間の意味的な対立で、「すなわち名詞であることの意味と形容詞であることの意味には違いがある」と考えられ、その対立は「デジタル的な意味」と「アナログ的な意味」(藤村 2003:26)の対立に相当すると述べている。また、「い／の」と共起する被修飾名詞の種類が色彩によって異なる傾向を示すことが指摘されている。

木下(2005)は、「赤の N」が「赤い N」との対立関係の中でいかなる意味機能を担っているのかについて考察を行った。考察の結果、「『赤の N』で表せるのは周辺部を含まない典型的な『赤』のみであること、そしてその『赤』は他の色彩との対立の中で認識されているということを示している」(木下 2005:39)と報告している。

³ 李(2013)によると、形状詞とは UniDic によって導入された品詞であり、UniDic のマニュアルによれば「『静か』『健やか』など、いわゆる形容動詞の語幹部分」であるとされている。また、「名詞-普通名詞-形状詞可能」とは「名詞-普通名詞」の下位分類の一つである。マニュアルによれば、「名詞-普通名詞-{サ変可能、形状詞可能、サ変形状詞可能}:普通名詞のうち、『運動(する)』のように形式的な意味の『する』『できる』などが直接続き、動詞として用いられることがあるもの、『安全(な)』のように『な』(助動詞『だ』の連体形)が直接続き、形容動詞として用いられることがあるもの、(サ変形状詞可能は)『心配(する・な)』のように両者が可能なものをそれぞれ、『名詞-普通名詞-サ変可能』『名詞-普通名詞-形状詞可能』『名詞-普通名詞-サ変形状詞可能』に分類する」とされている。(李 2013:79 の注 2 より引用)

⁴ 李(2013)の例を挙げると、例えば、「最高」、「健康」、「大量」、「不明」、「複雑」など。

本研究は、上に挙げたような文法形式の使用傾向に関する計量的記述というタイプの研究の一つであり、文頭に述べた連体修飾語の中の、「イ形容詞連体形」、「ナ形容詞連体形」、「連体詞」を取り上げ、名詞を修飾する「い／な」の使用傾向を計量的に記述し、「い／な」の使い分けの要因について考察する。

例(1-1)	暖かい光／暖かな光	}	イ形容詞 vs. ナ形容詞
例(1-2)	細かい雨／細かな雨		
例(1-3)	柔らかいご飯／柔らかなご飯		
例(1-4)	父の大きい背中／父の大きな背中	}	イ形容詞 vs. 連体詞
例(1-5)	小さい子供／小さな子供		
例(1-6)	おかしい人／おかしな人		

例(1-1)～例(1-3)では、同じ語幹からなるイ形容詞とナ形容詞が同一の名詞を修飾している。例(1-4)～例(1-6)では、語幹を同じくするイ形容詞と連体詞が同一の名詞を修飾している。

本研究では、例(1-1)～例(1-6)のように、同一の語幹に「い」が語尾としてつく語を「Xい」と表記し、語尾として「な」がつく語を「Xな」と表記し、「X」はその同一の語幹を意味する。また、「Xい」を「い形」、「Xな」を「な形」と呼ぶこともある。本研究で問題にするものは、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」のペアである。

「Xい」と「Xな」は、文法的カテゴリーが異なり（イ形容詞 vs. ナ形容詞または連体詞）、用法も異なる（「Xい」は全て連体用法と述語用法の両方を持つが、「Xな」には述語用法を持たないものもある）が、後続する名詞を修飾する機能を持つという共通性がある。両者は相互に置換できる場合もあるが、相互に置き換えられない場合もある。

例(1-7)～例(1-9)⁵は「い形」と「な形」両者を置換しても意味が変わらない実例である。原文では一つ目の形が使われている。

例(1-7) ところが、同じ運転の仕方をしてるのに（大きな／大きい）車に乗っていると道も譲ってくれるし、全くと言っていいほど煽られたことはありません。

（『Yahoo!知恵袋』）

5 本論文において、各例文や各表における下線及び網掛け部分は筆者によるものである。なお、用例の後ろにその用例の出典（資料名についての詳細は p.34 表 3.1 を参照）を記してある。

例(1-8) つぎの日曜にやってきた彼にフィンガー・ペイントの瓶をさしだすと、彼は以前におびえたことをすっかり忘れ、さっさと蓋をあけて指をつっこむと、幼稚園へいってるずっと（小さな／小さい）子供たちといっしょになって紙をまっ赤にぬりたくった。

（『新潮文庫』）

例(1-9) 舗装されていない床に（細かな／細かい）パーツが散乱したら、回収困難になるかも。

（『雑誌』）

これに対して、例(1-10)～例(1-13)では「い形」と「な形」両者を置換すると容認度が下がったり、意味が変わったり、不自然な文になったりする。

例(1-10) うちだってさー、何かでもまあ、AとEちゃんの間に大きな {? 大きい} 違いがあるからさー、***て感じ。

（『名大会話コーパス』）

例(1-11) 私の住んでいる町は小さい {? 小さな} ため大きい病院がここしかありません。

（『Yahoo!知恵袋』）

例(1-12) つまりは、この提言の中にもありますように、これはあくまでも暫定的なものだから法務省内に置くこととするが、こういう言い方であって、この人たちは本当は法務省の外にある人権救済機関を想定しているのではないかと私は考えているんですけども、おかしい {? おかしい} 形での法案が出てこないことを祈っております。

（『国会会議録』）

例(1-13) 僕らは軀を下肢に支えることができなくなるまで笑い、そのあげく疲れきって倒れた僕らの柔かい {* 柔かな} 頭に哀しみがしのびこむほどだった。僕らは黒人兵をたぐいまれなすばらしい家畜、天才的な動物だと考えるのだった。

（『新潮文庫』）

このように、「大きい」「大きな」や「小さい」「小さな」、「やわらかい」「やわらかな」など、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の選択がどのようにしてなされているのかという問いは、一見単純そうで様々な要因の絡んだ複雑な問題であると考えられる。

1.2 研究目的と研究課題

本研究では、連体修飾用法における「X い」と「X な」に焦点を当て、大規模な日本語電子コーパスのデータを分析し、各項目の連体修飾用法の使用傾向とその制約を計量的に記述した上で、「X い」と「X な」の選択に影響する要因を明らかにし、「い形」と「な形」の使い分けの基準を提示することを目的とする。日本語の連体修飾用法における「X い」と「X な」の使用実態を調査し、その統語的、意味的な特徴を帰納的に記述することで、日本語学に貢献することが期待される。

本研究は、以下4点を明らかにすることを研究課題として設定する。

- 研究課題①： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、文内要素の形態統語的性質によるのか
- 研究課題②： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、「X い」と「X な」の意味的差異によるのか
- 研究課題③： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、社会言語学的なレジスターの変異に基づくのか
- 研究課題④： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、言語の歴史的变化にどのように影響されているのか

1.3 研究方法と研究対象

本研究の方法論上の特徴は、大規模な電子コーパスから得られた大量の実例に基づいて記述を行うということである。具体的な研究方法としては、日本語の書き言葉コーパスと話し言葉コーパスから収集した実例をもとに、まず現代語における「X い」と「X な」の使用傾向について調査する。次に近代語における「X い」と「X な」の通時的な使用の変化を調査して、過去の言語の状況が現在の使用に影響を与えているかどうかについて考察する。そして、「X い」と「X な」の使い分けの基準を明示的に記述することを試みる。

1.1 で述べたように、本研究で問題にするのは、現代日本語の連体修飾用法における「X い」と「X な」のペアである。従って、本研究では、まず『現代形容詞用法辞典』（東京堂、1991）『広辞苑 第五版』（岩波書店、1998）『逆引き広辞苑：第五版対応』（岩波書店、1999）を利用し、研究対象の基礎資料として「X い」と「X な」を23組選出した。選出作業の過程では、インターネット上に頻出し、使用者が多いと思われる語（「幅広い」「手軽い」「めでたな」など）や、現在使われなくなって死語となったと思われる語（例えば、「ナウな」）も採用した。また、読み方が同じであるものの、漢字や送り仮名などの表記が異なる語（例えば、「温かい」と「暖かい」は漢字が異なり、「柔らかい」と「柔かい」は送り仮名が異なり、「おかしい」と「可笑しい」は文字種が異な

る)は全て採用し、本論文の中では片仮名表記で語幹を表すこととした。選出した 23 組の「X い」と「X な」のペアは表 1.1 の通りである。

表 1.1 基礎資料としての「X い」「X な」23 組

<「X い」・「X な」>	
1. アサグロい・アサグロな	12. テアライ・テアラな
2. アタタカイ・アタタカナ	13. テガルい・テガルな
3. アマカライ・アマカラな	14. ナウい・ナウな
4. イジワルい・イジワルな	15. ハバヒロい・ハバヒロな
5. オオキい・オオキな	16. ハラグロい・ハラグロな
6. オカシい・オカシな	17. ヒヨワい・ヒヨワな
7. キメコマカイ・キメコマカナ	18. マヂカイ・マヂカナ
8. コマカイ・コマカナ	19. マックロい・マックロな
9. シカクい・シカクな	20. マッシロい・マッシロな
10. チイサイ・チイサな	21. マンマルい・マンマルな
11. チャイロい・チャイロな	22. メデタイ・メデタな
	23. ヤワラカイ・ヤワラカナ

次に、現段階で利用できる現代日本語研究に最も相応しいと思われる『現代日本語書き言葉均衡コーパス』⁶ (以下 BCCWJ) における 23 組の語のそれぞれの連体用法の出現頻度を『中納言』⁷ (バージョン: 中納言 1.1.0) を利用して調べた。

調査においては、「大きい」「おっきい」「おーきい」「オオキイ」「オッキー」のような表記のゆれ、読みのゆれのあるものを一括検索するために、『中納言』の【短単位検索】⁸の「語彙素読み」によるキーワード検索が良いと判断した。具体的に、基礎資料の 23 組の語がどのように解析されているかについて、試しに【文字列検索】をして、検

⁶ 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese、以下 BCCWJ) は、国立国語研究所が中心となって開発した、日本語に関する初めての大規模均衡コーパスである。現代日本語の書き言葉の全体像を把握するために構築された、現在入手可能な唯一の日本語の均衡コーパスである。書籍全般、雑誌全般、新聞、白書、ブログ、ネット掲示板、教科書、法律などのジャンルにまたがって 1 億 430 万語のデータを格納しており、各ジャンルについて無作為にサンプルが抽出されている。

⁷ 『中納言』は国立国語研究所で開発されたコーパスを検索することができる Web アプリケーションである。短単位・長単位・文字列の 3 つの方法によってコーパスに付与された形態論情報を組み合わせた高度な検索を行うことができる。

⁸ 『中納言』では、【短単位検索】、【長単位検索】、【文字列検索】の 3 種類の検索方法が提供されているが、【文字列検索】は、「大きい」「おっきい」「おーきい」「オオキイ」「オッキー」のような表記のゆれ、読みのゆれのあるものの一括検索に対処できず、また【長単位検索】は複数の短単位から構成されている長単位の検索であり、ヒット数が【短単位検索】より少ないため、本研究の予備調査では【短単位検索】を利用した。

索結果にある形態素情報をもとに、『中納言』の【短単位検索】画面で検索条件を指定して検索を行った（詳細は付録 I を参照）。

検索毎に検索結果（件数）を記録し、クロス集計してから、各ペアの出現頻度が全体に占める割合を算出した。表 1.2 はその結果である。

表 1.2 『中納言』の予備検索結果

No	語幹	い形	な形	合計	%
1	オオキ	5862	30493	36355	53.14%
2	チイサ	5689	12968	18657	27.27%
3	コマカ	2160	516	2676	3.91%
4	アタタカ	2286	311	2597	3.80%
5	ヤワラカ	1368	750	2118	3.10%
6	オカシ	1043	1028	2071	3.03%
7	ハバヒロ	1063	2	1065	1.56%
8	マッシロ	136	425	561	0.82%
9	シカク	396	46	442	0.65%
10	キメコマカ	151	215	366	0.53%
11	マックロ	67	227	294	0.43%
12	メデタ	279	0	279	0.41%
13	イジワル	28	159	187	0.27%
14	チャイロ	174	11	185	0.27%
15	テガル	1	166	167	0.24%
16	アサグロ	109	0	109	0.16%
17	ヒヨワ	6	59	65	0.10%
18	テアラ	14	40	54	0.08%
19	マヂカ	17	34	51	0.07%
20	マンマル	23	20	43	0.06%
21	アマカラ	39	1	40	0.06%
22	ハラグロ	23	0	23	0.03%
23	ナウ	7	3	10	0.01%
	合計	20941	47474	68415	100.00%

表 1.2 に基づき、連体修飾用法全 68,415 例のうち、語形は「い形」と「な形」両方を持ち、且つどちらも出現頻度が 100 回以上であり、両形の合計出現頻度が総数の 1% 以上

を占めている以下の 6 組の語を本研究の研究対象とした。なお、本論文中の括弧で、
[] はレンマ形を表し、「 」 は実際の出現形を引用するときに用いる。

研究対象： [オオキい・オオキな]⁹
[チイサイ・チイサな]
[コマカイ・コマカナ]
[アタタカイ・アタタカナ]
[ヤワラカイ・ヤワラカナ]
[オカシい・オカシな]

研究対象 6 組の語のうち、[オオキい・オオキな] [チイサイ・チイサな] [オカシい・オカシな] の 3 組は「イ形容詞 vs. 連体詞」のペアであり、[アタタカイ・アタタカナ] [コマカイ・コマカナ] [ヤワラカイ・ヤワラカナ] の 3 組は「イ形容詞 vs. ナ形容詞」のペアである。これらの語は言うまでもなく日本語の基礎語彙であり、使用頻度の高い重要な言語単位でありながら、「紛らわしいもの」(西原他 1988:11)として挙げられることもしばしばある。

1.4 本研究の構成

本研究は、連体修飾用法における「X い」と「X な」の 6 組の語を対象とし、大規模コーパスを用い、共時的観点と通時的観点から、「X い」と「X な」の使用傾向を量的且つ質的に調査し記述する。本論文は 8 章からなり、各章の内容は以下の通りである。

本章第 1 章は序章として、本研究の位置づけ、研究目的と研究課題、研究方法と研究対象、本研究の構成を紹介する。

次の第 2 章では、まず形容詞と連体修飾用法全般に関する先行研究を概観する。その後、本研究で扱う「X い」と「X な」の現代日本語における使い分けについて共時的観点から考察した主な先行研究を紹介し、その問題点を指摘する。

第 3 章では本研究で使用するコーパスの詳細と、コーパスから「X い」と「X な」の実例を抽出する手法を紹介し、本研究のデータベースの構築作業を説明する。

第 4 章では、1.2 節で述べた研究課題①と研究課題②、つまり、連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、文内要素の形態統語的性質によるのか、「X い」と「X な」の意味的差異によるのか、という 2 つの問いを中心に現代小説のコーパスを用いて検証する。

第 5 章では、研究課題③、すなわち、連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは社会言語学的なレジスターの変異に基づくのかに注目し、種々のレジスターの現代

⁹ 片仮名表記は、読み方が同じで、漢字や送り仮名などの表記が異なる語の代表語幹を示す。

語コーパスから得たデータに基づいて共時的観点から先行研究で指摘された「X い」と「X な」の使い分けを検証する。

第 6 章では、第 4 章と第 5 章の分析結果をまとめ、連体修飾用法における「X い」と「X な」の現代日本語における使い分けの基準を提示する。

第 7 章では、1.2 節で述べた研究課題④、連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは言語の歴史的変化にどのように影響されているのかに対して、近代語コーパスを利用し、通時的観点から「X い」と「X な」の歴史的な使用変化を考察する。

第 4 章から第 7 章までの 4 章が本論文の中心的な部分である。

最後に、第 8 章は終章として、本研究の主張についてまとめを行い、日本語学への示唆、及び今後の課題について述べる。

1.5 用語について

ここでは、本研究で用いる主な用語について、若干の確認を行っておきたい。

(1) 「い形」と「な形」

本研究では、同一の語幹に「い」が語尾としてつく語を「X い」と表記し、語尾として「な」がつく語を「X な」と表記する。また、それぞれを「い形」、「な形」と呼ぶこともある。例えば、「大きい・大きな」、「小さい・小さな」、「おかしい・おかしな」、「細かい・細かな」などのペアにおいて、それぞれ前者が「X い」（「い形」）、後者が「X な」（「な形」）に属する。

(2) イ形容詞

本研究で「イ形容詞」と呼ぶものは、学校文法の「形容詞」を指している。「自立語で活用があり、用言の一つとして、述語になる働きがあり、言い切りの語形が現代語では『い』、古代語では『し』になる語」（『日本語文法大辞典』2001:227）である。例えば、古語の「高し」「赤し」「快し」「奥ゆかし」などの、現代語の「高い」「赤い」「快い」「奥ゆかしい」などの、事物の性質という自立する概念を持ち（単独でも意味が分かり、単独でも使われる）、語形変化する（活用する）語である。

(3) ナ形容詞

本研究で「ナ形容詞」と呼ぶものは、学校文法の「形容動詞」を指している。「古語の『静かなり』『穏やかなり』と言い切りの語尾が『なり』となる語...（中略）現代語の『静かだ』『穏やかだ』『親切だ』などの、『だ』となる語」（『日本語文法大辞典』2001:227）である。ナ形容詞は連体修飾する際、「細かな」、「さわやかな」、「静かな」、「幸せな」などのように語尾が「な」活用をする。ナ形容詞は意味と機能においてはイ形容詞によく似ているが、活用は形容動詞式活用をする。

(4) 連体詞

本研究で「連体詞」と呼ぶものは、「自立語で活用がなく、単独で連体修飾語としてだけに用いられ、それ以外の文の成分にはならない」(『日本語文法大辞典』2001:851)語を指す。連体詞とナ形容詞の大きな違いは、活用があるかないかである。ナ形容詞は活用し語形が変化するが、連体詞は語形が変化しない。例えば、ナ形容詞である「あたたかな」には、「あたたかだ」や「あたたかになる」という形がある。ところが、連体詞である「大きな」「小さな」「おかしな」の3語は、「な形」をしているが、「大きだ」「大きになる」「小さだ」「小さになる」「おかしだ」「おかしになる」といった形容動詞式活用の形がなく、名詞修飾の場合の「な形」しか持たないため、連体詞として扱う。

(5) 形式名詞と実質名詞

本研究で「形式名詞」と呼ぶものは、『日本語文法大辞典』の定める「形式名詞」を指す。すなわち、「名詞の中で実質的な意味を持たず、それを補充する修飾語がついて始めて意味を持ち使われた語をいう。実質名詞に対する区別の名称」(『日本語文法大辞典』2001:224)である。

「形式名詞」の範囲は説によって異なるが、本研究では、これまで形式名詞として認められたものであるどうかにかかわらず、『日本語文法大辞典』の定める「形式名詞」の定義により、五十音順に並べた以下のものを「形式名詞」とした。これら以外の名詞は実質名詞とした。

あいだ(間)、あたり(辺り)、うえ(上)、うち(内)、おかげ、かわり(代わり)、き(気)、くせ(癖)、ぐらい・くらい(位)、こと(事)、ころ・ごろ(頃)、じぶん(時分)、せい、ため(為)、つもり、とき(時)、ところ(所)、の、ばあい(場合)、はず(筈)、ぶん(分)、ほう(方)、ほど(程)、まま、もの・もん(物・者)、やつ(奴)、ゆえ・ゆえん(故・所以)、よう(様)、わけ(訳)、わり(割)

これらは、独立した名詞としての用法も持つが、独立して使われず、具体的・実質的な意味を補う修飾語を伴って使われる場合は形式名詞であるとされる。例えば、「あの人はくせが多い」の「くせ」は実質名詞であるが、「知らないくせに知ったかぶりをする」の「くせ」は「に」を伴って「のに」に非難の気持ちの加わった接続助詞のような働きをするに至っており、この「くせ」は「形式名詞」である。また、「行くつもりだ」「知らないはずだ」の「つもり」「はず」のように述語を受け、「～だ」をつけて文末の「ムード」を示す用法のあるものもあり、「できないことはない」「嘘をつくのは良くない」の

「こと」「の」のように副助詞の一用法として連体修飾語を受ける場合もあるものもある。これらの形式名詞は文法的意味を表す性質が濃くなっている。

(6) レジスター (register、言語使用域)

本研究では、「レジスター」という用語を、言語変種のうち使用状況の特徴によって規定されるもの全般を指す語として用いる。レジスターを決定する要因について、『言語学大辞典 第6巻』(1996:1429)では、「言語の場面の類型は、大体において、1)現実の出来事、状況、2)関与者、3)言語の果たす役割、という3つの要因によって、それぞれ異なる。これらの可変要因が合同して意味の選択の範囲と意味の表出に用いられる形式、すなわち、言語使用域を決定する」と述べている。

第2章 先行研究

本章では、形容詞と連体修飾全般に関する先行研究を概観した後に、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」に関して、森田(1977)による「大きい・大きな」、「小さい・小さな」、「おかしい・おかしい」、「あたたかい・あたたかな」、「細かい・細かな」、「やわらかい・やわらかな」の6組の語の意味分析、柴田(1982)による「大きい・大きな」、「小さい・小さな」2組の連体修飾用法の研究、飛田・浅田(1991)による「大きい・大きな」、「小さい・小さな」、「おかしい・おかしい」、「あたたかい・あたたかな」、「細かい・細かな」、「やわらかい・やわらかな」6組の語の意味用法についての記述、三枝(1996)、佐々木(2002)、丹保(2011a, 2011b)による「大きい・大きな」、「小さい・小さな」の使われ方に関する研究を説明する。最後に、本研究が主に参考したこの6つの先行研究についてまとめ、問題点を述べる。

2.1 形容詞に関する先行研究の概観

日本語の形容詞は人や事物の性質や状態を表し、述語の核になるとともに、名詞の前に位置し、連体修飾語として名詞を修飾、限定する。

形容詞という品詞は古くから研究されており、数多くの研究が存在する（例えば、山田(1908)、橋本(1934)など）。橋本は、活用する自立語で、単独で述語になる「用言」を、命令形があるかないかによって、動詞と形容詞に分類している(橋本 1934:65)。現代日本語の形容詞の研究は、動詞論（述語用法）の一部として扱われることが多い（例えば、鈴木・林(1973)、樋口(1996)など）。その意味で、「用言」という術語が一つの大きな柱になっている。現代語の形容詞研究の中で大切なのは、国立国語研究所の報告『形容詞の意味・用法の記述的研究』（西尾 1972）である。これらの先行研究の多くは形容詞の基本的な性質を整理することや、形容詞の分類を記述的にを行うことを中心としたものである。西尾(1972)は、「感情形容詞」「属性形容詞」という用語を最初に明確に用いて形容詞分類を論じたものとして重要な論考であり、感情形容詞の特徴を数項目にわたって記述したうえで、属性形容詞の感情形容詞的用法、感情形容詞の属性形容詞的用法など、周辺のと思われる用例についても丹念に記述している。

また、「形容詞」という品詞の位置づけについての議論も少なくない。Dixon(1982)によると、形容詞を、中国語のように（自）動詞の下位分類とする言語もあれば、Hausa 語のように名詞の下位分類と動詞の下位分類にまたがるものとして分類する言語もある。また、英語などのように名詞とも動詞とも異なる独立した品詞としての「形容詞」として認知されている言語もある。日本語の形容詞は、いわゆる「形容詞」（イ形容詞）と「形容動詞」（ナ形容詞）の2種類がある。Dixon の分類では、日本語の形容詞は開いたクラスを形成するため英語と共に置かれ、形容詞が小規模のクラスからなる言語と同じグループには入れられない。しかしながら、形容詞を品詞全体の中でどう位置づけるかという問題

は複雑で、今日なお議論は決着していない。品詞の分類基準が学者間で異なるのみならず、形の上での区別は意味の上での区別に対応するののかという観点からも二つの立場に分かれる。一つは、伝統的な学校文法で採用されている立場で、形式上の特徴に重点を置き、「形容動詞」を「形容詞」とは異なる品詞として区別する立場である（例えば、時枝(1950)、Martin(1975)など）。上原(2002)は、認知言語学の立場から、日本語の品詞全体のカテゴリー化には、語全体の「活用詞」と「非活用詞」との区別に動機付けされた形態的拘束性が大きくかかっているという考えの下、「形容動詞」を名詞の下位分類、「形容詞」を動詞の下位分類として両者を形の上で区別し、この区別が意味上の区別にも関係があると主張している。もう一つは、Backhouse(1984)の主張にあるように、意味上の共通性に重点を置いて、両者を同一の品詞を捉え、形式上の違いを下位分類の問題と見なす立場である。Backhouse(1984)は、日本語形容詞の2つの主要なサブタイプ（「形容動詞」vs.「形容詞」）は、形の上での区別に意味は関わりがないとし、イ形容詞とナ形容詞の両者を（名詞や動詞とは異なる独立した）同一の品詞と捉える。しかしながら、いずれの立場にも共通していることは、「形容詞」も「形容動詞」も属性や状態を表す語として、意味的には同じであると捉えているということである。つまり、「形容詞」と「形容動詞」とは、形式上の違いにも関わらず、意味上は共通しているということが一般に共通して認められている。本研究では、イ形容詞とナ形容詞との両者は「形容詞」という同一の品詞の下位分類である立場をとる。

2.2 連体修飾に関する先行研究の概観

日本語の連体修飾については構文、意味、機能、主題性との関連、限定的修飾と非限定的修飾などの点から議論されてきた。形容詞の機能的本質を言語哲学の原理論的な立場から論じた川端(1958, 1959, 1960)は、連体修飾機能を形容詞の本質として論じた古典的なものである。川端の論において、形容詞は属性概念として本来モノに備わっている性質を表し、モノと一体になった全体として、モノとしての判断が本来の領域であり、それが連体修飾の構文環境であるとされる。高橋(1963, 1965)は、動詞の連体修飾法について、統語的・意味的關係を豊富な実例に即して詳細に記述している。久野(1973)は、文の主題の構文的特徴と関係節のそれとの類似性を考察し、両者の関係について、「主題文が文法的な時は、それに対応する関係節も文法的であり、主題文が非文法的な時は、対応する関係節も非文法的である」と述べている。奥津(1974)は連体修飾を体系的に記述したものである。寺村(1975-78)は、構文的な違いから連体修飾と主名詞の関係を「内の関係」と「外の関係」に分けることを提案している。井上(1976a, 1976b)は連体修飾と主名詞の意味的關係から、日本語の連体修飾節に主名詞を制限する用法と主名詞を制限しない用法があると指摘し、両者の違いを説明している。Matsumoto(1997)は連体修飾節に関する研究の重要性を指摘している。また、奥津(2004)では連体修飾について下記の定義を与えている。

今 X と N（名詞）という二つの要素があり、それが[XN]の順に並んで、X が N に
かかり（修飾し）、N は X を受け（修飾され）て、N と同じ性質のまとまり、名詞
句（「連体名詞句」と呼ぶ）となるような言語現象を「連体修飾」という。

(奥津 2004:6)

2.3 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けに関する先行研究

2.1 節～2.2 節で見たように、形容詞について、また、連体修飾については多く研究さ
れているが、語幹を共有する連体修飾語「X い」「X な」の使い分けに関する先行研究は
多くない。

本節では、本研究が参考にした主な 6 つの、連体修飾用法における「X い」と「X な」
の使い分けに関する先行研究、森田(1977)、柴田(1982)、飛田・浅田(1991)、三枝(1996)、
佐々木(2002)、丹保(2011a, 2011b)について説明する。

2.3.1 森田(1977)

森田(1977)は、従来の辞書では扱われなかった、ことばの意味・用法の細かい分析、関
連する語を数多く取り上げ、その違いや使い分けを詳しく述べている。

2.3.1.1 森田(1977)の「大きい・な」と「小さい・な」についての分析

森田(1977:117-118)は、「大きい」「小さい」について以下のように分析している。

（１）標準や比較の対象より体積・面積・高さ・数・程度・規模などが上回る状態
は「大きい」。下回れば「小さい」。「大きいガスタンク」「小さいボール」（体
積）、「大きいプール」「小さい紙」（面積）、「大きい男」「小さい木」（高
さ）、「大きい値」「小さい音」（程度）、「大きい被害」「小さい地震」（規模）
など。

（２）「大きい／小さい」はかなり広い範囲において使うことができる。「大きい
辞書」と言えば、その辞書の体積が大きいことであるが、同時に、表紙の面積（判の
サイズ）が大きいことであり、また、数百ページという見かけの厚さを意識している
のかもしれない。この場合、「大きい」は「広い」であり「厚い」である。あるいは
見出し語数の多さを指しているとも取れ、それなら数量「多い」に相当する。工場の
煙突を見て「大きい煙突だね」というのは「太い」とも「高い」とも解せる。「大き
い人」と言えば、背の高い人のことを言うが、同時に、太った人、年の数の多い人、
いずれの場合もありうる。「大きい／小さい」を体積・面積・高さ……と割り切るこ
とは難しい。

（３）「大きい／小さい」は標準に対しての判断と、比較の上での判断とがある。
「大きい赤ん坊」とは言えるが、「赤ん坊は大きい」とは言えない。しかし、比較し

て「この赤ん坊は大きい」なら可能。「大きいネズミだ」も、ネズミの標準的な大きさを知っているから言えるわけで、既知の知識を拠り所とした判断である。「大きいネズミだ」は「ネズミは大きい動物である」の意ではない。

(4) 「大きい／小さい」は、ほとんどの場合、視覚的判断である。象を見て「大きい動物だね」と言えるのは、象の全体像を把握するから言えることで、手さぐりにとらえる部分的理解では「大きい」は使いにくい。

また、「名詞に係る場合、抽象名詞には連体詞『大きな』を用いるのがふつうである。これに対して、『大きい』は具体的な事物に使うことが多い。前者は『大きな……事件、恩恵、感銘、成功、失敗、責任』など、後者は『大きい……家、人、町、ほう』などである。」(森田 1977:118)と述べている。他にも、「『青少年に与える影響の大きい事件』のように、主語を受け、全体として抽象名詞に係る場合は、『大きい』が用いられる」(森田 1977:119)と述べている。

2.3.1.2 森田(1977)における「おかしい・な」についての分析

「おかしい」と「おかしな」についての森田(1977:121-122)の分析は以下のとおりである。

(1) 外面に現れた様子、表情、態度、しぐさ、ことば、口調、格好などが、普通と異なるところから生じる、罪のない笑いを誘う感情で、かなり本能的、生理的現象に近い。

(2) 一方、ある事物が一般の様子と異なるために、常に人々を笑わせる状態である場合、そのおかしさは、その事物の持つ特徴の一つとなる。一時的な個別的感情ではなく、対象が持つ普遍的なおかしさである。「とてもおかしい笑い話」「ピエロのおかしい仕種」は笑い話や仕種自体がおかしさを属性として持っているとするのである。

(1) (2) は厳密には区別しにくい。「おかしい人」と言った時、(1) その時に何かがおかしいと感じられるような人とも、(2) 誰からもおかしいと思われるような人物とも解釈できる。

(3) 一風変わっていることに通じる。「おかしい身なり」「流行おくれのおかしい服装」、さらに、普通と異なるが、その理由が分からない、変だ、不可解だ、現状が疑わしい、怪しいなどの強いマイナス方向へと進んでいく。「機械の調子がおかしい」「頭がおかしい」「おかしい素振り」

また、「体言にかかわる場合、『おかしい人／おかしな人』二種の言い方が成り立つ。『おかしな』は、もっぱら『おかしい』（３）の“変な”の意にのみ用いられ、“滑稽な”の意を持たない」（森田 1977:122）と述べている。

2.3.1.3 森田(1977)における「あたたかい・な」についての分析

「あたたかい」と「あたたかな」について、森田(1977:24-26)は以下のように分析している。

（１）生理感覚のバランスが崩れるほどの熱の蓄積・放散による不快感「暑い／寒い」は、「気温・体温感覚の極限状態で、マイナス評価の語である。このような極限状態にまでいかず、熱の吸収・放散が適度に行われ、快い気分を催す状態が「あたたかい・涼しい」。プラス評価の語である。

（２）プラス・マイナス評価の関係は、不快な「暑い」に対しては、適度の熱の放散における快感「涼しい」が対応し、不快な「寒い」に対しては、適度の熱の吸収・蓄積による快感「あたたかい」が対応する。

森田(1977)では以上のように「あたたかい」の意味分析がなされているが、名詞にかかわる場合の、「い形」の「あたたかい」と「な形」の「あたたかな」の使い分けについては分析されていない。

2.3.1.4 森田(1977)における「細かい・な」についての分析

「細かい」と「細かな」について、森田(1977:202-203)は以下のように分析している。

（１）「細かい」は全体が数多くの部分に分かれた時、または数多くの部分からなる時、その間隔がそろって非常に小さい状態を言う。

（２）「細かい」であらわされる事物は次のとおり。(1)立体的なもの……粒、結晶、雨、雪、砂、破片、葉、虫、金（＝小銭）、棘；(2)平面的なもの……文字、活字、柄、模様、基盤の目、縫い目、穴、網、そばかす；(3)動作・運動……波、足どり、「細かく……震える、揺れる、揺する」；(4)事柄……事情、分け、小言、点（＝事柄）、芸、心遣い、細工、計算、「細かく……注意する、採点する」

（３）「細かい」は立体的なもの、平面的なもの、運動、事柄などに使われるが、いずれも同一のものや事柄が数多くある場合に限られる。「細かい塩の結晶」を一粒だけ取り出したら「小さい結晶」となる。「細かい文字」「縫い目、網目、そばかす」いずれも多数の存在を全体とするから「細かい」が使える。単数なら「小さい」である。動作でも複数動作、反復動作の間隔が極めて小さい状態に使う。単一動作「立つ、座る、広げる」などには使わない。

また、「連体形『細かな』は『細かな……こと、点、波、音、戦慄』などに用いられ、物質にはあまり用いられない。『細かな……砂、葉、金』よりは『細かい……砂、葉、金』を多く用いる」(森田 1977:203)と指摘している。

2.3.1.5 森田(1977)における「やわらかい・な」についての分析

「やわらかい」と「やわらかな」について、森田(1977:457)は次のように述べている。

(1) 物の質が弱くて、力を受けると曲がったり、へこんだり、伸びたり、崩れたりしやすい性質や状態。

(2) ①「綿、蒲団、土、パン、紙」など、(1)のような性質を持つ固体に対して使われる。②「響き、光、日射し」や、③「態度、身のこなし、表現、商売、話」など人間の作り出す行為に対して、用法・用例は「かたい」とほぼ対応するが、「かたい……守り、意志、信念、口がかたい」などの中の「かたい」は「やわらかい」で言い換えることができない。

(3) ③の用法中、堅苦しくない、砕けた状態を意味する「やわらかい商売」「やわらかい話」など、いわゆる軟派の意の「やわらかい」は、「やわらかな」で言い換えることができない。

2.3.2 柴田(1982)

上で挙げたように、森田(1977)は、「大きな・小さなは抽象的なものに使い、大きい・小さいは具体的なものに使うことが多い」と指摘している。これに対して、柴田(1982:142)は、「大きな」「小さな」に修飾される名詞は、「単に抽象的なものというのではなく、＜物理的大小が言えない＞ようなものである」と指摘している。その例として次の文が挙げられている。

例(2-1) 以前札幌の M 氏から聞いた小さな話を思い出した。(柴田 1982:142)

例(2-2) 三十二年、東大学長に就任したが、今年の卒業式、入学式でも、卒業生や新入生に「小暴力追放運動にこたえて、小さな親切をやろう」と訴えた。

(柴田 1982:142)

また、柴田(1982:139)は、「連体修飾節の中の述語には『小さな』が来にくい」として、次のような文を挙げている。

例(2-3) 口が小さい花瓶がほしい。(柴田 1982:139)

例(2-4) ? 口が小さな花瓶がほしい。(柴田 1982:139)

例(2-3)と例(2-4)のように、「小さな」では少々不自然であるのは、「＜物理的大小＞」であるのは、『花瓶』ではなく、その『口』だからだ」とされる。なお、その他の「い形」と「な形」のペアの語の意味の違いに関して、柴田(1982:144)は「チイサイ・チイサナ、オオキイ・オオキナの意味の違いに並行するものだろう」と述べている。

2.3.3 飛田・浅田(1991)

飛田・浅田(1991)は、現代日本語の「形容詞」(形容詞・形容動詞・連体詞・連語を指す)を1,010語選定して五十音順に配列し、それぞれについて、豊富な用例を掲げ、その意味・用法・イメージ・ニュアンス、類義語との相違、関連語句について個々に詳しく記述したものである。

以下は、飛田・浅田(1991)による「大きい・大きな」、「小さい・小さな」、「おかしい・おかしい」、「あたたかい・あたたかな」、「こまかい・こまかな」、「やわらかい・やわらかな」6組の語の意味用法についての具体的な記述である。

2.3.3.1 飛田・浅田(1991)の「大きい・な」「小さい・な」についての分析

飛田・浅田(1991:95-97, 350-352)では、「大きい・大きな」「小さい・小さな」について以下のような分析記述がなされている。

(1) 「大きい」は、形態・数量・年齢などが大である様子を表す。小である様子は「小さい」。「彼の家は大きい」は形態が漠然と大であるという意味、「うちの大きい兄さんに聞いてみるよ」は何人かいる兄弟の中で、年上の方の兄という意味である。「三百円ですか。今大きいのしかないんです。」は買い物をする状況で慣用的に用いられる言い方で、「大きいの」は高額紙幣を意味する。「大きい」が金額の意味において用いられるとき、反対語は「小さい」でなく、「細かい」を用いる。

(2) 「大きい」は、程度・影響などが深刻で重大である様子を表す。「小さい」は、程度・影響などが軽くて取るに足りない様子を表す。「わが社にとっては大きい問題だ」は重大な問題だという意味であり、この場合大抵は好ましくない問題というニュアンスがある。

(3) 「大きい」を使った慣用句の場合。例えば、「態度が大きい」、「話が大きい」など。「あんまり大きいことを言うなよ。」の「大きいことを言う」は「実力以上のことを言う」「現実的でないことを言う」という意味である。「大きな」を使った慣用句、例えば「大きな口をきく」「大きな顔をする」「大きなお世話」などは、「大きい」に置き換えられない。

(4) 名詞に係る修飾語として用いられた「大きい」、「小さい」は、多くの場合「大きな」、「小さな」に置き換えられるが、「三百円ですか。今大きいのしかない

んです。」の中の「大きいの」を「大きなの」に置き換えると、高額紙幣は意味しない。また、「大きな兄さん」というと、体の大きな兄を意味するのが普通になり、一番年長の兄を意味することは少なくなる。同じように、「小さな妹」というと、体の小さな妹を意味するのが普通になり、一番年少の妹を意味することは少なくなる。

また、「『大きな』『小さな』は、『大きい』『小さい』の名詞を修飾する用法に、ほぼ似たような意味で用いられる語で、『大きい』『小さい』に比べると意味の幅が狭く、具体的な大小についての意味で用いられることが多い」(飛田・浅田 1991:97, 352)と指摘している。例えば、上で挙げた(1)においては、形態・容量の大きいことが「大きな」の中心の意味、形態・容量の小さいことが「小さな」の中心の意味となり、年齢・成長などは普通意味しない。

更に、「『小さな』は『小さい』に比べると、対象に対する心理的な傾斜の感じられる語で、形態の小さいことに対する愛着を暗示することがある」(飛田・浅田 1991:352)とも述べられている。すなわち、「『その悩みはあまりに大きくて、彼女の小さな胸にはしまっておけなかった。』での『小さな胸』は、胸の形態が小さいのみならず、愛らしい心というニュアンスを含むことが往々にしてある。この場合『小さい』を用いるとやや客観的な表現となり、愛着の暗示を含まなくなることが多い」ということである。

2.3.3.2 飛田・浅田(1991)における「おかしい・な」についての分析

飛田・浅田(1991:99-101)では、「おかしい」「おかしな」について以下のような分析がなされている。

(1) 笑いたくなるように滑稽な様子を表す。この意味では、普通は「おかしな」を使わず、「おかしい」を用いる。「面白い」に比べると、「おかしい」はただ滑稽で笑いを誘う様子を暗示し、興味深いというニュアンスはないことが多い。また、「おかしい」が指す笑いは本能的・生理的で、意識せずにこみあげてくるような場合が多い。

(2) 人や物事が普通でなく、不審な様子を表す。「おかしな」を用いると、普通この意味になるので、まったく同じ文脈で「おかしい」と「おかしな」が用いられると、次のようなニュアンスの違いが生ずる。「おかしな顔をされた。」(不審そうな顔をされた)と、「おかしい顔をされた」(笑いそうな顔をされた)。

また、「慣用句の中の『おかしな』は、『おかしい』に置き換えられない。」(飛田・浅田 1991:101)と述べられている。例として、下の例(2-5)と例(2-6)が挙げられている。例(2-5)は「話が正常に進まずに、まとまりがつかなくなった」という意味で、例(2-6)は「不思議なもので」という意味である。

例(2-5) 急に彼女が現れたのでおかしな話になっちゃった。

(飛田・浅田 1991:101)

例(2-6) おかしなもので、奴の顔を見たら元気が出てきた。

(飛田・浅田 1991:101)

2.3.3.3 飛田・浅田(1991)における「あたたかい」についての分析

飛田・浅田(1991:20-21)では、「あたたかい」について以下のような分析がなされている。

(1) 空気・水などの温度が適度に高い様子を表す。絶対的温度にはあまり関係しない。人間の感覚として快い温度を表す。原則として空気と水（液体）であるが、「彼女はあたたかそうな毛皮のコートを着ていた」のように、それを着るとあたたかく感じる為に、そのものの性質として「あたたかい」を使うこともある。

(2) 金銭が十分にある様子を表す。ほとんど「ふところがあたたかい」という慣用句で用いられる。

(3) 心・性格・雰囲気温和で理解がある様子を表す。「あたたかい人柄」は「人情味にあふれていてよく理解してくれる」という意味である。

以上のように飛田・浅田(1991)は、「あたたかい」のみについて分析し、「あたたかな」については記述していない。

2.3.3.4 飛田・浅田(1991)における「こまかい」についての分析

飛田・浅田(1991:251-253)では、「こまかい」について以下のような分析がなされている。

(1) 物の大きさが非常に小さい様子を表す。粒の大きさが小さいもの（「こまかい雨」「こまかい字」...）、相対的に小さい形態にするもの（「新聞紙をこまかく引き裂く」...）、表面のすき間が小さいもの（「目のこまかい網」「こまかいチェックのセーター」...）などに分類される。また、「こまかい」であらわされる対象は、小さいだけでなく同様なものが多数あることが原則である。一個しかないものの小ささについては、「こまかい」は用いられない。

(2) 金額が少ない様子を表す。「すみません、今こまかいのがないのですが」のように修飾語として用いられ、述語になることはない。

(3) 細部にまで及んでいる様子を表す。「こまかい点については後ほどご説明します。」のように、修飾語として用いることが普通で、述語になることはあまり多くない。

(4) 細部にまで配慮がゆきとどいている様子を表す。「観察がこまかい」「芸がこまかい」「情がこまかい」などの慣用句はこの意味である。

(5) 細部にわたるまで問題にする様子を表す。「そんなにこまかいことまで詮索するなよ」は、重要でない小事にこだわるという意味である。「あいつは金にこまかい奴だ」の、「金にこまかい」は慣用句で、金銭の損得に敏感である、勘定高いという意味になる。

(6) 振動の振れ幅が小さい様子を表す。「小刻み」と同じような意味であるが、「小刻み」よりももっと微細な振動を表すニュアンスがある。

以上のように、飛田・浅田(1991)では、「こまかい」については細かく分析されているが、「こまかな」については分析されていない。

2.3.3.5 飛田・浅田(1991)における「やわらかい・な」についての分析

飛田・浅田(1991:573-574)では、「やわらかい」「やわらかな」について以下のような分析がなされている。

(1) 物が外からの力に対して変形したり影響されたりしやすい様子を表す。本来「やわらかい」ものについても、その物の持つ平均的な「やわらかさ」よりも「やわらかい」という場合にも用いられる。また、対象自体の性質ではなく、対象に触れる主体の感想としても用いられる。

(2) 外からの刺激に容易に反応する融通性のある様子を表す。「体操選手の体はやわらかい」は物理的に柔軟だという意味、「先生は学者だが頭がやわらかい」は比喩的な用法である。「頭がやわらかい」は慣用句で、あまり規制の観念にとらわれず自由に考えられる能力があるという意味である。また、「この出版社はやわらかい本も作る。」の「やわらかい本」は通俗的な内容の本という意味である。ここの「やわらかい」は「やわらかな」に置き換えられない。

(3) 程度がはなはだしくなくて、刺激が少ない様子を表す。「やわらかい……光、色、味、音声、風など」

2.3.4 三枝(1996)

三枝(1996:98)は、「KWIC データ¹⁰をもとに、「大きい」、「大きな」、「小さい」、「小さな」4語の使われ方の実態を観察し、同時に「い形」「な形」の意味、機能の違いを考えてみる」ことを目的としている。「い形」と「な形」の使われ方の実態に関して、主に、以下の4点が明らかにされている。

A) 「な形」はいわゆる普通名詞に接続するが、「い形」は形式名詞に接続することが多い(p.101)。

B) 連体修飾節の中で「い形」「な形」が述語のように用いられる場合には、「い形」が多く用いられる(p.102)。

C) 「な形」は物理的な大小だけでなく、心理的な大きさを表す(p.104)。

D) 連体修飾用法の場合の「い形」「な形」の使用割合を分野別に見ると、自然科学系に比べて、社会科学、文芸の分野の方が「な形」の使用頻度が高い(p.106)。

三枝(1996)では、「『な形』は物理的な大小だけでなく、心理的な大きさを表す」とし、「客観的な基準はなく、心理的な大きさしか問題にできない事柄の場合、物理的な大きさと区別して『な形』を用いる」として、次の文を挙げている。

例(2-7) だけど、小さな池の大魚に飽き足らず、ニューヨークに出てきたら、大きな池のメダカになっちゃった。

(三枝 1996:104)

例(2-8) 健康が何よりだと言っていた病弱で小柄な大叔父の大きな頭には、まだまだ多くの古代史の引き出しがあったに違いない。

(三枝 1996:104)

次に、三枝(1996)は、柴田(1982)の「連体修飾節の中の述語用法には『な形』が来にくい」ということに異論はないが、「口が小さな花瓶」という用例自体は十分可能なように思えると主張している。

例(2-9) 目ばかり大きな男の子。 (三枝 1996:103)

例(2-10) 最初は体の大きなタヌキが餌を食べにくる。 (三枝 1996:103)

¹⁰ 三枝(1996)で用いた KWIC データは、情報処理振興事業協会技術センターの作成したもので、新聞一か月分(1983 年)、計算機マニュアル、理科系教科書、科学雑誌計 30 冊、小説、シナリオ、随筆 21 冊、短編小説 25 編からなる。

2.3.5 佐々木(2002)

佐々木(2002)は、「大きい・な」「小さい・な」「おかしい・な」「細かい・な」「やわらかい・な」「あたたかい・な」「間近い・な」「手近い・な」の8組の語の使用状況について、『新潮文庫の100冊』と『カッパノベルス』を用いて調査し、以下の結果を得ている。

「大きな」「小さな」「おかしい」「手近な」……「～ナ」の方が圧倒的に優勢
「暖かい」「細かい」……「～イ」の方が圧倒的に優勢
「柔らかい」……「～イ」の方がやや優勢
という傾向が見られる。

(佐々木 2002:141)

また、「大きな声」と「大きい声」は、使用率の違い(91% vs. 9%)はあるものの用法に違いはないことを述べている。

2.3.6 丹保(2011a, 2011b)

丹保(2011a)は、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(書籍データ)を用いて、名詞を修飾する「小さい」と「小さな」の違いを調査し、「被修飾名詞全体において『小さい』が占める割合が小さい」、「『小さい』の割合が圧倒的に高い名詞は、そのほとんどがいわゆる形式名詞と呼ばれるものである」、「具象名詞と抽象名詞における『小さい』の出現率」が低いという結果を得た。また、丹保(2011b)は、名詞を修飾する「大きい」と「大きな」について、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の用例に基づき、「①形式名詞には『大きい』に係る比率が高い。②形式名詞以外の名詞において、具象名詞、抽象名詞共に、『大きな』に係る割合が圧倒的である。③実質名詞において、『大きい』の係り先は抽象名詞と比較すると具象名詞の比率がやや高い。④主語を受け全体として係る場合、『が大きい／な』においては『大きい』が普通と言えるが、『の大きい／な』を含めるとそうとは言えない」と4つのことを指摘している。

2.4 先行研究のまとめと問題点

2.3節で挙げたこれまでの「Xい」と「Xな」の研究・記述は表2.1～表2.2にまとめられる。なお、森田(1977)と飛田・浅田(1991)は「あたたかい」の意味・用法について分析しているが、「あたたかい」と「あたたかな」の両者の使い分けに関する記述が先行研究に見られないため、表2.1～表2.2には「あたたかい・な」の該当項目がない。

表 2.1 「大きい・な」「小さい・な」の使い分けに関する記述

	「大きい・な」「小さい・な」
森田 (1977)	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞に係る場合、抽象名詞には連体詞「大きな」を用いるのがふつうである。これに対して、「大きい」は具体的な事物に使うことが多い。 ・「青少年に与える影響の大きい事件」のように、主語を受け、全体として抽象名詞にかかわる場合は、「大きい」が用いられる。
柴田 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きな」「小さな」に修飾される名詞は、「単に抽象的なものというのではなく、＜物理的大小が言えない＞ようなものである。 ・連体修飾節の中の述語には「小さな」が来にくい。
飛田・ 浅田 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きな」「小さな」は、同じく名詞を修飾する用法に、「大きい」「小さい」に比べると意味の幅が狭く、具体的な大小についての意味で用いられることが多い。 ・「大きいことを言う」「大きな顔をする」のような慣用句の場合、「い形」と「な形」は互いに置き換えられない。 ・「小さな」は「小さい」に比べると、対象に対する心理的な傾斜の感じられる語で、形態の小さいことに対する愛着を暗示することがある。
三枝 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> ・「な形」はいわゆる名詞に接続するが、「い形」は形式名詞に接続することが多い。 ・述語的な用法の場合「い形」が多く用いられる。 ・「な形」は物理的な大小だけでなく、心理的な大小を表す。
佐々木 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> ・連体修飾する場合、「大きな」「小さな」の出現数が「大きい」「小さい」に比べ圧倒的に優勢である。 ・「大きな声」と「大きい声」は、使用率の違いはあるものの用法に違いはない。
丹保 (2011a, 2011b)	<ul style="list-style-type: none"> ・形式名詞には「大きい」「小さい」に係る比率が高い。 ・形式名詞以外の名詞において、具象名詞、抽象名詞共に、「大きな」に係る割合が圧倒的である。具象名詞と抽象名詞における「小さい」の出現率が低い。 ・実質名詞において、「大きい」の係り先は抽象名詞と比較すると具象名詞の比率がやや高い。被修飾名詞全体において「小さい」が占める割合が小さい。

表 2.2 「おかしい・な」「細かい・な」「やわらかい・な」に関する記述

	おかしい・な	細かい・な	やわらかい・な
森田 (1977)	・体言にかかわる場合、「おかしい人／おかしな人」二種の言い方が成り立つ。「おかしな」は、もっぱら「おかしい」の“変な”の意にのみ用いられ、“滑稽な”の意を持たない。	・「細かな」は「細かな……こと、点、波、音、戦慄」などに用いられ、物質にはあまり用いられない。「細かな……砂、葉、金」よりは「細かい……砂、葉、金」を多く用いる。	・堅苦しくない、砕けた状態を意味する「やわらかい商売」「やわらかい話」など、いわゆる軟派の意の「やわらかい」は、「やわらかな」で言い換えることができない。
飛田・ 浅田 (1991)	・笑いたくなるように滑稽な様子を表す場合に「おかしい」を用い、人や物事が不審な様子を表す場合に「おかしな」を用いる。 ・慣用句の中の「おかしな」は、「おかしい」に置き換えられない。		・「この出版社はやわらかい本も作る」の「やわらかい本」は通俗的な内容の本という意味で、ここの「やわらかい」は「やわらかな」に置き換えられない。

森田(1977)は、多くの日本語の基礎語の意味用法を解説しているが、おそらく「著者一人の意味理解」(森田 1977:まえがき)に基づいているため、内省による解釈であり、客観的なデータを用いると異なる解釈ができる可能性が考えられる。

森田(1977:118)は、「名詞に係る場合、抽象名詞には連体詞『大きな』を用いるのが普通であるのに対して、『大きい』は具体的な事物に使うことが多い」と指摘しているが、これは飛田・浅田(1991:97)で指摘された「『大きな』『小さな』は、『大きい』『小さい』の名詞を修飾する用法に、ほぼ似たような意味で用いられる語で、『大きい』『小さい』に比べると意味の幅が狭く、具体的な大小についての意味で用いられることが多い」という主張と矛盾している。「い形」と「な形」と、どちらが具体的事物、あるいは具体的に大小を修飾するかに関して調べる必要があると思われる。

柴田(1982:143)は、「辞書に書いていないことばの意味を記述する」という立場を取って、「小さい」と「小さな」、「大きい」と「大きな」を比べながら、意味分析を行っている。多くの有益な主張が述べられているが、「大きな・小さなは、単に抽象的なものというのではなく、＜物理的大小が言えない＞ようなものである」という主張は疑わしいと感じられる。なぜなら、「大きな体、大きな手、小さな町、小さな家」などは、ごく普通の表現であるからである。

また、その他の「い形」と「な形」のペアの語の意味の違いに関しても、柴田(1982:144)は「チイサイ・チイサナ、オオキイ・オオキナの意味の違いに並行するものだろう」と述べているが、それが普遍的に言えるかどうか、他の「おかしい・おかしな」、「あたたかい・あたたかな」、「細かい・細かな」、「やわらかい・やわらかな」のような「い形」と「な形」と持つ語にもあてはまるのか、検証が必要だと思われる。

飛田・浅田(1991)では、日本語の形容詞を網羅し、その一語一語について意味・用法を客観的に記述しているが、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けについてはあまり分析されていない。

三枝(1996)では、「い形」と「な形」の使われ方の実態に関して、主に4点の傾向が明らかにされているが、「大きい」、「大きな」、「小さい」、「小さな」4語しか取り上げられていないため、それらの傾向が「い形」と「な形」の全般に一般化できるかどうかという疑問が残る。

佐々木(2002)は、8組のペアの「い形」と「な形」の使用傾向を提示しているが、大まかな傾向の提示に留めており、調査結果についての更なる考察はなされていない。

丹保(2011a, 2011b)は、「大きい・な」「小さい・な」の2組の意味用法について詳細な量的分析をしており、「大きな傾向を掴む」という研究目的を達成しているが、利用するコーパスは『現代日本語書き言葉均衡コーパス』のみであり、位相・文体について全く触れていないため、調査結果に偏りがあると考えられる。

加えて、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けに関するこれまでの研究は、日本語母語話者の内省による分析か、書き言葉のみに関するものであり、話し言葉に関するものがない。日本語母語話者の話し言葉において、客観的な考察が必要であると思われる。

更に、表 2.1 と表 2.2 を見て分かるように、連体修飾用法における「Xい」「Xな」の使い分けについての先行研究には、「大きい・な」「小さい・な」の2組に関するものが多い。また、これまでの「Xい」と「Xな」の使い分けに関する論述の中、「大きい・な」「小さい・な」の2組を一まとめにして結論を出すもの(森田(1977)、柴田(1982)、飛田・浅田(1991)、三枝(1996)の4つ)が大半であるが、実際には、連体修飾用法における「大きい」「大きな」の使用傾向と、「小さい」「小さな」の使用傾向との間には様々な違いが存在するように思われる。

第3章 データベースの構築

本研究の方法論上の特徴は、大規模な電子コーパスから得られた大量の実例に基づいて記述を行うということである。本章では、まずコーパスを利用した理由を述べ、次に本研究において使用するコーパスの選定理由を述べる。その後、第4章、第5章及び第7章の分析で実際に使用したコーパスの詳細を3.3節でまとめて紹介し、3.4節で各コーパスより分析対象用例を抽出する作業を説明する。最後に本研究の分析データベースの構築手順について説明する。

3.1 コーパスを利用した理由

まず、「コーパス」その概念について少し整理しておく。

コーパスとは何かについて、後藤(2003)では以下の記述がなされている。

「コーパス」という語は英語の *corpus* に由来し、これはさらにラテン語 *corpus* 「体」（発音はコルプス）に発する。この語は文字通りの意味から転じて、比較的早くから『ローマ法大全』*Corpus Iuris Civilis* のように「資料の総体」を意味して使われ、この用法でヨーロッパ各国語に取り入れられた。特定のテキスト（音声言語を転写した資料を含む）のみに依拠して研究が行われるような場合には、それをその研究におけるコーパスと呼ぶことになり、これが最も広い意味でのコーパスである。...

（中略）...二十世紀後半にコンピュータが発達し、計算機から次第にデータ処理機械としての性格を帯びるようになるにつれて、1960年代にアメリカで言語分析への応用がはじめられた。大量のデータを一定の手順で扱うのは正にコンピュータの得意とするところだからである。クチュラらによるブラウンコーパス（1967）がそのはしりであり、これ以降「コーパス」は、主にコンピュータによる処理を前提とした機械可読のテキスト、電子（化）テキストの大規模な集合として理解されるのが普通になる。これを現代的な意味での広義のコーパスと見なすことができる。（後藤 2003:6）

後藤(2003)の記述より、コーパスは大量の言語資料を集めたものをいうことが分かる。その言語資料を計算機で処理することを前提に電子化したものが電子コーパスと呼ばれていた時期もあったが、現在ではそれが当たり前となり、単にコーパスと呼ばれる。本論文では、滝沢(2006:22)に倣い、コーパスを最も広義に解釈し「電子化された大規模な言語資料」を指すものとする。

ある言語のコーパスを利用しその言語を研究することは、その言語の実態を客観的につかむのに有効であると思われる。例えば、コーパスは、頻度の低い言語形式を探す場合に特に役に立つ。大量のデータの中からなら見つかる可能性が高まることが期待できるからである。また、単にある形式の有無を調べるのではなく、その頻度を定量的に知ること

ができ、それをテキスト全体あるいは類似の他の形式と比較して、相対的な頻度を知ることができることもコーパスに基づく研究方法の長所である。コーパスを利用して対応する複数の形式の間の使用を観察すると、頻度ばかりではなく、分布の仕方にも偏りが見られることがあり、より細かい語義分析の助けになる。ある語に関して、例えば公文書での頻度と文学作品での頻度に大きな違いがあれば、その語の位相による振る舞いの違いを知ることができる。このようなことはある程度まで内省によっても知ることができるが、言語的文脈間での分布の偏りを客観的に明確に示すことができるのはコーパスを用いる利点であると思われる。

したがって、本研究で、連体修飾用法における日本語の形容詞及び連体詞の「Xい」と「Xな」の使い分けに関する基準を記述する上で、母語話者の実例を大量に収録している日本語コーパスを利用することは有効であると判断できる。

3.2 コーパスの選定理由

日本語コーパスには、新聞コーパス（『毎日新聞』『中日新聞』など）、書籍コーパス（『青空文庫』『新潮文庫』など）、シナリオコーパス（『寅さん』など）、話し言葉コーパス（『名大会話コーパス』など）、学習者コーパス（『K Y コーパス』など）、多言語コーパス（『中日対訳コーパス』など）などが挙げられる。これらのコーパスはそれぞれの性格や特性を持っている。例えば、終助詞「ね」「よね」は、話し言葉コーパスには現れるが新聞コーパスには現れるのはセリフの中のみであろう。日本語の連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けの制約や条件を記述するためにはなるべく多様なコーパスデータを分析することが望まれる。よって、本研究では、日本語母語話者の日常会話コーパス、新聞コーパス、雑誌コーパス、小説コーパスなどの書き言葉コーパス、また、典型的な話し言葉コーパスと書き言葉コーパスの間に位置づけられる会議録コーパスやウェブ上での Q&A コーパスを用いることにする。

3.3 使用したコーパス

3.2 で述べた理由により、コーパスの形式、内容、分量などを総合的に考え、現在利用できるコーパスの中から 9 つのコーパスを選定し、本研究において使用した。この 9 つのコーパスをそれぞれ、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』、『BTSJ』、『名大』、『新潮』、『女性』、『太陽』と略記し、本節で詳しく説明する。

3.3.1～3.3.4 の 4 つのコーパス、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』は、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』のサブコーパス（『Yahoo!知恵袋』『国会会議録』『雑誌』『新聞』）であり、3.3.5 の『BTSJ』と 3.3.6 の『名大』は日本語母語話者の話し言葉コーパス（日常会話）、3.3.7 の『新潮』は文学・小説のデータである。この 7 つは現代日本語のコーパスである一方、3.3.8 の『女性』と 3.3.9 の『太陽』は近代（1895 年から 1925 年までの 30 年間）日本語の書き言葉コーパスである。

3.3.1 『Yahoo!知恵袋』

本研究で使用する『Yahoo!知恵袋』コーパスとは、BCCWJの特定目的サブコーパス「Yahoo!知恵袋」(O:specific Object、C:Chiebukuro)媒体を指す。以降、『知恵』と略記する。『知恵』はQ&A形式のナレッジコミュニティサービス「Yahoo!知恵袋」の投稿データからランダムにサンプルを抽出したものであり、全体で91,445サンプル、1,026万語である。『現代日本語書き言葉均衡コーパス 利用の手引き』（国立国語研究所2011、以下『手引』）によると、「Yahoo!知恵袋」の元データには、2004年10月から2005年10月にかけて投稿された3,120,839の質問と、それに対する複数の回答が含まれていた。これらを、特定目的サブコーパス「Yahoo!知恵袋」の母集団として定義し、母集団から、1つの質問とそれに対する1つの回答の組を抽出して1サンプルとする。複数の回答がある場合、「ベストアンサー」と呼ばれる回答が利用された。（『手引』p.32）

本研究では、BCCWJ-DVD版¹¹の文章構造タグ付きサンプルフォルダ(C-XML)内の可変長(VARIABLE)サンプル¹²を利用する。準備として、次のBCCWJ-DVD版データ(OC/*/*.xml、全91,445サンプル)を本研究の作業フォルダOCにコピーする。

/BCCWJ-DVD/BCCWJ-disk1/C-XML/VARIABLE/OC/*/*.xml

3.3.2 『国会会議録』

本研究で使用する『国会会議録』コーパスとは、BCCWJの特定目的サブコーパス「国会会議録」(O:specific Object、M:Minutes of the Diet)媒体のうちの最新5年分データを指す。以降、『会議』と略記する。BCCWJに格納されている「国会会議録」データは1976年から2005年までの30年間における国会会議録からランダムにサンプルを抽出したものであり、全体で159サンプル、510万語である（『手引』p.30）。

本研究で使用するデータは最新の5年分（2001年～2005年）のみであり、計30サンプル（OM6*.xml¹³）、約105万語¹⁴である。

¹¹ 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』はオンライン検索ツール『少納言』、『中納言』およびDVDにて三通りの方法で公開しているが、本研究ではテキストの処理過程をできる限り明らかにするため、UNIXマシン上のコマンドで研究対象用例を一括抽出できるDVD版を利用することにした。

¹² BCCWJのサンプルは、「固定長サンプル」と「可変長サンプル」という2種類のサンプルによって構成されている。なお、可変長サンプルはBCCWJの全てのサブコーパスに対して提供され、一方、固定長サンプルは、出版サブコーパス、図書館サブコーパス、及び特定目的コーパスの一部（白書）に対して提供されている（『手引』p.23）。本研究では、全てのサブコーパスのサンプルが提供される可変長サンプルを利用する。

¹³ BCCWJ-DVD版で提供される書誌情報データベースJoined_info.xlsファイルを参照。

¹⁴ 形態素解析は、形態素解析辞書「UniDic」、形態素解析ツール「MeCab」により行い、wcコマンドにより語数を数えた。具体的には、名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻が管理する言語コーパスサーバーdicom2においてタグを消去したあとに行った。コマンドは以下の通りである。 ~@dicom2:~/OM\$ cat * | perl -pe 's/<.+?>//g;' | mecab -Owakati | wc

『会議』には、丁寧表現の頻出や独特な言い回し等の特徴がある。また、会議における発言の書き起こしであるので、話し言葉の特徴も見られる。

『会議』に関しても、3.3.1 の『知恵』と同じく、BCCWJ-DVD 版の文章構造タグ付きサンプルフォルダ内の可変長サンプルを利用する。準備として、次の BCCWJ-DVD 版データ（OM6*.xml、計 30 サンプル）を本研究の作業フォルダ OM にコピーする。

/BCCWJ-DVD/BCCWJ-disk1/C-XML/VARIABLE/OM/OM6*.xml

3.3.3 『雑誌』

本研究で使用する『雑誌』コーパスとは、BCCWJ の出版サブコーパス『雑誌』（P:Publication、M:Magazine）媒体を指す。「雑誌」は 2001 年から 2005 年までの 5 年間に日本国内で出版されたすべての雑誌を対象として、ランダムにサンプルを抽出したものであり、全体で 1,996 サンプル、444 万語である。収録された 1,996 サンプルについて、『雑誌新聞総カタログ』で分類されているジャンルによって、[総合]、[教育・学芸]、[政治・経済・商業]、[産業]、[工業]、[厚生・医療]の 6 分類にされている（『手引』 p.26）。

『雑誌』に関しても、『知恵』、『会議』と同じく、BCCWJ-DVD 版の文章構造タグ付きサンプルフォルダ内の可変長サンプルを利用する。

準備として、次の BCCWJ-DVD 版データ（PM/*.xml、全 1,996 サンプル）を本研究の作業フォルダ PM にコピーする。

/BCCWJ-DVD/BCCWJ-disk1/C-XML/VARIABLE/PM/*.xml

3.3.4 『新聞』

本研究で使用する『新聞』コーパスとは、BCCWJ の出版サブコーパスの『新聞』（P:Publication、N:Newspaper）媒体を指す。『新聞』は 2001 年から 2005 年までの 5 年間に日本国内で発行されたすべての新聞を対象として、ランダムにサンプルを抽出したものであり、全体で 1,473 サンプル、137 万語である。収録された 1,473 サンプルには、全国紙（朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞）、ブロック紙（北海道新聞、中日新聞、西日本新聞）、地方紙（河北新聞、新潟新聞、京都新聞、神戸新聞、中国新聞、高知新聞、琉球新聞）のサンプルが含まれる。（『手引』 p.27）

『新聞』に関しても、3.3.1～3.3.3 で説明した BCCWJ の他のサブコーパスと同じく、BCCWJ-DVD 版の文章構造タグ付きサンプルフォルダ内の可変長サンプルを利用する。

準備として、次の BCCWJ-DVD 版データ（PN/*.xml、全 1,473 サンプル）を本研究の作業フォルダ PN にコピーする。

3.3.5 『BTSJ』

本研究で『BTSJ』(BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)と呼ぶのは、東京外国語大学大学院宇佐美まゆみ監修の『BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版』のうちの日本語母語話者データを指す。『BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版』には、294 会話、約 67 時間の様々な状況の会話 (トランスクリプト) が収録されており、そのうち音声付きデータは 136 会話、約 21 時間である。コーパスの収録年は 2003 年、2007 年、2011 年である。

『BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版』には、日本語母語話者の会話データと日本語学習者の会話データの両方が収録されているが、本研究は母語話者のデータのみ扱うため、コーパスのデータシート (excel 文書) 中の「話者情報」シートによって、母語が「日本語」以外 (フランス語、ベトナム語、モンゴル語、中国語、中国語) である人の参加している会話データ (計 60 ファイル、付録Ⅱを参照) を除外することにした。よって、本研究で使用する『BTSJ』は日本語母語話者の雑談の会話、計 234 会話文のデータであり、約 180 万語¹⁵である。

準備として、手作業で『BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版』のトランスクリプトの元データシート (excel 文書) をテキストファイル (*.txt) として、本研究の作業フォルダ BTSJ に保存しなおす。

3.3.6 『名大会話コーパス』

本研究では、2001 年～2003 年構築された『名大会話コーパス』(NUCC: Nagoya University Conversation Corpus、以降『名大』と略記する) を利用する。『名大』は科学研究費基盤研究(B)(2)「日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究」(代表者: 大曾美恵子)の一環として作成されたもので、2 名から 4 名の話者による約 100 時間の雑談を収録、文字化したデータである。全体で 129 会話、198 名 (女性 161 名、男性 37 名) 日本語母語話者による自然会話データである。会話参加者の年齢、出身地は様々である。本研究では、公開された全 129 ファイル (約 190 万語¹⁶) を作業フォルダ NUCC にコピーして使用する。

¹⁵ 語数の計算は注 14 (p.29) と同様。コマンドは以下の通りである。
~ @dicom2:~/BTSJ\$ cat * | nkf -u | mecab -Owakati | wc

¹⁶ 語数の計算は注 14 (p.29) と同様。コマンドは以下の通りである。
~ @dicom2:~/NUCC\$ cat * | nkf -u | mecab -Owakati | wc

3.3.7 『新潮文庫』

本研究で『新潮文庫』と呼ぶのは、『CD-ROM 版 新潮文庫の 100 冊』のうち、1950 年以降に発行されたもので、翻訳作品を除いた 43 作品を指す。以降、『新潮』と略記する。なお、43 作品の作品名は付録Ⅲに挙げた。

『CD-ROM 版 新潮文庫の 100 冊』は 1995 年 12 月に新潮社から発行されている CD-ROM であり、新潮文庫に収められている作品の中から 100 冊分をデジタルデータ化した電子書籍である。収録作品には、日本人著者の原作文学作品以外にも、外国文学作品の翻訳が収められている。

本研究では、名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻が管理する言語コーパスサーバー dicom2¹⁷ に保存された 43 作品の本文のみのファイル¹⁸、約 610 万語¹⁹を利用する。

3.3.8 『近代女性雑誌コーパス』

本研究では、国立国語研究所が 2006 年に公開した『近代女性雑誌コーパス』（以降、『女性』と略記する）を利用する。『女性』は、明治後期～大正期の女性雑誌 3 種から 40 冊を抽出した全文コーパスで、本文テキストに XML を用いて文書構造・文字・表記に関する情報をタグ付けされたサンプルである。合計 40 サンプルあり、総文字数は約 210 万字である。

『女性』の対象雑誌は『女学雑誌』（女学雑誌社）1894(明治 27)年・1895(明治 28)年 31 冊と、『女学世界』（博文館）1909(明治 42)年 6 冊、『婦人倶楽部』（講談社）1925(大正 14)年 3 冊、合計 40 冊である。

本研究では、Web 上で公開された『女性』の『ひまわり』用データ²⁰ (josei_himawari.zip) をダウンロードして利用する。

3.3.9 『太陽コーパス』

本研究では、国立国語研究所が 2005 年に公開した『太陽コーパス』を指す。以降、『太陽』と略記する。『太陽』は、明治後期～大正期の総合雑誌『太陽』から 5 年分を抽出した全文コーパスであり、記事・引用・文字などにタグ付けしたテキストコーパスである。合計 60 サンプルあり、総文字数は約 1,450 万字である。

『太陽』は 20 世紀の始点として 1901 年を起点に 8 年刻みで、1909 年、1917 年、1925 年が取られ、更に創刊年にさかのぼり 1895 年も取られている。各年は臨時増刊号を除く

¹⁷ bash --version: GNU bash, バージョン 4.2.25(1)-release (i686-pc-linux-gnu)

¹⁸ dicom2/corpus/DawnData/Shinchosha100/Honbun/After1950

¹⁹ 語数の計算は注 14 (p.29) と同様。コマンドは以下の通りである。

~@dicom2:/corpus/DawnData/Shinchosha100/Honbun/After1950\$ cat *.euc | nkf -u | mecab -Owakati | wc

²⁰ http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/cmj/woman-mag/ からダウンロードできる。

12 冊全号を対象にし、全体で 60 冊、表紙目次図表などコーパスの対象に含める必要性が低いと判断されたもの以外、雑誌各冊の全記事・全文が対象とされた。(田中 2005:13)

本研究では、『太陽』の市販版 CD-ROM データを文検索システム『ひまわり』で利用する。

3.3.10 本研究で利用する 9 つのコーパスのまとめ

3.3.1～3.3.9 で紹介した本研究で利用する 9 つのコーパスのデータ種類、サイズなどの情報を表 3.1 のように一覧表にまとめた。

表 3.1 利用したコーパスの内訳

コーパス	種類	コーパス概要	サイズ	略記
Yahoo! 知恵袋	ネット 掲示板	2004 年 10 月～2005 年 10 月の「Yahoo!知恵袋」の投稿データからランダムにサンプルを抽出したもの、全体で 91445 サンプル	1026 万語	『知恵』
国会 会議録	会議 録	2001 年から 2005 年までの 5 年間ににおける「国会会議録」からランダムにサンプルを抽出したもの	105 万語	『会議』
雑誌	出版 雑誌	2001 年から 2005 年までの 5 年間に日本国内で出版されたすべての雑誌を対象として、ランダムにサンプルを抽出したもの、全体で 1996 サンプル	444 万語	『雑誌』
新聞	出版 新聞	2001 年から 2005 年までの 5 年間に日本国内で発行されたすべての新聞を対象として、ランダムにサンプルを抽出したものであり、全体で 1473 サンプル	137 万語	『新聞』
BTSJ による日本語 話し言葉 コーパス	自然 会話	2003 年、2007 年、2011 年に収録された自然会話データ、計 294 会話、約 67 時間トランスクリプト（そのうち音声付きデータは 136 会話、約 21 時間）	180 万語	『BTSJ』
名大会話 コーパス	日常 雑談	2001 年～2003 年構築された、129 会話、約 100 時間分の雑談を文字化したコーパス（198 名日本語母語話者による自然会話）	190 万語	『名大』
新潮文庫	小説 文学	新潮文庫の 100 冊の中の 1950 年以後の作品で、翻訳を除いた 43 作品	610 万語	『新潮』
近代 女性雑誌 コーパス	女性 雑誌	『女学雑誌』（女学雑誌社）1894(明治 27)年・1895(明治 28)年 31 冊と、『女学世界』（博文館）1909(明治 42)年 6 冊、『婦人倶楽部』（講談社）1925(大正 14)年 3 冊の全文	210 万字	『女性』
太陽 コーパス	総合 雑誌	『太陽』（博文館刊）の、1895(明治 28)年、1901(明治 34)年、1909(明治 42)年、1917(大正 6)年、1925(大正 14)年の、通常号の全文	1450 万字	『太陽』

3.4 分析対象用例の抽出

1.3 で述べたように、本研究の研究対象は「オオキい・な」「チイサイ・な」「オカシい・な」「コマカイ・な」「アタタカイ・な」「ヤワラカイ・な」の 6 組の語であるため、本節では、3.3 節で紹介した 9 つのコーパスより 6 組の語が含まれる用例を抽出する作業を説明する。

利用する 9 つのコーパスのうち、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』の 4 つは BCCWJ のサブコーパスであり、文字コード（いずれも UTF-8）も、データの形式も同一であるため、この 4 つのコーパスに対して 3.4.1 の抽出作業を行う。また、『BTSJ』、『名大』の 2 つは日本語の話し言葉コーパスであり、データの中に、「<大きな笑い>」「[小さい声で]」「<笑い>」など非言語的情報が数多く入っており、他のコーパスデータと形式が異なるため、この 2 つのコーパスに対して 3.4.2 の抽出作業を行う。次に、『新潮』は文学・小説データであり、名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻が管理する言語コーパスサーバー dicom2 の中にデータが保存されている。ユーザー登録を経て利用するため、個別に 3.4.3 の抽出作業を行う。最後に、『女性』と『太陽』の 2 つの近代語コーパスに対して 3.4.4 の抽出作業を行い、データとセットで提供されている『ひまわり』を利用して用例を抽出する。

3.4.1 BCCWJ のサブコーパスに対する抽出作業

BCCWJ の 4 つのサブコーパス、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』より研究対象用例を抽出する手順は次の 1)～4) である。

1) まず、Cygwin Terminal²¹アプリケーションで、下記の `grep` コマンドを実行し、研究対象 6 組の語が含まれる行を網羅的に抽出する。一行(改行までのテキスト)内に検索ワードが 2 コ以上存在する場合もあるが、これらは、3.5 のデータベースを構築する際に、表計算ソフト（エクセル）上、手作業で修正する。

```
$ grep "¥(あたたかい¥あたたかな¥あったかい¥あったかな¥暖かい¥暖かな¥温かい¥温かな¥アタタカイ¥アタタカナ¥大きい¥大きな¥おっきい¥おっきな¥おおきい¥おおきな¥おーきい¥おーきな¥オオキイ¥オオキナ¥おかしい¥おかしな¥可笑しい¥可笑しな¥オカシイ¥オカシナ¥細かい¥細かな¥こまかい¥こまかな¥コマカイ¥コマカナ¥小さい¥小さな¥ちいさい¥ちいさな¥ちいちゃい¥ちいちゃな¥ちっちゃい¥ちっちゃな¥チイサイ¥チイサナ¥やわらかい¥やわらかな¥柔かい¥柔かな¥柔らかい¥柔らかな¥軟らかい¥軟らかな¥ヤワラカイ¥ヤワラカナ¥)" OC/*/*.xml > /BccwjOC.txt
```

²¹ Cygwin は、Windows オペレーティングシステム上で動作する UNIX 環境の一つで、フリーソフトウェアである。本研究で使用的是、バージョン 1.7.18-1 (perl version : v5.14.2) である。

```
$ grep "¥(あたたかい¥あたたかな¥あったかい¥あったかな¥暖かい¥暖かな¥温かい¥温かな¥アタタカイ¥アタタカナ¥大きい¥大きな¥おっきい¥おっきな¥おおきい¥おおきな¥おーきい¥おーきな¥オオキイ¥オオキナ¥おかしい¥おかしな¥可らしい¥可笑しな¥オカシイ¥オカシナ¥細かい¥細かな¥こまかい¥こまかな¥コマカイ¥コマカナ¥小さい¥小さな¥ちいさい¥ちいさな¥ちいちゃい¥ちいちゃな¥ちっちゃい¥ちっちゃな¥チイサイ¥チイサナ¥やわらかい¥やわらかな¥柔かい¥柔かな¥柔らかい¥柔らかな¥軟らかい¥軟らかな¥ヤワラカイ¥ヤワラカナ¥)" OM/*.xml > BccwjOM.txt
```

```
$ grep "¥(あたたかい¥あたたかな¥あったかい¥あったかな¥暖かい¥暖かな¥温かい¥温かな¥アタタカイ¥アタタカナ¥大きい¥大きな¥おっきい¥おっきな¥おおきい¥おおきな¥おーきい¥おーきな¥オオキイ¥オオキナ¥おかしい¥おかしな¥可らしい¥可笑しな¥オカシイ¥オカシナ¥細かい¥細かな¥こまかい¥こまかな¥コマカイ¥コマカナ¥小さい¥小さな¥ちいさい¥ちいさな¥ちいちゃい¥ちいちゃな¥ちっちゃい¥ちっちゃな¥チイサイ¥チイサナ¥やわらかい¥やわらかな¥柔かい¥柔かな¥柔らかい¥柔らかな¥軟らかい¥軟らかな¥ヤワラカイ¥ヤワラカナ¥)" PM/*.xml > BccwjPM.txt
```

```
$ grep "¥(あたたかい¥あたたかな¥あったかい¥あったかな¥暖かい¥暖かな¥温かい¥温かな¥アタタカイ¥アタタカナ¥大きい¥大きな¥おっきい¥おっきな¥おおきい¥おおきな¥おーきい¥おーきな¥オオキイ¥オオキナ¥おかしい¥おかしな¥可らしい¥可笑しな¥オカシイ¥オカシナ¥細かい¥細かな¥こまかい¥こまかな¥コマカイ¥コマカナ¥小さい¥小さな¥ちいさい¥ちいさな¥ちいちゃい¥ちいちゃな¥ちっちゃい¥ちっちゃな¥チイサイ¥チイサナ¥やわらかい¥やわらかな¥柔かい¥柔かな¥柔らかい¥柔らかな¥軟らかい¥軟らかな¥ヤワラカイ¥ヤワラカナ¥)" PN/*.xml > BccwjPN.txt
```

2) 次に、結果ファイル BccwjOC.txt (BccwjOM.txt、BccwjPM.txt、BccwjPN.txt) をテキストエディタ (サクラエディタ Ver. 2.0.5.0)²²で開き、「置換」機能を利用し、タグやルビ、及びファイル名の不要な部分、余計なタブを削除し、ファイル名と用例の間にタブを入れ、データ形式を整える。形式が整ったファイルを文字コード UTF-8²³のテキストファイル BccwjOC-1.txt (BccwjOM-1.txt、BccwjPM-1.txt、BccwjPN-1.txt) として保存する。

²² サクラエディタは、日本製の Windows 用テキストエディタである。フリーウェアとして配布されている。本研究で使ったのは サクラエディタ Ver. 2.0.5.0 である。

²³ Cygwin Terminal アプリケーションの端末及びロケールの文字コードのデフォルトは UTF-8 であり、処理中の文字化け問題を解消するために、テキストファイルの文字コードも UTF-8 に揃える必要がある。

3) Cygwin Terminal アプリケーションで下記の perl コマンドを実行し、キーワードの前後にタブを挿入する。

```
$ perl -pe 's/((あたたかい|あたたかな|あったかい|あったかな|暖かい|暖かな|温かい|温かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーきい|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ))/\t\t\t\t\t/g' < BccwjOC-1.txt > BccwjOC-2.txt
```

```
$ perl -pe 's/((あたたかい|あたたかな|あったかい|あったかな|暖かい|暖かな|温かい|温かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーきい|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ))/\t\t\t\t\t/g' < BccwjOM-1.txt > BccwjOM-2.txt
```

```
$ perl -pe 's/((あたたかい|あたたかな|あったかい|あったかな|暖かい|暖かな|温かい|温かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーきい|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ))/\t\t\t\t\t/g' < BccwjPM-1.txt > BccwjPM-2.txt
```

```
$ perl -pe 's/((あたたかい|あたたかな|あったかい|あったかな|暖かい|暖かな|温かい|温かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーきい|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ))/\t\t\t\t\t/g' < BccwjPN-1.txt > BccwjPN-2.txt
```

4) 手順 3)により得たテキストファイル BccwjOC-2.txt (BccwjOM-2.txt 、BccwjPM-2.txt 、BccwjPN-2.txt) をエクセルで開き、data_OC.xlsx (data_OM.xlsx、data_PM.xlsx、data_PN.xlsx) として名前を付けて保存する。

上記の 1)～4)の手順により、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』に含まれている研究対象 6 組の「X い」と「X な」の実例が抽出できた。

3.4.2 話し言葉コーパスに対する抽出作業

話し言葉コーパス『BTSJ』と『名大』より研究対象 6 組の語が含まれる用例を抽出する作業は次の 1)～5)である。

1) サクラエディタの検索「Grep」機能を利用し、研究対象 6 組の語が含まれる行を一括抽出する。

検索条件： "(あたたかい|あたたかな|あったかい|あったかな|暖かい|暖かな|温かい|温かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーきい|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ)"

検索対象 *.*

フォルダ E:¥BTSJ¥ (E:¥NUCC¥)

2) 検索結果には「<大きな笑い>」「[小さい声で]」²⁴「<笑い>」などの非言語情報タグが多数入っているため、サクラエディタ上で、「置換」機能を利用し、タグやルビ、及びファイル名の不要な部分、余計なタブを削除し、ファイル名と用例の間にタブを入れ、データ形式を整える。形式が整ったファイルを文字コード UTF-8 のテキストファイル BTSJ.txt (NUCC.txt) として保存する。

3) 手順 2)で「<大きな笑い>」「[小さい声で]」などのタグを削除することによって研究対象が含まれていない行が発生したため、Cygwin Terminal アプリケーションで再度 grep コマンドを実行し、その後 perl コマンドでキーワードの前後にタブを挿入する。

²⁴ BTSJ「基本的な文字化の原則」 (<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj2011.pdf>) の「記号凡例」を参照。

```
$ grep "¥(あたたかい¥あたたかな¥あったかい¥あったかな¥暖かい¥暖かな¥温かい¥温かな¥アタタカイ¥アタタカナ¥大きい¥大きな¥おっきい¥おっきな¥おおきい¥おおきな¥おーきい¥おーきな¥オオキイ¥オオキナ¥おかしい¥おかしな¥可笑しい¥可笑しな¥オカシイ¥オカシナ¥細かい¥細かな¥こまかい¥こまかな¥コマカイ¥コマカナ¥小さい¥小さな¥ちいさい¥ちいさな¥ちいちゃい¥ちいちゃな¥ちっちゃい¥ちっちゃな¥チイサイ¥チイサナ¥やわらかい¥やわらかな¥柔かい¥柔かな¥柔らかい¥柔らかな¥軟らかい¥軟らかな¥ヤワラカイ¥ヤワラカナ¥)" BTSJ.txt > BTSJ-1.txt
```

```
$ grep "¥(あたたかい¥あたたかな¥あったかい¥あったかな¥暖かい¥暖かな¥温かい¥温かな¥アタタカイ¥アタタカナ¥大きい¥大きな¥おっきい¥おっきな¥おおきい¥おおきな¥おーきい¥おーきな¥オオキイ¥オオキナ¥おかしい¥おかしな¥可笑しい¥可笑しな¥オカシイ¥オカシナ¥細かい¥細かな¥こまかい¥こまかな¥コマカイ¥コマカナ¥小さい¥小さな¥ちいさい¥ちいさな¥ちいちゃい¥ちいちゃな¥ちっちゃい¥ちっちゃな¥チイサイ¥チイサナ¥やわらかい¥やわらかな¥柔かい¥柔かな¥柔らかい¥柔らかな¥軟らかい¥軟らかな¥ヤワラカイ¥ヤワラカナ¥)" NUCC.txt > NUCC-1.txt
```

```
$ perl -pe 's/((あたたかい|あたたかな|あったかい|あったかな|暖かい|暖かな|温かい|温かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーきい|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ))/¥t¥1¥t/g' < BTSJ-1.txt > BTSJ-2.txt
```

```
$ perl -pe 's/((あたたかい|あたたかな|あったかい|あったかな|暖かい|暖かな|温かい|温かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーきい|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ))/¥t¥1¥t/g' < NUCC-1.txt > NUCC-2.txt
```

4) 手順 3)により得たテキストファイル BTSJ-2.txt (NUCC-2.txt) をエクセルで開き、data_BTSJ.xlsx (data_NUCC.xlsx) として名前を付けて保存する。

上記の 1)~4)の手順により、『BTSJ』と『名大』に含まれている研究対象 6 組の「X い」と「X な」の実例が抽出できた。

3.4.3 『新潮文庫』データに対する抽出作業

『新潮文庫』データは名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻が管理する言語コーパスサーバーdicom2の中に保存されており、本研究では dicom2 コーパスサーバーにユーザー登録をした上で利用した。

『新潮』に含まれる「X い」と「X な」の実例を抽出する作業は次の 1)~4)である。

1) Tera Term²⁵アプリケーションを通して dicom2 コーパスサーバーに接続する。本研究で利用する 43 作品のテキストファイルの文字コードは EUC であるため、パソコン端末の文字コードは Tera Term の「端末の設定」ウインドウで変え、サーバーのロケールの文字コードは下記のコマンドで変更した。

```
export LANG = ja_JP.EUC
```

2) 次に、Tera Term 上で下記の grep コマンドを実行し、研究対象 6 組の語が含まれる実例を一括抽出する。その後 perl コマンドでキーワードの前後にタブを挿入する。その結果をテキストファイル SHINCHO-1.txt として保存。

```
$~@dicom2:/corpus/DawnData/Shinchosha100/Honbun/After1950$ grep "¥(あたたかい¥あ  
たたかな¥あつたかい¥あつたかな¥暖かい¥暖かな¥温かい¥温かな¥アタタカイ¥アタ  
タカナ¥大きい¥大きな¥おっきい¥おっきな¥おおきい¥おおきな¥おーきい¥おーきな  
¥オオキイ¥オオキナ¥おかしい¥可らしい¥可笑しい¥可笑しな¥オカシイ¥オカシナ¥細かい¥細  
かな¥こまかい¥こまかな¥コマカイ¥コマカナ¥小さい¥小さな¥ちいさい¥ちいさな¥  
ちいちゃい¥ちいちゃな¥ちっちゃい¥ちっちゃな¥チイサイ¥チイサナ¥やわらかい¥  
やわらかな¥柔かい¥柔かな¥柔らかい¥柔らかな¥軟らかい¥軟らかな¥ヤワラカイ¥ヤ  
ワラカナ¥)" *.euc > ~/SHINCHO.txt
```

```
$ perl -pe 's/((あたたかい|あたたかな|あつたかい|あつたかな|暖かい|暖かな|温かい|温  
かな|アタタカイ|アタタカナ|大きい|大きな|おっきい|おっきな|おおきい|おおきな|おーき  
い|おーきな|オオキイ|オオキナ|おかしい|おかしな|可らしい|可笑しい|可笑しな|オカシイ|オカシナ  
|細かい|細かな|こまかい|こまかな|コマカイ|コマカナ|小さい|小さな|ちいさい|ちいさな|
```

²⁵ Tera Term は、寺西高氏によって開発された Windows 用ターミナルエミュレータである。ネット上で無料ダウンロードできる。本研究では、Version 4.77(SVN#5134)を使用。

ちいちゃい|ちいちゃな|ちっちゃい|ちっちゃな|チイサイ|チイサナ|やわらかい|やわらかな|柔かい|柔かな|柔らかい|柔らかな|軟らかい|軟らかな|ヤワラカイ|ヤワラカナ))/\$t¥1¥t/g' < SHINCHO.txt > SHINCHO-1.txt

3) 手順 2)により得たテキストファイル **SHINCHO-1.txt** をエクセルで開き、**data_SHINCHO.xlsx** として名前を付けて保存する。

上記の 1)～3)の手順により、『新潮』に含まれている研究対象 6 組の「X い」と「X な」の実例が抽出できた。

3.4.4 近代語コーパスに対する抽出作業

本研究では、コーパス検索システム『ひまわり』²⁶を利用して、近代語コーパス『女性』及び『太陽』より研究対象「X い」と「X な」の実例を網羅的に抽出する。抽出作業は次の 1)～2)である。

1) 『ひまわり』(ver.1.3) を起動し、検索文字列²⁷を表 3.2 のように指定し、検索オプションを「前後文脈長：50」と指定し、1～10 の検索を実行する。

2) 検索毎に得た結果を表計算ソフトエクセルにコピー&ペーストで貼り付けし、一つのシートにまとめた結果を **data_JYOSEI.xlsx** (**data_TAIYOU.xlsx**) として名前を付けて保存する。

上記の手順により、『女性』（『太陽』）に含まれている研究対象 6 組の「X い」と「X な」の実例が抽出できた。

²⁶ 『ひまわり』は言語研究用に設計された全文検索システムで、日本語のプログラミング言語である。XML 文書から特定の文字列を高速に全文検索する機能を持っている。

²⁷ 現代語「大きい・な」「小さい・な」の近代語に出現し得るとされる語形全てを検索文字列にした。

表 3.2 『ひまわり』での検索文字列

順番	検索文字列	一括検索される語形
1	大き[いきな]	大きい・大きき・大きし・大きな・大きなり・大きなる
2	おお[きし]	おおき・おおきい・おおきき・おおきし・おおきな・おおきなり・おおきなる・おおし 注：平仮名表記のものが一括検索される
3	大[イいきなし]	大イ・大い・大キ・大きい・大キき・大キし・大キな・大キなり・大キなる・大な・大なり・大きなる・大し
4	おほ[きし]	おほき・おほきい・おほきき・おほきし・おほきな・おほきなり・おほきなる・おほし 注：平仮名表記のものが一括検索される
5	オホ[イいきき]	オホイ・オホイ・オホキ・オホキい・オホキき・オホキし・オホキな・オホキなり・オホキなる・オホき・オホきい・オホきき・オホきし・オホきな・オホきなり・オホきなる
6	小さ[いきしな]	小さい・小さき・小さし・小さな・小さなる
7	ちいさ[いきしな]	ちいさい・ちいさき・ちいさし・ちいさな・ちいさなる
8	小[イいききシシナナ]	小イ・小い・小キ・小き・小シ・小し・小ナ・小ナリ・小ナる・小な・小なり・小なる
9	ちひさ[いきしな]	ちひさい・ちひさき・ちひさし・ちひさな・ちひさなり・ちひさなる
10	チヒサ[イいききシシナナ]	チヒサイ・チヒサイ・チヒサキ・チヒサき・チヒサシ・チヒサし・チヒサナ・チヒサナリ・チヒサナる・チヒサな・チヒサなり・チヒサなる

3.5 データベースの構築

3.4 節で説明した分析対象用例の抽出作業により、本研究において大きな土台となるデータが抽出されたことになる。これらのデータは、本研究のデータベースを構築する際の元データとなる。

本節では、本研究のデータベースの構築手順を説明する。

まず、3.4 節で説明した 9 つのコーパスに対する抽出作業から得た以下の 9 つのエクセルファイルを一つのワークシートにまとめ、DB0.xlsx として名前を付けて保存する。この作業は、エクセル上でデータベースを構築するための前準備である。

data_OC.xlsx、data_OM.xlsx、data_PM.xlsx、data_PN.xlsx、data_BTJSJ.xlsx、
data_NUCC.xlsx、data_SHINCHO.xlsx、data_JYOSEI.xlsx、data_TAIYOU.xlsx

その次に、エクセル上でデータベースを構築する。具体的に、以下に示す手順 1)～6)に沿って行った。

1) 必要な情報を付け加えて、データベースのフォーマットを整える。

1 行目に行を挿入し、データに対応するタイトル名をつける（「ファイル名」「前文脈」「キー」「後文脈」「年」「話者」など）。その次に、「前文脈」は右詰（インデント）に、「後文脈」は左詰に、「キー」等の列を中央揃えにし、ワークシートの書式を整え、タイトル行にフィルターを適用し、ウィンドウ枠を一行目に固定する。

2) 「コーパス」、「語幹」、「語尾」、「形態」、「不要」、「メモ」の列を挿入し、情報を書き入れる。

- ・「コーパス」：『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』、『BTSJ』、『名大』、『新潮』、『女性』、『太陽』
- ・「語幹」：オオキ、チイサ、オカシ、アタタカ、コマカ、ヤワラカ、大²⁸、小
- ・「語尾」：い、き、な、なる²⁹
- ・「形態」：「い形」、「な形」³⁰
- ・「不要」：「巨大なる」「生温かい」「見たことあったかな」などの研究対象と
ならない例はこの列にチェックを入れる。
- ・「メモ」：気付いたことなど

3) キーワード前後 10 文字が同一の例は重複例であるとして分析対象から外す。

まずキーワードの「前文脈」の最後の 10 文字を RIGHT 関数で、「後文脈」の最初の 10 文字を LEFT 関数で返し、それぞれの結果の値を T 列、V 列に貼り付ける。その次に、キーワード前後 10 文字と「キー」を合わせて CONCATENATE 関数で結合し、結合した結果を「結合」（W 列）というタイトルの列に貼り付ける。その後、「結合」列（W 列）で並べ替え、X2 セルには=IF(COUNTIF(\$W\$2:W2, W2)>1, "±10 重複", "")と入力して、X2 セルを一番下のセルまでフィルハンドルをドラッグして数式をコピーする。これで W 列の同じ行までに該当するデータが 2 以上のときに「重複」と表示する。

「重複」と表示される行³¹を分析対象外とする。

²⁸ 近代語に見られる「オホキ」「チヒサ」などの語幹は、現代語の語幹「オオキ」「チイサ」に入っていないため、近代語語幹は区別して漢字表記「大」「小」とする。

²⁹ 現代語の語尾には「い」及び「な」があるのに対して、近代語の語尾には「い」と「な」以外、「小さき」「大なる」のような語尾「き」「なる」も存在する。

³⁰ 語尾が「い」「き」のものは「い形」とし、語尾が「な」「なる」のものは「な形」とする。

³¹ 本調査において、重複が最も多かったデータは『知恵』（総計 5,723 例のうち、重複例 950 例あり、重複率 17%）であり、次いで『BTSJ』（重複率 3%）、『名大』（重複率 2%）であった。

4) 前文脈に対して、ユーザー関数の **reverse** を使い、文字列の最後からソートできるように準備する。

ユーザー関数として **reverse** を下記の通り登録する。

```
Function reverse(w)
    reverse = StrReverse(w)
End Function
```

5) 「用法」の列を挿入し、「連体」用法か「述語」用法かその他の用法か、手作業で分類した。例えば、「大きいは大きいですが...」「...小さいは小さいだけに損徳の響きが甚い...」の一つ目の「大きい」「小さい」は「準体言」用法と捉え、「...大きいとは言えない」「顔が小さいなんて...」「...おかしいし」「暖かいけれど」「...柔らかいです」「女って、細かいな」の中の「Xい」は「述語」用法とし、「大きい声」「小さいお店」「おかしい子」「祖父は孫にあたたかい目を向けた」「細かいキズが付く」「柔らかいイメージ」の中の「Xい」は「連体」用法とした。

6) 手順 2)の「不要」、手順 3)の「重複」及び、手順 5)の「述語」用法、「準体言」に該当する用例は本研究の分析対象としないため、それらを除外した用例をエクセルの新規ワークシートに貼り付け、**DB.xlsx** として名前を付けて保存する。

手順 1)～手順 6)により、連体修飾用法の用例のみから成る本研究の研究対象用例（総計 14,188 例）のデータベースを構築した。

3.6 データベースの充実

本研究では、3.5 で構築したデータベースに、更に列を追加してそれぞれタイトル名をつけ、分析の際に必要な様々な情報を書き入れ、データベースを充実させた。本節では、データベースを充実させる手順について説明する。

3.6.1 「Xい」と「Xな」の被修飾名詞

日本語の基本語順は、修飾語が被修飾語の前に立つ。連体修飾用法における「Xい」と「Xな」は「修飾語」に当たり、その後ろに「被修飾語」の名詞は必ず存在する。本研究では、「Xい」と「Xな」が修飾する後続名詞を「被修飾名詞」と呼ぶ。構文上、「Xい」と「Xな」は後続名詞に係るが、意味上、「Xい」と「Xな」はその後続する被修飾名詞の概念内容を修飾限定する場合とそうでない場合がある。「Xい」と「Xな」が実際

に修飾限定するのが「被修飾名詞」ではなく、前接する「主語名詞」の意味内容を修飾限定する場合は 3.6.4 で説明する。

本研究では、連体修飾における「X い」と「X な」の使い分けを考察するために、まず「X い」と「X な」の被修飾名詞を分析する。被修飾名詞を選出するに当たり、以下に示す「4 つの原則」を立てることにした。

<4 つの原則>

① 『デジタル大辞泉』の「見出し語」

例：「女の子」「男の子」は見出し語となっているため、「被修飾名詞」列に「女の子」「男の子」と記する。それに対して、「男の人」「女の人」は『デジタル大辞泉』の見出し語となっていないため、「被修飾名詞」列に「人」と記する。

② 複合語の場合はなるべく「短単位」

例：「お化け屋敷」を「屋敷」と記し、「汚職事件」を「事件」と記し、「貿易会社」「建設会社」「企画会社」「株式会社」を「会社」と記する。

③ 表記が異なる同音同義語を統一表記する

例：「穴」と「孔」を「穴・孔」で、「泡」と「沫」を「泡・沫」で、「蟹」と「カニ」を「カニ・蟹」で統一し、「誤り」「あやまり」「誤まり」「誤」「謬」を「誤り」で、「体」「からだ」「お体」「身体」「躰」「軀」「體」を「体・軀・躰」で統一表記する。

④ 同形異字の旧字体を新字体に統一する

例えば：「聲」を「声」に、「疑ひ」を「疑い」に、「光榮」を「光栄」に、「貢獻」を「貢献」に、「文藝」を「文芸」に、「樂觀」を「楽観」に、「圍爐裏」を「囲炉裏」に書き換える。

「4 つの原則」に従い、DB.xlsx のワークシートに、「被修飾名詞」の列を挿入し、各実例における「X い」と「X な」の被修飾名詞を書き入れる。

3.6.2 被修飾名詞の「語種」

語種は、日本語の単語を出自によって分けた種類である。和語・外来語・漢語・混種語の 4 種類に分けられる。

和語は「固有の日本語。日本の本来のことば。」(『日本語学研究事典』2007:151)であり、外来語は「外国語が翻訳されずにそのまま用いられ、その使用が社会的に承認され、日本語として定着したもの」(『日本語学研究事典』2007:152)である。漢語は「呉音・漢音などの漢字音で唱える漢字一字か二字で構成される語」(『日本語文法大辞典』

2001:180)であり、混種語は「複数の語種の混じった語（単語・複合語・派生語を含む）」（『日本語文法大辞典』2001:270）である。

一つの単語が和語・漢語・外来語・混種語のどの語種に属しているかは、意見が分かれることがしばしばある。その中に、特に漢字で表記する語（和語であるか漢語であるか）の判別が難しい。日本語の漢字の読みには「音読み」と「訓読み」とがあり、更に「音読み」には最低でも「呉音」「漢音」の二系列が存在するように、一文字で複数の読み方を有しているからである。一般に、和語は訓読みで出来ているもの、漢語は音読みで出来ているもの、のように捉えるが、漢語は古くから日本文化の中に入ってきたため、また色々な事情で作られたため、どこからどこまでを漢語とするかははっきりとしていない。

そこで、本研究では、判別過程の揺れを避けるために、国立国語研究所が公開している『BCCWJ 語彙表』³²を参照した。具体的に、DB.xlsx のワークシートに、「読み」「語種」の列を挿入し、VLOOKUP 関数で『BCCWJ 語彙表』の「読み」「語種」情報と照らし、被修飾名詞の「読み」「語種」を返した。この作業の後、『BCCWJ 語彙表』に参照対象がなく、エラーとなる（「#DIV/0!」と表示される）行に対して手作業で修正した。

3.6.3 被修飾名詞の「名詞種類」

本研究では、「Xい」と「Xな」の使い分けの検討に当たって、被修飾名詞をまず「形式名詞」と「実質名詞」に大別し、「実質名詞」を更に「具象名詞」と「抽象名詞」と「固有名詞」に分けて考察することにした。1.5 で定義したように、以下のものは「形式名詞」とする。

あいだ（間）、あたり（辺り）、うえ（上）、うち（内）、おかげ、かわり（代わり）、き（気）、くせ（癖）、ぐらい・くらい（位）、こと（事）、ころ・ごろ（頃）、じぶん（時分）、せい、ため（為）、つもり、とき（時）、ところ（所）、の、ばあい（場合）、はず（筈）、ぶん（分）、ほう（方）、ほど（程）、まま、もの・もん（物・者）、やつ（奴）、ゆえ・ゆえん（故・所以）、よう（様）、わけ（訳）、わり（割）

次に、名称を表す語、例えば、人名・地名・国名・書名・建造物・年号などの類は「固有名詞」とした。

なお、具象名詞と抽象名詞の考え方は、研究者によって異なると思われるが、本研究では次に示すように定義し、この定義に沿って分類することにした。

³² 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』語彙表 (http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/freq-list.html) の短単位語彙表データ BCCWJ_frequencylist_suw_ver1_0.zip をダウンロードして使用した。

具象名詞とは、直接見たり聞いたり触れたりすることのできる物や人を表す名詞であり、それ以外の名詞は抽象名詞である。

この定義に基づき、『分類語彙表』(国立国語研究所、2004)の体言に関する5大分類部門のうち、「人間活動の主体」(例えば、「子供」「私」「学校」、「労働組合」、「国」など)と「生産物および用具」(例えば、「袋」、「茶わん」、「車」、「布団」、「部屋」など)、「自然物および自然現象」(例えば、「雨」、「川」、「光」、「影」、「楠木」、「蜂」など)の3大部門の体言は「具象名詞」に、「抽象的關係」(例えば、「形」、「違い」、「影響」、「転回」、「枠組み」など)と、「人間活動—精神および行為」(例えば、「心配」、「人柄」、「政策」、「対話」など)の2大部門の体言は「抽象名詞」に入ることになる。どのような語を具象名詞・抽象名詞としたかは付録Ⅳと付録Ⅴにまとめた。

本研究では、以上の定義に従い、DB.xlsxのワークシートに「名詞種類」の列を挿入し、「被修飾名詞」その語が、「形式名詞」「固有名詞」「具象名詞」「抽象名詞」の4種類のうちのいずれかを判別した。

3.6.4 連体修飾構造

「Xい」と「Xな」は、構文上、被修飾名詞の前に位置するが、意味上、被修飾名詞の概念内容を修飾限定する用法と、それに先行する主語名詞の概念内容を修飾限定する用法とがある。

まず、「Xい」と「Xな」が後続する被修飾名詞の意味内容を修飾限定する場合、実際に修飾するのは後続する表現のどの部分か、というのが基本的な問題である。本研究では、例えば、「...すみにいる小さなアリを指して...」のように修飾語「小さな」の直後に被修飾語「アリ」が来る場合を「直接修飾」連体構造とし、「大きな黒いアゲハ」「小さな中古の白黒テレビ」「暖かい赤道付近の空気」などのように修飾語(「大きな」「小さな」「暖かい」)と被修飾語(「アゲハ」「テレビ」「空気」)の間に他の修飾成分が入っている場合を「間接修飾」連体構造とした。

また、「Xい」と「Xな」は、先行する主語を受け述語になり全体として「修飾節」を形成して後ろの名詞を修飾する場合、実際に連体修飾節の主語の属性を述べ立てる。本研究では、このような連体修飾節の主語を「主語名詞」と呼び、「Xい」と「Xな」が「主語名詞」を受け述語になり全体として「修飾節」を形成して後ろの「被修飾名詞」を修飾する用法を「主語付き」連体修飾とした。

従って、DB.xlsxのワークシートに、「修飾構造」の列を挿入し、各用例を「直接修飾」、「間接修飾」、「主語付き」という3種類の構造のいずれかに分類した。また、「主語名詞」「前接成分」の列を挿入し、「主語付き」と分類された用例に対して、「X

い」と「Xな」に前接する主語名詞及び主語付き連体修飾節の主語助詞を書き入れる。

「小さいころから食べられました」のように、主語名詞も主語助詞も省略された場合は、「φ」（空集合の意）と記する。その後、分析の都合上、更に「連体構造」の列を挿入して、既に分けた「主語付き」用例を「主語付き」連体構造とし、「直接修飾」と「間接修飾」用例を「非主語付き」連体構造とした。

3.6.1～3.6.4の作業を行った上で、DB.xlsxのワークシートでソート、オートフィルタを使って、情報を再度確認したり、加えたりすることによって、データベースを充実させた（図3.1と図3.2を参照）。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	メモ	用	主語名	修飾	連体構造	連体修飾	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種
3513		連体		より	非主語付き		直接修飾	指導	しどう	漢語	抽象名詞
3514		連体		より	非主語付き	きな絶望と諦	直接修飾	絶望	ぜつぼう	漢語	抽象名詞
3515	松の木	連体			非主語付き	ひさい松の木	間接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞
3516		連体		の	非主語付き	小さな筒	直接修飾	筒	つつ	和語	具象名詞
3517		連体		Adjな	非主語付き	きな真暗な項	間接修飾	現実	げんじつ	漢語	抽象名詞
3518		連体		Adjい	非主語付き	柔かい体の	直接修飾	体・軀・軀	からだ	和語	具象名詞
3519		連体		Adjく	非主語付き	小さなその影	間接修飾	影・陰	かげ	和語	具象名詞
3520		連体		の	非主語付き	大きな握り飯	直接修飾	握り飯	にぎりめし	和語	具象名詞
3521		連体		まるで	非主語付き	わらかな太陽	間接修飾	光	ひかり	和語	具象名詞
3522	綿木綿: 綿を	連体		の	非主語付き	の細かい綿	直接修飾	綿	しま	和語	抽象名詞
3523		連体			非主語付き		直接修飾	文字	もじ	漢語	具象名詞
3524	小さいとき	連体	φ	φ	主語付き		主語付き	とき	とき	和語	形式名詞
3525		連体			非主語付き	いさな大吉の	間接修飾	村	むら	和語	具象名詞
3526		連体		の	非主語付き		直接修飾	笑顔	えがお	和語	具象名詞
3527		連体			非主語付き		直接修飾	会場	かいじょう	漢語	具象名詞
3528	細かい基準	連体		その	非主語付き		直接修飾	基準	きじゅん	漢語	抽象名詞
3529	容量の大きい	連体	容量	の	主語付き		主語付き	HDD	HDD	外来語	具象名詞
3530		連体		も	非主語付き		直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞
3531		連体		が	非主語付き		直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞
3532		連体			非主語付き		直接修飾	ホクロ・黒子	ほくろ	和語	具象名詞
3533		連体		かなり	非主語付き	大きな滝	直接修飾	滝	たき	和語	具象名詞
3534		連体			非主語付き	小さな鳥	直接修飾	鳥	とり	和語	具象名詞
3535		連体			非主語付き		直接修飾	サイズ	さいず	外来語	抽象名詞
3536	出入(でい)	連体		の	非主語付き	小さな出入口	直接修飾	出入口	でいりぐち	和語	具象名詞
3537		連体			非主語付き	小さな店	直接修飾	店	みせ	和語	具象名詞

図3.1 データベース（抜粋1）

	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	語彙	語彙	形	ローマ字	前文	キー	後文脈	ファイル
3513	コマカ	い	い形	雑誌	そのため生徒1人1人に、より	細かい	指導が行き渡り、生徒も質問をしや	M51_0013
3514	オオキ	な	な形	新潮	は泣き事ひとつ洩らさなかった。より	大きな	絶望と諦念が彼女の心を満たしてい	tamorio.tx
3515	小	い	い形	女性	う、はやくおほきになりたいなア』と	小さい	松の木は、まはりの仲間を見あげな	婦人倶楽
3516	チイサ	な	な形	新潮	！ケツから、にぶく黄色く光る金属の	小さな	筒を取りだしてみせた。それは小銃	tamorio.tx
3517	オオキ	な	な形	新潮	見たこともない重みで、この無意味な	大きな	真暗な現実には、私に与えられ、私に	nishima.txt
3518	ヤワラカ	い	い形	新潮	に押し飛ばされ、誰か女のらしい	柔らかい	体の上に被さった。僕の上にも重い	ekuroiame
3519	チイサ	な	な形	新潮	は声をかけようとした。だが足の短く	小さな	その影は、火の粉をまじえた烈風の	tamorio.tx
3520	オオキ	な	な形	新潮	かぐばられることだろう。炊きたての	大きな	握り飯、それを食べ終ったら自分は	tamorio.tx
3521	ヤワラカ	な	な形	新潮	とができた。その四つの音はまるで	やわらかな	太陽の光のように、空からゆっくりと	akamiharuk
3522	コマカ	い	い形	新潮	じさせなかった。夏の盛りに手織の	細かい	綿木綿をびちっと着付けていて、綿	shihanaoki
3523	チイサ	な	な形	知恵	き曲数は約＊＊曲と書いてあるけど	小さな	文字で注記でビットレートが書いてあ	C02_0851
3524	チイサ	い	い形	BTSJ	そのね、	小さい	とき育てー、そうだよなー(うーん)。	M03-M07
3525	チイサ	な	な形	新潮	パンをたべたことだけははやかった。	小さな	大吉の村からもういかにんかの少年航	boisakae.t
3526	ヤワラカ	な	な形	雑誌	てなしてくださった、蔵元の奥さまの	やわらかな	笑顔思い出す。	M51_0131
3527	チイサ	い	い形	知恵	そのほうがライブ(と言っても	小さい	会場でミニライブ)でも気軽に握手とか	C01_1001
3528	コマカ	い	い形	会議	いろいろあると思いますので、その	細かい	基準はどうするかということは今議	M65_0000
3529	オオキ	い	い形	知恵	そのほか、容量の	大きな	HDDは認識しないパソコンもあるの	C02_0269
3530	オオキ	な	な形	会議	たということがありますが、これも	大きな	問題ではなかったかと思ひます。	M65_0001
3531	オオキ	な	な形	会議	康不安を与えたということも、これが	大きな	問題ではないかと思ひます。	M65_0001
3532	オオキ	な	な形	雑誌	そのほかにも、入れ墨や	大きな	ほくろ、あざを消したいと願う患者は	M23_0000
3533	オオキ	な	な形	新潮	ことはわからないのだけれど、かなり	大きな	滝であるようだった。もし音を抜かれ	akamiharuk
3534	チイサ	な	な形	新潮	もあらわれるようになった。ときおり	小さな	鳥が啼きながら枝から枝へと移るほ	akamiharuk
3535	チイサ	い	い形	知恵	そのままの大きさでも、	小さい	サイズに作り変えてもいいかと思ひ	C10_0047
3536	チイサ	な	な形	新潮	ば賄いに出てしまう。そこで途中の	小さな	出入口から下駄をつっかけて外へ出	tamorio.tx
3537	チイサ	な	な形	新潮	先に立っていくつかの路地を曲がり、	小さな	店の前に立ってぼくを振りかえり、黙	namakoto.f

図 3.2 データベース（抜粋 2）

3.7 データ判別に対する日本語母語話者チェック

本研究の分析対象となるデータベースについては、コーパスからの実例の抽出から、データベースの構築、被修飾名詞の選出及び分類、連体用法の構造分けまで、一連の作業は筆者一人で行った。その過程においては、判断が難しいという例もいくつか見られた。データ分析の信憑性を向上させるために、複数の人による確認作業を行うことが望ましい。そこで、本研究の分析対象データ（全 14,188 例）からランダムに³³選択された10%（1,418 例、付録VIを参照）の実例に対して、日本語母語話者（2 名）によるチェックを実施した。チェックが完了した後、以下の計算式を用いて、本研究のデータ分析の正答率を算出した。

誤分析用例数

$$\text{正答率} = 1 - \frac{\text{誤分析用例数}}{(\text{全データ数} - \text{判断が難しい用例数})} \times 100\%$$

³³ 表計算ソフト Excel を使ってランダムサンプルを作成した。具体的な手順は次の通りである。
①データベースシートに新しい列を追加して、見出し行に「ランダム番号」と記載する。
②同列 2 行目のセルに「=RAND()」と入力して Enter を押す。
③このセルをの最終のセルまでフィルハンドルをドラッグして数式をコピーする。
④「ランダム番号」列を降順にソートする。
⑤先頭から 1480 件のデータを選択する。

チェックの結果、ランダム抽出した 1,418 例のうち、日本語母語話者 2 名が一致して誤分析と判断したものが 5 例であり、「どちらでも良い」または「どちらとも判断できない」というものが 11 例であった。よって、本研究のデータ分析は 99%以上の精度を持つことが確認された（正答率=1-5/(1418-11)*100%=99.64%）。

以下に、日本語母語話者 2 名が一致して誤分析と判断した 5 例を挙げる。この 5 例の被修飾名詞、「爐ばた」「借款」「山羊」「こと」「橋梁」を、筆者は誤って「爐」「默契」「崖」「こ」「鐵道」と分析した。

誤分析例 1) そこは東京府下でも淋しい山里のやうな田舎だつた。大きな爐
ばたで、丘のやうな厚みのある里母の膝の上で、糸子の記憶の第一頁が始まる。
(『太陽』)

誤分析例 2) その試験—革命の端緒が成算ある如く—に及第するならば、最初の條文に對して、第二次の、より大なる借款成立の默契が附帶してゐた。
(『太陽』)

誤分析例 3) …に至れば、海づらは淡藍色に變じ、屹嶇たる岩崖は夥多の水鳥に斑點を打ち、遙か彼方に日光の輝く處に小さな山羊の崖また崖へ攀登る様に眼を注ぎ升た。
(『女性』)

誤分析例 4) 「文庫を。おかしなこっちゃん。持鉢も袈裟も入れてかね」
(『新潮』)

誤分析例 5) 濃尾大地震は「メッシナ」市に於けるよりも四倍以上も震動強く、震動區域も十倍も大にして大なる鐵道橋梁は悉く破壊し、六「メートル」の斷層と喰ひ違ひを生じたるも、死者は七十に過ぎざりき、…
(『太陽』)

3.8 分析対象とする用例

3.4～3.6 で述べた手順に従って作業を行い、3.7 節の母語話者チェックを経て、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』、『BTSJ』、『名大』、『新潮』、『女性』、『太陽』の 9 つのコーパスより、本研究の分析対象用例（計 14,188 例）が得られた。分析対象用例の各コーパスにおける出現頻度を表 3.3 に示す。

表 3.3 各コーパスにおける「X い」と「X な」の分布

		い形	な形	合計
1	『知恵』	1729	1347	3076
2	『会議』	96	462	558
3	『雑誌』	740	1865	2605
4	『新聞』	69	290	359
5	『BTSJ』	142	20	162
6	『名大』	310	106	416
7	『新潮』	821	2744	3565
8	『女性』	153	350	503
9	『太陽』	424	2520	2944
	合計	4484	9704	14188

第4章 文内要素の形態統語的・意味的性質

本章では、文内要素の形態統語的及び意味的性質に注目し、1.2節で述べた研究課題①と研究課題②、つまり、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けは、文内要素の形態統語的性質によるのか、「Xい」と「Xな」の意味的差異によるのか、という2つの問いを中心に、「Xい」と「Xな」の使い分けを検討する。具体的に、被修飾名詞の性質、「Xい」と「Xな」の文中での文法的機能、「Xい」と「Xな」の意味的差異、の3つの観点から、コーパスより得られたデータに基づき、先行研究で指摘された「Xい」と「Xな」の使用傾向について検討する。

4.1 問題点の確認

連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の相違に注目した研究は極めて少ない。その中では、「大きい・大きな」と「小さい・小さな」が最も論じられており、主な先行研究として、森田(1977)、柴田(1982)、飛田・浅田(1991)、三枝(1996)、佐々木(2002)、丹保(2011a, 2011b)がある。これらの先行研究について2.3節で詳しく述べた。本節では、以下のように先行研究の問題点を確認しておきたい。

(1) 森田(1977:118)は、「名詞に係る場合、抽象名詞（『事件、成功、責任』など）には連体詞『大きな』を用いるのが普通であるのに対して、『大きい』は具体的な事物（『家、人、町』など）に使うことが多い。」と述べている。一方、飛田・浅田(1991:97)は「『大きな』『小さな』は、『大きい』『小さい』の名詞を修飾する用法に、ほぼ似たような意味で用いられる語で、『大きい』『小さい』に比べると意味の幅が狭く、具体的な大小についての意味で用いられることが多い。」と述べている。森田(1977)と飛田・浅田(1991)の主張は異なっており、「い形」と「な形」と、一体どちらの方が具体的事物、あるいは具体的大小を修飾する傾向が強いかについては一致していない。

(2) 柴田(1982:143)は、「大きな・小さなは、単に抽象的なものというのではなく、＜物理的大小が言えない＞ようなものである」と指摘している。この主張にも議論の余地があると思われる。なぜなら、「大きな体、大きな手、小さな町、小さな家」などが単なる物理的大小を表すことはよくあるからである。

(3) 三枝(1996:104)は、「『い形』に接続する名詞としては形式名詞の頻度が最も高い」、「『な』に続く名詞には抽象名詞が多い」、「『大きい』『小さい』は、客観的な大きさ、物理的な大小を問題にしていると言える」、「『な形』は物理的な大小だけでなく、心理的な大きさを表す」と指摘している。

(1)～(3)のように、これまでの指摘では、「Xい」と「Xな」の使い分けについて主に被修飾名詞の具象・抽象、物理的・心理的に着目して論じている。その中には、意見が分

かれるものや首肯しがたいものも見られる。そこで、本章では、次の3点に絞って、母語話者が実際に使用する用例によって見ていくことにする。

- ① 「Xい」と「Xな」の使い分けが、被修飾名詞の性質（具象名詞なのか、抽象名詞なのか、形式名詞なのか）によるのか
- ② 「Xい」と「Xな」の使い分けが、「い形」と「な形」の文法的機能（述語として働くか連体修飾語として働くか）によるのか
- ③ 「Xい」と「Xな」の使い分けが、意味的な差異によるのか

具体的には、3.3.7で紹介したコーパス『新潮』を用いて①②③を検討する。『新潮』は本研究で利用する9つのコーパス（3.3節を参照）のうち、取得した用例の数が最も多いものであり（3,565例）、「Xい」と「Xな」の使用傾向を掴むのに適した資料であると思われる。

『新潮』における研究対象6組の語の分布を表4.1にまとめた。

表 4.1 『新潮』における6組の語の出現頻度

		い形	な形	合計
1	オオキ	185	1428	1613
2	チイサ	336	1102	1438
3	オカシ	32	136	168
4	アタタカ	121	7	128
5	コマカ	55	9	64
6	ヤワラカ	92	62	154
合計		821	2744	3565

4.2 「い形」と「な形」の全体的な使用傾向

本節では、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の6組の語が『新潮』における全体的な使用傾向に違いがあるかどうかについて概観する。図4.1は表4.1をグラフにしたものであり、6組の語の「い形」vs.「な形」の割合を表す。

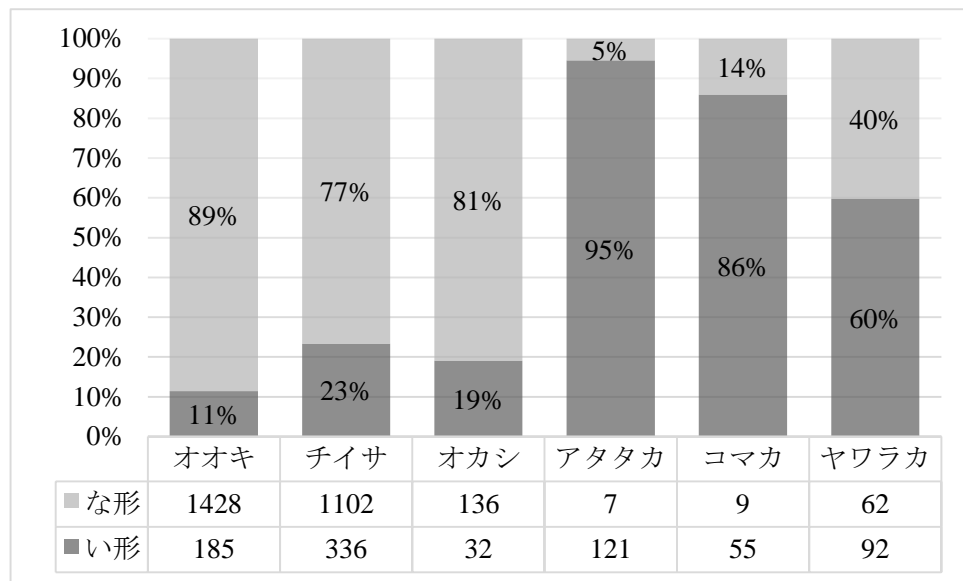


図 4.1 『新潮』における「X い」と「X な」の使用傾向

図 4.1 で示されるように、「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組は、いずれも「い形」より「な形」の方が多く使われている。一方、「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の 3 組は、「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組と正反対に、「い形」の方が「な形」より圧倒的に多く使われている。「い形」と「な形」の選択について、「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組の語と「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の 3 組の語の間に境界線が引かれているように見える。国語文法では、「大きい」「小さい」「おかしい」「あたたかい」「こまかい」「やわらかい」の 6 語がいずれも形容詞に分類されているが、「大きな」「小さな」「おかしな」「あたたかな」「こまかな」「やわらかな」の 6 組は一つの文法カテゴリーに分類されず、「大きな」「小さな」「おかしな」は連体詞に、「あたたかな」「こまかな」「やわらかな」は形容動詞に属している。連体詞と形容動詞との性質が異なるため、「形容詞 vs. 連体詞」のペアと「形容詞 vs. 形容動詞」のペアとの使用傾向に相違が生ずるのであろう。

図 4.1 の各ペアの「い形」と「な形」の割合を細かく見ると、[オオキい vs. オオキな] は「11% vs. 89%」であるのに対して、[チイサイ vs. チイサな] は「23% vs. 77%」である。つまり、「オオキ」と「チイサ」と比べ、「い形」は「オオキ」より「チイサ」との結び付きが強く、「な形」は「オオキ」との結びつきが「チイサ」より強いということである。また、[オカシい vs. オカシな] は「19% vs. 81%」、[アタタカイ vs. アタタカナ] は「95% vs. 5%」、[コマカイ vs. コマカナ] は「86% vs. 14%」、[ヤワラカイ vs. ヤワラカナ] は「60% vs. 40%」であり、「X い」と「X な」はそれぞれの連体修飾用法における振る舞いが異なる。ここから、「い形」と「な形」の選択は、「X い」と「X な」その語彙自体にもよると言える。これまでの「X い」と「X な」の使い分けに関する論述の中、「オオキ」と「チイサ」の 2 組を一まとめに結論を出すもの（森田(1977)、柴

田(1982)、飛田・浅田(1991)、三枝(1996)の4つ)は大半であるが、実際に「オオキ」と「チイサ」の連体修飾用法にも様々な違いが存在すると思われる。

4.3 被修飾名詞の性質による使い分け

本節では、先行研究の指摘に基づき、被修飾名詞が具体名詞か抽象名詞かによる使い分けについて検討する。

森田(1977)の「抽象名詞」「具体的な事物」という語で表される範囲が明確ではないので、具体・抽象という観点では判断できないものもある。本研究では、検討に当たって、まず被修飾名詞を「形式名詞」と実質名詞に大別し、実質名詞を更に「具象名詞」と「抽象名詞」と「固有名詞」に分けて考察することにした。具象名詞と抽象名詞の考え方は、研究者によって異なると思われるが、本研究では次のように定義し、この定義に沿って分類することにした。被修飾名詞の分類について、3.6.3で述べた。

<定義>具象名詞とは、直接見たり聞いたり触れたりすることのできる物や人を表す名詞であり、それ以外の名詞は抽象名詞である。

『新潮』における「Xい」と「Xな」の被修飾名詞の分類結果は表4.2である。

表 4.2 被修飾名詞の種類による「い形」と「な形」の出現頻度

		具象名詞	抽象名詞	形式名詞	固有名詞	合計
オオキ	い形	115	21	46	3	185
	な形	993	379	49	7	1428
チイサ	い形	206	26	102	2	336
	な形	913	151	30	8	1102
オカシ	い形	5	6	21	0	32
	な形	33	42	61	0	136
ヤワラカ	い形	66	19	7	0	92
	な形	47	14	1	0	62
アタタカ	い形	76	31	14	0	121
	な形	5	2	0	0	7
コマカ	い形	23	20	12	0	55
	な形	4	4	1	0	9
合計		2486	715	344	20	3565

表 4.2 をもとに 6 組の語のそれぞれについて、被修飾名詞の種類別での「い形」と「な形」の出現割合をグラフで示したのが図 4.2～図 4.7 である。

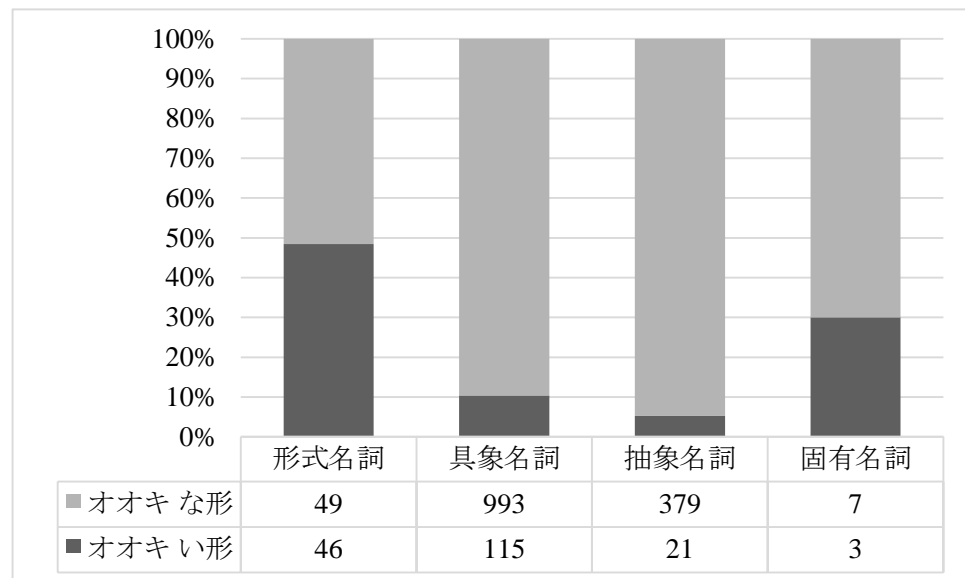


図 4.2 「オオキ」の両形と被修飾名詞の種類

図 4.2 は「オオキ」に関する被修飾名詞の種類別の「い形」と「な形」の割合である。被修飾名詞が形式名詞の時、「い形」の出現は 50% 近くあり、具象名詞（約 10%）、抽象名詞（約 5%）、固有名詞（30%）の各々よりも高い。つまり、具象名詞、抽象名詞、固有名詞からなる実質名詞より、形式名詞の方に「オオキい」が接続しやすいと言える。それに対して、「な形」は、形式名詞（50% 強）、具象名詞（約 90%）、固有名詞（約 70%）より、抽象名詞（約 95%）に係る場合によく使われる。ここから、「オオキい」は形式名詞に接続しやすく、「オオキな」は抽象名詞に接続しやすいと言える。すなわち、「オオキい」は形式名詞との結び付きが強く、「オオキな」は抽象名詞との結び付きが強いと言える。

ここで、森田(1977)による「オオキな」と「オオキい」の使い分けについての指摘と比べると、『新潮』において、「抽象名詞には『大きな』を用いるのがふつうである」とは言えるが、「『大きい』は具体的な事物に使うことが多い」ということは言えない。『新潮』では、「オオキい」は具象名詞、抽象名詞共に使われにくく、形式名詞との接続が圧倒的に多い。

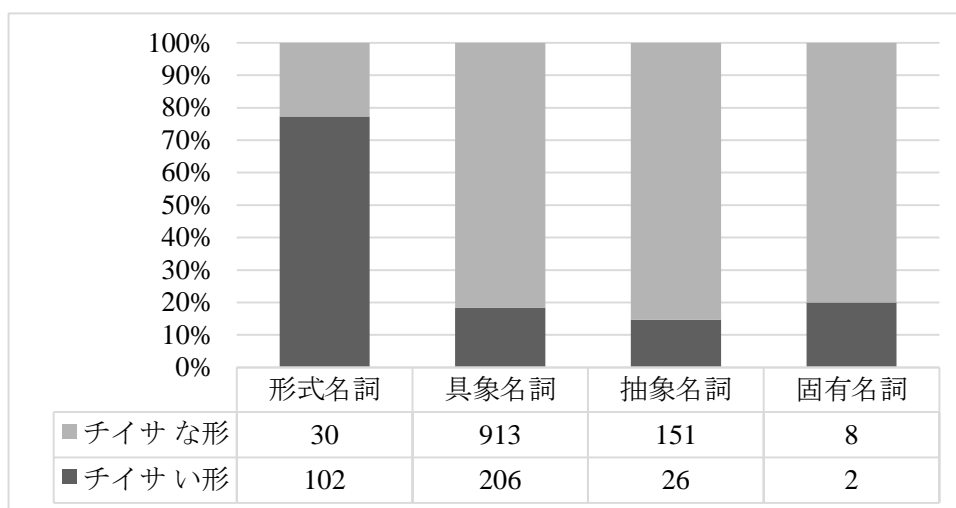


図 4.3 「チイサ」の両形と被修飾名詞の種類

図 4.3 は「チイサ」に関する被修飾名詞の種類別の「い形」と「な形」の割合である。被修飾名詞が形式名詞である場合、「い形」の出現は 80% 弱あり、具象名詞（約 20%）、抽象名詞（約 15%）、固有名詞（20%）の各々よりも高い。つまり、具象名詞、抽象名詞、固有名詞からなる実質名詞より、形式名詞の方に「チイサい」が接続しやすいと言える。それに対して、「な形」は、形式名詞（20% 強）、具象名詞（約 80%）、固有名詞（80%）より、抽象名詞（85%）に係る場合によく使われる。ここから、「チイサい」は形式名詞に接続しやすく、「チイサな」は抽象名詞に接続しやすいと言える。すなわち、「チイサい」は形式名詞との結び付きが強く、「チイサな」は抽象名詞との結び付きが強いと言える。この傾向は図 4.2 に示されている「オオキ」の傾向と類似している。

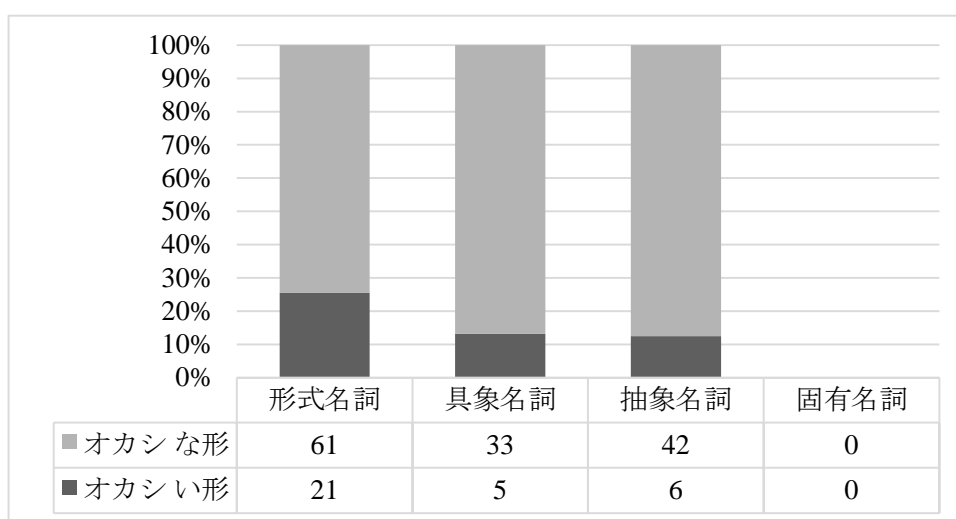


図 4.4 「オカシ」の両形と被修飾名詞の種類

図 4.4 は「オカシ」に関する被修飾名詞の種類別の「い形」と「な形」の割合である。被修飾名詞が形式名詞の時、[オカシい] の出現は、具象名詞、抽象名詞より高い。つまり、具象名詞、抽象名詞、固有名詞からなる実質名詞より、形式名詞の方に [オカシい] が接続しやすいと言える。一方、[オカシな] の出現は、具象名詞と抽象名詞において、はっきりした違いが見られない。

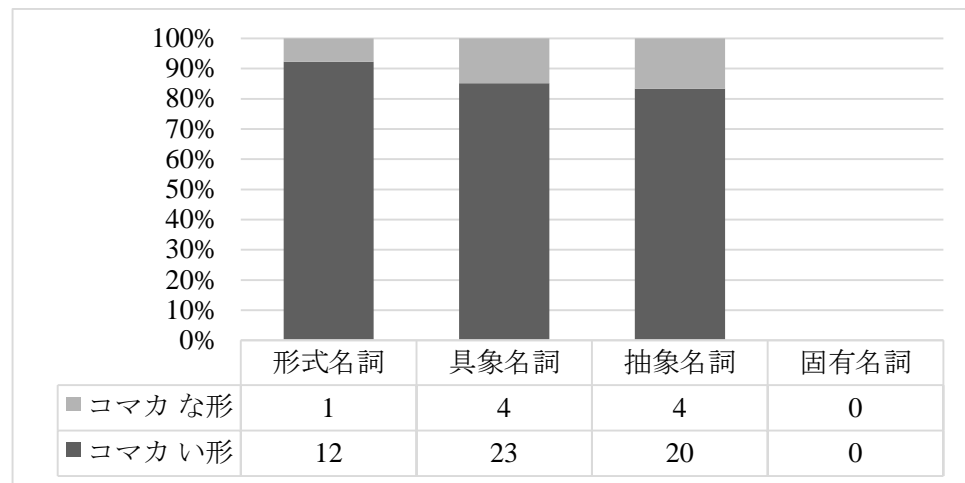


図 4.5 「コマカ」の両形と被修飾名詞の種類

図 4.5 は「コマカ」に関する被修飾名詞の種類別の「い形」と「な形」の割合である。被修飾名詞が形式名詞である場合、[コマカイ] の出現率は、具象名詞、抽象名詞より高い。つまり、具象名詞、抽象名詞、固有名詞からなる実質名詞より、形式名詞の方に [コマカイ] が接続しやすいと言える。一方、[コマカな] の出現率は、具象名詞と抽象名詞において、大きな差がないと思われる。

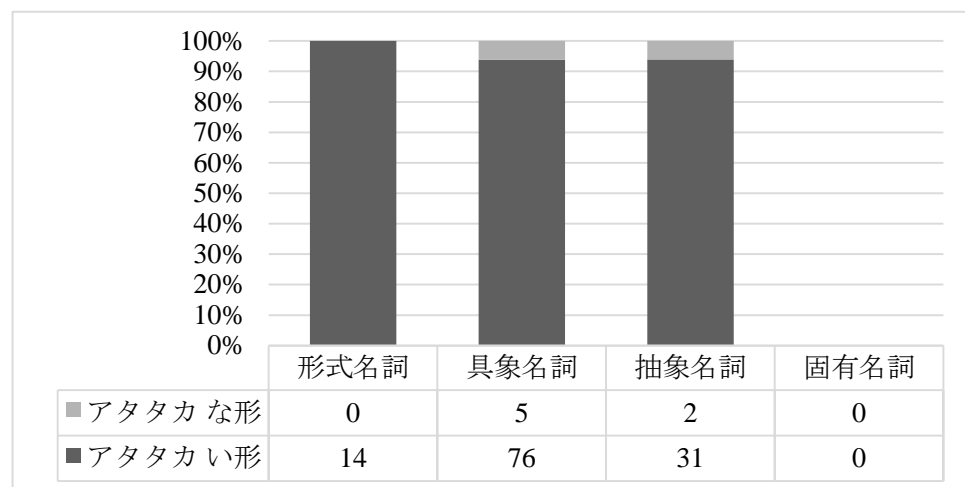


図 4.6 「アタタカ」の両形と被修飾名詞の種類

図 4.6 は「アタタカ」に関する被修飾名詞の種類別の「い形」と「な形」の割合である。被修飾名詞が形式名詞の時、100% [アタタカイ] に修飾されている。つまり、形式名詞に [アタタカイ] が接続することが普通であると言える。一方、[アタタカナ] がどの種類の名詞に係りやすいかという点、具象名詞と抽象名詞に用いる割合にはあまり違いがないと思われる。

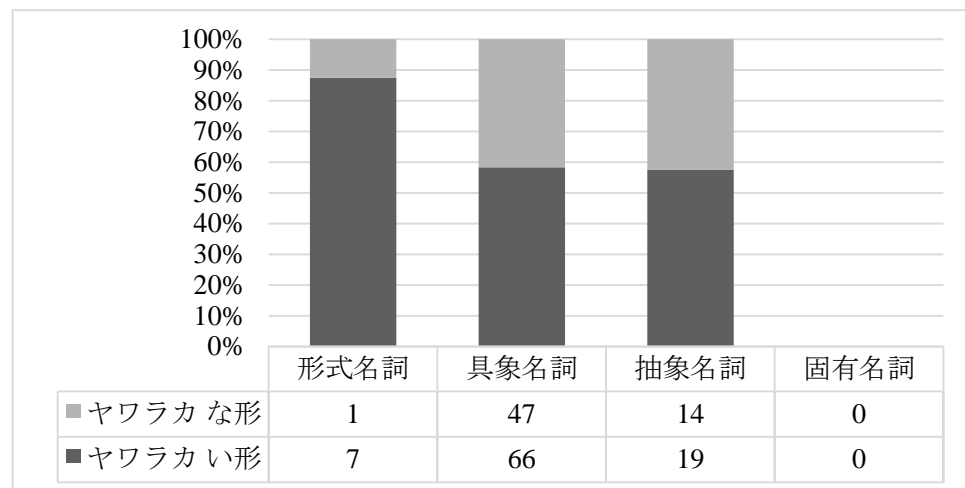


図 4.7 「ヤワラカ」の両形と被修飾名詞の種類

図 4.7 は「ヤワラカ」に関する被修飾名詞の種類別の「い形」と「な形」の割合である。被修飾名詞が形式名詞である場合、[ヤワラカイ] の出現率は、具象名詞、抽象名詞より高い。つまり、具象名詞、抽象名詞、固有名詞からなる実質名詞より、形式名詞の方に [ヤワラカイ] が接続しやすいと言える。一方、[ヤワラカナ] は具象名詞に係る割合と抽象名詞に係る割合にはあまり差がないと言える。

以上をまとめると、被修飾名詞の種類別に見られる「X い」と「X な」の 6 組の語に共通した特徴は、形式名詞に「い形」が接続しやすいという点である。すなわち、「い形」は形式名詞との結び付きが強いということである。形式名詞を修飾する場合、「い形」を取るのが普通であると言える。

一方、「な形」はどの種類の名詞に係りやすいかという点、先行研究にあった「抽象名詞には「な形」を用いるのが普通である」ことは、「オオキ」と「チイサ」の 2 組には言えるが、「X い」と「X な」全般に一般化できないと言える。実際、「オオキ」と「チイサ」以外のペアでは、「い形」と「な形」は、具象名詞と抽象名詞を共に近い比率で修飾している。よって、「X い」と「X な」は被修飾名詞の抽象・具象という基準による使い分けはないということになる。

以上の分析から、被修飾名詞の性質（形式名詞であるか、実質名詞であるか）が「い形」と「な形」の選択に影響を与えていると共通して言えるが、抽象・具象による使い分けは一般化できないと言える。

4.4 「Xい」と「Xな」の文中での機能による使い分け

4.3 節で、被修飾名詞の性質から「Xい」と「Xな」の使用傾向を見た。「い形」は形式名詞に接続することが多いことが明らかになった。実は、形式名詞に接続する場合の「Xい」と「Xな」は述語機能を果たしていることが多い。連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けの基準のうちで最も重要なものの一つは、「Xい」と「Xな」の文中での機能と考えられる。つまり、「Xい」と「Xな」は、被修飾名詞の性質・状態を限定・修飾する用法と、主語を受け述語となり全体として被修飾名詞を修飾する用法とがあるが、この違いによって使い分けられている部分が多い。

「Xい」と「Xな」は、その直後あるいはそれより後ろの位置にくる名詞、いわゆる被修飾名詞を修飾する場合（例えば、「大きい影響」「小さな家具のキズ」など）と、その前に来る名詞、いわゆる連体修飾節の主語の属性を述べ立てる場合（例えば、「目の大きな少女」「規模が小さい企業」など）がある。

3.6.4 で、データベースを充実させる際、連体修飾用法を更に、「主語付き」連体構造と「非主語付き」連体構造という 2 種類の構造に分類する作業を行ったことを説明した。先行する主語を受ける述語としての機能を果たし、同時に全体として「修飾節」を形成して後ろの名詞を修飾する用法を「主語付き」連体修飾と呼び、直後または少し後ろの位置にくる被修飾名詞の性質・状態を限定・修飾するだけの用法を「非主語付き」連体修飾と呼んだ。例えば、

例(4-1) 和倉は、浴衣を片肌脱いで、よく筋肉の発達した胸をびたびたと叩いてみせた。和倉は弓道の達人とかいううわさで体の大きな男であった。傍らで和倉の娘の美沙が微笑していた。和倉に似て、大柄な勝気そうな十七、八の娘である。首まで塗ったおしろいが、少し濃過ぎるように思われた。

（『新潮文庫』）

例(4-2) 一人の男がジムへ足を踏み入れた時、私はこれが大戸なのかと眼を見張った。一目で大戸ということはわかった。確かにヘビー級にふさわしい大きな男だった。身長は私と大して変わらないが、体重は二倍くらいありそうに思える。灰色の半袖シャツの下からのぞいている腕も、かなりの太さがあった。

（『新潮文庫』）

例(4-1)の「体の大きな男であった」のように、修飾語「大きな」とその前に来る名詞「体」とが「修飾節」を形成し、全体として後ろの名詞「男」を修飾する場合が「主語付き」であり、例(4-2)の「大きな男だった」のように修飾語「大きな」の直後に被修飾語「男」が接続し、「大きな」が「男」の「大きさ」を表す場合が「非主語付き」連体修飾である。

4.4.1 連体修飾構造から見る「Xい」と「Xな」の使用傾向

連体修飾用法を「主語付き」と「非主語付き」の2種類に分類した結果は表 4.3 である。

表 4.3 連体修飾構造の種類による「い形」と「な形」の出現頻度

	主語付き			非主語付き			合計
	い形	な形	集計	い形	な形	集計	
オオキ	35	34	69	150	1394	1544	1613
チイサ	94	4	98	242	1098	1340	1438
オカシ	7	2	9	25	134	159	168
アタタカ	7	1	8	114	6	120	128
コマカ	3	0	3	52	9	61	64
ヤワラカ	2	2	4	90	60	150	154
合計	148	43	191	673	2701	3374	3565

ここからは表 4.3 を連体構造別にグラフ化して比較する。ただし、「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の3組は「主語付き」の出現頻度が低く、割合の比較に不向きのため、100%の棒グラフにしない。「オオキ」「チイサ」「オカシ」の3組のみをグラフにした。そのグラフは図 4.8 である。

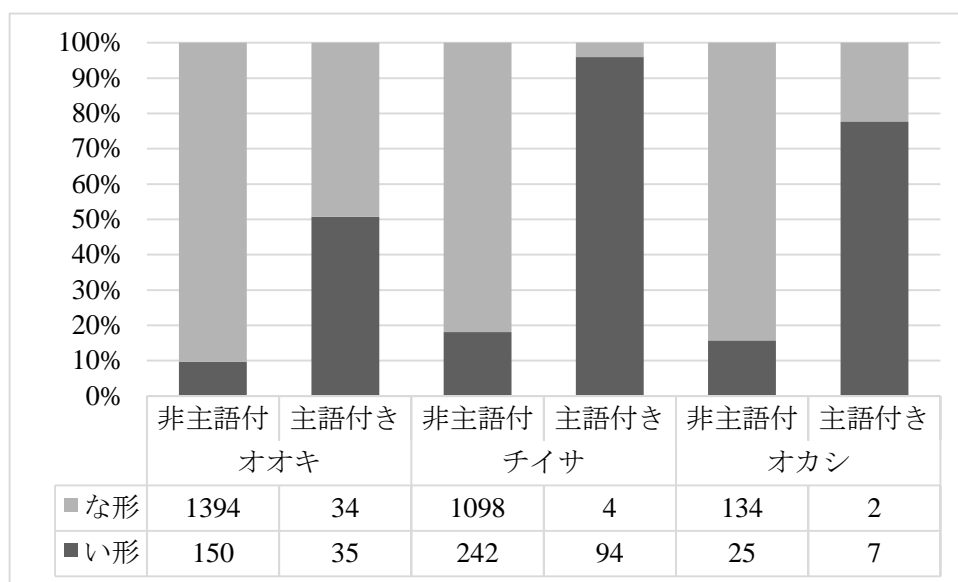


図 4.8 連体修飾構造別による「Xい」と「Xな」の使用傾向の比較

図 4.8 で「主語付き」と「非主語付き」を比較して見ると、「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組はいずれも「主語付き」で「い形」が多く使われていることが分かる。つまり、「非主語付き」連体修飾構造より、「主語付き」連体修飾構造の方が「い形」が使われやすい。ここから、連体修飾節で述語になる場合は「い形」が選ばれやすいと言える。

「主語付き」連体用法では、「X い」と「X な」は単独では連体修飾にならず、主語を受け述語として文の一部をまとめる機能を有する。この、述語として文をまとめる機能を持つという点で、「主語付き」連体用法の「い形」は述語としての役割を担ったものと思われる。例えば、例(4-3)～例(4-8)は「オオキ」「チイサ」「オカシ」「アタタカ」「コマカ」の「い形」の「主語付き」連体修飾用法の実例である。

例(4-3) 双葉商会というのは、目抜きの通りにある、機械器具など扱う、かなり構えの大きい店であった。陳列窓にはモーターなどが並べてあった。

(『新潮文庫』)

例(4-4) 石川信吾は、かつて加藤寛治を親玉に、南雲忠一たちと一緒にあって、大いに軍縮条約反対の氣勢をあげたいいわゆる艦隊派の一味の人であった。彼の話は多少その点を考慮して聞く必要があるであろうし、南雲と山本の関係については、山本はそんなに度量の小さい人ではなかった、少なくとも開戦後はむしろ南雲をかばっていたという説もあるが、山本の死後、山本に眼をかけられた参謀たちが、皆、作戦の中枢からはずされ、いくらか左遷状態に置かれるのは事実である。

(『新潮文庫』)

例(4-5) 少し頭のおかしい子。十六歳で、背が低くて脚の短い、田舎娘の手と成熟した胸、それにお腹の下の方にみだらに目立つ膨らみをもった子。

(『新潮文庫』)

例(4-6) その年も、暦に春が立つ前後から、冷たい雨が降り続いた。前の年も雨が多くて田畠の作物は根から腐り、全国的な大災害があったのである。紀州は冬の暖かい国だから炉端とか置炬燵などの設備が家の中にさえ少ないのに、機は濡縁のようなところに置いてあるので風が吹けば吹きさらしの中で織ることになる。

(『新潮文庫』)

例(4-7) 和倉は親身な顔になった。豪放に見えるが、心の温かい男である。遠からず和倉の娘美沙のことも断らなければならないと思うと、信夫は和倉の親切が負担に思われた。

(『新潮文庫』)

例(4-8) 十一時になるとアパートを出て、駅の近くのスーパーマーケットで食料品を手あたり次第に買いこみ、それから酒屋に寄って赤ワインと炭酸水とオ

レンジ・ジュースを買った。クリーニング屋で上着を一枚とシーツ二枚を受けとり、文具店でボールペンと封筒とレターペーパーを買い、雑貨屋で一番めの細かい砥石を買った。…たぶん私は生まれつき買物が好きなのだろう。

(『新潮文庫』)

例(4-3)～例(4-8)の中の「い形」を「な形」に置き換えることも不可能ではないが、「い形」が用いられることが多いであろう。「主語付き」連体修飾用法は、修飾語とそれに先行する主語が「修飾節」を形成して後ろの名詞を修飾し、当該修飾語はそれに先行する主語の述語となるため、述語用法を持つ「い形」が好まれるからである。

次に、表 4.3 を見て分かるように、「ヤワラカ」の「主語付き」連体修飾用法では「い形」が優勢ではない(「い形」2 例 vs. 「な形」2 例)。例(4-9)～例(4-12)は「ヤワラカ」の「主語付き」連体修飾の実例である。

例(4-9) 「剛い髪は白髪になるものだが、一郎さんののは細くてやわらかいようでいて、案外、細い銅線のようなところがある。さて、どうなるかねえ」

(『新潮文庫』)

例(4-10) 喜助は、越前一带では、樹木の植え時は梅雨あけの頃としている風習を知っていた。梅雨さ中では水気が多すぎ、根はくさるのである。土のやわらかいわりに陽の照る六月末か七月はじめが植えかえの好時期といわれていた。

(『新潮文庫』)

例(4-11) 純喫茶ムラサキの常連客のかなりの男たちが、このマイコという、笑顔のやわらかな、手足のすらりとのびた女性を目あてにしているらしい、ということとは店の主人も、そしてマイコ自身もよく知っているようだった。

(『新潮文庫』)

例(4-12) (自分も、こんな素直な、心の柔らかな女と愛し合いたい)

(『新潮文庫』)

例(4-9)～例(4-12)はいずれも「ヤワラカ」の「主語付き」連体修飾用法であるにもかかわらず、例(4-9)と例(4-10)の 2 例は「い形」が用いられており、例(4-11)～例(4-12)の 2 例は「な形」が用いられている。

なぜそのような相違が生ずるかを見ると、例(4-9) の被修飾名詞「よう」、例(4-10)の被修飾名詞「わり」は形式名詞であり、例(4-11) の被修飾名詞『女性』、例(4-12)の被修飾名詞「女」は実質名詞であることに起因すると考えられる。4.3 節の分析では、「い形」と「な形」の使い分けは、被修飾名詞が形式名詞であるか実質名詞であるかという性質による、「い形」は形式名詞との結び付きが強いということが明らかになった。例(4-9)～例(4-12)は 4.3 節の分析結果を裏付けられる材料になると考えられる。

4.4.2 「主語付き」連体修飾節の主語助詞

本研究の調査から、「Xい」と「Xな」が連体修飾節中の述語になる場合、すなわち「主語付き」連体用法の場合、その述語の主語を表す助詞には、以下の例(4-13)～例(4-23)のように、「が・の・は・ばかり・も」の5種類が見られる。

例(4-13) 無言の進退のほうが、敵の恐怖心理に対する効果が大きいことを庄九郎は知っている。

(『新潮文庫』)

例(4-14) 「いえ、まず取って来ます。僕、気が小さいもんで、そういうことができないんです」

(『新潮文庫』)

例(4-15) 彼らと一緒に走り障害物を抜けるのは大なり小なり頭がおかしい人たちで、その幾人かは子供たちに気を使ってゆっくり走ってくれたものの、他の大多数は子供なぞはおしのけて、真剣に歯を喰いしばって力走したからである。

(『新潮文庫』)

例(4-16) 今出川通りが千本通りと交叉する地点のわずか手前に、菊川金物店という刃物屋があった。その店に三十年輩のお上が坐っていた。焼芋屋の車のうらから、によつきり頭の大きい小僧が出てきたのでびっくりした様子である。慈念は店の前で立ち止った。庖丁と鎌と、鋏が台の上にならべてある。

(『新潮文庫』)

例(4-17) 里子のはじめ、慈念の顔をみたとき、変になじめないものを感じた。しかし、見馴れてくると、頭の大きなこの子がいじらしくさえてくるのは妙だった。

(『新潮文庫』)

例(4-18) 一介の京都奉行としてこの盛儀を警戒している光秀などよりは、当の足利義昭のほうが、このよろこびは何倍か大きいことはたしかであった。

(『新潮文庫』)

例(4-19) 文字通りに訳すと、“これはウンコみたいな定理だ”という意味だが、実際は“こりゃひでえ定理だ”というような感じになる。皆、わっと笑ったのだが、授業終了後、ジョン・ライスという数学専攻の、身体は大きいが気は小さい男が廊下で私に追いつき、…

(『新潮文庫』)

例(4-20) 入口は閉ざされてあったけれど、どこからか風が吹きこんで来るらしく、灯がゆれた。彼は身震いをした。ひどく寒かった。外気温に比較したら、雪に埋もれた小屋はずっと暖かいはずであったが、彼には寒かった。

(『新潮文庫』)

例(4-21) 美恵子はすきとおるように青白い顔をした、眼ばかりやけに大きな子だった。美恵子はその眼で加藤の顔を穴のあくほど見つめていた。

(『新潮文庫』)

例(4-22) それは痩せた、色の黒い、目ばかり大きい不精気な男だった。死体の発見のときに、香椎潟に行った男である。着ていたオーバーがくたくただったように、洋服もくたびれていた。使いふるしたネクタイが撚れている。

(『新潮文庫』)

例(4-23) 土佐と高雄の建造中止による経済的被害も大きい上に、昭和四年からはじまった世界的大恐慌と、さらに翌年開かれたロンドン軍縮会議で補助艦の制限案が成立し、条約有効期間も五年間延長されることを知って、かれらはほとんど虚脱状態にあったのだ。

(『新潮文庫』)

例(4-13)～例(4-15)は連体修飾節の主語助詞が「が」である実例で、例(4-16)と例(4-17)は「の」、例(4-18)～例(4-20)は「は」、例(4-21)～例(4-22)は「ばかり」、例(4-23)は「も」の実例である。

「が・の・は・ばかり・も」の5種類の主語助詞の、『新潮』における「主語付き」用法においての出現頻度を表4.4に示す。また、図4.9は表4.4をグラフ化したものである。

表 4.4 『新潮』における「主語付き」用法の主語助詞³⁴

	い形	な形	合計
の	48	40	88
φ	51	2	53
が	23	0	23
は	23	0	23
ばかり	2	1	3
も	1	0	1
合計	148	43	191

³⁴ 主語助詞が省略されている場合は「φ」で表す。表4.4では網掛けにし、分析対象外とする。

例(4-24) 口が小さい花瓶がほしい。

例(4-25) 口の小さな花瓶がほしい。

連体節の主語助詞は主に「の」と「が」であるが、単文の主格を表す主格助詞は「が」のみであるため、「が」が付くと、その体言は主語であり、後ろに述語が来るといことが分かる。よって、文の述語になることができる「い形」には「が」は接続するが、本来、述語になりえず、連体用法が主たる機能である「な形」には「が」は接続しにくいと考えられる。

4.5 「非主語付き」連体修飾の被修飾名詞

前節では、「い形」と「な形」は、「主語付き」連体用法か「非主語付き」連体用法かにより使い分けられることを見た。「主語付き」構造の連体修飾は、形式上は修飾語の後ろに被修飾名詞を持つが、実際に指し示す意味内容は、それに先行する名詞（主語）の属性であるため、「非主語付き」構造とは用法が異なる。また、4.3 節で、「い形」は形式名詞に接続することが多い傾向を見た。形式名詞へ接続する時には、「X い」「X な」は述語機能を果たしている場合が多い。

したがって、本節では、接続する名詞のうち、形式名詞を除いた実質名詞に限定し、また「主語付き」構造を除いた「非主語付き」構造のみ取り上げて「X い」と「X な」の使用を観察する。「X い」と「X な」について、被修飾名詞の性質（具象名詞であるか抽象名詞であるか）及び意味的な差異による使い分けが存在するかどうかは課題である。

4.5.1 「オオキい」「オオキな」が修飾する名詞

表 4.5 は、「非主語付き」連体構造における「オオキい」「オオキな」両形の被修飾名詞（頻度 3 以上のもの）を、「い形」の割合の多い順に並べたものである。表の中の各数値は、順に以下のものを表す。

番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計における「い形」の割合

表 4.5 『新潮』における〔オオキい〕〔オオキな〕の被修飾名詞（頻度 3 以上）
 (番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計におけるい形の割合)

1. 魅力 : 2 : 2 : 4 : 50%	33. 包み : 0 : 8 : 8 : 0%	65. 不安 : 0 : 4 : 4 : 0%
2. 衝撃 : 1 : 2 : 3 : 33%	34. 問題 : 0 : 8 : 8 : 0%	66. 部屋 : 0 : 4 : 4 : 0%
3. 川・河 : 1 : 2 : 3 : 33%	35. 影響 : 0 : 7 : 7 : 0%	67. 腹 : 0 : 4 : 4 : 0%
4. 判 : 1 : 2 : 3 : 33%	36. 岩 : 0 : 7 : 7 : 0%	68. 旅館 : 0 : 4 : 4 : 0%
5. 流れ : 1 : 2 : 3 : 33%	37. 原因 : 0 : 7 : 7 : 0%	69. 涙 : 0 : 4 : 4 : 0%
6. 家 : 4 : 9 : 13 : 31%	38. 頭 : 0 : 7 : 7 : 0%	70. いびき・鼾 : 0 : 3 : 3 : 0%
7. 理由 : 2 : 6 : 8 : 25%	39. 屋根 : 0 : 6 : 6 : 0%	71. うねり : 0 : 3 : 3 : 0%
8. 皿 : 1 : 3 : 4 : 25%	40. 口 : 0 : 6 : 6 : 0%	72. キズ・傷・疵 : 0 : 3 : 3 : 0%
9. 仕事 : 1 : 3 : 4 : 25%	41. 店 : 0 : 6 : 6 : 0%	73. コップ : 0 : 3 : 3 : 0%
10. 弁当箱 : 1 : 3 : 4 : 25%	42. 壁 : 0 : 6 : 6 : 0%	74. ハンカチ : 0 : 3 : 3 : 0%
11. 門 : 1 : 3 : 4 : 25%	43. 変化 : 0 : 6 : 6 : 0%	75. ビル : 0 : 3 : 3 : 0%
12. 顔 : 4 : 15 : 19 : 21%	44. ため息 : 0 : 5 : 5 : 0%	76. 椅子 : 0 : 3 : 3 : 0%
13. 握り飯 : 1 : 4 : 5 : 20%	45. テーブル : 0 : 5 : 5 : 0%	77. 雲 : 0 : 3 : 3 : 0%
14. 金 : 1 : 4 : 5 : 20%	46. 違い : 0 : 5 : 5 : 0%	78. 円 : 0 : 3 : 3 : 0%
15. 男 : 1 : 4 : 5 : 20%	47. 黒板 : 0 : 5 : 5 : 0%	79. 活字 : 0 : 3 : 3 : 0%
16. 木・樹 : 4 : 19 : 23 : 17%	48. 袋 : 0 : 5 : 5 : 0%	80. 誇り : 0 : 3 : 3 : 0%
17. 掌 : 1 : 5 : 6 : 17%	49. 箱 : 0 : 5 : 5 : 0%	81. 失敗 : 0 : 3 : 3 : 0%
18. 息 : 1 : 5 : 6 : 17%	50. 病院 : 0 : 5 : 5 : 0%	82. 松 : 0 : 3 : 3 : 0%
19. 体・軀・骸 : 3 : 16 : 19 : 16%	51. グラス : 0 : 4 : 4 : 0%	83. 障害 : 0 : 3 : 3 : 0%
20. 目・眼 : 5 : 29 : 34 : 15%	52. ホクロ・黒子 : 0 : 4 : 4 : 0%	84. 生徒 : 0 : 3 : 3 : 0%
21. 建物 : 1 : 6 : 7 : 14%	53. 意味 : 0 : 4 : 4 : 0%	85. 太陽 : 0 : 3 : 3 : 0%
22. 影・陰 : 1 : 8 : 9 : 11%	54. 屋敷 : 0 : 4 : 4 : 0%	86. 鳥 : 0 : 3 : 3 : 0%
23. 写真 : 1 : 8 : 9 : 11%	55. 花 : 0 : 4 : 4 : 0%	87. 槻・櫟 : 0 : 3 : 3 : 0%
24. 手 : 2 : 25 : 27 : 7%	56. 街 : 0 : 4 : 4 : 0%	88. 湯呑 : 0 : 3 : 3 : 0%
25. 声 : 11 : 175 : 186 : 6%	57. 艦 : 0 : 4 : 4 : 0%	89. 瞳 : 0 : 3 : 3 : 0%
26. 音 : 1 : 21 : 22 : 5%	58. 喜び : 0 : 4 : 4 : 0%	90. 農家 : 0 : 3 : 3 : 0%
27. 石 : 0 : 12 : 12 : 0%	59. 机 : 0 : 4 : 4 : 0%	91. 波 : 0 : 3 : 3 : 0%
28. 荷物 : 0 : 11 : 11 : 0%	60. 魚 : 0 : 4 : 4 : 0%	92. 鉢 : 0 : 3 : 3 : 0%
29. リュックサック : 0 : 9 : 9 : 0%	61. 欠伸 : 0 : 4 : 4 : 0%	93. 夢 : 0 : 3 : 3 : 0%
30. 穴・孔 : 0 : 9 : 9 : 0%	62. 打撃 : 0 : 4 : 4 : 0%	94. 翼 : 0 : 3 : 3 : 0%
31. 罪 : 0 : 9 : 9 : 0%	63. 池 : 0 : 4 : 4 : 0%	95. 合計 : 123 : 1350 : 1473 : 8%
32. 力 : 0 : 9 : 9 : 0%	64. 鍋 : 0 : 4 : 4 : 0%	

表 4.5 を見ると、[オオキい] による修飾の占める割合が 50% 以上の実質名詞がないことに気づく。「非主語付き」連体修飾用法における [オオキい] と [オオキな] が修飾する実質名詞の頻度は、[オオキな] に偏るという特徴を持っている。「95. 合計 : 123 : 1350 : 1473 : 8%」を見て分かるように、『新潮』における「非主語付き」用法全体では、形式名詞以外の実例総数は 1,473 例であり、そのうち、[オオキい] は 123 例、[オオキな] は 1,350 例、[オオキい] の割合が 8% なのに対して、[オオキな] が 92% と圧倒的に優勢である。

まず、「1. 魅力 : 2 : 2 : 4 : 50%」に注目されたい。例(4-26)～例(4-29)は同一の名詞「魅力」を修飾する [オオキい] と [オオキな] の実例である。例(4-26)と例(4-27)では [オオキい] が用いられるのに対して、例(4-28)と例(4-29)では [オオキな] が用いられている。

例(4-26) いままで、いかなる心中事件の場合も、子供たちは大人たちに現場を見せて貰えなかったので、それを自分たちの眼で確かめるということは、それだけでも大きい魅力であった。

(『新潮文庫』)

例(4-27) 鮎太が勉強を始めてから十日程した頃、鮎太は冴子から又加島宛の手紙を頼まれた。鮎太にはそれを伊豆屋に運んで行くことは大きい魅力であった。しかし、それを持って行くことは、何となく、自分にあのような事を教えてくれた加島の意に反する事のように思われた。

(『新潮文庫』)

例(4-28) これは、フン先生がものぐさのめんどくさがり屋であるせいもあるが、じつは一週間分の食事をまとめてつくってしまった方が、そのつど、炊事をするよりも燃料が安くあがるので先生にとって大きな魅力だったのである。

(『新潮文庫』)

例(4-29) それから又その都市が海を持っているということも大きな魅力であつたし、その都市で溪林寺という禅宗の寺に下宿するということも、それだけで鮎太の心を有頂天にした。生れて初めて、自分一人の部屋を持ち、そこに自分の机を置き、誰にも遮げられず勉強することができるということは、考えただけでも素晴らしかった。

(『新潮文庫』)

「魅力」は抽象名詞であり、この抽象名詞を [オオキい] と [オオキな] が同じ割合で修飾しているということから、先行研究で指摘されている具象・抽象による「い形」と「な形」の使い分けの基準は当てはまらないと言える。

また、三枝(1996)では、「い形」は客観的大きさ、物理的大小を問題にして、心理的な大きさを述べる場合には「な形」を使用すると指摘されているが、例(4-26)～例(4-29)を比較しても、そのような意味的な使い分けは見られない。

表 4.5 の 2.～26.は「オオキい」と「オオキな」の両方に修飾される実質名詞であるが、「オオキな」の占める割合の方が高い。以下ではこれらの名詞に接続している「オオキい」と「オオキな」の実例を比較し、意味的な使い分けがあるかどうかについて考察を行う。

ここからは、先行研究の指摘や辞書類の記述にあった「大きな顔」「大きな目」などの慣用句的表現では「い形」と「な形」の使い分けがあることを検証する。具体的に、「12. 顔 : 4 : 15 : 19 : 21%」と「20. 目・眼 : 5 : 29 : 34 : 15%」の用例を用いて、物理的「大」であることを示す場合と、慣用句的表現で使用される場合について考察を行う。

まず、『新潮』の「非主語付き」連体修飾用法では、「大きい顔」が 4 例、「大きな顔」が 15 例ある。

「大きい顔」の 4 例のうち、例(4-30)のような「態度が大きい様子」を表す例が 2 例、例(4-31)のような物理的に「顔が大である」ことを表す例が 2 例で、「オオキい」は物理的な大きさを表す例と、慣用句的に使用される例が共に同じ頻度で使用されている。

「大きな顔」の 15 例のうち、例(4-32)のような「態度が大きい様子」を表す例が 9 例、例(4-33)のような物理的に「顔が大である」ことを表す例が 6 例で、「オオキな」は物理的な大きさを表す例より、慣用句的に使用される例の方が多く使用されている。

例(4-30) 「おまえは黙って見ていた」と笑いのための涙を下瞼にきらきらさせてアシュレイはかれに近づいて来た。「おまえは、他の日本人がそうしたように、兄弟がドブ川へつきこまれるのを黙って見ていた。おまえの弟も、おれのいいなりになってドブだらけだ。おい、大きい顔をするのはよせ」

(『新潮文庫』)

例(4-31) 大人たちは冬の猪狩の時のように重おもしろく脣をひきしめて《獲物》を囲み、殆ど哀しげに背を屈めて歩いて来るのだった。そして《獲物》は、灰褐色の絹の飛行服を着こみ鞣した黒い皮の飛行靴をはくかわりに、草色の上衣とズボンをつけ、足には重そうで不恰好な靴をはいていた。そして黒く光っている大きい顔を傾けて昏れのこる空をあおぎ、びっこをひきながら足をひきずって来る。

(『新潮文庫』)

例(4-32) 「まあ、もう少しの辛抱です。例の記事も今週発行の号に載るし、あの社長が大きな顔をしてられるのも、今の内ですよ。今は、ひたすら我慢のときで……。ほら、このボタンを押すんですよ」

(『新潮文庫』)

例(4-33) と一人の兵士がラジオ・ドラマの口調でいった。彼は最初私に話し掛けた安田と、同じ中隊に属する若い兵士で、栄養不良と脚気でむくんだ大きな顔が、平たい胸の上に載っていた。

(『新潮文庫』)

以上のように、慣用句的に使用される「顔」については「オオキナ」との結び付きが強いことが分かった。

次に、『日本国語大辞典』に「大きな目」という慣用句が2つ記載されている。「大きな目で見る」が「細かいことにこだわらず、大局的見地に立って観察し、考える。」とあり、「大きな目に逢う」が「大変な災難やひどい仕打ちなどにあうことにいう。」と説明されている。

『新潮』の「非主語付き」連体修飾用法では、「大きい目」が5例、「大きな目」が29例、計34例全てが、例(4-34)～例(4-36)のような物理的に「目が大きい」ことを表しているもので、慣用句的に「細かいことにこだわらず、大局的見地に立って観察し、考える。」の意味で使用されているものは1例もなかった。

例(4-34) お時さんは、二十六だが、年齢を四つぐらい若く言ってもいいくらいに、色が白くてきれいである。黒瞳の勝った大きい目が客に印象を与えた。客に何か言われて、微笑を含んだ上目使いで睨む表情が相手をよろこばした。当人はそれを心得てする仕ぐさであろう。瓜実顔で、唇とあごの間がせまく、横顔がきれいだった。

(『新潮文庫』)

例(4-35) 彼女は声をひそめ、まじまじと大きな目をみはって私を見た。あっけにとられて私は手の本をおいた。彼女はほんとうにその区別がわからないらしかった。

(『新潮文庫』)

例(4-36) 藤木は首を起し、潤んだような大きな眼で僕の顔を見た。この訴えるような、侘びしげな眼、それは相手の同情と保護とを待ち受けているようだ。しかし何の表情もない。黙って首を横に振り、そのままうなだれた。

(『新潮文庫』)

例(4-34)～例(4-36)の「大きい目」と「大きな目」を比較しても、意味の差は見受けられない。このような意味的な差がない名詞が2～26の中に多数みられる。その実例として、例(4-37)～例(4-44)が挙げられる。例(4-37)～例(4-40)は具象名詞「皿」「体」、例(4-41)～例(4-44)は抽象名詞「仕事」「理由」を修飾する「オオキイ」と「オオキナ」である。

例(4-37) ちゃぶ台の上にはうすいハムのきれをひらたくならべた大きい皿が一つ、コップを三つ置いて、どれも波波とカストリをついだのを、三人とも口もきかずにぐっとのんでしまうと、モミジ屋が壇をとりあげて、あとをぐるりとつぎながら、女のほうにも、どうぞというふうにうながすと...

(『新潮文庫』)

例(4-38) 外山三郎の家の応接間に電灯が煌々と輝いていた。外山夫人が長田神社前で売っている五色力餅の入った大きな皿を持ってきて加藤の前に置いた。

(『新潮文庫』)

例(4-39) 扉をあけると柔らかい青灰色の夜明けの霧が開かれたままの扉からあふれこみ、黒い背を土間へむけてじっとしている母親を咳きこませた。かれもやはり咳きこみながら土間に立っていた。母親がじつに陰しい眼でかれを見かえった。かれは黙ったまま板の間へあがり、父親の大きい体が半ばしめている莫塵のすみに寒さに鳥肌だった体を横たえた。

(『新潮文庫』)

例(4-40) 信夫が洗礼を受けて、ふた月ほどたった夜だった。三月も近い、暖かい晩である。軒の雫が、夜になっても音を立てていた。信夫はストーブにあたりながら、鉄道の規則集を読んでいた。玄関の戸が、ガタピシと鳴った。また三堀峰吉でも来たのかと出てみると、思いがけなく和倉礼之助の大きな体が、狭い玄関をふさいでいた。

(『新潮文庫』)

例(4-41) いずれにしても、その佐分利信子の郷里が博多であって、彼女が博多の土地を踏む機会が多いというだけの理由で、梶鮎太は、友達と別れて自分一人九州の大学へと進んだのであった。言うまでもなく、梶鮎太は高校生活三年の中で、彼が為した最も大きい仕事として、自分より三つほど年長の佐分利信子を好きになっていたのである。

(『新潮文庫』)

例(4-42) 一家ケン族が皆揃って、日本の経済界を背負って立つような地位にある人なら、大志を抱いて、更に大きな仕事をしようと考えたのかも知れないが、山本太郎の場合、どっちを見廻しても、大したことにはなりそうにないのである。大志を抱くより、いかに小志を立ててそこに踏みとどまるかが、現実である。

(『新潮文庫』)

例(4-43) その時分になると鯨やんや小耳の川ちゃんらと、夜更けに会社に戻ってきて賭けポーカーをやるということもだんだん難しくなっていた。一つは鯨やんや川ちゃんら先輩社員がなんとなく前よりも忙しくなっているということ

があったが、もっと大きい理由は小耳の川ちゃんの酒癖がなんだか急に悪くなったからだった。

(『新潮文庫』)

例(4-44) 一つには医学部の授業が予科時代とちがって実習が多く、さすがに以前のように大威張りでさぼるわけにもいかなかったためであり、もっと大きな理由は、かつて彼がふがいないと思い情けないと嘆じた日本の旧式な飛行機が、ようやく目に立つ進歩を見せ、先ごろの渡洋爆撃の成果から見ても、このぶんでは欧米に追いつくのも時間の問題だと感じとれたためである。

(『新潮文庫』)

以上見てきたように、慣用句を除くと、[オオキい]と[オオキな]の使い分けは意味的な差によるとは言えないであろう。同一の名詞を修飾しているものの、[オオキな]の方が好まれる理由はレジスターによる使い分けだと考えられる。レジスターについては、第5章で詳しく触れる。

更に、表4.5の27.~94.は[オオキい]による修飾の占める割合が0%の語であり、これらの語は[オオキな]にのみ修飾されている。これら[オオキな]にのみ修飾される名詞の中には、「打撃」「罪」「力」「問題」「影響」「変化」「違い」「不安」「誇り」「失敗」などの抽象名詞もあり、「口」「テーブル」「店」「頭」「花」「机」「魚」「池」「箱」「涙」「コップ」などの「具象名詞」もある。このことから、抽象名詞にも具象名詞にも[オオキな]が多く使われていると言える。

4.5.2 [チイさい] [チイサな] が修飾する名詞

表4.6は、「非主語付き」連体構造における[チイさい][チイサな]の両形の被修飾名詞(形式名詞を除き、頻度3以上のもの)を、「い形」の割合の多い順に並べたものである。表の中の各数値は、順に次の内容を表す。

番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計におけるい形の割合

表4.6を見ると、「チイサ」に修飾される場合の合計出現頻度が3以上の名詞の中、[チイさい]に多く修飾されている名詞の異なり語数(1.~7.の7つ)より、[チイサな]に多く修飾されている名詞(11.~88.)の異なり語数の方が多いことが分かる。「89. 合計：227：1070：1297：18%」を見ると、『新潮』における「非主語付き」用法全体のうち、形式名詞を除いた実例総数は1,297例であり、そのうち、[チイさい]は227例、[チイサな]は1,070例、[チイさい]の割合18%に対して、[チイサな]の方が82%と高い比率を占めている。

表 4.6 『新潮』における〔チイさい〕〔チイサな〕の被修飾名詞（頻度 3 以上）
 (番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計におけるい形の割合)

1. 姫 : 5 : 2 : 7 : 71%	31. 事件 : 1 : 3 : 4 : 25%	61. ボート : 0 : 4 : 4 : 0%
2. かばん・鞆 : 4 : 2 : 6 : 67%	32. 十字架 : 1 : 3 : 4 : 25%	62. 悪 : 0 : 4 : 4 : 0%
3. 丘陵 : 2 : 1 : 3 : 67%	33. 身体 : 1 : 3 : 4 : 25%	63. 雲 : 0 : 4 : 4 : 0%
4. 欠伸 : 2 : 1 : 3 : 67%	34. 庭 : 1 : 3 : 4 : 25%	64. 駅 : 0 : 4 : 4 : 0%
5. 写真 : 2 : 1 : 3 : 67%	35. 箱 : 1 : 3 : 4 : 25%	65. 火 : 0 : 4 : 4 : 0%
6. 尻 : 2 : 1 : 3 : 67%	36. 畑・畠 : 1 : 3 : 4 : 25%	66. 後ろ姿 : 0 : 4 : 4 : 0%
7. 姫君 : 13 : 9 : 22 : 59%	37. 目・眼 : 4 : 13 : 17 : 24%	67. 工場 : 0 : 4 : 4 : 0%
8. 包み : 5 : 5 : 10 : 50%	38. 声 : 18 : 67 : 85 : 21%	68. 生き物 : 0 : 4 : 4 : 0%
9. 顎 : 2 : 2 : 4 : 50%	39. 会社 : 2 : 8 : 10 : 20%	69. 男 : 0 : 4 : 4 : 0%
10. 建物 : 2 : 2 : 4 : 50%	40. 口 : 1 : 4 : 5 : 20%	70. 病院 : 0 : 4 : 4 : 0%
11. 子供 : 7 : 10 : 17 : 41%	41. 山 : 1 : 4 : 5 : 20%	71. 粒 : 0 : 4 : 4 : 0%
12. 舟・船 : 2 : 3 : 5 : 40%	42. 町 : 2 : 9 : 11 : 18%	72. コンロ : 0 : 3 : 3 : 0%
13. 道 : 2 : 3 : 5 : 40%	43. 顔 : 3 : 14 : 17 : 18%	73. バッグ : 0 : 3 : 3 : 0%
14. 子 : 3 : 5 : 8 : 38%	44. アパート : 1 : 5 : 6 : 17%	74. パン : 0 : 3 : 3 : 0%
15. 部屋 : 3 : 5 : 8 : 38%	45. 川・河 : 1 : 5 : 6 : 17%	75. ビル : 0 : 3 : 3 : 0%
16. 丘 : 2 : 4 : 6 : 33%	46. 肩 : 1 : 6 : 7 : 14%	76. 家々 : 0 : 3 : 3 : 0%
17. 若君 : 2 : 4 : 6 : 33%	47. 虫 : 1 : 6 : 7 : 14%	77. 居酒屋 : 0 : 3 : 3 : 0%
18. 塊・固 : 1 : 2 : 3 : 33%	48. 島 : 1 : 6 : 7 : 14%	78. 公園 : 0 : 3 : 3 : 0%
19. 海 : 1 : 2 : 3 : 33%	49. 部落 : 1 : 6 : 7 : 14%	79. 事務所 : 0 : 3 : 3 : 0%
20. 漁村 : 1 : 2 : 3 : 33%	50. 窓 : 1 : 7 : 8 : 13%	80. 寺 : 0 : 3 : 3 : 0%
21. 人 : 1 : 2 : 3 : 33%	51. 手 : 1 : 10 : 11 : 9%	81. 手帳 : 0 : 3 : 3 : 0%
22. 中庭 : 1 : 2 : 3 : 33%	52. 店 : 2 : 22 : 24 : 8%	82. 住宅 : 0 : 3 : 3 : 0%
23. 鳥 : 1 : 2 : 3 : 33%	53. 女の子 : 1 : 11 : 12 : 8%	83. 衝立 : 0 : 3 : 3 : 0%
24. 村 : 3 : 7 : 10 : 30%	54. 音 : 1 : 12 : 13 : 8%	84. 唇 : 0 : 3 : 3 : 0%
25. 穴・孔 : 2 : 5 : 7 : 29%	55. 家 : 2 : 27 : 29 : 7%	85. 人影 : 0 : 3 : 3 : 0%
26. 頭 : 3 : 8 : 11 : 27%	56. 花 : 0 : 10 : 10 : 0%	86. 道場 : 0 : 3 : 3 : 0%
27. 体・軀・躰 : 7 : 20 : 27 : 26%	57. 影・陰 : 0 : 7 : 7 : 0%	87. 悲鳴 : 0 : 3 : 3 : 0%
28. 看板 : 1 : 3 : 4 : 25%	58. 袋 : 0 : 7 : 7 : 0%	88. 木・樹 : 0 : 3 : 3 : 0%
29. 金閣 : 1 : 3 : 4 : 25%	59. 渦 : 0 : 6 : 6 : 0%	89. 合計 : 227 : 1070 : 1297 : 18%
30. 光 : 1 : 3 : 4 : 25%	60. 門 : 0 : 5 : 5 : 0%	

まず、表 4.6 の 1～55 は〔チイさい〕と〔チイサな〕の両方に修飾される実質名詞であるが、〔チイさい〕の占める割合の高いもの（「1. 姫」、「2. かばん」、「3. 丘陵」、「4. 欠伸」、「5. 写真」、「6. 尻」、「7. 姫君」）もあり、〔チイサな〕が占

める割合の方が高いもの（「39. 会社」「40. 口」「41. 山」「42. 町」「43. 顔」「44. アパート」「45. 川・河」「46. 肩」「47. 虫」「48. 島」「49. 部落」「50. 窓」「51. 手」「52. 店」「53. 女の子」「54. 音」「55. 家」）もある。これらの実質名詞に「チイサイ」と「チイサな」の両方が使われる場合、意味的な差があるか。分析の結果、以下に示す例(4-45)～例(4-54)のように、「チイサイ」と「チイサな」の使い分けや意味の差は見られない。

例(4-45) 徳雄は足をはやめて近づいたが、肩をならべるところには至らず、あとにしたがって、どこまで行っても、貞子はゆっくりあるいているのに、徳雄のほうはあたかも息をきって追いかけて行くような恰好であった。貞子は手に小さい鞆をさげていたが、徳雄はそれを代ってもとうとはしなかった。そういう申出をするということが、今はもうかんがえられなかった。

（『新潮文庫』）

例(4-46) ふと窓から、松林の間の細道を、矢代から二足三足おくれて藤木の歩いて来るのが見えた。藤木は重そうに小さな鞆を下げていたが、その頬はもうバラ色に耀いていた。僕はひどく胸のはずむ気持で、勢いよく、汲みたての冷たい水の中に顔を浸した。

（『新潮文庫』）

例(4-47) と明石の君は思うようになっていた。小さい姫君を抱きあげて、無心にねむる顔をながめながら、

（『新潮文庫』）

例(4-48) 入道がどんなに小さな姫君を大事に世話し、愛しているであろうと源氏は思わずほほえまれる。と同時に、この手で抱きあげてやれない姫君を哀れにも思い、心から離れない。

（『新潮文庫』）

例(4-49) 「みなさん、私の後からついてらっしゃい」と小さい声で云った。
「こうして古人の故知、または小細工を真似ましょう。いいですか、ずっと私のあとからついてらっしゃい。丁酉の乱のとき、平八郎大塩中斎はこうしました。ずっと私についておいでなさい」

（『新潮文庫』）

例(4-50) 「あの人はうまく影を抜くことができなかった人なの。ほんの少しだけど、まだ影が残っているの」と彼女は小さな声で言った。「だから森の中にいるの。森の奥に入れるほど心も強くないけれど、街に戻ることもできないわ。気の毒な人」

（『新潮文庫』）

例(4-51) 花子はとうとう小さい声を出して笑った。笑ってからその声が、文太郎の伯母や彼女の母に聞えなかったかどうかを気にした。ふたりの女は文太郎が無事結婚式に顔を出したということで、まるで死んだ人間が生き返ったように昂奮していた。花子のこまかい感情の変化など見てはいなかった。

(『新潮文庫』)

例(4-52) 星はどなり、手で机の上をたたいた。その勢いで書類が床に落ち、社員はそれを拾ったものかどうか迷いながら、小さな声を出した。

(『新潮文庫』)

例(4-53) 鮎太は銀河の月見の宴から十日程経ってから、住吉にオシゲが住んでいるという家を、新聞社の若いカメラマンと二人で訪ねて行った。犬塚山次に頼まれた入墨の写真を撮るためであった。そこは二部屋程の小さい平家建ての家であった。

(『新潮文庫』)

例(4-54) 龍子には徹吉には見られない現世の実行力があるようだった。彼女は短時日のうちに、西荻窪の駅の近くに小さな四間ばかりの家を見つけ、ほどもなく住居を得た藍子と周二も帰京することになった。それぞれ多からぬ荷物のほかに、五升ほどの米をひそかにかついで。

(『新潮文庫』)

[チイサイ]の占める割合が50%であるものは、「9.包み」「10.建物」「11.顎」の3語である。この3語はいずれも具象名詞であり、[チイサイ]と[チイサな]に同じ割合で修飾されている。「顎」「建物」「包み」を修飾する「チイサ」の実例を例(4-55)～例(4-60)のに挙げる。

例(4-55) ちょっと顔をかしげて、小さい顎をこちらに突き出しながら、問うように、またひとりでうなずくように、そういつて...

(『新潮文庫』)

例(4-56) 高い冷たい鼻、だらしのない口もと、舶来生地 of 洋服の肩から水筒をかけた美しい女。彼女の前では小肥りした下宿の娘は、身に着けているものも容貌も見劣りがした。小さな顎と、括ったような唇だけが娘々していた。

(『新潮文庫』)

例(4-57) 門をはいってすぐそばに、小さい建物が一つある。いくさのまえにはどうやらここときどきは縁日かなにかの露店が出たこともありそうなけしきで、この建物というのは、遊園地などでよく見かけるような休み茶屋ふうの、絵はがきも売る団子も売するという店のこしらえであったが、今はその店も板戸をおろして、土間の隅に縁台を積みかさねて、ひっそりしていた。

(『新潮文庫』)

例(4-58) すぐに造船所の総務部から人が出されて種々折衝の結果、海に面した母屋をすべて買収し、トムは、その裏の小さな建物に移ることになった。造船所では、一応所員のクラブに使うことにしたが、それは名目だけで建物は閉鎖状態にし、丘を巡察する憲兵の常駐詰所としても利用させることになった。

(『新潮文庫』)

例(4-59) その日を改めてというのが、つまりきょうである。げんに、わたしは小さい風呂敷包みをさげている。包の中には、拓本用の紙墨とともに弁当用のコペが二きれはいつている。

(『新潮文庫』)

例(4-60) 正午ごろ、例の刑事が留置場にはいつて来た。手に小さな風呂敷包みを持っていた。

(『新潮文庫』)

例(4-55)～例(4-60)の文脈を比較して見た結果、同一の名詞を修飾する〔チイサイ〕と〔チイサな〕の使われ方では、意味的な差は見られない。

最後に、表 4.6 の 56.～88. の語は〔チイサイ〕による修飾の占める割合が 0%の語であり、〔チイサな〕にのみ修飾されている。これら〔チイサな〕にのみ修飾されている名詞の中には、抽象名詞が「62. 悪」「66. 後ろ姿」「87. 悲鳴」の 3 語あり、それ以外は全て具象名詞である。このことから、〔チイサな〕は具象名詞の方に多く使われ、具象名詞との結び付きが強いことが分かる。

4.5.3 〔オカシい〕〔オカシな〕が修飾する名詞

表 4.7 は、「非主語付き」連体修飾構造における〔オカシい〕と〔オカシな〕の両形の被修飾名詞（形式名詞を除外）を、「い形」の割合の多い順に並べたものである。表の中の各数値は、順に次の内容を表す。

番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計におけるい形の割合

まず、表 4.7 の「49. 合計：7：74：81：9%」が示すように、『新潮』においては、形式名詞を除いた「非主語付き」用法の「オカシ」の実例の総数は 81 例であり、そのうち、〔オカシい〕は 7 例、〔オカシな〕は 74 例、〔オカシい〕の占める割合が 9%に対して、〔オカシな〕が 91%と圧倒的に優勢である。「な形」が「い形」より多く使われる傾向は、「オオキ」「チイサ」と類似している。

表 4.7 『新潮』における「オカシイ」「オカシな」の被修飾名詞

1. 死様 : 1 : 0 : 1 : 100%	18. 家 : 0 : 1 : 1 : 0%	35. 寝言 : 0 : 1 : 1 : 0%
2. 情事 : 1 : 0 : 1 : 100%	19. 虚栄心 : 0 : 1 : 1 : 0%	36. 声 : 0 : 1 : 1 : 0%
3. 発言 : 1 : 0 : 1 : 100%	20. 響き : 0 : 1 : 1 : 0%	37. 態度 : 0 : 1 : 1 : 0%
4. 話 : 3 : 6 : 9 : 33%	21. 言い方 : 0 : 1 : 1 : 0%	38. 登山者 : 0 : 1 : 1 : 0%
5. 人 : 1 : 6 : 7 : 14%	22. 言葉 : 0 : 1 : 1 : 0%	39. 突起 : 0 : 1 : 1 : 0%
6. 子 : 0 : 8 : 8 : 0%	23. 個所 : 0 : 1 : 1 : 0%	40. 日本語 : 0 : 1 : 1 : 0%
7. 気分 : 0 : 5 : 5 : 0%	24. 御面相 : 0 : 1 : 1 : 0%	41. 悲鳴 : 0 : 1 : 1 : 0%
8. 気持ち : 0 : 3 : 3 : 0%	25. 考え : 0 : 1 : 1 : 0%	42. 物体 : 0 : 1 : 1 : 0%
9. 身振り : 0 : 3 : 3 : 0%	26. 考え方 : 0 : 1 : 1 : 0%	43. 文章 : 0 : 1 : 1 : 0%
10. 男 : 0 : 3 : 3 : 0%	27. 姿 : 0 : 1 : 1 : 0%	44. 本 : 0 : 1 : 1 : 0%
11. 具合 : 0 : 2 : 2 : 0%	28. 若君 : 0 : 1 : 1 : 0%	45. 名前 : 0 : 1 : 1 : 0%
12. 場所 : 0 : 2 : 2 : 0%	29. 若者 : 0 : 1 : 1 : 0%	46. 妄想 : 0 : 1 : 1 : 0%
13. アパート : 0 : 1 : 1 : 0%	30. 女 : 0 : 1 : 1 : 0%	47. 様子 : 0 : 1 : 1 : 0%
14. いばりかた : 0 : 1 : 1 : 0%	31. 小説 : 0 : 1 : 1 : 0%	48. 論議 : 0 : 1 : 1 : 0%
15. うわさ : 0 : 1 : 1 : 0%	32. 小僧 : 0 : 1 : 1 : 0%	49. 合計 : 7 : 74 : 81 : 9%
16. 印 : 0 : 1 : 1 : 0%	33. 小男 : 0 : 1 : 1 : 0%	
17. 映画館 : 0 : 1 : 1 : 0%	34. 状態 : 0 : 1 : 1 : 0%	

次に、「オカシイ」にのみ修飾されている（＝「オカシイ」の占める割合が100%の）名詞は「1. 死様」「2. 情事」「3. 発言」の3語である。この3語は『新潮』において、例(4-61)～例(4-63)のようにいずれも1例しか出現していない。

例(4-61) あのような偏屈な男だっただけに、他人のうらみを買ったこともないとはいえまいが、それにしてもおかしい死様ではある。

（『新潮文庫』）

例(4-62) しかし源氏は、たやすく手に入れられる恋には心動かぬという、厄介な癖をもった青年なのである。かの、年老いた色好みの、宮中に仕える女官とのおかしい情事も、その風変わりさのゆえに、ふと源氏の興をひいたのであろうか。

（『新潮文庫』）

例(4-63) 社長秘書にしてはおかしい発言である。

（『新潮文庫』）

一方、[オカシな]にのみ接続している(=[オカシい]の占める割合が0%)の名詞は6.~48.の43語である。『新潮』では[オカシな]に続く実質名詞の異なり語数は、[オカシい]に続く実質名詞の異なり語数より圧倒的に多い。また、6.~48.の43語の中には、「6. 子」「10. 男」「13. アパート」「17. 映画館」「18. 家」「28. 若君」「30. 女」「32. 小僧」「38. 登山者」「44. 本」などの具象名詞もあれば、「8. 気持ち」「9. 身振り」「11. 具合」「12. 場所」「34. 状態」「35. 寝言」「37. 態度」「46. 妄想」「47. 様子」「48. 論議」などの抽象名詞もある。抽象名詞にも具象名詞にも[オカシな]が多く使われていることが言える。

最後に、[オカシい]と[オカシな]の両方に修飾される実質名詞は、「4. 話 : 3 : 6 : 9 : 33%」「5. 人 : 1 : 6 : 7 : 14%」の2語である。「オカシい話」3例 vs. 「オカシな話」6例、「オカシい人」1例 vs. 「オカシな人」6例を見て分かるように、「い形」より「な形」に修飾されることが多い。「話」「人」を修飾する[オカシい]と[オカシな]の実例を例(4-64)~例(4-67)に挙げる。

例(4-64) 源氏の心を引き立てようと、中將は、いろいろとおかしい話などする。若者のうちとけた話題とて、いずれ女の話、色恋沙汰のことどもである。中でも、かの色ごのみの典侍の話は、いつも二人の笑いの種だった。それにいつぞや末摘花の邸で二人が出あった折のこと、あの女、この事件と興がりつつ、やはり果てには、亡き人の思い出話になってしまう。

(『新潮文庫』)

例(4-65) 安田はそのとき、別の車両から石田部長に別れの挨拶をしに来たというのだが、小樽駅をすぎるまで安田が一度も来なかったのは、少しおかしな話である。

(『新潮文庫』)

例(4-66) あんた、血筋におかしい人でもいたんじゃない？ ふつうじゃ考えられないわよ

(『新潮文庫』)

例(4-67) そりゃあおかしな人ばかりよ。恐水病というのは水をこわがるのよ。水を一滴飲んでも死んじゃうわ。そのほか恐木病なんて、これは木をこわがるのよ

(『新潮文庫』)

森田(1977:122)は、「体言にかかわる場合、『おかしい人／おかしな人』二種の言い方が成り立つ。『おかしな』は、もっぱら『おかしい』(3)の“変な”の意にのみ用いられ、“滑稽な”の意を持たない」と述べている。例(4-64)~例(4-67)を比較して分析した結果、森田(1977)の記述が支持される。[オカシい]と[オカシな]は両方とも、＜普通

と異なる>、<その理由が分からない>、<変な>、<不可解な>という意味を持つが、例(4-64)と例(4-66)のように、<笑いそうな>、<笑いたくなるように滑稽な様子>を表す場合には、[オカシい]を用いる。つまり、[オカシい]だけが<面白い>の意味を持ち、[オカシい]と[オカシな]の間には意味的な差が見られる。

4.5.4 [アタタカイ] [アタタカナ] が修飾する名詞

表 4.8 は、「非主語付き」構造における [アタタカイ] [アタタカナ] 両形の被修飾名詞（形式名詞を除いたもの）を、「い形」の割合の多い順に並べたものである。表の中の各数値は、順に次の内容を表す。

番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計におけるい形の割合

まず、「77. 合計：103：6：109：94%」を見ると、『新潮』における「非主語付き」用法全体では、「アタタカ」の実例の総数は 109 例あり、そのうち、[アタタカイ] は 103 例、[アタタカナ] は 6 例、[アタタカイ] の割合が 94%と圧倒的に高い比率を占めている。これは、4.5.1～4.5.3 で見た「オオキ」「チイサ」「オカシ」3組の、「い形」より「な形」の占める割合の方が高い、という傾向と相反する。

また、表 4.7 で示されているように、[アタタカイ] による修飾の占める割合が 100%である実質名詞が大半である（1.～71.）。つまり、『新潮』の非主語付き連体修飾用法では、名詞を修飾する「アタタカ」は「い形」の方が圧倒的に使われている。1.～71.は [アタタカイ] にのみ接続する実質名詞である。これら [アタタカイ] にのみ修飾される名詞の中には、「1. 日」「2. 目・眼」「7. ごはん・御飯」「8. 雨」「10. 手」「15. コーヒー」「17. パン」「18. ミルク」「29. 胸」「31. 血液」「49. 体・軀」「51. 茶」「57. 肉」などの具象名詞もあれば、「5. 息」「9. 言葉」「11. 心遣い」「20. 愛情」「22. 慰め」「25. 感じ」「27. 感触」「34. 口調」「35. 思いやり」「36. 字」「64. 表情」「66. 雰囲気」「73. 気持ち」などの抽象名詞もある。抽象名詞にも具象名詞にも [アタタカイ] が多く使われていると言える。

表 4.8 『新潮』における「アタタカイ」「アタタカナ」の被修飾名詞

1. 日 : 7 : 0 : 7 : 100%	27. 感触 : 1 : 0 : 1 : 100%	53. 島 : 1 : 0 : 1 : 100%
2. 目・眼 : 7 : 0 : 7 : 100%	28. 居間 : 1 : 0 : 1 : 100%	54. 湯気 : 1 : 0 : 1 : 100%
3. 日差し・陽射し : 4 : 0 : 4 : 100%	29. 胸 : 1 : 0 : 1 : 100%	55. 頭 : 1 : 0 : 1 : 100%
4. 色 : 3 : 0 : 3 : 100%	30. 空気 : 1 : 0 : 1 : 100%	56. 匂い : 1 : 0 : 1 : 100%
5. 息 : 3 : 0 : 3 : 100%	31. 血液 : 1 : 0 : 1 : 100%	57. 肉 : 1 : 0 : 1 : 100%
6. 太陽 : 3 : 0 : 3 : 100%	32. 午後 : 1 : 0 : 1 : 100%	58. 肉体 : 1 : 0 : 1 : 100%
7. ごはん・御飯 : 2 : 0 : 2 : 100%	33. 口腔 : 1 : 0 : 1 : 100%	59. 日曜日 : 1 : 0 : 1 : 100%
8. 雨 : 2 : 0 : 2 : 100%	34. 口調 : 1 : 0 : 1 : 100%	60. 乳 : 1 : 0 : 1 : 100%
9. 言葉 : 2 : 0 : 2 : 100%	35. 思いやり : 1 : 0 : 1 : 100%	61. 乳房 : 1 : 0 : 1 : 100%
10. 手 : 2 : 0 : 2 : 100%	36. 字 : 1 : 0 : 1 : 100%	62. 肌 : 1 : 0 : 1 : 100%
11. 心遣い : 2 : 0 : 2 : 100%	37. 式 : 1 : 0 : 1 : 100%	63. 晩 : 1 : 0 : 1 : 100%
12. 声 : 2 : 0 : 2 : 100%	38. 手拭 : 1 : 0 : 1 : 100%	64. 表情 : 1 : 0 : 1 : 100%
13. 飯(めし) : 2 : 0 : 2 : 100%	39. 手触り : 1 : 0 : 1 : 100%	65. 風 : 1 : 0 : 1 : 100%
14. 陽 : 2 : 0 : 2 : 100%	40. 重み : 1 : 0 : 1 : 100%	66. 雰囲気 : 1 : 0 : 1 : 100%
15. コーヒー : 1 : 0 : 1 : 100%	41. 処遇 : 1 : 0 : 1 : 100%	67. 毛糸 : 1 : 0 : 1 : 100%
16. シャワー : 1 : 0 : 1 : 100%	42. 笑顔 : 1 : 0 : 1 : 100%	68. 夕方 : 1 : 0 : 1 : 100%
17. パン : 1 : 0 : 1 : 100%	43. 場所 : 1 : 0 : 1 : 100%	69. 陽気 : 1 : 0 : 1 : 100%
18. ミルク : 1 : 0 : 1 : 100%	44. 情 : 1 : 0 : 1 : 100%	70. 両脚 : 1 : 0 : 1 : 100%
19. わが家 : 1 : 0 : 1 : 100%	45. 寝床 : 1 : 0 : 1 : 100%	71. 饅頭 : 1 : 0 : 1 : 100%
20. 愛情 : 1 : 0 : 1 : 100%	46. 想い : 1 : 0 : 1 : 100%	72. 光 : 2 : 2 : 4 : 50%
21. 握り飯 : 1 : 0 : 1 : 100%	47. 臓物 : 1 : 0 : 1 : 100%	73. 気持ち : 1 : 1 : 2 : 50%
22. 慰め : 1 : 0 : 1 : 100%	48. 息づかい : 1 : 0 : 1 : 100%	74. 椅子 : 0 : 1 : 1 : 0%
23. 飲み物 : 1 : 0 : 1 : 100%	49. 体・軀 : 1 : 0 : 1 : 100%	75. 地 : 0 : 1 : 1 : 0%
24. 蒲団 : 1 : 0 : 1 : 100%	50. 鯛焼き : 1 : 0 : 1 : 100%	76. 冬晴れ : 0 : 1 : 1 : 0%
25. 感じ : 1 : 0 : 1 : 100%	51. 茶 : 1 : 0 : 1 : 100%	77. 合計 : 103 : 6 : 109 : 94%
26. 感情 : 1 : 0 : 1 : 100%	52. 朝 : 1 : 0 : 1 : 100%	

一方、出現頻度が少ないが、「アタタカナ」にのみ修飾される実質名詞もある。それは「74. 椅子」「75. 地」「76. 冬晴れ」の3語である。その実例を例(4-68)～例(4-70)として以下に挙げる。

例(4-68) 「ある状態を仮定しなければ、生活ができなかったんだな。自分のからだに合わせてこしらえた此世ならぬ影の椅子の中にほかほかと暖まりたかったんだな。そのくせ、十分に暖かな現実の椅子があたえられていたくせに。...

(『新潮文庫』)

例(4-69) この祖母はエレンさんと言った。夫を二十年前に癌で亡くした後、毎年十二月になると寒い北部を逃れてこの暖かな地にやってきて翌年の四月まで滞在するというのが慣わしになっていた。

(『新潮文庫』)

例(4-70) 杉戸をあけて濡れ縁に出た濃姫の目に、まっさおな空がひろがった。ひたひたと濃姫は濡れ縁をわたってゆく。濡れ縁を踏む足のつめたさが、むしろころよいほどに暖かな冬晴れなのである。

(『新潮文庫』)

次に、「72. 光 : 2 : 2 : 4 : 50%」と「73. 気持ち : 1 : 1 : 2 : 50%」に注目されたい。「光」「気持ち」に係る「アタタカ」は「い形」と「な形」の両方が用いられる。例(4-71)と例(4-72)は具象名詞「光」を、例(4-73)と例(4-74)は抽象名詞「気持ち」を修飾する[アタタカイ] [アタタカナ] の実例である。

例(4-71) 空はまだ青く澄みわたっていたが、暖かな光がいつしか失われ、目にとまらぬほどの翳りがどこからともなく忍び寄ってきた。

(『新潮文庫』)

例(4-72) それから私たちは病院の庭に出て、春のまっ盛りみたいな暖かい光の中を歩きました。私は自分が冷静であるのが不思議でした。水の流れていくのを、静かな心で眺めている、そんな気持でした。

(『新潮文庫』)

例(4-73) あしたは買ってもらえない。しかし、あさっては買ってもらえるかもしれないとかんがえると、かの女はひとりわらえてきた。こんな、あたたかいきもちで出かけていった松江であった。

(『新潮文庫』)

例(4-74) アパートに戻ってからも暖かな気持に包まれていた。久し振りのものだった。そして、その暖かさはいつまでも続いた。ほんの短い時間だったし、二人の間に交された会話も途切れがちであったが、沈黙の中に深い心の交流があった。

(『新潮文庫』)

[アタタカイ] [アタタカナ] の使い分けや意味用法に違いがあるかということ、例(4-71)～例(4-74)のように、さほどの差は見られない。

4.5.5 「コマカイ」「コマカナ」が修飾する名詞

表 4.9 は、「非主語付き」連体修飾構造における「コマカイ」「コマカナ」の両形の被修飾名詞（形式名詞を除いたもの）を、「い形」の割合降順に並べたものである。表の中の各数値は、順に以下の内容を表す。

番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計におけるい形の割合

表 4.9 『新潮』における「コマカイ」「コマカナ」の被修飾名詞

1. 震え : 2 : 0 : 2 : 100%	15. 歯並び : 1 : 0 : 1 : 100%	29. 部分 : 1 : 0 : 1 : 100%
2. 数値 : 2 : 0 : 2 : 100%	16. 字 : 1 : 0 : 1 : 100%	30. 風景 : 1 : 0 : 1 : 100%
3. 点 : 2 : 0 : 2 : 100%	17. 縞 : 1 : 0 : 1 : 100%	31. 泡・沫 : 1 : 0 : 1 : 100%
4. 葉 : 2 : 0 : 2 : 100%	18. 取りきめ : 1 : 0 : 1 : 100%	32. 葉影 : 1 : 0 : 1 : 100%
5. ちり : 1 : 0 : 1 : 100%	19. 勝負 : 1 : 0 : 1 : 100%	33. 雨 : 4 : 2 : 6 : 67%
6. ペン字 : 1 : 0 : 1 : 100%	20. 条件 : 1 : 0 : 1 : 100%	34. かたち・形 : 0 : 1 : 1 : 0%
7. ポイント : 1 : 0 : 1 : 100%	21. 心理 : 1 : 0 : 1 : 100%	35. データ : 0 : 1 : 1 : 0%
8. 火花 : 1 : 0 : 1 : 100%	22. 水滴 : 1 : 0 : 1 : 100%	36. テク・テクニック : 0 : 1 : 1 : 0%
9. 箇条書 : 1 : 0 : 1 : 100%	23. 雪 : 1 : 0 : 1 : 100%	37. 砂 : 0 : 1 : 1 : 0%
10. 灰 : 1 : 0 : 1 : 100%	24. 調子 : 1 : 0 : 1 : 100%	38. 数字 : 0 : 1 : 1 : 0%
11. 格子 : 1 : 0 : 1 : 100%	25. 動き : 1 : 0 : 1 : 100%	39. 突起 : 0 : 1 : 1 : 0%
12. 亀裂 : 1 : 0 : 1 : 100%	26. 内訳 : 1 : 0 : 1 : 100%	40. 合計 : 40 : 8 : 48 : 83%
13. 玉砂利 : 1 : 0 : 1 : 100%	27. 煤 : 1 : 0 : 1 : 100%	
14. 雑用 : 1 : 0 : 1 : 100%	28. 部屋 : 1 : 0 : 1 : 100%	

まず、「40. 合計 : 40 : 8 : 48 : 83%」を見ると、『新潮』における「非主語付き」連体用法全体では、「コマカ」の実例の総数は 48 例あり、そのうち、「コマカイ」が 40 例、「コマカナ」が 8 例、「コマカイ」の占める割合が 83%と高い比率を占めている。これは、4.5.4 で見た「アタタカ」の使用傾向に類似している。

また、表 4.9 で示されているように、「コマカイ」による修飾の占める割合が 100%である名詞、つまり「コマカイ」にのみ修飾される実質名詞が大半を占める（1.～32.）。すなわち、『新潮』の非主語付き連体修飾用法では、名詞を修飾する「コマカ」は「い形」の方が圧倒的に使われている。1.～32.の実質名詞は「コマカイ」にのみ接続している。これら「コマカイ」にのみ修飾される名詞の中には、「4. 葉」「8. 火花」「10. 灰」「11. 格子」「13. 玉砂利」「22. 水滴」「23. 雪」「27. 煤」「28. 部屋」「31. 泡・沫」などの具象名詞もあれば、「1. 震え」「2. 数値」「7. ポイント」「14. 雑用」「18. 取りきめ」「19. 勝負」「20. 条件」「21. 心理」「25. 動き」「26. 内訳」などの

抽象名詞もある。このことから、抽象名詞にも具象名詞にも「細かい」が多く使われていることが言えるのであろう。

一方、出現頻度が少ない（出現頻度 1）が、[コマカな]にのみ修飾される名詞もある。それは「34. かたち・形」「35. データ」「36. テク・テクニク」「37. 砂」「38. 数字」「39. 突起」の 6 語である。その実例を例(4-75)～例(4-80)に挙げる。

例(4-75) 艦隊でも、実戦そのままの激しい訓練が、さらにつづけられていた。そして、ハワイ空襲に関するかぎり、「実戦そのまま」ということが、もう一段細かな具体的なかたちを取りはじめた。

（『新潮文庫』）

例(4-76) 令子は、紙きれの上にいっぱい細かな数字を書き入れたり、長方形の線を引いて、その中に字を書き込んだりしているのです。

（『新潮文庫』）

例(4-77) しかしべつに痛みは感じない。彼にしがみつかれた傷跡をいやそうとでもいうように、しばらく、砂の壁の表面を、細かな砂が無表情にさらさらと流れ落ち、間もなく止んだ。それにしても、ひどくちっぽけな傷跡だった。

（『新潮文庫』）

例(4-78) もちろん日本のハヤブサ、ショーキ、ヒエン、三式戦、新司偵、なども人気があった。私たちは爆音ではっきりとそれらの機種を識別することができたし、細かなデータについてもくわしく知っていた。

（『新潮文庫』）

例(4-79) 皆勤賞はもらえなかったが、有意義ではあったと思う。世界的な評価の定まっているモントゴメリー教授は、さすがに力強く華麗で、スケールが大きいのに加えて細かなテクニクも抜群で、専門を異にする私でも感動さえ覚えた。

（『新潮文庫』）

例(4-80) 痛みもそれでいくらか薄らぐ。舌で指先をなめると、傷の切断面と舌の細かな突起が笹の葉をたてにこするような苦い痛みを感じる。巻いたほう帯からにじみ出ている赤い血、美しさ以上に生生しさを感じる。

（『新潮文庫』）

例(4-75)～例(4-80)では、「コマカ」は「な形」を使用しているが、「い形」への置換は可能である。「い形」でも「な形」でも意味的差異は見られない。

次に、[コマカイ]と[コマカナ]両方に修飾されている名詞に注目したい。今回のデータでは「33. 雨：4：2：6：67%」の 1 語のみである。「コマカイ雨」は 4 例、「コ

マカな雨」2例で、実質名詞「雨」は〔コマカイ〕に修飾される例が多い。例(4-81)と例(4-82)はその実例である。

例(4-81) 地上には雨が降っていた。針のような細かい雨だが、地面や木はぐっしりと濡れていた。おそらく夜のあいだずっと降りつづけていたのだろう。雨が降っていることは私の心をいくぶん暗くした。

(『新潮文庫』)

例(4-82) 私も雨ふりのことを考えてみた。私の思いつく雨は降っているのかい
ないのかわからないような細かな雨だった。しかし雨はたしかに降っているの
だ。そしてそれはかたつむりを濡らし、垣根を濡らし、牛を濡らすのだ。

(『新潮文庫』)

例(4-81)と例(4-82)を比較しても、〔コマカイ〕と〔コマカな〕の使い分けの基準を見つけることは困難である。

4.5.6 〔ヤワラカイ〕〔ヤワラカな〕が修飾する名詞

表 4.10 は、「非主語付き」連体修飾構造における〔ヤワラカイ〕〔ヤワラカな〕両形の被修飾名詞（形式名詞を除いたもの）を、「い形」の割合降順に並べたものである。表の中の各数値は、順に以下の内容を表す。

番号：被修飾語：い形頻度：な形頻度：い・な合計頻度：合計におけるい形の割合

表 4.10 『新潮』における〔ヤワラカイ〕〔ヤワラカナ〕の被修飾名詞

1. 肉 : 10 : 0 : 10 : 100%	51. 感触 : 3 : 1 : 4 : 75%	65. 身体 : 0 : 2 : 2 : 0%
2. 土 : 4 : 0 : 4 : 100%	52. 肌 : 2 : 1 : 3 : 67%	66. 肉体 : 0 : 2 : 2 : 0%
3. 皮膚 : 4 : 0 : 4 : 100%	53. 体・軀・軀 : 2 : 2 : 4 : 50%	67. 物腰 : 0 : 2 : 2 : 0%
4. 草 : 2 : 0 : 2 : 100%	54. ペニス : 1 : 1 : 2 : 50%	68.~96. : 0 : 1 : 1 : 0%
5.~50. : 1 : 0 : 1 : 100%	55. 音 : 1 : 1 : 2 : 50%	(あいさつ、カーブ、
(ガーゼ、かたち・	56. 色 : 1 : 1 : 2 : 50%	キス、威厳、液体、音
形、クリーム、こな	57. 声 : 1 : 1 : 2 : 50%	色、輝き、金属、口振
し、ところ、パン、	58. 雪 : 1 : 1 : 2 : 50%	り、口調、砂岩、指、
雨、円み、艶、鉛筆、	59. 着物 : 1 : 1 : 2 : 50%	枝、湿り気、手触り、
黄土、音楽、芽、感	60. 緑 : 1 : 1 : 2 : 50%	生き物、舌、日差し・
情、喜び、気分、響	61. 光 : 2 : 4 : 6 : 33%	陽射し、粘土、白綾、
き、窪み・くぼみ、砂	62. 風 : 1 : 2 : 3 : 33%	薄様、髪、返事、包
浜、雑草、芝、首筋、	63. 手 : 1 : 3 : 4 : 25%	み、包帯、目・眼、夜
樹皮、掌、笑み、場	64. 葉 : 1 : 4 : 5 : 20%	気、陽光、囁き)
所、唇、身ごなし、性		
質、草地、装飾、足、		
態度、土質、頭、乳		
首、粘土層、粘膜、		
背、背中、皮・革、表		
面、布団、霧、綿入		
れ、落葉、腕)		
		100. 合計 : 90 : 60 : 150 : 60%

表 4.10 において、左側の列は〔ヤワラカイ〕の占める割合が 100%である実質名詞であり、右側の列は〔ヤワラカイ〕の占める割合が 0%である実質名詞である。そして、それ以外の名詞を中央の列に並べた。

まず、「100. 合計 : 90 : 60 : 150 : 60%」を見ると、『新潮』における「非主語付き」連体修飾用法全体では、「ヤワラカ」の実例の総数は 150 例あり、そのうち、〔ヤワラカイ〕が 90 例、〔ヤワラカナ〕が 60 例、〔ヤワラカイ〕の占める割合は 60%と、〔ヤワラカナ〕よりやや高い比率を占めている。

また、表 4.10 に示されているように、「ヤワラカ」の非主語付き連体修飾用法では、〔ヤワラカイ〕にのみ修飾される名詞（左列）と、〔ヤワラカナ〕にのみ修飾される名詞（右列）と、どちらも名詞の異なり語数が多い。そして、それぞれのグループに具象名詞も抽象名詞も入っている。先行研究の指摘にあった、被修飾名詞の具象・抽象による「い形」と「な形」の使い分けは「ヤワラカ」に当てはまらない。本研究のデータから、「ヤワラカ」における「い形」と「な形」の使い分けの傾向を掴むことは困難である。「い

形」と「な形」の使用は何らかの基準により意識的に行われているとは考えにくく、無意識のうちにどちらかが選択されていると考えられる。

次に、[ヤワラカイ] [ヤワラカナ] の両方に接続する名詞（中列）の実例を比較し、[ヤワラカイ] [ヤワラカナ] の使い分けを考察する。例(4-83)と例(4-84)は「光」を、例(4-85)と例(4-86)は「雪」を、例(4-87)と例(4-88)は「着物」を、例(4-89)と例(4-90)は「風」を、例(4-91)と例(4-92)は「緑」を修飾する[ヤワラカイ] [ヤワラカナ] の実例である。

例(4-83) 上流の岩を噛む激しさはもうここにはない。悠々と大河の風格を成して流れる川面に純白の帆を張った大舟がゆっくりと下っていく。目の届くかぎりの水面に帆だけ数えて十四はある。河岸に立ち目を止めると船も水も風景のすべてが柔らかい春の光の中で止っている。

（『新潮文庫』）

例(4-84) それから彼女は手をのばして、テーブル越しに僕の手にかさねた。そして微笑んだ。彼女の微笑みは雲間からこぼれるやわらかな春の光のように感じられた。

（『新潮文庫』）

例(4-85) 積る雪ではないが、おそらくそのうちにもっとたつぷりと湿気をふくんだ大粒のやわらかい雪に変わるだろう。それがいつもの順序なのだ。そしてやがて大地は再び白い雪に覆われることになるのだ。固い雪は常に大雪の前触れだった。

（『新潮文庫』）

例(4-86) 影はそう言って手でやわらかな雪をすくい、ぱらぱらと地面に落とした。

（『新潮文庫』）

例(4-87) で、少々きまりが悪かったのですが、まいりましたよ。すると暖かそうな柔かい綿入れの着物を暖めて、寝るばかりに用意して待っているのです。私、すこし得意でございました。

（『新潮文庫』）

例(4-88) ふと、空蟬の耳は、やわらかな着物のふれ合う、衣ずれの音を捉えた。それに、夏の夜風が運んでくる、衣にたきしめた香の匂い。

（『新潮文庫』）

例(4-89) ガラス細工のような川エビがとび、砂のうえではハゼが楔形文字を描いた。ぼくは背に日光を感じ、やわらかい風フウの縞を額におぼえた。

（『新潮文庫』）

例(4-90) 私は普段、かなりの速度で歩く癖がある。しかしこの時は、そうすることが、何か、夜の静かな流れをかき乱してしまうように思えていつの間にか彼らと同じくゆっくりと、柔らかな風に吹かれながら歩いていた。

(『新潮文庫』)

例(4-91) 五月の或る日この精神病院へ連れて来られて、比島の丘の緑に似た、柔かい檜や櫨の緑が、建物を埋めているのを見た時、ああ、この世で自分が来るべきところはここであった、早くここに気がつけばよかったと思った。

(『新潮文庫』)

例(4-92) 河原には日が照り、嶺線に切り取られた輝かしい空を、雲が渡った。岸の斜面に竹が盛んに生い繁って、柔かな緑を風に揺っていた。雨季の増水の名残であろう、流木が砂と礫の上に干いていた。

(『新潮文庫』)

例(4-83)～例(4-92)を比較すると、[ヤワラかい]と[ヤワラかな]両形は置換しても、さほどの差が見られない。

4.6 まとめ

本章では、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けについて、先行研究においてなされた指摘の問題点を示すと共に、被修飾名詞の性質、「Xい」と「Xな」の文法的機能、及び「Xい」と「Xな」の選択による意味的な差異を分析した。

本節では、『新潮』に見られる語幹を共有する連体修飾語 6 組の用例によって明らかになった点を以下にまとめる。

まず、「Xい」と「Xな」の 6 組の語形の出現の傾向は語幹によって異なることが分かった。すなわち、「い形」と「な形」の選択の傾向は、「Xい」と「Xな」それ自体にもよる。「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組の使用傾向と、「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の 3 組の使用傾向が大きく異なる。「イ形容詞 vs. 連体詞」である前者は、「な形」(＝連体詞)が多く出現し、「イ形容詞 vs. ナ形容詞」である後者は「い形」が多く出現し、「ナ形容詞」は前者の「連体詞」の「な形」ほどは使用されない。また、同じく「形容詞 vs. 連体詞」に関して、「オオキ」と「チイサ」の間も語形の出現傾向は同一ではなく、「オオキ」は「チイサ」よりも「な形」が多用されている。これまでの「Xい」と「Xな」の使い分けに関する議論の中では、殆どのケースで「オオキ」と「チイサ」の 2 組を一括して議論がなされているが、実際には「オオキ」と「チイサ」の間にも語形の出現傾向には違いが存在する。

次に、「Xい」と「Xな」の被修飾名詞を「形式名詞」「具象名詞」「抽象名詞」「固有名詞」に分けて検討した結果、形式名詞には「い形」が多く用いられるという傾向は 6 組の語に共通して見られた。一方、先行研究にあった「抽象名詞には「な形」を用いるの

が普通である」ことは、「オオキ」と「チイサ」の2組には言えるが、本章のデータ（『新潮文庫』）からは6組の語全般に一般化できない。被修飾名詞の性質（形式名詞であるか、実質名詞であるか）が「い形」と「な形」の選択に影響を与えているとは共通して言えるが、抽象・具象による使い分けが検討対象のペアに存在するとは言えない。

また、「Xい」と「Xな」の用法を「主語付き」連体構造と「非主語付き」連体構造に分けて考察したところ、「非主語付き」構造より、「主語付き」構造では「い形」が多用されている。ここから、「Xい」と「Xな」が連体修飾節の述語になる場合には「い形」が選ばれやすいことが分かった。

更に、主語付き連体修飾用法では、修飾節の主語助詞が「が」の場合は「い形」が接続するが、主語助詞が「の」が用いられる場合は「な形」が接続しやすいことが明らかになった。

最後に、「主語付き」連体修飾用法を除外し、実質名詞を修飾する「非主語付き」連体用法のみを取り出して検討した結果を以下にまとめる。

(1) 「オオキ」：[オオキな]の占める割合が92%と圧倒的に優勢である。慣用表現では、[オオキな]の使用が多く見られたが、それ以外の場合は、[オオキい]と[オオキな]の間に意味的な使い分けは見られない。抽象名詞にも具象名詞にも[オオキな]が多用されている。

(2) 「チイサ」：[チイサな]が82%と高い比率を占めている。[チイサな]は具象名詞の方に多く使われており、具象名詞との結び付きが強い。

(3) 「オカシ」：[オカシな]が91%と圧倒的に優勢である。抽象名詞にも具象名詞にも[オカシな]が多く使われている。[オカシい]と[オカシな]の間に意味的な差が見られる。[オカシい]だけが<面白い>の意味を持つ。

(4) 「アタタカ」：[アタタカイ]の割合が94%と圧倒的に高い比率を占める。抽象名詞にも具象名詞にも[アタタカイ]が多く使われている。[アタタカイ]と[アタタカナ]の使い分けには違いは見られない。

(5) 「コマカ」：[コマカイ]の割合が83%と高い。抽象名詞であれ、具象名詞であれ、[コマカイ]が圧倒的に多く使われている。[コマカイ]と[コマカナ]の使い分けの基準は見当たらない。

(6) 「ヤワラカ」：[ヤワラカイ]の割合が60%とやや高い比率を占めている。[ヤワラカイ]と[ヤワラカナ]の使い分けの傾向を掴むことは困難である。

以上をまとめると、先行研究で指摘された「い形」は具象名詞に係りやすい、「な形」は抽象名詞に係りやすい、という現象は本研究の調査結果から認められなかった。

「Xい」と「Xな」に被修飾名詞の抽象・具象による使い分けはない。連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けの要因としては、それが連体機能のみでなく述語機能

を果たしているかどうかが重要である。連体修飾の中の「い形」と「な形」が述語機能を併せ持つ場合、「い形」の使用が多い。本研究で言う「主語付き」構造の連体修飾用法は、「X い」と「X な」とそれに先行する主語が「修飾節」を形成して後ろの名詞を修飾する場合、「X い」と「X な」は主語名詞の述語としての機能と、後続する被修飾名詞の修飾語としての機能の両方を持つ。そのような「主語付き」連体修飾用法であれば、被修飾名詞の種類を問わず、「い形」が「な形」より多く用いられる。これは「X い」と「X な」全般に言えることであり、「X い」と「X な」の使い分けに影響を与える重要な要因の一つであると考えられる。

実際に、「い形」と「な形」の選択には多様な要因が関与していると思われ、「い形」と「な形」の使い分けを単一の基準で説明することは困難であると考えられる。

第5章 レジスター

本章では、1.2 節で述べた研究課題③の通り、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けが社会言語学的なレジスターの変異に基づくか否かについて検討する。取り扱う言語項目は第4章と同じく、[オオキい・オオキな] [チイさい・チイサな] [オカシい・オカシな] [アタタカイ・アタタカナ] [コマカイ・コマカナ] [ヤワラカイ・ヤワラカナ] の6組の連体修飾の用例である。

5.1 はじめに

連体修飾用法における「Xい」と「Xな」に関する先行研究については、第2章でまとめて紹介した。本研究で主に参考としたものは、森田(1977)、柴田(1982)、飛田・浅田(1991)、三枝(1996)、佐々木(2002)、丹保(2011a, 2011b) の6つである。ここで、以下のよう

に、本章の内容と深く関わる先行研究の問題点を確認しておきたい。

森田(1977)、柴田(1982)、飛田・浅田(1991)は日本語の基礎語の意味用法を解説しているものであり、おそらく「著者一個人の意味理解」(森田 1977:まえがき)に基づいているため、内省による解釈であり、客観的なデータを用いると異なる解釈ができると考えられる。

それに対して、三枝(1996)、佐々木(2002)、丹保(2011a, 2011b)では客観的なコーパスデータを使用したうえでの分析がなされている。

三枝(1996)は新聞一ヶ月分(1983年)、計算機マニュアル、理科系教科書、科学雑誌計30冊、小説、シナリオ、随筆21冊、短編小説25編からなるデータに基づき、「大きい」「大きな」「小さい」「小さな」4語の使われ方の実態を観察している。

佐々木(2002)は、『新潮文庫の100冊』の中の66冊と光文社「カッパノベルス」138冊の作品を使って、「大きい・大きな」「小さい・小さな」「おかしい・おかしな」「細かい・細かな」「やわらかい・やわらかな」「あたたかい・あたたかな」「間近い・間近な」「手近い・手近な」の8組の語の使用傾向について調査を行った。

丹保(2011a, 2011b)は、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の中の書籍データを用い、名詞を修飾する「大きい・大きな」「小さい・小さな」の2組の語の「い形」と「な形」の違いを考察している。

しかしながら、三枝(1996)、佐々木(2002)、丹保(2011a, 2011b)はいずれも書籍データのみを調査対象資料としており、書籍データ以外のデータ、例えば会話データ、ウェブデータなど性質の異なる言語データに基づいて分析したものがない。よって、連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けについて検討する際、更に多様な言語データを取り入れて考察する必要があると思われる。

したがって、本章では、3.3.1～3.3.4で紹介した『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』の4つの書き言葉コーパスと、3.3.5と3.3.6で紹介した『BTSJ』、『名大』の2つ

の話し言葉コーパス、計 6 つの現代日本語コーパス³⁵から得られたデータに基づいて考察する。

6 つのコーパス資料は、全て 2000 年以降の言語データに統制しており、種類もウェブデータ、会議録、雑誌、新聞、自然会話、日常雑談など多様な性質を持つデータである。

本章では、共時的アプローチを取り、レジスター変異の観点より、現代日本語の中で使用されている「X い」と「X な」の使用実態から「い形」と「な形」の使い分けを考察することを目的とする。

5.2 レジスターとレジスター分析

5.2.1 レジスターとは

本研究では、「レジスター」(register、言語使用域)という用語を、言語変種のうち使用状況の特徴によって規定されるもの全般を指す語として用いる。レジスターはテキストタイプと似た概念である。テキストタイプは言語学的な定義された用語であるのに対し、レジスターは特定のテキストタイプの使用域のことを言う。

『応用言語学事典』は、レジスターについて、「状況に応じて語彙や文法・発音などを変えた言語変種を言う」とし、「どんな言語活動にも、それ特有のレジスターを見出すことができる」(『応用言語学事典』2003:238)と述べている。

また、『言語学大辞典』は、レジスターを決定する要因について、「言語の場面の類型は、大体において、1)現実の出来事、状況、2)関与者、3)言語の果たす役割、という 3 つの要因によって、それぞれ異なる。これらの可変要因が合同して意味の選択の範囲と意味の表出に用いられる形式、すなわち、言語使用域(register)を決定する。」(『言語学大辞典 第 6 巻』1996:1429)と述べている。

言語は、その用いられる場面によって、それぞれの場面に適合する多様な形を取る。同一個人にあっても、公開の席での講演や公的な発言、家庭や親しい人々の間でのくつろいだ談話、職業仲間での職業的専門的な討論や相談など、場面、内容、人間関係、口頭か文書かなどの媒体の差異などによって、使用する言語の形式や項目の選択に著しい差異が見られる。同一言語共同体の内部にあっても、同様の変異が見られる。

Halliday(1978)は、言語使用域(レジスター)すなわち類型的変種(diatypic variety)と、方言的変種(dialectal variety)を対比して示している。Halliday(1978)では、レジスターは言語の使用(use)による変種であり、言語使用の時点において話者が現に話して(用いて)いる変種で、目下従事している社会活動の種類と性格によって決定されるものであって、社会的過程の多様性を表明し、異なる内容を話す話し方であって、意味において異なり、語彙・文法が(時には音韻も)その差異を具現すると述べている。

³⁵ コーパスの内訳について、表 3.1 (p.34)を参照。

また、Biber (1995:132)では、レジスターとは、テキストが作成される目的と環境、主題、当事者の相互関係などのコンテキストによる言語特徴の相対的な使用頻度の変異であり、"text categories readily distinguished by mature speakers of a language"であると述べている。

更に、Biber et al. (2000:135)では、"Register are defined according to their situations of use (considering their purpose, topic, setting, interactiveness, mode, etc)."「レジスターは、言語が使用される状況（すなわち目的、話題、場面、対人関係、伝達様式など）によって規定される。」（和訳は筆者）と述べている。

言い換えると、レジスターは、人間が言葉によってコミュニケーションを行う際に外在する言語外の環境であり、発話の主題、当事者の関係、伝達の仕方などのコンテキストによって捉えることができる。

レジスターをうまく使い分けることは、その言語に堪能な話し手には決定的に重要なことである。おそらく、ただ1つのレジスターしか使わないなどという人は誰もいないと言って良いであろう。それどころか、誰でも、一日のうちに、様々なレジスターで話したり、書いたりする。例えば、期末レポートを書くときに使う言葉は、ルームメイトと話すときに使う言葉とは異なる。そして、これらのレジスターは共に、担当教員と議論するときにする言葉とも、母親に手紙を書くときの言葉とも異なる。

5.2.2 Biber の多次元分析モデル

多次元（MD: Mult-Dimension）分析と呼ばれる方法は、英語における話し言葉と書き言葉の研究のために1980年代に開発されたが、最近では、非西洋圏の多くの言語でレジスター変異を研究するのにも用いられるようになってきている（斎藤（訳）2003:158）。この方法では、テキストを収めた大きなコーパスの中で、言語項目が実際にどのように分布しているかに基づいて、共起するパターンを数量的に特定する。

Biber(1991)は、多次元分析によって、言語特徴（linguistic feature）の使用頻度とレジスターの関係の研究を試みた。Biber(1991)の分析結果によると、同じレジスターであるほど使われる言語特徴の同質性が高くなり、また、言語特徴の出現頻度はレジスターによって変化する傾向が報告されている。

更に、Biber(1995)はこのモデルを英語以外の言語、ソマリ語、韓国語、ツバル語に応用している。その結果、特定の言語特徴は、それぞれの言語において異なる役割及び重要性があるが、レジスターによって言語特徴の出現頻度が異なる分布を示しているということはBiber(1991)の結果と変わらない。つまり、どの言語においてもレジスターと言語特徴の使用傾向の間に相関関係がある、ということである。

5.2.3 レジスター分析とコーパスに基づく研究の枠組み

Biber et al. (2000:137)は、"register analyses are actually investigations of register variation - the distinctive ways in which linguistic features are relatively common or rare, when compared to the use of those features in other registers." 「レジスター分析とは、実はレジスター間の変異を調査すること、すなわち、言語特徴の使用状況を他のレジスターと比較して、相対的にそれらの言語項目が一般的かまれなのかをはっきりさせることである。」（和訳は筆者）と述べている。

また、Biber et al. (2000:136)では、"comprehensive register studies have three important requirements: inclusion of a large number of texts, consideration of a wide range of linguistic characteristics, and comparison across registers. " 「総合的レジスター研究には、多数のテキストを扱うこと、様々な言語的特徴を考慮すること、レジスター間の比較をすること、という3つの重要な要件が必要である。」（和訳は筆者）と指摘している。

コーパスに基づく手法を取れば、総合的なレジスター研究は遥かに容易になる。近年コンピュータのおかげで、大量のテキストを保存し、それらのテキストに見られる多くの言語項目を分析し、その結果をレジスター間で比較することができるようになった。

5.3 レジスターの変異から見る「Xい」と「Xな」の使用傾向

本節では、現代語コーパスを利用し、レジスター変異の観点から連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使用傾向を解明することを試みる。具体的な研究課題は、異なるレジスターにおいて、「い形」と「な形」の使用は異なるのか、どのような相違があるのか、という問いを設定する。

利用するコーパスは、『新聞』、『雑誌』、『会議』、『知恵』、『BTSJ』、『名大』の6つの現代日本語コーパスであり、これらをレジスターとみなして分析することとする。

『新聞』と『雑誌』は出版された印刷物である。硬い文章表現が用いられるため書き言葉的であり、書き手が読み手を意識して執筆したという点で同じである。『新聞』と『雑誌』は編集、校閲などを経て客観的に記述された文章のレジスターである。

『会議』は公的な場における話し言葉の記録である。会議での質疑応答であり、話し言葉の特徴が見られるが、国会という非常に改まった場面での発話であるため用いられる表現は書き言葉的である。国会での発話は公的な場で行われていること、話者の目の前に相手がいるという条件により、場や聞き手への改まりが言語に現れている。また、『知恵』は一般の人が自由にインターネットに書き込んでいるものである。『知恵』は丁寧体で書かれる傾向があり、読み手への意識、配慮が現れる。書き手と読み手という相互交渉の場という意味で「会話」の一種と見なることができる。『会議』と『知恵』は公的な場における話し言葉の要素の見られるレジスターである。

『BTSJ』と『名大』は日常会話や雑談のトランスクリプトである。打ち解けた雰囲気
の会話であり、くだけた表現が用いられている。『BTSJ』と『名大』は私的な場にお
ける話し言葉の要素の強いレジスターである。

6つのレジスターの概観は、表 5.1 に示す。

表 5.1 6つの現代語コーパスの概観

2001 年～ 2005 年の 5 年間の新聞 を対象とし てランダム にサンプル を抽出した もの	2001 年～ 2005 年の 5 年間の雑誌 を対象とし てランダム にサンプル を抽出した もの	2001 年～ 2005 年にお ける「国会 会議録」か らランダム にサンプル を抽出した もの	2004 年 10 月 ～2005 年 10 月の「Yahoo! 知恵袋」の投 稿データから ランダムにサ ンプルを抽出 したもの	2003 年、2007 年、2011 年に 収録された自 然会話データ 『BTSJ による 日本語話し言 葉コーパス 2011 年版』	2001 年～ 2003 年構築 され、雑談 を文字化し たもの『名 大会話コー パス』
『新聞』	『雑誌』	『会議』	『知恵』	『BTSJ』	『名大』
高 ←—————改まり度—————→ 低					

一般的に、言語の使用場面がどの程度改まっているかという改まり度によって言葉の
使い分けが行われていると考えられる。つまり、公的な場、改まった雰囲気であればそれ
相応の硬い表現が用いられ、私的な場、打ち解けた雰囲気であればそれに相応のくだけた
表現が用いられる。

本章の分析で使用する 6つのレジスターは、『新聞』、『雑誌』、『会議』、『知
恵』、『BTSJ』、『名大』の順に、改まり度が低くなる。

本章の分析対象となる用例は、6つのレジスターから収集した「X い」と「X な」の連
体修飾用法、計 7,176 の実例である。表 5.2 に用例の分布を示す。

表 5.2 6つのレジスターにおける実例の分布（全体）

		新聞	雑誌	会議	知恵	名大	BTSJ	合計
オオキ	い形	19	165	42	468	135	38	867
	な形	220	1121	413	804	72	19	2649
チイサ	い形	15	239	16	750	116	81	1217
	な形	53	524	42	456	27	1	1103
コマカ	い形	12	156	25	200	22	16	431
	な形	9	63	0	15	0	0	87
ヤワラカ	い形	7	92	0	103	5	0	207
	な形	5	109	1	5	0	0	120
アタタカ	い形	15	80	7	152	20	3	277
	な形	3	28	0	2	0	0	33
オカシ	い形	1	8	6	56	12	4	87
	な形	0	20	6	65	7	0	98
合計		360	2605	558	3076	416	162	7176

5.3.1 レジスター別に見る「オオキい・オオキな」の使用傾向

表 5.2 を見ると、「オオキ」のペアは、研究対象の 6 組の語の中で合計頻度が最も高いことが分かる。本項では、異なるレジスターにおいて、「オオキい」と「オオキな」はどのような使い分けを見せるかを分析する。

4.5.1 では『新潮』の非主語付き連体修飾用法における「オオキい」と「オオキな」の占める割合を見た。その結果、「オオキい」より「オオキな」の方が 92% と圧倒的に優勢である、という傾向が観察された。では、他のレジスターにおいても「オオキな」が多く使われているのであろうか。

図 5.1 は連体修飾用法全体における「オオキい・オオキな」のレジスター別出現頻度の割合を示したものである。出現頻度の実数は、図の中にも表示した。

図 5.1 から、「オオキい」と「オオキな」の使用はレジスターによって異なることが分かる。『新聞』、『会議』、『雑誌』、『知恵』、『名大』、『BTSJ』の順に、「い形」の占める割合が高くなる。「オオキな」は、『新聞』では 9 割以上、『会議』では 9 割程、『雑誌』では 9 割弱、『知恵』では 6 割以上使われているのに対して、『名大』と『BTSJ』では約 3 割しか使われていない。

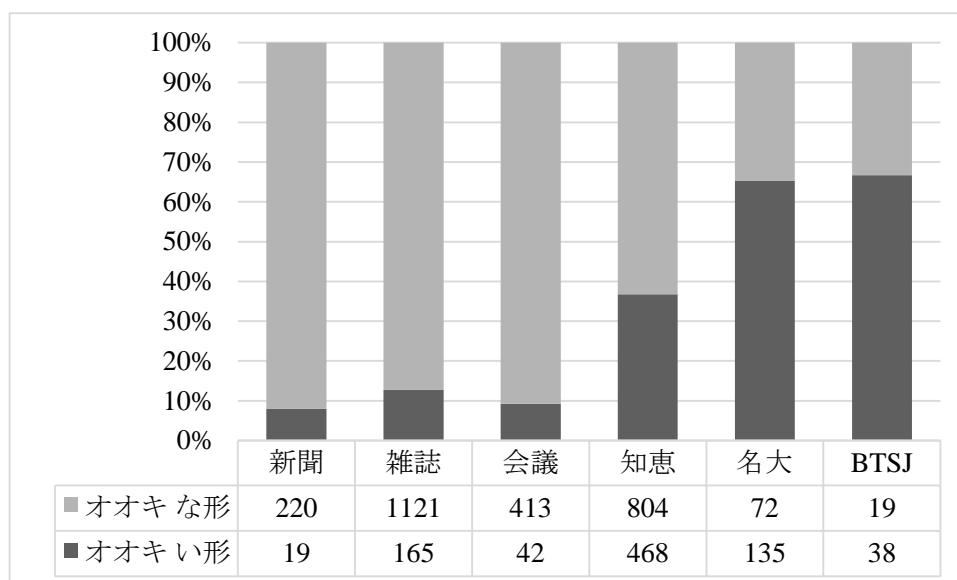


図 5.1 レジスター別に見る「オオキい・オオキな」の使用傾向（全体）

図 5.1 を見て分かるように、左側に位置する『新聞』、『雑誌』より、右側に位置する『名大』、『BTSJ』の方に、「オオキい」が多く使われていることが明らかである。逆に、「オオキな」は、図 5.1 の右側に位置する『名大』、『BTSJ』より、左側に位置する『新聞』、『雑誌』の方において多く使われていることも一目瞭然である。『名大』、『BTSJ』は私的な場における話し言葉の要素の強いレジスターであり、編集、校閲などを経て客観的に記述された文章のレジスターの『新聞』、『雑誌』より、改まり度が低い。このことから、改まり度の高いレジスターほど「オオキな」が多用され、改まり度の低いレジスターほど「オオキい」が多用されると言える。

例えば、具体的な被修飾名詞の各レジスターにおける出現頻度を出してみると、表 5.3 の「問題」「声」のようなものが挙げられる。

表 5.3 「大きい問題 vs. 大きな問題」「大きい声 vs. 大きな声」

	大きい問題	大きな問題	大きい声	大きな声
『新聞』	0	9	0	3
『雑誌』	0	32	0	30
『会議』	0	61	0	2
『知恵』	1	24	9	44
『BTSJ』	1	1	0	0
『名大』	2	1	9	6

6つのレジスターにおいて、名詞「問題」を修飾する場合、『新聞』、『雑誌』、『会議』では「オオキな」しか用いられず（「オオキい問題」の出現頻度は0である）、『知恵』では「オオキな」が圧倒的に用いられている（「オオキい問題」1例 vs. 「オオキな問題」24例）。それに対して、『名大』では「オオキい」の方が多く使用されている（「オオキい問題」2例 vs. 「オオキな問題」1例）。名詞「声」を修飾する場合も同様の傾向が見られる。例(5-1)～例(5-9)は「問題」「声」を修飾する「オオキい」と「オオキな」の実例である。

例(5-1) 国民は失業、老後など将来の不安を抱えており、中でも経済不安の解消が一番大きな問題だ。

（『新聞』）

例(5-2) 「反日」は実はそれほど大きな問題ではないと思う。

（『雑誌』）

例(5-3) 次に、外国農産物の輸入激増、これは大変大きな問題であります。

（『国会会議録』）

例(5-4) しかしながら長期服用者にとっては大きな問題です。

（『Yahoo!知恵袋』）

例(5-5) なんか、竹島の問題、韓国ではものすごい大きい問題になって、小学生もみんな知ってるのに、日本人は、そんなんどっかで聞いたなーとかっていうぐらいしかないのにびっくりしたとか。

（『名大会話コーパス』）

例(5-6) 野党席から「そうだ」と大きな声が上がった。

（『新聞』）

例(5-7) 大きな声を出せば自然と元気も出てきます。

（『雑誌』）

例(5-8) ちょっと気に入らない事があると、すぐ大きな声を出して怒るか泣くか...

（『Yahoo!知恵袋』）

例(5-9) ごめん、大きい声出しちゃった。

（『名大会話コーパス』）

同一の名詞「問題」を修飾しているにもかかわらず、例(5-1)～例(5-4)は改まり度の高いレジスターの実例であり、いずれも「大きな」が用いられており、例(5-5)は改まり度の低いレジスター『名大』の実例であり、「大きい」が使われている。同様に、同一の名詞「声」を修飾しているにもかかわらず、例(5-6)～例(5-8)の改まり度の高いレジスター

の実例では、いずれも「大きな」が用いられており、例(5-9)の改まり度の低いレジスター『名大』の実例では「大きい」が使われている。

5.3.2 レジスター別に見る〔チイサイ・チイサな〕の使用傾向

表 5.2 を見ると、「チイサ」ペアの合計頻度は、研究対象の 6 組の語の中で、「オオキ」ペアに次いで 2 番目に高いことが分かる。本項では、異なるレジスターにおいて、〔チイサイ〕と〔チイサな〕はどのような使い分けを見せるかを分析する。

4.5.2 では『新潮』の非主語付き連体修飾用法における〔チイサイ〕と〔チイサな〕の占める割合を見た。その結果、〔チイサイ〕より〔チイサな〕の方が 82% と高い比率を占めている、という傾向が観察された。では、他のレジスターにおいても〔チイサな〕が〔チイサイ〕より多く使われるのであろうか。

図 5.2 は連体修飾用法全体における〔チイサイ・チイサな〕のレジスター別出現頻度の割合を示したものである。出現頻度の実数は、図の中にも表示した。

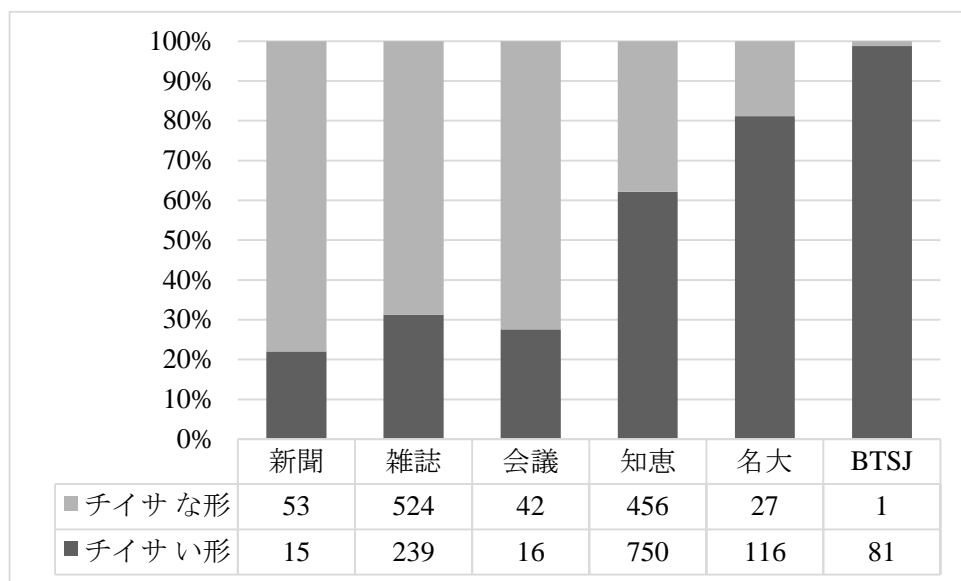


図 5.2 レジスター別に見る〔チイサイ・チイサな〕の使用傾向（全体）

図 5.2 を見ると、前項で見た図 5.1 と類似した傾向を示していることが分かる。『新聞』、『会議』、『雑誌』、『知恵』、『名大』、『BTSJ』の順に〔チイサイ〕の占める割合が高くなっていく。左側に位置する『新聞』、『会議』、『雑誌』の 3 つのレジスターより、右側に位置する『知恵』、『名大』、『BTSJ』の 3 つのレジスターの方に、〔チイサイ〕が多く使われ、逆に、〔チイサな〕は、『知恵』、『名大』、『BTSJ』の 3 つのレジスターより、『新聞』、『会議』、『雑誌』の 3 つのレジスターの方において多く使われている。

ここで、「チイサ」に限って言うと、『会議』が、『新聞』及び『雑誌』と類似した使用傾向を見せるということは、国会会議録では書き言葉と同様に硬い表現が用いられているからだと思われる。反対に、『知恵』が『名大』及び『BTSJ』と類似した傾向を見せるということは、『知恵』では話し言葉的なくだけた表現が多く用いられているためだと考えられる。

以上の分析から、『新聞』、『雑誌』、『会議』のような改まり度の高いレジスターでは「チイサな」を用いることが多く、『知恵』、『名大』、『BTSJ』のような改まり度の低いレジスターでは「チイサイ」が多く用いられることが言える。

例えば、「子供」を修飾する「チイサイ」と「チイサな」の各レジスターにおける出現頻度を出してみると、次のようになる。

(コーパス：「チイサイ子供」の頻度：「チイサな子供」の頻度)		
『新聞』：1：2	『雑誌』：4：16	『会議』：0：0
『知恵』：45：30	『名大』：2：0	『BTSJ』：3：0

同一の名詞「子供」を修飾しているが、『新聞』、『雑誌』では「チイサな」が多く使われるのに対して、『知恵』、『BTSJ』、『名大』では「チイサイ」が多用される。例(5-10)～例(5-14)に実例を挙げる。

例(5-10) 小さな子どもチイサなのいる親たちから絶大な支持を集める「うららちゃん」
「ももんちゃん」のシリーズは、作家自身の子育ての中から生まれたことになる。

(『新聞』)

例(5-11) オーディション会場は小さな子供チイサイと母親でいっぱいとなり、ここだけ
見ると、少子化は嘘のようである。

(『雑誌』)

例(5-12) 小さい子供チイサイが居るので、ベランダで吸っていました。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-13) 小さい子どもチイサイがいて、ちょっとすいません、出てくるのが遅くなっちゃって(あそう)、今、1人、こんなの見てもらって、ええ。

(『BTSJ』)

例(5-14) こんなこともあんなこともできるって思うんだけど、(うん)結局は何かね、(うん)子供が、ま、ちっちゃい子供チイサイもいるから泣き出しちゃったりとかさー、(うん)子供どうしのけんかとかいろいろあってー。

(『名大会話コーパス』)

例(5-10)～例(5-14)は同一の名詞「子供」を修飾している。例(5-10)と例(5-11)の改まり度の高い文書レジスターでは「チイサな」が多く使用されており、例(5-12)～例(5-14)の改まり度の低い話し言葉的レジスターでは「チイサイ」が多用されている。「チイサイ」と「チイサな」の選択はレジスターによって異なっている。

5.3.3 レジスター別に見る「オカシい・オカシな」の使用傾向

4.5.3 では『新潮』の非主語付き連体修飾用法における「オカシい」と「オカシな」の割合を見た。その結果、「オカシな」は91%と、「オカシい」より圧倒的に高い比率を占めている、という傾向が観察された。本項では、他のレジスターにおいても「オカシな」が多く使われるかを検討する。

図 5.3 は連体修飾用法全体における「オカシい・オカシな」のレジスター別出現頻度の割合を示したものである。出現頻度の実数も図に表示した。なお、「い形」と「な形」の片方の出現頻度が0であるものは、割合の比較に不向きであるため、出現実数のみ表示させ、棒グラフは表示させないことにした。

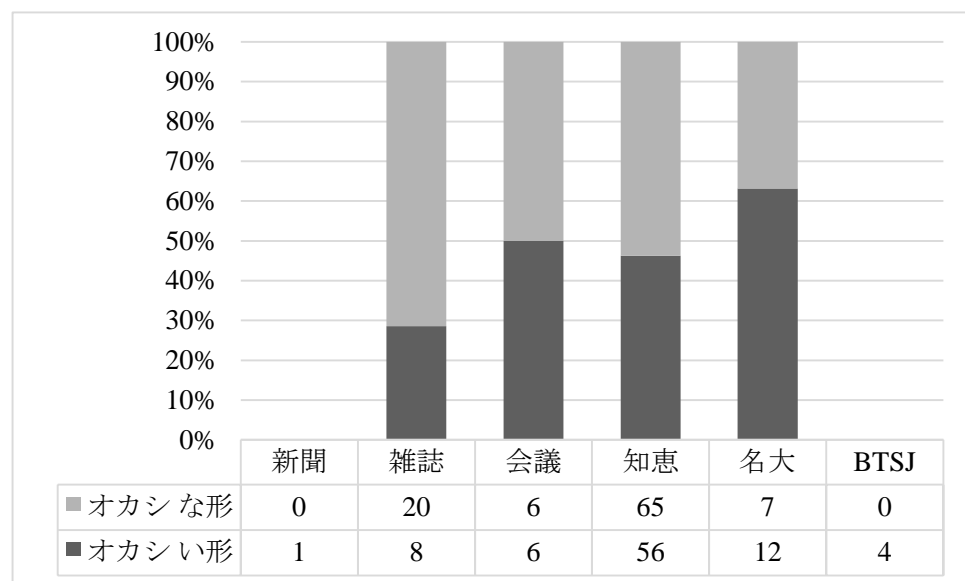


図 5.3 レジスター別に見る「オカシい・オカシな」の使用傾向（全体）

図 5.3 に示されているように、「オカシな」の出現頻度が0である『新聞』と『BTSJ』を除いて、「オカシい」の占める割合は、『雑誌』、『知恵』、『会議』、『名大』の順で高くなっていく。『雑誌』、『知恵』、『会議』、『名大』の順は、レジスターの改まり度が低くなる順である。よって、「オカシい」は、改まり度が低いレジスターほど多く使われ、逆に、改まり度の高いレジスターほど「オカシな」は多く使われている。言い換えれば、「オカシ」では、「い形」は改まり度の低いレジスターとの結び付きが強く、

「な形」は改まり度の高いレジスターとの結び付きが強いと言える。この傾向は、「オオキ」及び「チイサ」と一致している。

一方、『新聞』は典型的な書き言葉的レジスターであるが、[オカしい]は1例、[オカシな]は0例であった。この1例のみの用例は、例(5-15)である。

例(5-15) 一方、ハツミたちは、様子のおかしい恭太郎の行動を不審に思う。
(『新聞』)

例(5-15)を見て分かるように、例(5-15)で、「おかしい」が実際に修飾する名詞は後続する「恭太郎」ではなく、先行する主語名詞の「様子」である。この実例では、「おかしい」は先行する「様子」と連体修飾節をなし、全体として「恭太郎」を修飾しているため、「主語付き」連体修飾用法である。第4章では、主語付き連体修飾用法の場合は「い形」が多く用いられる、という基準を提示したが、例(5-15)はその基準を裏付ける一例であると言える。

5.3.4 レジスター別に見る[アタタかい・アタタカナ]の使用傾向

4.5.4では『新潮』の非主語付き連体修飾用法における[アタタかい]と[アタタカナ]の占める割合を見た。その結果、「アタタカ」の使用傾向は、「オオキ」「チイサ」「オカシ」3組の「い形」より「な形」の占める割合の方が高いという傾向と相反し、[アタタかい]の割合が94%と圧倒的に高い比率を占めているという特徴が観察された。本項では、他のレジスターにおいても同様の傾向が見られるかを検討する。

図5.4は連体修飾用法全体における[アタタかい・アタタカナ]のレジスター別出現頻度の割合を示したものである。出現頻度の実数も図に表示した。なお、「い形」と「な形」のどちらか片方の出現頻度が0であるものは、割合の比較に不向きであるため、出現実数のみ表示させ、棒グラフは表示させないことにした。

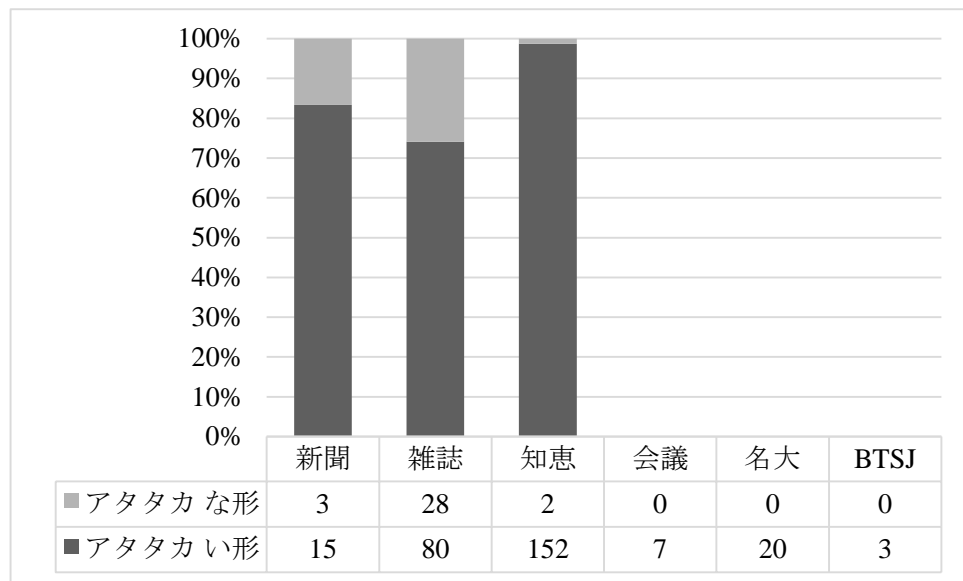


図 5.4 レジスター別に見る「アタタカイ・アタタカナ」の使用傾向（全体）

図 5.4 を見て分かるように、本章の調査で使用した 6 つのレジスターのいずれにおいても、「アタタカナ」より「アタタカイ」の方が多く使われている。この傾向は『新潮』における「アタタカイ・アタタカナ」の使用傾向と一致している。

一方、片方が出現頻度 0 のレジスターを除き、『新聞』、『雑誌』、『知恵』、の 3 つのレジスターに限定して、「アタタカイ」と「アタタカナ」の占める割合を比較して見ると、『新聞』と『雑誌』より、『知恵』の方で「アタタカイ」が多用される傾向があることが分かる。『新聞』、『雑誌』、『知恵』の順はレジスターの改まり度が低くなる順である。つまり、「アタタカ」では、「い形」は改まり度の低いレジスターとの結び付きが強く、「な形」は改まり度の高いレジスターとの結び付きが強い、ということである。この傾向は、5.3.1～5.3.3 で検討した「オオキ」、「チイサ」、「オカシ」の 3 組と一致している。

例えば、「目・眼」に係る「アタタカ」の実例は、『新聞』では 1 例（例(5-16)）あり、「な形」が使われているのに対して、『新聞』より改まり度の低い『知恵』では 8 例（例(5-17)～例(5-24)）あり、全て「い形」が使われている。

例(5-16) 小さなスナップだが、生きとし生けるものすべてに健康指導者としての
のあたたかな眼を向けられている先生の表情がうかがえて懐かしい。

（『新聞』）

例(5-17) 男性は女性を守り、子孫を反映させるために幼稚に生まれついている
と考えると暖かい眼で見守っててください。

（『Yahoo!知恵袋』）

例(5-18) 復活後はリハビリ中みたいなものなので、もう少しあたたかい目で見
てあげましょうね。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-19) あたたかい目で見守ってあげてください。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-20) その後この子に悪気があるわけではなし、この子の個性という事で温
かい目で親も学校も接し続けた結果今では家庭を持ち、家族を支えるために国
家資格もいくつか取得しリストラに遭う事もなく周囲から必要とされて生活し
ています。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-21) どうか温かい目で見守ってください。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-22) 何も言わず、そっと暖かい目で見ているだけでもチョッピリ支えに成
っていると思います。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-23) 叱っているなら、周囲も暖かい目で見てくださいよ。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-24) 車内に身障者の方が居るのかも暖かい目で見えていたら、そのバカ丸
出しママと、小汚い少年だけだった。

(『Yahoo!知恵袋』)

5.3.5 レジスター別に見る「コマカイ・コマカナ」の使用傾向

4.5.5 では『新潮』の非主語付き連体修飾用法における「コマカイ」と「コマカナ」の
占める割合を見た。その結果、「コマカイ」の占める割合が 83%と高い比率を占めてい
る、という傾向が観察された。本項では、他のレジスターにおいても同様の傾向が見られ
るかを検討する。

図 5.5 は連体修飾用法全体における「コマカイ」と「コマカナ」のレジスター別出現頻
度の割合を示したものである。出現頻度の実数も図に表示した。なお、「い形」と「な
形」のどちらか片方の出現頻度が 0 であるものは、割合の比較に不向きであるため、出現
実数のみ表示させ、棒グラフは表示させない。

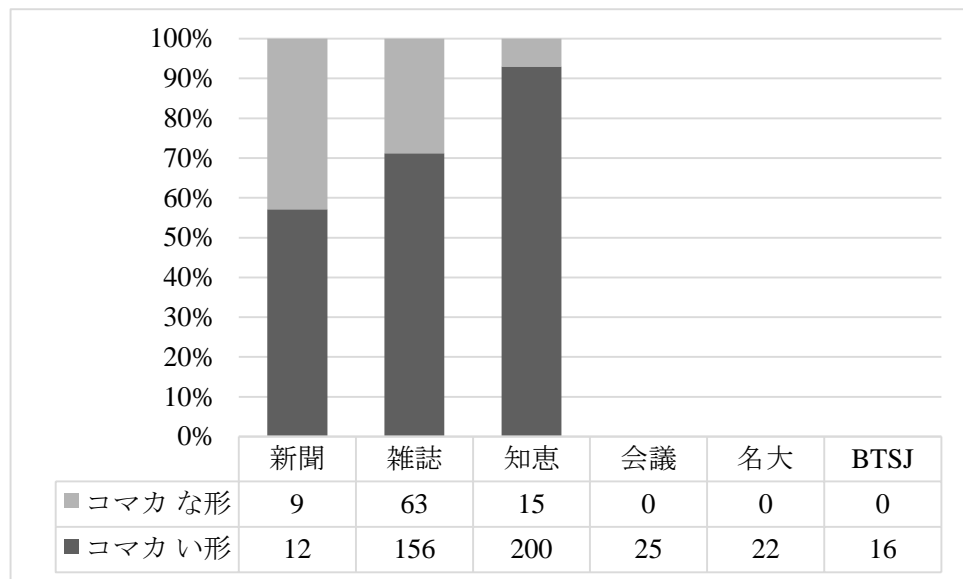


図 5.5 レジスター別に見る「コマカイ・コマカナ」の使用傾向（全体）

図 5.5 を見て分かるように、『会議』、『名大』、『BTSJ』の 3 つのレジスターにおいて、[コマカナ] の出現頻度は 0 であり、[コマカイ] のみ使用されており、『新聞』、『雑誌』、『知恵』の 3 つのレジスターにおいて、いずれも [コマカイ] の方が多く使われている。ここから、どのレジスターにおいても、[コマカイ] は [コマカナ] より多く使われていることが言える。この傾向は『新潮』における [コマカイ・コマカナ] の使用傾向と一致している。

また、[コマカナ] の出現頻度が 0 である『会議』、『名大』、『BTSJ』の 3 つのレジスターを除き、『新聞』、『雑誌』、『知恵』の 3 つのレジスターに限定して、[コマカイ] と [コマカナ] の占める割合を比較して見ると、『新聞』と『雑誌』より、『知恵』の方が [コマカイ] の占める割合が高い。つまり、「コマカ」では、改まり度の低いレジスターほど「い形」が用いられやすく、改まり度の高いレジスターほど「な形」が用いられやすい、ということが言える。この傾向は、5.3.1～5.3.4 で検討した「オオキ」、「チイサ」、「オカシ」、「アタタカ」の 4 組と一致している。

例えば、例(5-25)～例(5-29)のような [コマカイ] [コマカナ] の実例が挙げられる。例(5-25)～例(5-27)は「調整」を修飾している例であり、例(5-28)と例(5-29)は「内容」を修飾している例である。

例(5-25) で、基本的には、細かい調整は一、右手で一後ろのトレーラーで一、調整すればいいだけで一。

（『名大会話コーパス』）

例(5-26) もちろん歯科医院での細かな調整は必要になります。

（『Yahoo!知恵袋』）

例(5-27) そのような「知能ロボット」は、センサーなどで周囲の状況を見て細かな調整をすることができる。

(『新聞』)

例(5-28) 仕事上は細かい内容よりアウトラインが大切になりますので、最悪見出しの斜め読みだけで打ち合わせにも対応できる時があります。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(5-29) パネル張りがうまくいかないということですが、細かな内容はわかりませんので、一般的なパネル張りの要領を説明しましょう。

(『雑誌』)

「調整」に係る「コマカ」は、本研究の調査では、『名大』、『知恵』、『新聞』において、それぞれ1例しか出現していない。例(5-25)のように、話し言葉の要素が強いレジスター『名大』では「い形」が使われているのに対して、例(5-26)と例(5-27)のように、『名大』より改まり度の高い『知恵』及び『新聞』では「な形」が使われている。また、「内容」に係る「コマカ」は、『知恵』、『新聞』においてそれぞれ1例しか出現していないが、『知恵』は『新聞』と比べて改まり度が低いため、例(5-28)のように改まり度の低い『知恵』では「い形」が用いられており、例(5-29)のように改まり度の高い『新聞』では「な形」が使われている。

5.3.6 レジスター別に見る「ヤワラかい・ヤワラかな」の使用傾向

4.5.6 では『新潮』の非主語付き連体修飾用法における「ヤワラかい」と「ヤワラかな」の割合を見た。その結果、「ヤワラかい」の占める割合は60%と、「ヤワラかな」よりやや高い比率を占めている、という傾向が観察された。本項では、他のレジスターにおいても『新潮』と類似した傾向が見られるかを検討する。

図5.6は連体修飾用法全体における「ヤワラかい・ヤワラかな」のレジスター別出現頻度の割合を示したものである。出現頻度の実数も図に表示した。なお、「い形」と「な形」のどちらか片方の出現頻度が0であるものは、割合の比較に不向きであるため、出現実数のみ表示させ、棒グラフは表示させないことにした。

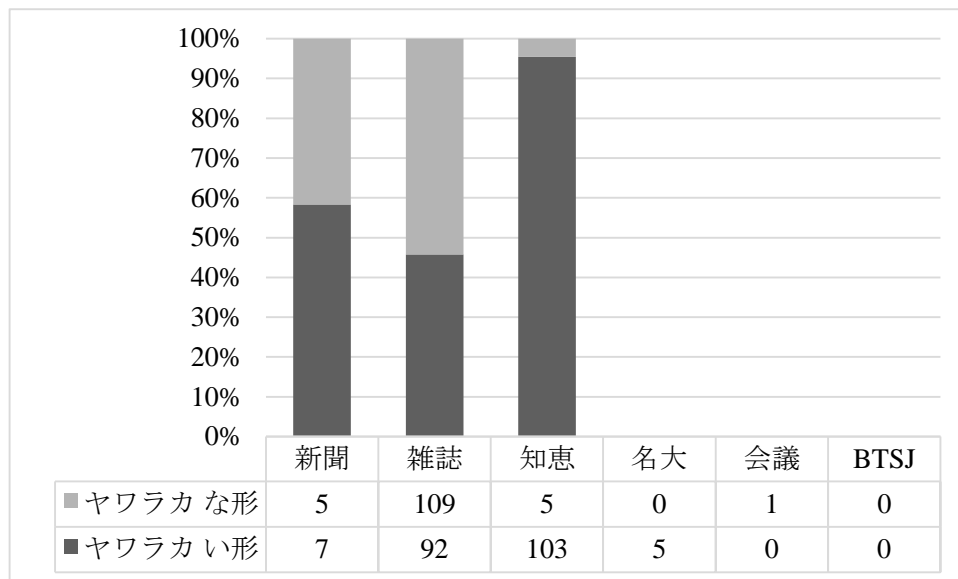


図 5.6 レジスター別に見る「ヤワラかい・ヤワラかな」の使用傾向（全体）

図 5.6 を見ると、『新聞』と『雑誌』の 2 つの改まり度の高いレジスターに比べ、改まり度の低いレジスターの『知恵』の方では「ヤワラかい」が多用されることが分かる。逆に言うと、『知恵』より、改まり度の高いレジスターでは「ヤワラかな」が多く使われている。つまり、レジスター変異の観点からみると、改まり度の低いレジスターほど「い形」が選択されやすく、改まり度の高いレジスターほど「な形」が選択されやすいと言える。この傾向は、5.3.1～5.3.5 で見た「オオキ」「チイサ」「オカシ」「アタタカ」「コマカ」の 5 組の語の傾向と一致している。

例えば、同一の名詞「声」に係る「ヤワラカ」の例は、『知恵』では 1 例（例(5-30)）あり、『雑誌』では 4 例（「い形」1 例 vs. 「な形」3 例、例(5-31)～例(5-34)）ある。『知恵』では「い形」が使用されているのに対して、『知恵』より改まり度の高い『雑誌』では「な形」が多く使われている。

- 例(5-30) 女性シンガーでやわらかい澄んだ声でした。
(『Yahoo!知恵袋』)
- 例(5-31) 頭部を覆う機械に組み込まれたイヤホンから、柔らかい声が届く。
(『雑誌』)
- 例(5-32) テレサの甘く柔らかな歌声は特に人気が高く、大陸の人々は、まったく異質の文化に触れたような感動を覚えて聴き入った。
(『雑誌』)
- 例(5-33) どうかしたのかしら？」と畠山が柔らかな声を出した。
(『雑誌』)

例(5-34) 気難しいのかな、と少し引いて見守ると、思いのほか、柔らかな声をかけてきた。

(『雑誌』)

5.4 「主語付き」連体修飾における使用傾向の確認

第4章では、「い形」と「な形」の使い分けは「Xい」と「Xな」が主語付き連体修飾用法であるかどうかに影響される、という基準を提示した。その基準は『新潮』に基づく分析を通して得た結果であるため、『新潮』においてのみ言えることなのか、あるいは他のレジスターにも一般化できるのかについて、本節で検証する。

本章では、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』、『BTSJ』、『名大』の6つの現代日本語コーパスより得られた実例を分析対象としており、6つのレジスターにおける「主語付き」連体修飾用例の分布は、表5.4に示した。

表 5.4 6つのレジスターにおける「主語付き」連体修飾用法の分布

		新聞	雑誌	会議	知恵	名大	BTSJ	合計
オオキ	い形	11	92	17	154	6	2	282
	な形	3	20	7	14	0	0	44
チイサ	い形	7	114	2	289	41	40	493
	な形	1	9	1	23	2	0	36
オカシ	い形	1	2	1	34	1	2	41
	な形	0	0	0	3	0	0	3
コマカ	い形	0	13	2	8	0	0	23
	な形	0	2	0	1	0	0	3
ヤワラカ	い形	0	10	0	11	2	0	23
	な形	0	2	0	0	0	0	2
アタタカ	い形	1	5	0	10	3	0	19
	な形	0	0	0	0	0	0	0
合計		24	269	30	547	55	44	969

表5.4では、「主語付き」連体修飾用法の合計出現頻度のうち、[オカシな]（3例）、[コマカナ]（3例）、[ヤワラカナ]（2例）、[アタタカナ]（0例）の4つ（網掛けしてある）は数字が低く、割合の比較に不向きであるため、ここから「オオキ」と「チイサ」の2組に限定して、「主語付き」連体修飾と「非主語付き」連体修飾における「い形」と「な形」の使用傾向を比較する。表5.5は、6つのレジスターにおける「オオキ」と「チイサ」の連体構造別出現頻度である。

表 5.5 各レジスターにおける「オオキ」「チイサ」の連体構造別出現頻度

		「オオキ」			「チイサ」		
		い形	な形	合計	い形	な形	合計
新聞	主語付き	11	3	14	7	1	8
	非主語付	8	217	225	8	52	60
雑誌	主語付き	92	20	112	114	9	123
	非主語付	73	1101	1174	125	515	640
会議	主語付き	17	7	24	2	1	3
	非主語付	25	406	431	14	41	55
知恵	主語付き	154	14	168	289	23	312
	非主語付	314	790	1104	461	433	894
名大	主語付き	6	0	6	41	2	43
	非主語付	129	72	201	75	25	100
BTSJ	主語付き	2	0	2	40	0	40
	非主語付	36	19	55	41	1	42
合計		867	2649	3516	1217	1103	2320

表 5.5 をグラフ化したものが図 5.7 と図 5.8 である。図 5.7 は「オオキ」の各レジスターにおける連体構造別の「い形」と「な形」の割合を表し、図 5.8 は「チイサ」の各レジスターにおける連体構造別の「い形」と「な形」の割合を表す。

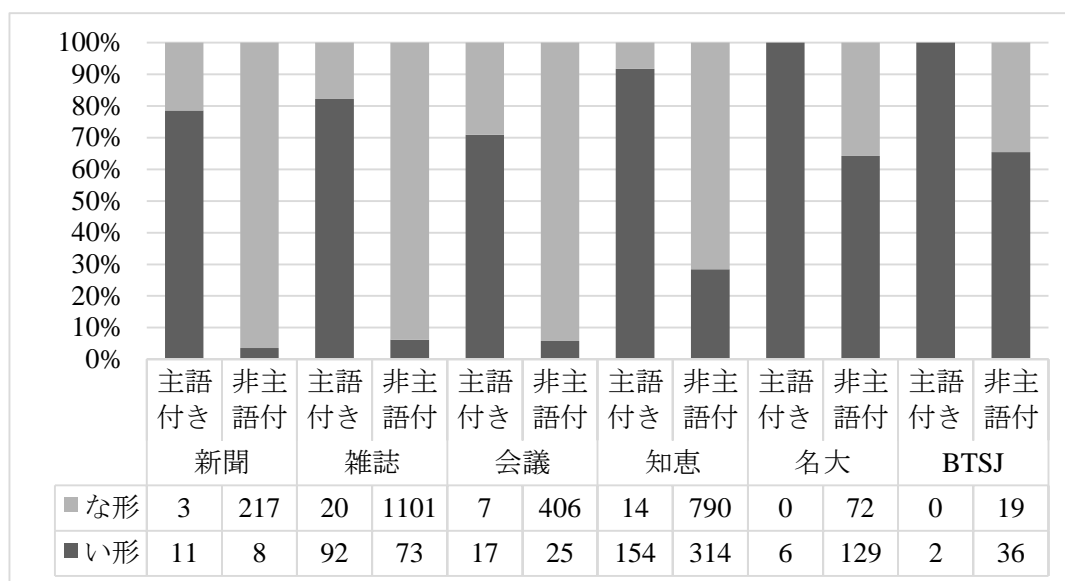


図 5.7 連体構造別から見る「オオキ」の「い形」と「な形」の使用傾向

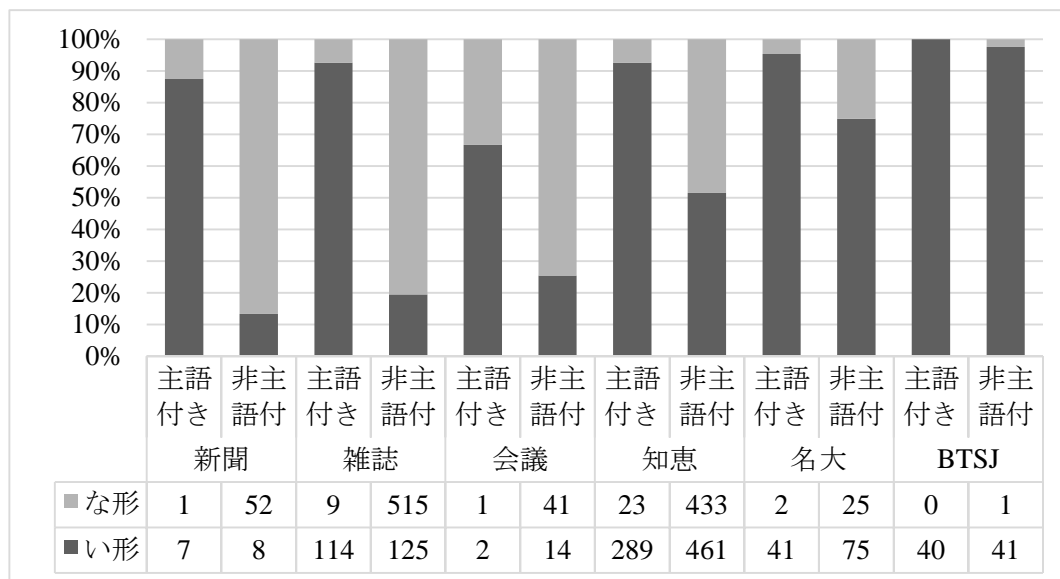


図 5.8 連体構造別から見る「チイサ」の「い形」と「な形」の使用傾向

まず、図 5.7 で「オオキ」の「主語付き」連体修飾構造と「非主語付き」連体修飾構造の「い形」と「な形」の使用を比較して見ると、『新聞』、『雑誌』、『会議』、『知恵』、『名大』、『BTSJ』の 6 つのレジスターはいずれも、「非主語付き」連体修飾用法より「主語付き」連体修飾用法では「い形」が多く使われていることが分かる。つまり、6 つのレジスターいずれにおいても、「主語付き」連体修飾用法の場合は「オオキい」が多く使われている。この傾向は、『新潮』においての、「主語付き」連体用法では「い形」が多用される結果を支持している。

次に、図 5.8 で「チイサ」の「主語付き」連体修飾構造と「非主語付き」連体修飾構造の「い形」と「な形」の使用傾向を比較して見ると、『新聞』、『雑誌』、『会議』、『知恵』、『名大』、『BTSJ』の 6 つのレジスターはいずれも、「非主語付き」連体修飾用法より「主語付き」連体修飾用法では「い形」が多く使われていることが分かる。つまり、6 つのレジスターいずれにおいても、「主語付き」連体修飾用法の場合は「チイサイ」が多く使われている。この傾向は、図 5.7 で示される「オオキ」と類似している。

「チイサ」の場合も、第 4 章で提示した、主語付き連体用法であるかどうかは「い形」と「な形」の使い分けに影響する、という基準を支持していると言える。

以上、「オオキ」と「チイサ」の、6 つのレジスターにおける連体修飾構造別の使用傾向について考察した結果、「X い」と「X な」は、レジスターを問わず、「主語付き」連体修飾の場合、「い形」が多く用いられている。つまり、「X い」と「X な」は、述語用法の場合、「い形」が用いられやすいということである。これは、第 4 章で提示した、「い形」と「な形」の使い分けの重要な要因は主語付き連体用法であるかどうかによる、という基準を支持すると言える。

5.5 補足 1：被修飾名詞の語種による使い分け

本節では、補足として、連体修飾用法における「X い」と「X な」は、被修飾名詞の語種（和語であるか漢語であるか）によって使い分けられているかについて検討する。検討に当たって、被修飾名詞を「和語」「漢語」「外来語」「混種語」の 4 種類に分類する必要がある。本研究では、データベースを構築する際に、被修飾名詞の語種の分類作業を実施した。語種の分類作業について、3.6.2 で述べた。

本章で分析対象とした 6 つの現代語コーパス『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』、『BTSJ』、『名大』における、研究対象 6 組の語の被修飾名詞の語種分布を表 5.6 に示した。

表 5.6 6 つの現代語コーパスにおける被修飾名詞の語種分布

		和語	漢語	外来語	混種語	合計
オオキ	い形	486	237	121	23	867
	な形	849	1357	359	84	2649
チイサ	い形	895	174	131	17	1217
	な形	575	319	183	26	1103
コマカ	い形	221	153	47	10	431
	な形	22	42	15	8	87
ヤワラカ	い形	96	56	41	14	207
	な形	48	40	25	7	120
アタタカ	い形	163	63	25	26	277
	な形	16	13	2	2	33
オカシ	い形	74	9	2	2	87
	な形	64	27	5	2	98
合計		3509	2491	956	221	7176

ここからの分析は、片仮名表記が入っている「外来語」「混種語」を除外し、「和語」と「漢語」のみに絞って分析することにした。図 5.9 は、表 5.6 を元に、「X い」と「X な」の語彙項目別で作成したグラフであり、研究対象「オオキ」「チイサ」「コマカ」「アタタカ」「ヤワラカ」「オカシ」の 6 組の語の、「和語」と「漢語」それぞれにおける「い形」と「な形」の割合を表す。

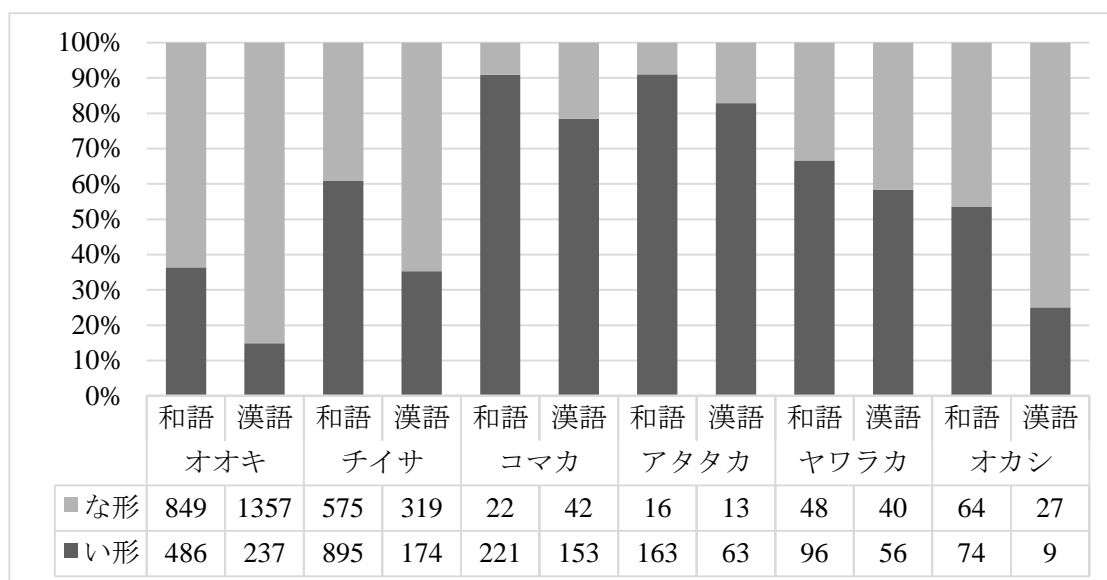


図 5.9 語種による「Xい」と「Xな」の使用傾向

図 5.9 を見ると、「オオキ」「チイサ」「コマカ」「アタタカ」「ヤワラカ」「オカシ」6組の語は共通した傾向が見られることが分かる。つまり、どのペアにおいても、和語に係る「い形」の割合が漢語より高く、漢語に係る「な形」の割合が和語より高いということである。言い換えれば、被修飾名詞が和語の場合は「い形」との結び付きが強く、被修飾名詞が漢語の場合は「な形」との結び付きが強い。

例えば、被修飾名詞「病院」は漢語である。6つのコーパスにおける「病院」の出現頻度の内訳は表 5.7 に示されているように、合計 70 例のうち、「い形」に接続しているのは 13 例、「な形」に接続しているのは 57 例であり、「な形」の方が圧倒的に多く使われている。

表 5.7 6つのコーパスにおける「病院」の実例の出現頻度

コーパス	い形	な形	合計
『知恵』	11	48	59
『雑誌』	0	5	5
『名大』	2	4	6
合計	13	57	70

5.3 節で『名大』や『BTSJ』など改まり度の低いレジスターでは「い形」が多く使用される傾向を見た。この「病院」が、典型的な話し言葉コーパス『名大』、及び、話し言葉の要素が強いレジスター『知恵』の中に出現しているにもかかわらず、「い形」ではな

く、「な形」の方に多く接続している理由として、「病院」という名詞が漢語であることに起因すると考えられる。例(5-35)～例(5-37)はその例である。

例(5-35) す、すぐ大きい病院行ってください、今すぐなんて言われた私の方が
び、びっくり仰天。

(『名大会話コーパス』)

例(5-36) うん、おっきな病院ほんとに待ち時間長いんですね。

(『名大会話コーパス』)

例(5-37) とにかく 大きな病院で診てもらえと。

(『名大会話コーパス』)

5.6 補足2：「Xい」と「Xな」の語彙項目による使い分け

5.3 節でレジスター変異の観点から、6つのコーパスにおける6組の「い形」と「な形」の割合を比較し、「Xい」と「Xな」の使用傾向を検討したが、レジスター別ではなく語彙項目別で「い形」と「な形」の使用傾向を比較すると、どのようなことが言えるであろうか。表5.2 (p.96) の出現頻度を元に、語彙項目別でグラフにしたものが図5.10～図5.15である。なお、「い形」と「な形」とどちらか片方又は両方の出現頻度が0であるものは、割合の比較に不向きであるため、出現実数のみ表示させ、棒グラフは表示させないことにした。

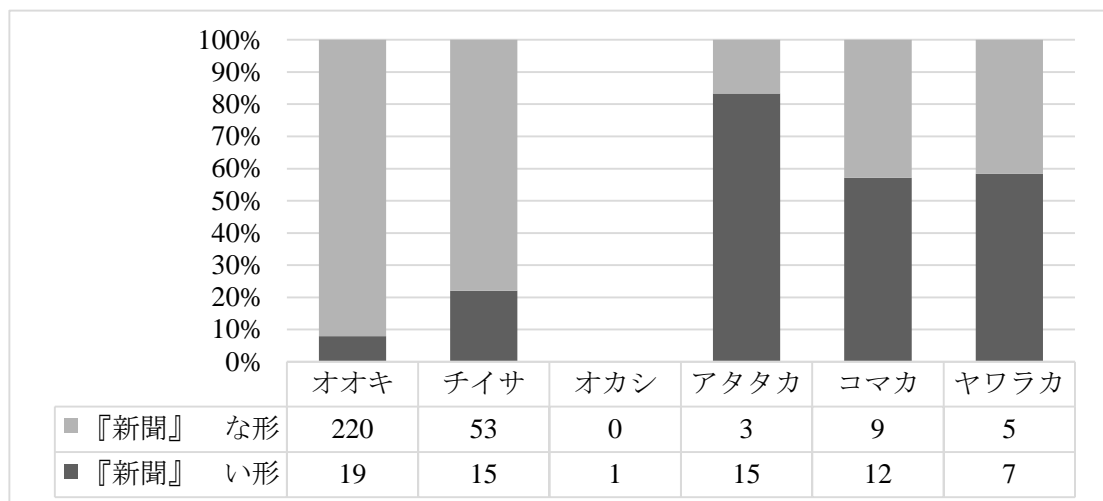


図 5.10 『新聞』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向

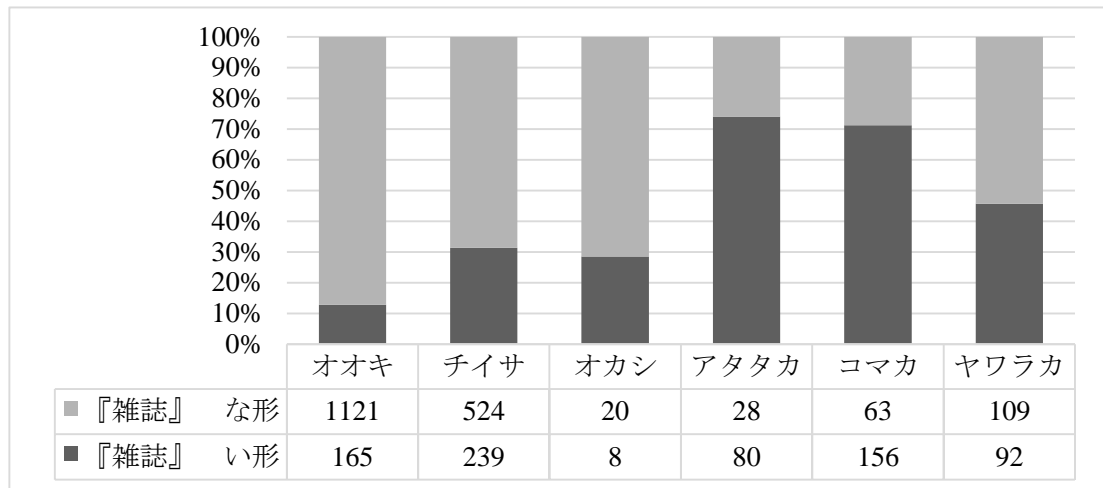


図 5.11 『雑誌』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向

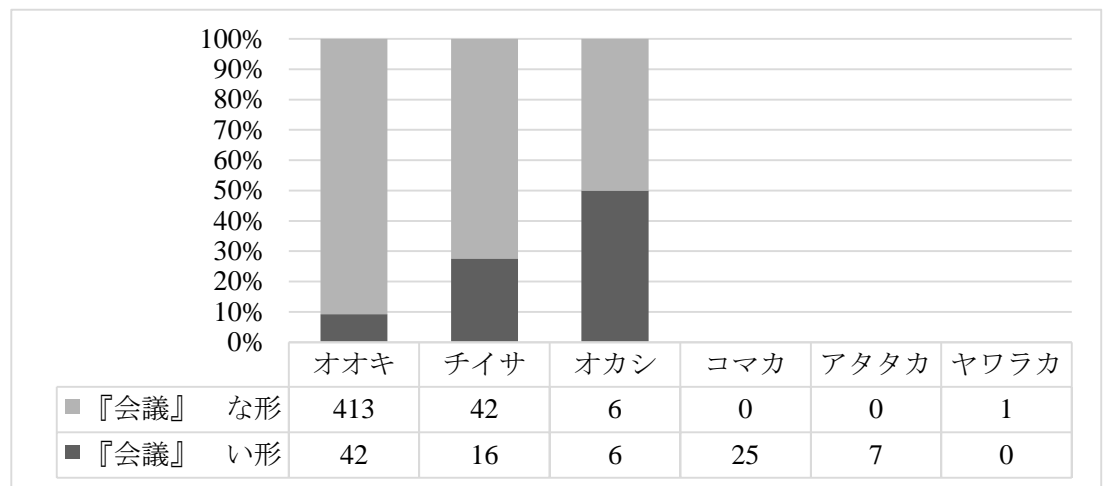


図 5.12 『会議』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向

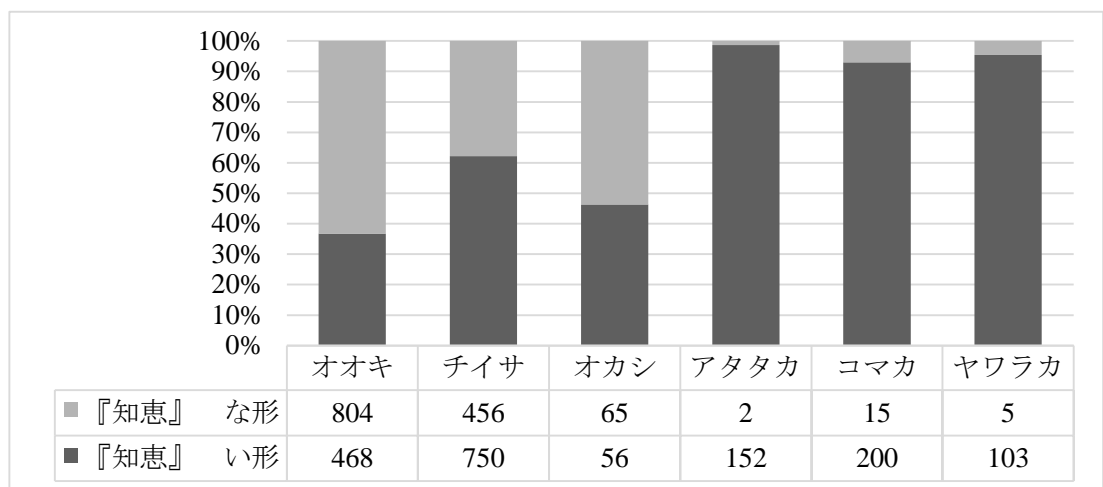


図 5.13 『知恵』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向

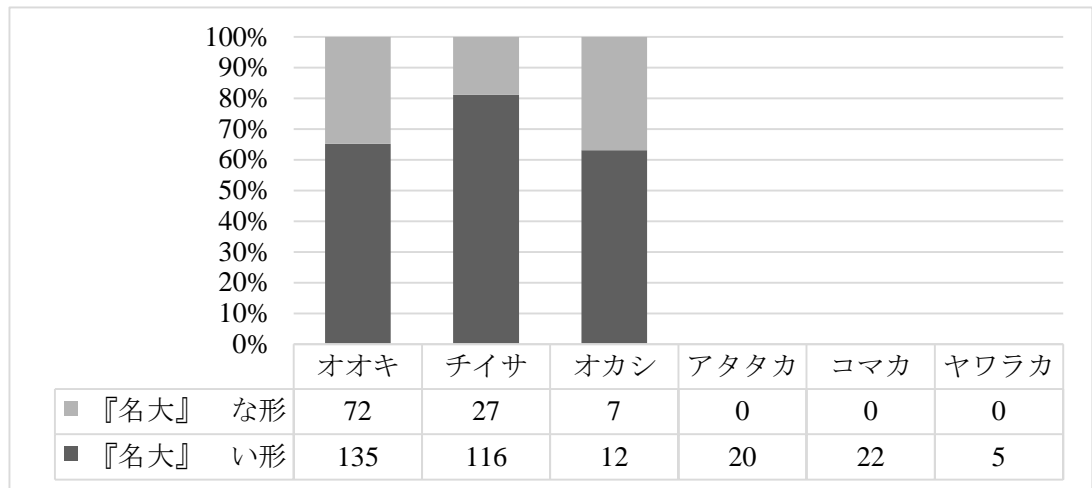


図 5.14 『名大』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向

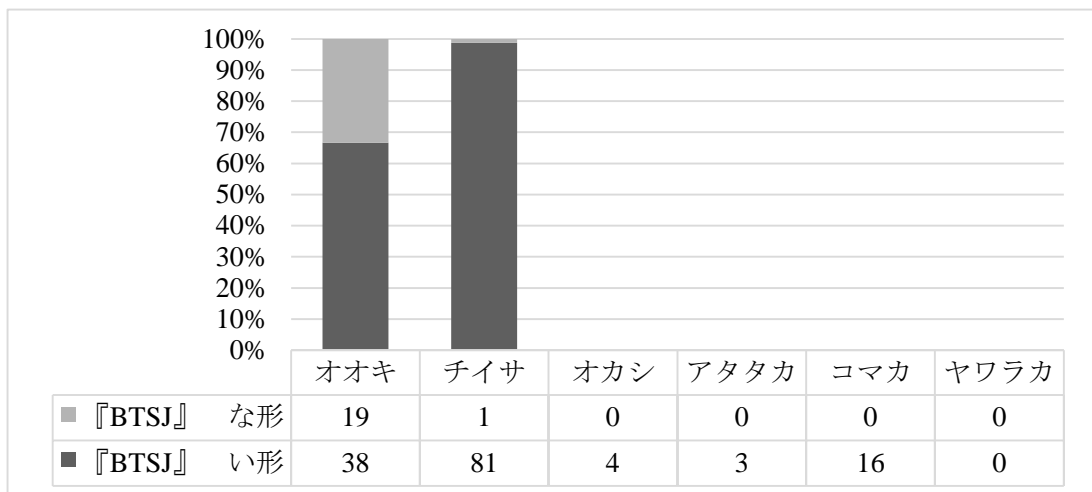


図 5.15 『BTSJ』における各ペアの「い形」と「な形」の使用傾向

図 5.10～図 5.15 を見ると、個々のコーパスにおける「X い」と「X な」の使用傾向は、6 組の語はそれぞれ異なる、また、その使用傾向は、どのレジスターにおいても同様ではないことが分かる。

分析対象 6 組の語のうち、「イ形容詞 vs. 連体詞」の「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組と、「イ形容詞 vs. ナ形容詞」の「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の 3 組と比べると、「イ形容詞 vs. 連体詞」のペアでは「な形」（＝連体詞）が多く出現し、「イ形容詞 vs. ナ形容詞」のペアでは「い形」が多く出現する。

また、同じく「形容詞 vs. 連体詞」の「オオキ」と「チイサ」と比べると、両者の間も語形の出現傾向は同一ではなく、「オオキ」は「チイサ」よりも「な形」が多用されていることが分かる。これまでの「X い」と「X な」の使い分けに関する議論の中では、殆どのケースで「オオキ」と「チイサ」の 2 組を一括して議論がなされているが、実際には「オオキ」と「チイサ」の間にも語形の出現傾向には違いが存在する。「オオキ」には

「な形」が好まれ、「チイサ」には「い形」が好まれる。この傾向は 6 つのコーパスに共通して見られた。

以上、語彙項目別に「い形」と「な形」の使用傾向を考察した結果、「X い」と「X な」の 6 組の語形の出現の傾向は語彙項目によって異なることが分かった。よって、「語幹を共有する連体修飾語」という共通性があるが、「X い」と「X な」その語彙項目によって、連体修飾用法における「い形」と「な形」の振る舞いが異なると言える。

柴田(1982:144)は、その他の「い形」と「な形」のペアの語に関して、「チイサイ・チイサナ、オオキイ・オオキナの意味の違いに並行するものだろう」と述べているが、本節の分析結果から、研究対象 6 組の語の「い形」と「な形」の使用傾向は並行しないことが分かった。

5.7 まとめ

第 4 章では『新潮』における「X い」と「X な」の使用傾向を考察し、「X い」と「X な」は被修飾名詞の抽象・具象による使い分けはなく、その用法が連体修飾か述語となるものかにより「い形」と「な形」の選択が影響されることが明らかになった。しかしながら、それは『新潮』においての結論であり、一般化できるかどうかを明らかにするには、他のレジスターと比較する必要がある。

従って、本章では、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』、『BTSJ』、『名大』の 6 つの現代日本語コーパスから抽出した実例に基づき、異なるレジスターで、「X い」と「X な」の使用にはどのような相違があるのかを検討した。本章の検討によって、以下 4 点が明らかになった。

第一に、5.3 節では、レジスター変異の観点から、性質の異なる 6 つのコーパスにおける「X い」と「X な」の使用傾向の相違について検討した結果、改まり度の高いレジスターでは「な形」が「い形」より好まれ、改まり度の低いレジスターでは「い形」の方が好まれることが明らかになった。具体的に言うと、例えば、書き言葉的レジスターと話し言葉的レジスターの両者を比較する場合、書き言葉的レジスターの方が一般的に話し言葉的レジスターより改まり度が高いため、書き言葉的レジスターでは「な形」が「い形」より選択されやすく、話し言葉的レジスターでは「い形」の方が選択されやすいのである。友達や家族と話すような日常会話レジスターと、講演や会議などの公的な場での会話レジスターの両者を比較する場合、「な形」は改まり度の高い公的な場での会話レジスターとの結び付きが強く、「い形」は友達や家族と話すような日常会話レジスターとの結び付きが強い。新聞や雑誌など表現が硬い出版物レジスターと、ネット掲示板やブログなど比較的表現が柔らかいウェブサイトレジスターの両者を比較する場合、表現の硬い出版物レジスターでは「な形」を、表現の柔らかいウェブサイトレジスターでは「い形」を多用する傾向がある。

第二に、5.4 節では、レジスターを問わず、主語付き連体修飾用法では「い形」が多く使用される、という傾向が確認された。これは、第 4 章で提示した、主語付き連体用法であるかどうかは「い形」と「な形」の使い分けに影響を与える、という基準を支持する。つまり、どのレジスターでも、どのペアでも、主語付き連体修飾用法の場合には、「な形」より「い形」の方が選ばれやすい。この基準は、連体修飾用法における「X い」と「X な」全般に言えることであり、「X い」と「X な」の使い分けの重要な要因の一つであると言える。

第三に、5.5 節では、6 つの現代日本語コーパスにおける 6 組の「X い」「X な」の出現頻度に基づき、被修飾名詞の語種によって使い分けられるかを検討した結果、被修飾名詞が和語である場合は「い形」が選択されやすく、被修飾名詞が漢語である場合は「な形」が選択されやすいことが分かった。よって、被修飾名詞の語種も「X い」と「X な」の使い分けに影響する要因の一つと考えられる。

第四に、5.6 節では、6 つの現代日本語コーパスにおける 6 組の「X い」「X な」の出現頻度を比較することを通して、「X い」と「X な」は各々の語彙項目によって、連体修飾用法における「い形」と「な形」の振る舞いが異なることが分かった。この結果から、「い形」と「な形」の使い分けは「X い」と「X な」その語彙項目にもより、研究対象 6 組の語の「い形」と「な形」の使い分けは並行しないと言える。

第 6 章 「X い」と「X な」の使い分けの基準

本章では、第 4 章と第 5 章の分析結果をまとめ、連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けの基準を提示し、それに基づいた「い形」と「な形」の使い分けモデルを提案する。

6.1 第 4 章と第 5 章の分析結果のまとめ

第 4 章では、①「X い」と「X な」の使い分けが、被修飾名詞の性質（具象名詞なのか、抽象名詞なのか、形式名詞なのか）によるのか、②「X い」と「X な」の使い分けが、「い形」と「な形」の文法的機能（述語として働くか連体修飾語として働くか）によるのか、③「X い」と「X な」の使い分けが、意味的な差異によるのか、の 3 点に着目し、『新潮』に見られる語幹を共有する連体修飾語 6 組の語の実例に基づき、先行研究で指摘された「X い」と「X な」の使い分けについて検討した。

まず、4.2 節で『新潮』における全体的な使用傾向を「い形」と「な形」の割合の比較を通して観察した結果、「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組は「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の 3 組に比べて「な形」が多用され、逆に、「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の 3 組は「オオキ」「チイサ」「オカシ」の 3 組に比べて「い形」が多用されることが分かった。このことから、研究対象 6 組の語において、「形容詞・連体詞」のペアにおいて「な形」が選択されやすく、「形容詞・形容動詞」のペアにおいて「い形」が選択されやすいと言える。更に、各ペアの「い形」と「な形」の割合を細かく見た結果、6 組の語のそれぞれの「い形」と「な形」の割合が大きく異なることが分かった。ここに、確認するため、4.2 で分析した『新潮』における「X い」と「X な」の使用傾向グラフ（p.54 図 4.1）を再掲する。

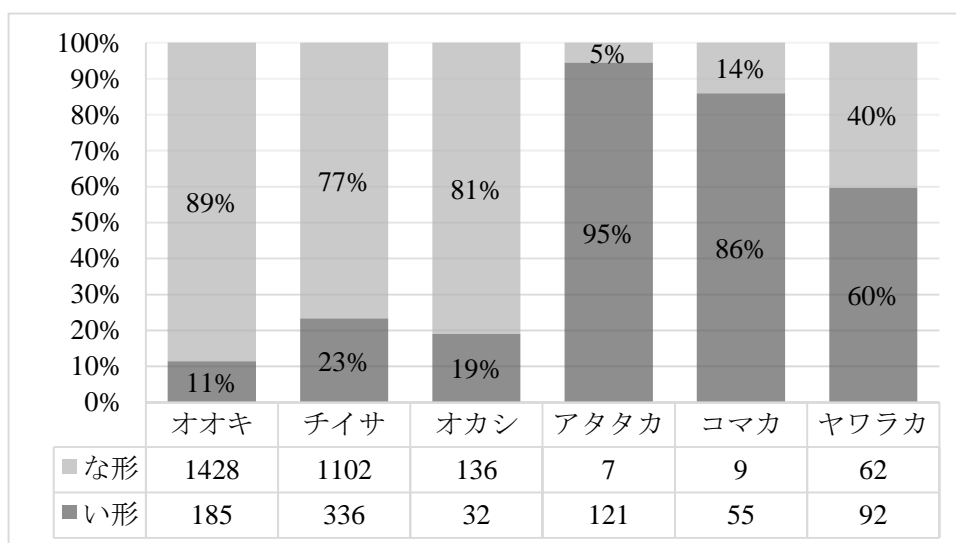


図 4.1 『新潮』における「X い」と「X な」の使用傾向（再掲）

例えば、「オオキ」も「チイサ」も、「い形」より「な形」が多く用いられるという傾向は一致しているが、[オオキな]（[オオキい]）が使用される度合いと、[チイサな]（[チイサイ]）が使用される度合いとは異なる。「い形」は「オオキ」より「チイサ」との結び付きが強く、「な形」は「オオキ」との結びつきの方が「チイサ」より強いということである。つまり、「Xい」と「Xな」はそれぞれの連体修飾用法における振る舞いが異なり、「い形」と「な形」の選択は、「Xい」と「Xな」その語彙自体にもよると言える。このことから、名詞を修飾する場合、「い形」を使用するか「な形」を使用するかという選択に、多様な要因が混在していると予想できる。「Xい」と「Xな」をペアとして持つ語に共通した使い分けの基準が存在する上、個々のペアに対してしか適用されない独立した使い分けの基準も存在すると思われる。

次に、4.3 節で、先行研究で指摘された、「い形」は具象名詞に、「な形」は抽象名詞に係りやすいという使い分けの基準を、『新潮』における「Xい」と「Xな」の実例に基づいて検証した。『新潮』における6組の語の被修飾名詞を「形式名詞」、「具象名詞」、「抽象名詞」、「固有名詞」の4種類に分類し、「い形」と「な形」の使用傾向を考察した結果、「い形は具象名詞に、な形は抽象名詞に係りやすい」という基準が一般化できないことが明らかになった。具体的に、「い形」は具象名詞、抽象名詞、固有名詞に係る割合が、形式名詞に係る割合より低いため、「い形は具象名詞に使うことが多い」ということが言えない。また、「抽象名詞には『な形』を用いるのが普通である」ことは、「オオキ」と「チイサ」の2組には言えるが、「オカシ」「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」の4組に対して、「な形」が抽象名詞に係る割合と具象名詞に係る割合とははっきりした違いが見られないため、被修飾名詞の具象・抽象という基準による使い分けはないと言える。よって、被修飾名詞の分類に見られる「Xい」と「Xな」の6組の語の共通した特徴は、形式名詞には「い形」が接続しやすい点である。被修飾名詞の性質（形式名詞であるか、実質名詞であるか）が「い形」と「な形」の選択に影響を与えていると共通に言えるが、抽象・具象による使い分けは一般化できないと言える。

また、4.4 節で、「Xい」と「Xな」の連体修飾用法を「主語付き」と「非主語付き」に分けて「い形」と「な形」の使い分けを考察した。その結果、「主語付き」連体修飾用法では、「い形」が多く用いられていることが分かった。「主語付き」構造の連体修飾用法は、「Xい」と「Xな」とそれに先行する主語が連体修飾節を形成して後ろの名詞を修飾する場合、「Xい」と「Xな」は主語名詞の述語としての機能と、後続する被修飾名詞の修飾語としての機能の両方を持つ。そのような「主語付き」連体修飾用法であれば、被修飾名詞の種類を問わず、「い形」が多用される。つまり、「Xい」と「Xな」が文中で述語用法として使われる場合は「い形」が選ばれやすいということである。これは、『新潮』では、6組の語全般に言える「Xい」と「Xな」の使い分けの基準であると思われる。また、「Xい」と「Xな」が連体修飾節中の述語として使われる場合、その述語の主

語を表す助詞に「が」が来る場合は「い形」、「の」が来る場合は「な形」が好まれる傾向も見られた。

更に、4.5 節で、「主語付き」構造を除いた「非主語付き」構造の、形式名詞を除いた名詞に限定して「X い」と「X な」の使い分けは意味的な差異によるかを検討した。結果、非主語付き連体修飾用法では、(1)慣用句的表現で使用される場合は「大きな」を使うのが普通である、(2)「オカシイ」と「オカシな」の間に意味的な差が見られ、「オカシイ」だけが「面白い」「笑いそう」の意味を持つ、という 2 点が明らかになった。他の「X い」と「X な」に関して、意味的差異による使い分けは見られなかった。

以上は第 4 章の分析結果のまとめである。

第 5 章では、『知恵』、『会議』、『雑誌』、『新聞』、『BTSJ』、『名大』の 6 つの現代日本語コーパスから抽出した実例に基づき、レジスター変異の観点から、「X い」と「X な」の使い分けは社会言語学的なレジスターの違いに基づくのか、ということを考察した。また、補足として、被修飾名詞の語種による使い分け、及び、「X い」と「X な」各々の語彙項目による使い分けはあるかどうかを分析した。その結果、以下の 4 点が明らかになった。

第一に、改まり度の高いレジスターでは「な形」が好まれ、改まり度の低いレジスターでは「い形」が好まれる、という「X い」と「X な」の使い分けの基準が明らかになった。(5.3 節)

第二に、レジスターを問わず、主語付き連体修飾用法、つまり「X い」と「X な」が文中で述語用法として使用される場合では「い形」が多用される傾向が確認された。この傾向は、連体修飾用法における「X い」と「X な」全般に言えることであり、「X い」と「X な」の使い分けの基準の一つである。(5.4 節)

第三に、「い形」と「な形」の使い分けは被修飾名詞の語種にもよる。被修飾名詞が和語の場合は「い形」との結び付きが強く、被修飾名詞が漢語の場合は「な形」との結び付きが強い。(5.5 節)

第四に、「X い」と「X な」自体の語彙項目によって、連体修飾用法における「い形」と「な形」の振る舞いが異なる。「X い」と「X な」各々の語彙項目それ自体が、「い形」と「な形」の使い分けの要因になる。研究対象 6 組の語の「い形」と「な形」の使用傾向は並行しない、ということが言える。(5.6 節)

6.2 「X い」と「X な」の使い分けの基準

6.1 でまとめた本研究の分析結果より、連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けの基準を以下のように提示することができる。

(1) <全体的に見られる使い分けの基準>

- ① 文中での機能：「い形」と「な形」は、その用法が、連体修飾なのか述語用法なのかにより使い分けられ、述語用法では「い形」が多く用いられる。例えば、「大きい家」「大きな家」という表現はどちらも多く使われているが、「窓が（大きい／大きな）家」のように、「大きい／大きな」が述語用法である場合、「大きい」を使って「窓が大きい家」とするのが多い。
- ② レジスター変異：「い形」と「な形」は、その使用域が、硬い書き言葉や改まり度の高い場面なのか日常的話し言葉やくだけた場面なのかにより使い分けられ、改まり度の低いレジスターほど「い形」が多く用いられる。例えば、「小さい子供」と「小さな子供」とは両方可能であるが、実際には「小さい子供」の方がより日常的な発話で用いられる。
- ③ 被修飾名詞の性質：「Xい」と「Xな」が形式名詞を修飾する場合は「い形」が多く使われている。それに対して、実質名詞を修飾する場合には「な形」が多く使われている。例えば、「大きいほう」、「小さいため」、「おかしいこと」、「温かいうち」、「細かいほど」、「やわらかいわりに」の中の「い形」は「な形」に置き換えることが難しい。
- ④ 「主語付き」修飾節の主語助詞：「主語付き」連体修飾節を成す場合、主語助詞に「が」が来ると「い形」が使われやすく、主語助詞に「の」が来ると「な形」が使われやすい。例えば、「目が大きい少女」と「目の大きな少女」のように、「～が Xい＋名詞」「～の Xな＋名詞」の組み合わせは、「～の Xい＋名詞」「～が Xな＋名詞」の逆の組み合わせより好まれる。
- ⑤ 被修飾名詞の語種：被修飾名詞が和語の場合は「い形」との結び付きが強く、被修飾名詞が漢語の場合は「な形」との結び付きが強い。例えば、「大きな病院」は「大きい病院」より出現頻度が圧倒的に高い。

(2) <部分的に見られる使い分けの基準>

- ① 抽象名詞には「オオキな」「チイサな」を用いるのが普通である。例えば、「大きな影響」、「大きな原因」、「小さな旅」、「小さな事件」などの「な形」は「い形」に置き換えると不自然に感じられることが多い。
- ② 「い形」と「な形」の使い分けは「Xい」と「Xな」各々の語彙項目によって使用傾向が異なる。「オオキ」は「チイサ」と比べて相対的に「な形」との結び付きが強く、「チイサ」は「オオキ」と比べて相対的に「い形」との結び付きが強い。
- ③ 形容詞 vs.形容動詞のペア（「アタタカ」「コマカ」「ヤワラカ」）では「い形」（形容詞）との結びつきが強く、形容詞 vs.連体詞のペア（「オオキ」「チイサ」「オカシ」）では「な形」（連体詞）との結びつきが強い。

- ④ 「オカシい」と「オカシな」は両方とも、＜普通と異なる＞、＜その理由が分からない＞、＜変な＞、＜不可解な＞という意味を持つが、＜面白い＞＜笑いそうな＞を表す場合には、「オカシい」を用いる。
- ⑤ 慣用句的表現で使用する場合は決まった語形を選ぶ。例えば、「大きなお世話」は「大きいお世話」とは言えない、「小さな親切」の「小さな」は「小さい」に置き換えると不自然になる。

以上述べたように、「い形」と「な形」の選択に多様な要因が混在しており、「い形」と「な形」の使い分けを一つの基準で捉えることは困難であると考えられる。そこで、本研究は、以上で提示した使い分けの基準に基づき、名詞を修飾する「い形」と「な形」の使い分けモデルを、表 6.1 にまとめたように提案する。

表 6.1 名詞を修飾する「い形」と「な形」の使い分けモデル³⁶

	要因	い形が好まれる条件	な形が好まれる条件
共通基準	「Xい」「Xな」の文法的機能	述語用法	連体用法
	レジスターの改まり度	改まり度が低い	改まり度が高い
	被修飾名詞の性質	形式名詞	実質名詞
	「主語付き」修飾節の主語助詞	助詞「が」	助詞「の」
	被修飾名詞の語種	和語	漢語
個別基準	「Xい」「Xな」ペアの種類	形容詞 vs. 形容動詞ペア	形容詞 vs. 連体詞ペア
	語彙項目	「チイサ」	「オオキ」
	「オカシ」の意味的差異	＜面白い＞ ＜笑いそうな＞	＜不審な＞ ＜不可解な＞
	慣用句的表現	「小さいとき・ころ」 「小さな親切」	「大きなお世話」 「柔らかな頭」

表 6.1 に示した個々の条件は絶対的なものではなく、それぞれ個別で独立して見られる。すなわち、「い形」が好まれる条件が文の中に多ければ多いほど「い形」が使われやすく、「な形」が好まれる条件が多ければ多いほど「な形」が使われやすいと考えられる。

表 6.1 で提案した「い形」と「な形」の使い分けは、何らかの条件の下では「言える」・「言えない」、あるいは「い形」と「な形」の一方が「使える」・もう一方が「使えない」、という問題ではなく、その条件が出現する場合「い形」か「な形」が「好まれ

³⁶ 表の構成は藤村(2009)を参考した。

る」「選択しやすい」ということである。すなわち、その条件が出現すると、「い形」か「な形」の選択が促進されると考えられる。

例えば、名詞「人」を修飾する「Xい」と「Xな」の例を挙げる。「大きい人・大きな人」「小さい人・小さな人」「おかしい人・おかしな人」「あたたかい人・あたたかな人」「細かい人・細かな人」「やわらかい人・やわらかな人」、これらはいずれもごく普通の表現であり、「い形」と「な形」どちらを用いても「間違い」ではない。ただ、表 6.1 で提案したモデルから言うと、以下のことが解釈できると言えよう。

まず、「人（ひと）」という名詞が「和語」である、という性質は「い形」を選択することを促進するため、例(6-1)～例(6-6)のように「い形」が用いられている例が多い。例(6-1)～例(6-3)は日常会話コーパスから取得した例であり、例(6-4)～例(6-6)はネット掲示板コーパスから得た例である。例(6-1)～例(6-6)より改まり度の高いレジスターになると、「な形」の選択が促進されるため、例(6-7)～例(6-9)のように「な形」が用いられている例が挙げられる。例(6-7)～例(6-9)は雑誌データや小説データであり、日常会話やネット掲示板データより改まり度が高い。また、同じ改まり度の高いレジスターであっても、「Xい」と「Xな」は、文中で述語用法として使われる場合「い形」が好まれるため、例(6-10)～例(6-12)のように「い形」が使われるようになる。例(6-10)～例(6-12)も雑誌や小説コーパスから得た例である。他のコーパスにも勿論、例(6-13)～例(6-16)のような、「Xい」と「Xな」が述語用法で「い形」が使われている用例が存在する。更に、その述語として使われている「Xい」と「Xな」は、所在している修飾節の主語助詞が「の」になる場合、「な形」の選択が促進され、例(6-17)～例(6-20)のように「な形」が選択されやすいと考えられる。

例(6-1) やっぱりねー、大きい人がいいよ。
(『名大会話コーパス』)

例(6-2) はいはい、わかるわかる、ちっちゃい(うん)、細い、人?
(『BTSJ』)

例(6-3) 放してたんですけど、何かもうおかしい人ばかり。
(『名大会話コーパス』)

例(6-4) なんて暖かい人達なんだと思い、大阪に憧れ今年引っ越そうと思いました。
(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-5) アメリカ人も細かい人は非常に細かいとこまで気にします、ロケットやコンピューター、ハリウッド映画をどんどん作れる国民性ですから。
(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-6) 柔らかい人が多いので似ているという感じじゃないでしょうか?
(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-7) 日に焼けて、脱色した髪がばさばさに乾燥したあの大きな人、あんまりものごとにかまわないんだなあと、そんなことを思いながら葵はシャツやタオルをはたき、次々と干していった。

(『雑誌』)

例(6-8) 事実、山本五十六は、小さな人であった。

(『新潮文庫』)

例(6-9) 厚子も、行助をおかしなひとだ、と思っていた。

(『新潮文庫』)

例(6-10) スtockワークは、人によって動きが大きい人、ほとんど手首だけ動く人、また動く速度に変化がある人などさまざまですが、ずらし利用のショートターンや、カービングでもスピードコントロールを目的とした滑りならば、この逆ひねり作用を引き出せるstockワークが確実に有効です。

(『雑誌』)

例(6-11) 背が小さい人は、トップス（上半身）とボトムス（下半身）に強い色のコントラストをもってこない。

(『雑誌』)

例(6-12) なぜなら、彼らと一緒に走り障害物を抜けるのは大なり小なり頭がおいしい人たちで、その幾人かは子供たちに気を使ってゆっくり走ってくれたものの、他の大多数は子供なぞはおしのけて、真剣に歯を喰いしばって力走したからである。

(『新潮文庫』)

例(6-13) 私も上の方と同じで口が大きい人って魅力的だと思います

(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-14) 穏和な人と気が小さい人の見分け方を教えて下さい。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-15) ちょっと動きがおかしい人やしゃべり方が変な人見て笑うことあるじゃないですか。

(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-16) 新体操選手やバレリーナなどのように体が柔らかい人は、基礎代謝が高いと聞いたのですが本当ですか？

(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-17) ドームテントと違って屋根は高く、体の大きな人でも室内ではゆうに立ってられる

(『雑誌』)

例(6-18) 足の大きな人みなさん、どうしてですか？

(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-19) 胸の小さな女の人が好きな男性は、理由は何ですか？

(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-20) でもたぶん ああゆう少し頭のおかしな人って一部じゃん？

(『Yahoo!知恵袋』)

例(6-1)～例(6-20)を見てきたように、「い形」と「な形」の使い分けは、絶対的な、唯一な基準によるのではなく、一つ一つの条件は、多変量的な要因のうち的一部分であると考えられる。表 6.1 で提案した使い分けモデルの条件はそれぞれ独立しているが、矛盾し合うものではない。他にも様々な条件（例えば、「もっと大きい理由は…」 「非常に大きい収益を上げ…」のように「X い」「X な」の前に副詞成分が来ること、「築地のような大きな魚市場」「『北国』という小さな飲み屋で…」のように「～ような」「～という」等の前接成分が存在すること等は、「い形」と「な形」の使い分けに影響する要因であるかどうか）が関与し得るに違いないが、それらも、実際の使用傾向に基づきモデルの表の中に適切に配置されると考えられる。

6.3 考察と示唆

連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けについて、柴田(1977)を始めとする一連の研究がなされてきた。しかしながら、第 2 章で説明したように、問題点がまだ残っている。

本研究では、7つの現代語コーパスを分析資料とし、語幹を共有する 6 組の語の使用実態を分析し、「い形」と「な形」の使い分けの基準を提示することを研究目的とした。第 4 章と第 5 章の分析を通し、名詞を修飾する「い形」と「な形」の選択に多様な要因が混在していることを指摘し、それに基づいた「い形」と「な形」の使い分けモデル（表 6.1）を提案することができた。

まず、「い形」と「な形」は、その用法が、連体修飾なのか述語用法なのかにより使い分けられる、述語用法では「い形」が多く用いられる、ということが明らかになった。

また、先行研究にあった「抽象名詞に「な形」が多く使われ、具象名詞に「い形」が多く使われている」という基準は一般化できないことも分かった。

実際、研究対象 6 組の語の「い形」の機能と「な形」の機能は、単語によって異なることも明らかになった。「大きい・大きな」「小さい・小さな」「おかしい・おかしな」の 3 組は「形容詞 vs. 連体詞」のペアであり、連体修飾用法には他の「あたたかい・あたたかな」「細かい・細かな」「やわらかい・やわらかな」のような「形容詞 vs. 形容動詞」のペアとは異なった性質を持つ可能性が想定できる。

柴田(1982:144)が、その他の「い形」と「な形」のペアの語に関して、「チイサイ・チイサナ、オオキイ・オオキナの意味の違いに並行するものだろう」と述べているように、過去の研究では、連体修飾語の「X い」と「X な」とが同じような意味を持ち、同じよう

に分布すると考えられていた。異なったペアの「X い」と「X な」を、1つの種類だけで一般化したりしようとする、不正確な結論を出してしまう可能性が高い。

本研究の調査を通して、「X い」と「X な」は、レジスターによって使用状況が異なることが分かった。レジスターの相違は「い形」と「な形」の選択に影響を与える。

レジスターによる用い方の差異は、先行研究では全く触れられていない新しい発見である。話し言葉のような改まり度の低いレジスターにおいて「い形」が多く用いられるのは、「い形」と「な形」がもつ歴史的背景に起因すると思われる。「い形」形容詞は日本語の土着語に由来するのに対し、「な形」は「～なり」という形で文書に用いられる形式であった。そのため、現代に至っても話し言葉に多く使われるのは「い形」であり、「な形」は好まれない傾向があるのではないかと考えられる。

最後に、本研究で分析対象とした6組の語のうち、「オオキ」と「チイサ」は出現頻度の最も高いものであり、連体修飾用法においてそれぞれ非常に異なる使用傾向を示している。例えば、「オオキ」は「チイサ」と比べて相対的に「な形」との結び付きが強く、「チイサ」は「オオキ」と比べて相対的に「い形」との結び付きが強いという傾向は本研究の調査によって明らかになった。何故そのような相違が存在しているかという、共時的な分析だけでは解釈できないと考えられる。現代語に見られる使用特徴は、言語の歴史的な、通時的な習慣に影響されてきたのではないかとと思われる。

そこで、次の第7章では、近代語コーパスのデータに基づき、「オオキ」と「チイサ」の使用実態の通時的变化を観察することを通して、言語の通時的变化が現代語に見られる「オオキ」「チイサ」の使用相違にどのように影響しているのかを検討する。

第7章 近代語における「Xい」と「Xな」の使用傾向

第4章から第6章では、現代語コーパスに対する調査を行い、現代日本語の連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使用傾向を考察し、「Xい」と「Xな」の使い分けの基準を提示した。その結果を踏まえ、本章では、近代日本語の資料を対象に調査を行い、連体修飾用法における「オオキ」と「チイサ」の2組の語の使用実態を観察し、過去における言語の状態が現代語に見られる特徴とどのように関係しているかを検討する。調査に使用したのは、『太陽コーパス』と『近代女性雑誌コーパス』の2つの近代語コーパスである。

7.1 はじめに

連体修飾用法における「Xい」と「Xな」の使い分けについては、森田(1977)を始めとする一連の研究がなされてきた。しかしながら、共時的な意味の違いを分析するに際し、通時的な使用の変遷は、考慮されては来なかった。本研究では共時的分析を支えるものとして通時的分析を取り込む。

第4章と第5章の分析結果から、本研究で分析対象とした6組の連体修飾語のうち、「オオキ」と「チイサ」は出現頻度の最も高いものであるが、それぞれ異なる使用傾向があることが分かった。図7.1は、第4章と第5章の分析で使用した7つの現代語コーパスにおける「オオキ」と「チイサ」の使用傾向を表す。図7.1から、「オオキ」は「チイサ」と比べて相対的に「な形」との結び付きが強く、「チイサ」は「オオキ」と比べて相対的に「い形」との結び付きが強いという傾向は一目瞭然である。

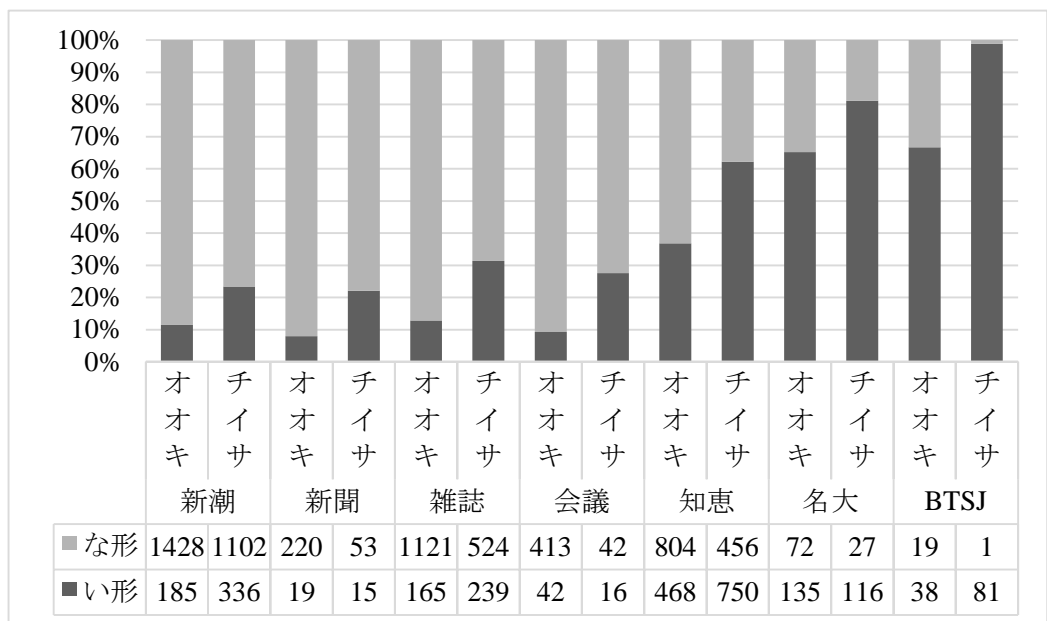


図 7.1 現代語コーパスにおける「オオキ」と「チイサ」の使用傾向

何故「オオキ」と「チイサ」の間にそのような相違が存在しているかは、共時的な分析だけでは解釈できないと思われる。現代語に見られる特徴は、言語の歴史的な習慣に影響されているのではないかと考えられる。

そこで、本章では、近代語コーパスのデータに基づき、通時的観点から、「オオキ」と「チイサ」の使用実態の歴史的変化を観察することを通して、言語の歴史的変化が現代語に見られる使用の相違にどのように影響しているのかを考察する。なお、近代日本語では、「大なる」「小さき」など第4章～第6章で扱った代表語幹「オオキ」「チイサ」に含まれていない語形が存在するため、本章では「オオキ」「チイサ」と区別して〔大〕〔小〕と記することにした。

7.2 これまでの研究

近代日本語における「Xい」と「Xな」の用法の相違に関する研究は極めて少ない。「大きい」「大きな」「小さい」「小さな」などの基本語彙の歴史的変遷、語形の成立・発生に関する研究には、小林(1987)、山内(1999)、蜂矢(1992, 2003)がある。

本節では、小林(1987)、山内(1999)、蜂矢(1992, 2003)の論考を紹介し、明治時代に存在した〔大〕と〔小〕の2組の語の連体形を整理する。

7.2.1 小林(1987): 「大きな」「小さな」「おかしな」の成立要因

小林(1987)は、連体詞の「大きな」「小さな」「おかしな」の成立要因について考察している。

小林(1987)では、「大きな」「小さな」「おかしな」の3語の発生要因及び定着要因の二つの側面を考察し、「大きい」「小さい」の各活用 of 発生順序を以下のように推定した。「『大きい』⑦文語形容動詞活用 ④口語形容動詞活用(連体形) ⑦口語形容詞活用 『小さい』⑦文語形容詞活用 ④口語形容詞活用 ⑦口語形容動詞活用(連体形)」(小林 1987:18)。その上で、「(1)『大きな』『小さな』は、相互類推により誤った活用形が発生し、文法的役割分担により連体形としての地位を確立、定着した⇒成立。(2)『おかしな』は『おかしい』の意義分担の為に発生、意義分担により連体形としての地位を確立、定着した⇒成立。」(小林 1987:27)という主張を提示している。また、3語の成立要因自体を生んだ根底について、「室町後期～江戸期という時代の持つ歴史的背景がある」とし、「産業構造の変化と経済の発展により、町人が文化の担い手となり、現実主義的な生き方と自由な人間性を讃美する町人文化を形成した。文化に新風が吹き込まれ、文化の質が変化したのである。それは種々の制約から解放された自由な文化であったため、国語学的に見ると、数多くの新造語や新活用が生まれた。それらの語は、言葉の『正しさ』という枠にとらわれず、文化の享受者となった庶民に受け入れられたのであろう。」(小林 1987:27)と説明している。

7.2.2 山内(1999)：おほ（大・多）の変遷

山内(1999)は、「大きい」の出現について、以下のように述べている。

「大」の対義語「小」の和語は「ちひさし」であった。対義語間に語形を、活用をも整えようとすることは、起こっても自然であろう。「ちいさい」に引き寄せられて「おおきい」も発生し、「おおきなり」に引き寄せられて「ちいさな」が後に発生する。室町時代では、「おほきなり」の系列が中心的に用いられ、その形容詞化が少しずつ姿を見せていた頃であった。(山内 1999:3)

(中略)

もともと「おほ」は「大・多・凡」のすべてを包容する一語であって、意味の分化に伴って、接辞を変えて、異なる語になっていったのである。「大」は「おほ海」のように複合する一方で、「き」を付して「おほき海」「おほき御門」や官職名「太政大臣（おほきおとど）」などになり、平安時代には「なり」を下接して形容動詞となる。

「多」はまずカ行の「く・き」を持つ形容詞となるが、「し」の付く形は上代には見られない。平安時代でも「おほく」の形が多数であって、これを副詞と見ることもできる。形容詞連用形（例「早く」「赤く」）と異なり、多くあるものという体言性が濃いのが特性である。この「おほく」を元にして他の形が派生していったので、カリ活用の語形が「多し」の場合に特に優勢なのは当然と言えよう。

終止形「多し」は類推で生まれた形と明言する書もある。「多し」の生まれた場を見ると、そのように思われる。平安時代の漢文訓読文派では「おほし」「おほき」「おほけれ」を用い、和文脈の「おほかり」「おほかる」「おほかれ」とははっきり対立している。『源氏物語』に「おほかり」は多いが「多し」はなく、『紫式部日記』に一例ある「多し」はこの文体差を示している。(山内 1999:7)

(中略)

「大き」は漢文訓読文系統で「大いに」「大いなり」の音便形を採るようになり、口語では「大き」のままで、「おおきに（有難う）」に続いている。「大き」の形容詞化は鎌倉時代まで遡るかどうか、室町後期には「大きい」として確実に存在している。「多い」と「大きい」では語幹が異なり、異化作用は必要なくなっていた。(山内 1999:8)

7.2.3 蜂矢(1992, 2003)

蜂矢(1992)によれば、「上代では、オホシが、多い意のみならず、限定的な用法とは言え大きい意をも表していたが、平安初期から、多い意はオホシが、大きい意はオホシの連体形オホキがナリを伴ったオホキナリが受け持つ」(蜂矢 1992:327)、また、「チヒサナ

は、中世末から見られる。オオキナ（オホキナリ）との対応における類推から生まれたと見られる。」(蜂矢 1992:339)

蜂矢(2003)では、語幹を共通する形容詞と形容動詞の例として、「オホキナリ—オホキイ」、「チヒサシ—チヒサナ」を挙げ、それらの見える時代という観点から、「チヒサシ—チヒサナ」を「形容動詞の例より形容詞の例の方が古いもの」(蜂矢 2003:218)の類に分類し、「オホキナリ—オホキイ」を「形容動詞の例より形容詞の例の方が新しいもの」の類に分類している。また、「鎌倉時代」に「オホキイ」の実例が見えていたという山内(1999)の論考に賛同している(蜂矢 2003:224)。

7.2.4 まとめ

7.2.1～7.2.3 で紹介した小林(1987)、山内(1999)、蜂矢(1992, 2003)を次のようにまとめられる。ここで便宜上、各語形の表示は全て片仮名で記する。

- ① [大] の発生：「大」（おほ）は、平安時代には「なり」を下接して形容動詞オホキナリとなる。オホキナリの連体形としてオホキナルがある。オホキナルが音変化した結果はオオキナとなる。一方、オオキイはチイサイに引き寄せられて発生し、室町後期にオオキイは確実に存在している。
- ② [小] の発生：チイサシの連体形としてチヒサキがある。チヒサキが音変化した結果はチヒサイとなる。一方、チイサナは、オホキナルに引き寄せられて後に発生し、中世末（室町後期）から見られる。
- ③ オホキナリは古くから存在する語であるのに対し、オオキイは形容詞化が起り、後にできた語である。
- ④ チヒサシは古くから存在する語であるのに対し、チイサナは形容動詞化が起り、後にできた語である。

上記にまとめたこれまでの指摘から、明治時代に見える[大][小]の連体形には、「オホイ」「オホキ」「オホイナル」「オホキナル」「オホキナ」「オオキナ」「オオキイ」、「チヒサキ」「チヒサイ」「チイサイ」「チヒサナル」「チヒサナ」「チイサナル」「チイサナ」が存在することが想定できる。明治時代に存在したこれらの語形は、明治末期から大正期までの近代日本語において、どのような使用分布を成しているのだろうか。また、近代において見られた歴史的変化が、現在においての使用傾向にどのように影響しているのだろうか。本章では、近代語コーパスを利用し、これらの語形の歴史的変遷を考察する。

7.3 調査資料

本章では、近代日本語を収録したコーパスを対象に調査を行う。そのために選定したのは『太陽コーパス』（『太陽』）と『近代女性雑誌コーパス』（『女性』）である。『太陽』と『女性』の概要は 3.3.8 及び 3.3.9 で、用例抽出作業については 3.4.4 で紹介した。両コーパスの概要³⁷は表 7.1 の通りである。

表 7.1 『太陽』と『女性』の概要

コーパス	『太陽』	『女性』
対象雑誌	『太陽』の、1895(明治 28)年、1901(明治 34)年、1909(明治 42)年、1917(大正 6)年、1925(大正 14)年の、通常号の全文 60 冊	『女学雑誌』の 1894(明治 27)年・1895(明治 28)年 31 冊、『女学世界』1909(明治 42)年 6 冊、『婦人倶楽部』1925(大正 14)年 3 冊
各年次 文字数 ³⁸	1895 年： 3,335,366 1901 年： 3,154,554 1909 年： 2,860,352 1917 年： 2,658,172 1925 年： 2,447,096	1894～1895 年： 996,897 1909 年： 679,551 1925 年： 463,128
総文字数	約 1450 万字	約 210 万字

『太陽』は 1895 年から 1925 年にかけて発行された総合雑誌『太陽』のデータを収録しているコーパスであり、『女性』は明治後期から大正期までの女性雑誌 3 種から 40 冊を抽出した全文コーパスである。

雑誌『太陽』は、著者、ジャンル、文体といった文章の種類からみて広い範囲をカバーしており、明治後半から大正期によく読まれた代表的な総合月刊誌で、近代日本語を代表し得る総合雑誌の一つであり、当時の日本語の姿を探るうえで、好適な資料の一つであると言える。また、本研究では女性向け雑誌を収録した『近代女性雑誌コーパス』も調査資料に含めることより、雑誌『太陽』の読者は「中学生から壮年層にわたる全国的な中産層」（田中 2005:4）である点を補った。

『太陽』と『女性』から採集した〔大〕と〔小〕の連体修飾用例（計 3,447 例）の内訳を表 7.2 に示した。

³⁷ 両コーパスの詳細については田中(2005)と田中(2006)を参照。

³⁸ 文字数が 1909 年以後徐々に減少していくのは、記事著者の著作権の問題により、公刊するコーパスから除外した記事が年を追うごとに増えていくためである。

表 7.2 近代語コーパスにおける〔小〕〔大〕の分布

			『女性』	『太陽』	合計
[小]	[小] 集計		149	705	854
	い形	い形集計	94	309	403
		ちひさき	0	1	1
		小さい	2	16	18
		小き	8	34	42
		小さい	56	171	227
		小さき	28	87	115
		な形	な形集計	55	396
	ちひさな		1	0	1
	小さいな		0	1	1
	小さな		52	273	325
	小さなる		0	5	5
	小な		0	4	4
	小なる		2	113	115
[大]	[大] 集計		354	2239	2593
	い形	い形集計	59	115	174
		大い	4	12	16
		大き	0	3	3
		大きい	0	2	2
		大きい	55	98	153
	な形	な形集計	295	2124	2419
		おほきな	1	0	1
		大いなる	14	55	69
		大キナ	1	0	1
		大キな	0	2	2
		大きな	138	705	843
		大きなる	2	9	11
		大な	1	19	20
大なる		138	1334	1472	
合計			503	2944	3447

表 7.2 の通り、『太陽』と『女性』において、〔大〕と〔小〕の連体形は多様な語形で出現している。例(7-1)～例(7-6)のように、「聲」に係る「い形」は「大い」「大き」

「大きい」があり、「な形」は「大キナ」「大な」「大きな」がある。例(7-7)～例(7-12)のように、「家」に係る「い形」は「小さい」「小き」「小さい」があり、「な形」は「小さき」「小さな」「小なる」がある。

例(7-1) 『何んだすねお秀はん、そんなところから入つて来て、喫驚しました
がな。』と、清助の言つた大い聲に人々の頭は一度にグルリと裏口の方へ向け
かへられて、顔色の物凄く蒼白いお秀に目禮をした。

(『太陽コーパス』)

例(7-2) ドンと突込んだらしく、木戸口の女房つゝと入つて、差配の横合、戸
袋の處から、「姨さん、」と大き聲。

(『太陽コーパス』)

例(7-3) 兩人の言葉を明瞭には聴取し得なかつたと申すのか?』證人『お言葉
は判りませんでした。たゞ、大きい聲で仰やつたお言葉が、お聲だけきこえま
したのでございます。』

(『太陽コーパス』)

例(7-4) 「友さんが死ぬ、助けておくれ、友さんが死ぬ、はやく来ておくれ」
と大キナ聲を出しましたから其人が飛んで来て友さんを助けてくれました、友
さんは苦しい目に逢つたけれども

(『近代女性雑誌コーパス』)

例(7-5) 其の方が、入つて、大分ゆつくり見て、販りに格子戸を出るが否や、
唐突に大な聲で、謠を唄ひ出した。

(『太陽コーパス』)

例(7-6) そしてお待たせしました理由も言はずすた～～と庫裡から入つて行く
なり「頼もう～～」と大きな聲で呼んで居るやうであつた。

(『太陽コーパス』)

例(7-7) 足袋を唯一足買ただけで濟んだ相です。新婚當時より夫婦心を合せて
勤儉貯蓄いたした結果、一年経つ内に小い家を一軒買ひ求めたのですが、自分
の家となりましても矢張家賃だけそつくり取除けて置き、

(『近代女性雑誌コーパス』)

例(7-8) 斯てのち、大なる鐵門固く鎖され、門番は、其傍らなる小き家に入れ
ば、晝間絶えず勝負をきそひし遊び事に再び餘念なし。

(『近代女性雑誌コーパス』)

例(7-9) 併ながら各開港場は申すに及ばず一舩に金持が多いといふ事は是は驚
く、夫が大きくなつても矢張り小さい家に居て益儉約を守りて勉強致します、
朝鮮の仁川と申す所に支那の同順泰と申す大商家がありますが

(『太陽コーパス』)

例(7-10) 随分いそぎてと脅されしを、車にも乗らで流るゝ汗拭ひもあへず、漸くその處につきて見れば、小さな家に立錫の透間なきまで人の群れ居て、なほ一二時間は待つべしといふ。

(『太陽コーパス』)

例(7-11) 九尺二間の如何に小さな家でも、假令獨身者でも、苟くも一戸と名のつく以上は必ず各自に一戸分の飲食物を煮炊する。

(『太陽コーパス』)

例(7-12) 目拔きの船場内にて百坪以上の空屋四十軒に上り市中一般の空屋の數は新規編入の町を除きて大凡七百軒に上り小なる家は借人もあれど大なる家は容易に塞がらずと云ふ斯くて本月に至らば一層空屋増加すべき

(『太陽コーパス』)

近代コーパスに見る〔大〕と〔小〕の語形が現代と比べて多様性に富んでいることは、本研究で調査した2つの近代語コーパスに収録されている1895年から1925年までという期間がいわゆる現代標準語の確立期であるからと考えられる。田中(2005)によると、現代日本語の書き言葉は、社会の近代化に伴う言語の変革と共に形成され、近代化の完成と共にほぼ確立した。「新語の増大が最も顕著であり、言文一致運動が最盛期に達したのは、19世紀後半（明治前期）である。そして、新しい語彙が定着し、口語文が普及し、語彙と文体が安定に向かうのは20世紀初期（明治後期から大正時代）である。この、書き言葉が安定に向かう20世紀初期を、現代語の確立期と見ることができる。」(田中 2005:1)「確立期」にあるため、多様な語形が出現していることも容易に理解されるであろう。

また、表 7.2 において、〔小〕の「い形」、〔小〕の「な形」、〔大〕の「い形」の各出現形のうち、最も頻度の高いのは、「小さい」「小さな」「大きい」であり、現代日本語の基本語彙の語形と一致しているが、〔大〕の「な形」において、最も出現頻度の高いのは、「大きな」ではなく、「大なる」³⁹である。現代日本語において、〔大〕の「な形」として一般的に使われているのは「大きな」であることは言うまでもない。では、近代日本語において、〔大〕と〔小〕の各語形は、現代語の確立期の30年の間に、どのように変化したのか。次節では、〔大〕と〔小〕の各語形の使用傾向の変化を検討する。

³⁹ 近代語コーパスでは「大^{おほい}なる」のようなルビ付きの用例もあるが、ルビが付いていない用例もあったので、ルビのない「大なる」は「おおいなる」と読むのか、「おおきなる」それとも「だいなる」と読むのか確定できない。

7.4 分析と考察

本節では、まず、『太陽』と『女性』の両コーパスから得られたデータに基づき、連体修飾語〔大〕と〔小〕の2組の各語形の年次別使用変移を見る。その後、各語形の使用傾向を『太陽』と『女性』の両コーパス間で比較し、コーパス間に使用の相違が見られるかを検討する。

なお、表 7.1 の『太陽』と『女性』の両コーパスの「各年次文字数」が示すように、各年次のコーパスサイズが異なっているため、単純な出現頻度の比較は不向きであり、本節では全て割合（比率）をもって分析する。

7.4.1 〔大〕の各語形の年次別使用変移

まず、『太陽』と『女性』の両コーパスにおける〔大〕と〔小〕の各語形の年次⁴⁰別変移を概観する。

図 7.2 は、『太陽』と『女性』の両コーパスより得られた分析対象（連体修飾用例 計 3,447 例）に基づき、各年次における〔大〕の各語形の使用比率を『女性』と『太陽』に分けて作成したグラフである。

⁴⁰ 年次の間隔を考慮して、『女性』の 1894 年と 1895 年の 2 年分データを「1895 年」としてまとめた。

図 7.2 から、[大] の各語形の使用比率は年次による大きな変動があることが分かる。

まず、図 7.1 の左側にある『女性』を見ると、「大きい」の比率は年次を追って増加し、その割合は、1895 年の 2%、1909 年の 19%、1925 年の 25%と順次に増加している。また、「大きな」の比率も年次が進むにつれ大幅に増加している。1895 年の 5%、1909 年の 46%、1925 年の 65%と順次に増加し、各年次における割合は常に「大きい」より高い。一方、「大なる」の占める比率は減少していく。1895 年の 80%から、1909 年の 30%、1925 年の 8%に激減している。また、「大いなる」も「大なる」と同様に、1895 年の 10%から 1925 年の 1%に減少している。

次に、図 7.2 の右側にある『太陽』を見ると、『女性』における各語形の変化と類似していることが分かる。つまり、年次が進むにつれ、「大きい」は、1895 年：1%、1901 年：1%、1909 年：4%、1917 年：6%、1925 年：8%と少しずつ増加し、「大きな」は、1895 年：8%、1901 年：10%、1909 年：29%、1917 年：44%、1925 年：55%と激しく増加している。一方、「大なる」は、1895 年：84%、1901 年：82%、1909 年：61%、1917 年：46%、1925 年：36%と減少し、「大いなる」は、1895 年：4%、1901 年：5%、1909 年：2%、1917 年：2%、1925 年：0%と徐々に減少し、最後の年次では使われなくなっている。

以上、図 7.2 で近代における[大]の各語形の比率を比較した結果、「大なる」と「大いなる」の両語形は減少する一方、「大きい」と「大きな」の両語形は増加していく推移が『女性』と『太陽』との両コーパスに共通して見られることが分かる。年次を追って、「なる」が減少しその分「い」「な」が増加していった様子が見て取れる。このことから、「大なる」「大いなる」「大きな」の「なる」が、1895 年から 1925 年までの近代 30 年の過程で、オオキナルの音変化した「大きな」と、新しく書き言葉でも使われるようになった「大きい」とに分化したと考えられる。

この、「なる」が減少しその分「い」「な」が増加していく、という近代に見られる歴史的変化は、7.2 節で確認した、古くからオホキナルがあり、オオキイは後に発生した、という先行研究で明らかになったことを裏付ける。オオキイは室町時代から姿が現れ始め、明治末期から激増していった。近代以降、現代まで、「なる」が減り、「い」「な」が増えたと推測できる。

7.4.2 [小] の各語形の年次別使用変移

図 7.3 は、『太陽』と『女性』の両コーパスより得られた分析対象（連体修飾用例 計 3,447 例）に基づき、各年次における[小]の各語形の使用比率を『女性』と『太陽』に分けて作成したグラフである。

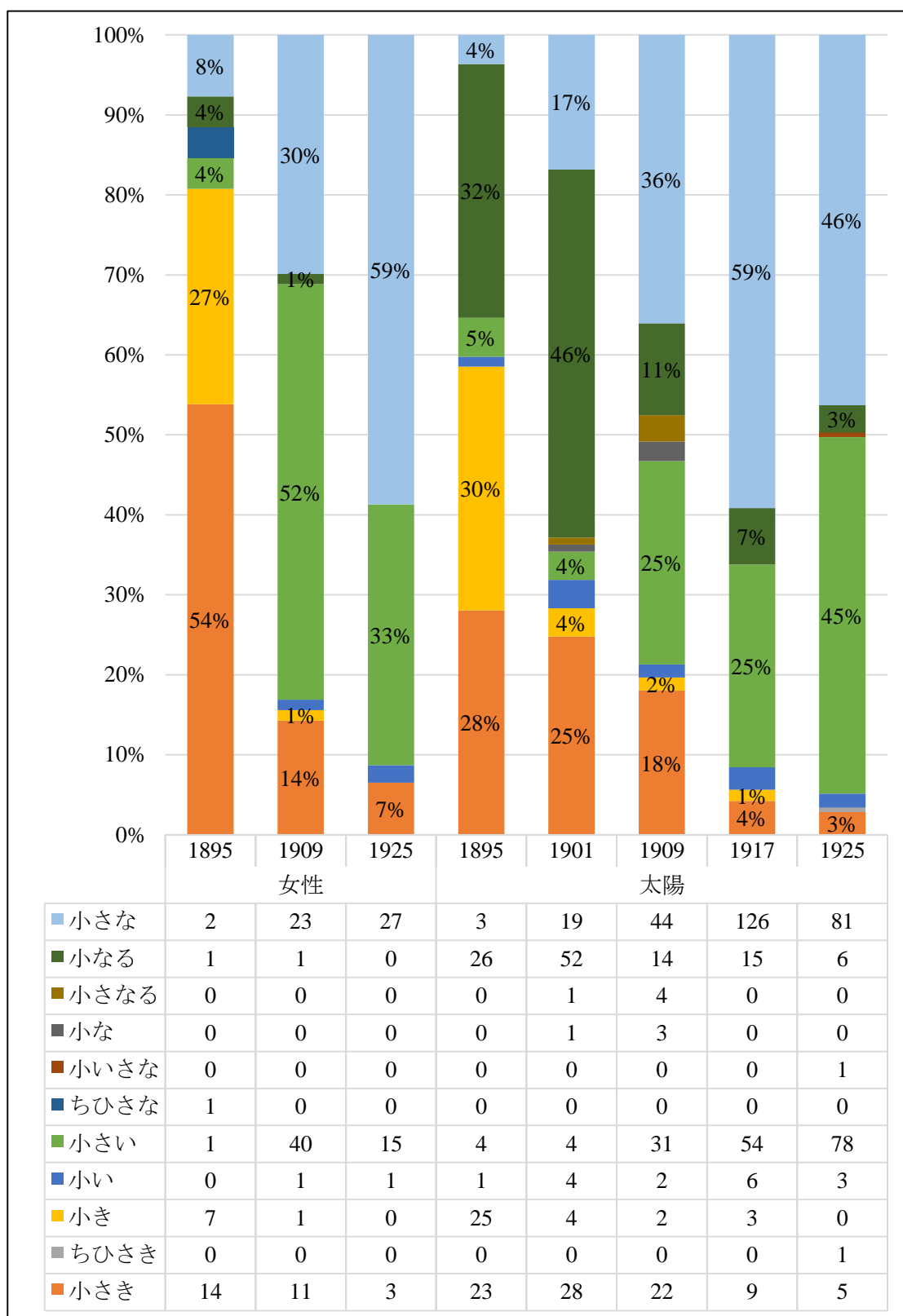


図 7.3 近代における「小」の各語形の年次別使用変移

図 7.3 を見ると、まず [小] の各語形の使用比率には年次による大きな変動があることが分かる。また、[小] の各語形の年次別使用変移は、図 7.1 に示した [大] の年次別使用変移と大きく異なることに気づく。つまり、[大] の場合は、年次を追って「い形」が増加する傾向であり、[小] の場合は、「い形」が減少する傾向である。

図 7.3 の左側の『女性』では、「小さき」と「小き」の比率は年次を追って減少している。「小さき」の占める割合は、1895 年の 54% の全体の半分以上から、1909 年の 14%、1925 年の 7% と激減し、「小き」も、1895 年：27%、1909 年：1%、1925 年：0% と、大正期に入って使われなくなっている。一方、「小さい」の割合は、1895 年の 4% から 1909 年の 52% に激増し、その後少し減り、1925 年は 33% になっている。「小さい」は、途中で比率が少し減ったが、1895 年の 4% から 1925 年は 33% になっており増加傾向を示している。また、「小さな」は、1895 年：8%、1909 年：30%、1925 年：59% と、激しく増加していく傾向が明白である。それに対して、「な形」の「小なる」は、1895 年の比率が 4% から、1909 年の 1%、1925 年の 0% と、「小き」と同様に、大正期に入って使われなくなっている。

次に、図 7.3 の右側の『太陽』における [小] の各語形の使用比率を見る。『女性』と『太陽』では増減の傾向は実に類似している。つまり、「小さき」は、1895 年：28%、1901 年：25%、1909 年：18%、1917 年：4%、1925 年：3% と減少しつつ、「小き」も、1895 年：30%、1901 年：4%、1909 年：2%、1917 年：1%、1925 年：0% と、大正期に入ってから使われていない。一方、「小さい」は、1895 年：5%、1901 年：4%、1909 年：25%、1917 年：25%、1925 年：45% と増加し、「小さな」は、1895 年：4%、1901 年：17%、1909 年：36%、1917 年：59%、1925 年：46% と、1917 年から少し減少したが、全体から見てやはり増加していく傾向がある。それに対して、「小なる」は、1895 年の比率が 32% から、1909 年：11%、1925 年：3% と、「小さき」と同様に、激減する傾向が見られる。

以上、図 7.3 で近代における [小] の各語形の比率を比較した結果、「小さき」と「小き」、及び「小なる」の 3 語形は減少する一方、「小さい」と「小さな」の両語形は増加していく、という歴史的推移が、『女性』と『太陽』との両コーパスに共通して見られた。年次を追って、「き」「なる」が減少し、その分「い」「な」が増加していく。このことから、「小さき」、「小き」及び「小なる」が、1895 年から 1925 年の間に、「小さい」と、新しく発生した「小さな」とに分化したと考えられる。

以上、見てきたように、[大] と [小] の間は、異なる傾向も見られる一方、類似した傾向も見られる。異なるのは、[大] の場合は年次を追って「い形」が増加し、[小] の場合は「い形」が減少することである。一方、「大なる」「大いなる」「大きな」「小なる」の「なる」、及び「小さき」「小き」の「き」は減少し、現代語の基本語彙の「大きい」「小さい」の「い」、及び「大きな」「小さな」の「な」は増加傾向にある点では、[大] と [小] は同様である。

「大なる」「大いなる」「大きな」「小なる」及び「小さき」「小き」の出現が減少・衰退した理由として、文体の変化が考えられる。本研究で調査した2つの近代語コーパスに収録されている1895年から1925年までという時期は、記事の文体が文語文から口語文へと大きく変化していく現代標準語の「確立期」に当たる。両コーパスとも雑誌全体の記事の文体は、文語全盛から口語全盛へと書き言葉の主流が移り変わる時代背景を反映して、文語体が減り口語体が増える（田中 2005, 2006）。そのため、文語文に用いられていた「小さき」「小さな」「大きな」が用いられなくなったと思われる。

7.4.3 「い形」と「な形」の年次別使用変移

7.4.1では[大]、7.4.2では[小]の各語形の年次別使用変移を詳しく見た。本項では、[大]と[小]の各語形ではなく、「い形」全体 vs. 「な形」全体の年次別使用傾向を比較する。表 7.2 を参照に、本章の調査で実際に出現している近代語「ちひさき」、「小さい」、「小き」、「小さい」、「小さき」を[小]の「い形」とまとめ、「ちひさな」、「小さいな」、「小さな」、「小さな」、「小なる」、「小な」、「小なる」を[小]の「な形」とまとめる。また、[大]に関しては、「大い」、「大き」、「大きい」を「い形」と、「おほきな」、「大いなる」、「大キナ」、「大きな」、「大きな」、「大なる」、「大なる」を「な形」とまとめる。『女性』と『太陽』における「い形」と「な形」の年次別出現頻度を表 7.3 に示した。

表 7.3 『女性』と『太陽』における「い形」と「な形」の年次別出現頻度

		[小]		[大]		合計
		い形	な形	い形	な形	
『女性』	1895 年	22	4	3	104	133
	1909 年	53	24	30	112	219
	1925 年	19	27	26	79	151
『太陽』	1895 年	53	29	5	291	378
	1901 年	40	73	5	455	573
	1909 年	57	65	28	457	607
	1917 年	72	141	38	491	742
	1925 年	87	88	39	430	644
合計		403	451	174	2419	3447

図 7.4 と図 7.5 は表 7.3 を元に作成したグラフである。図 7.3 は[大]の「い形」vs. 「な形」の年次別使用傾向であり、図 7.4 は[小]の「い形」vs. 「な形」の年次別使用傾向である。

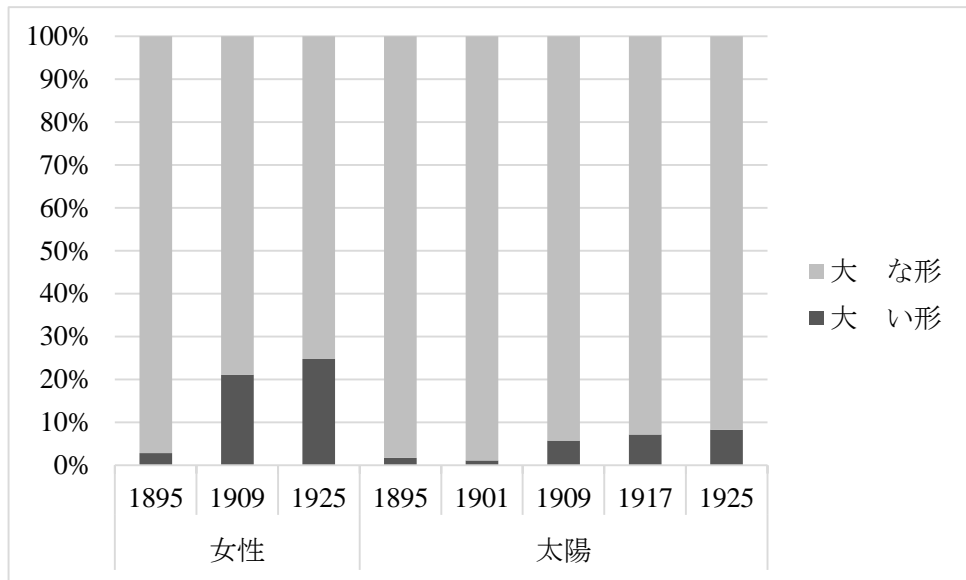


図 7.4 「大」の年次別使用傾向

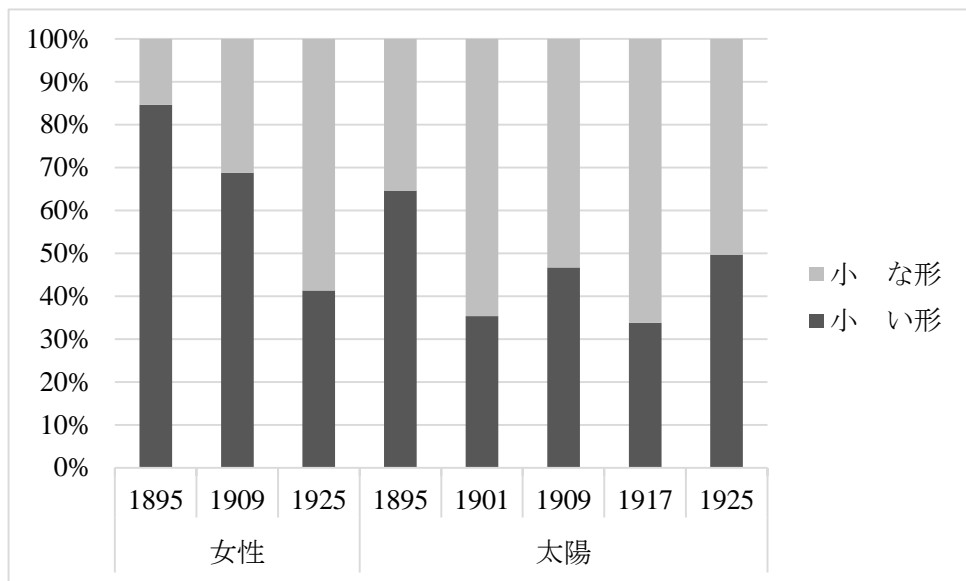


図 7.5 「小」の年次別使用傾向

図 7.4 と図 7.5 を比較して分かるように、近代における「大」「小」の「い形」vs.「な形」の使用傾向の歴史的変化は明らかに異なっている。

まず、図 7.4 の「大」の場合、『女性』と『太陽』の両コーパスにおいて、「な形」が優勢な傾向が大正期まで続いている。ただ「い形」が少し増加傾向にあり、『女性』における増加幅は『太陽』における増加幅より高い。

ところが、図 7.5 の「小」の場合は、『女性』と『太陽』の両コーパスにおける使用傾向が異なる。『女性』では、1895 年の「い形」の占める割合は 8 割以上であり、1909

年は約 7 割弱に減り、1925 年は半分以下の 4 割位に顕著に減少した。つまり、1895 年から 1925 年まで、[小] の「い形」は減り、「な形」は増え、30 年の間に「い形」と「な形」の使用には逆転が起きていると言える。また、『太陽』では、1895 年の「い形」の占める割合は 6.5 割位であり、1901 年は 3.5 割の「い形」の使用は 1895 年より大幅に減少し、1909 年の「い形」の割合は一旦増加し、1917 年の減少を経て、1925 年の「い形」と「な形」の占める割合はほぼ同程度になっている。「な形」の使用が増加し、「い形」の使用が減少しているのである。

図 7.4 と図 7.5 を比較した結果、[大] は、1895 年から 1925 年まで「な形」が優勢である傾向が続いており、[小] は 1895 年においては両コーパスとも「い形」が優勢であるが、1925 年には『女性』では「な形」が優勢となっており、『太陽』では「い形」と「な形」が拮抗している。要するに、近代日本語では、[大] [小] の 2 組の「い形」と「な形」の選択傾向が異なり、[大] は「な形」と結びつきやすく、[小] は「い形」とやや結びつきやすい。この傾向は第 6 章でまとめた本研究の現代語調査の結果と一致している。現代語に見られる [大] と [小] の使用特徴は言語の歴史的な習慣に影響されていると言える。[大] と [小] は、本来から異なる振る舞いを有するため、現代に至っても、その使用には違いがあると考えられる。

7.4.4 コーパス間の比較

第 5 章では、現代語における「い形」と「な形」の使用傾向はレジスターによって異なる、改まり度の低いレジスターほど「い形」が結びつきやすい、ということが明らかになった。以下では、現代語に見られるレジスターによる「い形」と「な形」の選択傾向の相違は、近代語にも見られるかについて分析する。

『女性』は 1901 年と 1917 年のデータがなく、『太陽』との比較ができないため、以下は『女性』に合わせ、1895 年、1909 年、1925 年の 3 年に限定し、両コーパスにおける「い形」と「な形」の使用傾向を比較する。表 7.3 に基づき、1895 年、1909 年、1925 年の 3 年のみの「い形」と「な形」の使用傾向を、図 7.6 のように示す。

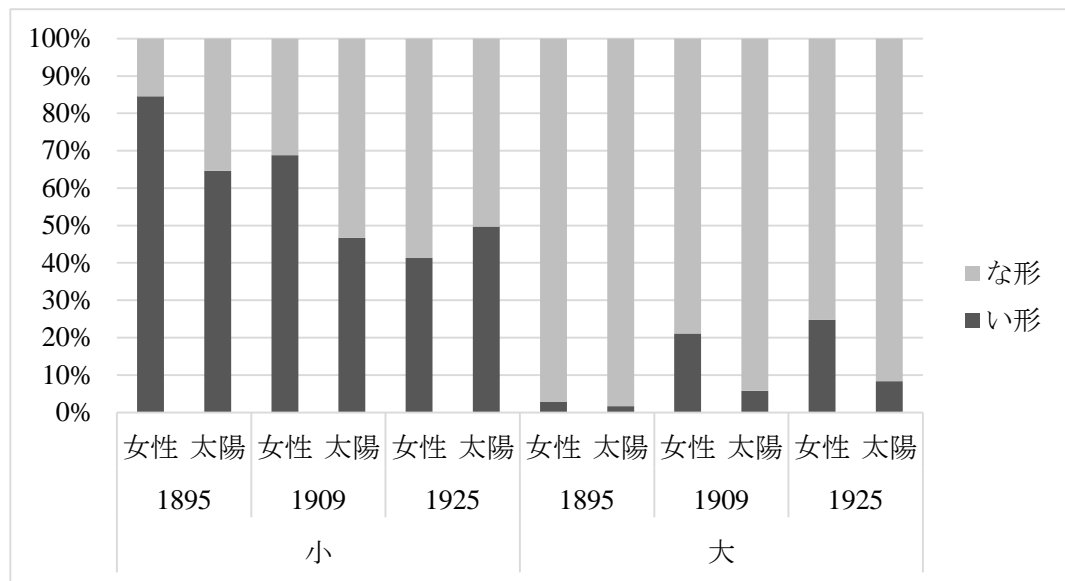


図 7.6 両コーパス間の「い形」と「な形」の使用傾向の比較

まず、図 7.6 で [小] の「い形」と「な形」の選択傾向を『女性』と『太陽』の両コーパス間で比較すると、1895 年の傾向と 1909 年の傾向が類似しており、1925 年の傾向が異なることが分かる。つまり、[小] に関しては、1925 年を除いて言うと、「い形」は『女性』に多く、「な形」は『太陽』に多いということである。

次に、図 7.6 で [大] の「い形」と「な形」の選択傾向を『女性』と『太陽』の両コーパス間で比較すると、どの年次においても傾向が類似している。つまり、[大] に関しては、「い形」は『女性』に多く、「な形」は『太陽』に多いということである。

以上の分析から、[大] も [小] も、「い形」は『女性』に多く、「な形」は『太陽』に多いと言える。『女性』では「い形」が好まれ、『太陽』では「な形」が好まれる、つまり、コーパスが異なれば「い形」と「な形」の選択傾向が異なる。このことから、近代語における [大] と [小] の使用傾向はレジスターによる違いが存在すると言える。『女性』と『太陽』の両コーパスとも雑誌コーパスであるが、女性向け雑誌の方が「い形」、総合雑誌の方が「な形」を多用する傾向がある。

7.5 本章のまとめ

本章では、近代日本語コーパス『女性』と『太陽』の資料を対象に調査を行い、連体修飾用法における [大] と [小] の 2 組の語の、各語形の年次別使用変移、コーパス間の使用変異について検討した。その結果、次の点が明らかになった。

まず、近代における [大] の各語形の比率を比較した結果、「大なる」と「大いなる」の両語形は減少する一方、「大きい」と「大きな」の両語形は増加していく、という推移が『女性』と『太陽』との両コーパスに共通して見られることが分かった。「大なる」「大いなる」「大きな」の「なる」が、1895 年から 1925 年までの、文語体が減り

言文一致の書き言葉（口語）文体が確立していく 30 年間で、「大きな」と「大きい」とに分化してきたと考えられる。

次に、近代における〔小〕の各語形の比率を比較した結果、「小さき」、「小き」及び「小なる」の 3 語形は減少する一方、「小さい」と「小さな」の両語形は増加していく、という歴史的推移が『女性』と『太陽』との両コーパスに共通して見られた。「小さき」、「小き」及び「小なる」が、1895 年から 1925 年までの標準語確立期の 30 年間で、「小さい」と「小さな」とに分化してきたと考えられる。

よって、近代語における〔大〕と〔小〕の間は、異なる傾向も見られる一方、類似した傾向も見られた。〔大〕の場合は年次を追って「い形」が増加し、〔小〕の場合は「い形」が減少している点では異なる一方、「大なる」「大いなる」「大きな」「小なる」の「なる」及び「小さき」「小き」の「き」が減少し、現代語の基本語彙の「大きい」「小さい」の「い」及び「大きな」「小さな」の「な」が増加する点では〔大〕と〔小〕は同様である。このことから、〔大〕は、「な形」が古くから存在し、「い形」が後に発生したため、「な形」と結びつきやすく、〔小〕は、「い形」が古くから存在し、「な形」が後に発生したため、「い形」と結びつきやすいと推定できる。この歴史的実実は現代にも影響を与えている。加えて、「大なる」「大いなる」「大きな」が、「大きな」と「大きい」とに、「小さき」と「小き」「小なる」が、「小さい」と「小さな」とに分化したと考えられることから、現代語における「大きい」と「大きな」、「小さい」と「小さな」それぞれ両語の類義性及び近接性が説明できる。

また、「い形」と「な形」の年次別使用変移を比較した結果、〔大〕は、1895 年から 1925 年まで「な形」が優勢である傾向が続いており、〔小〕は 1895 年においては両コーパスとも「い形」が優勢であるが、1925 年には『女性』では「な形」が優勢となっており、『太陽』では「い形」と「な形」が拮抗している。近代日本語では、〔大〕〔小〕の 2 組の「い形」と「な形」の選択傾向が異なり、〔大〕は「な形」と結びつきやすく、それに比べて〔小〕は「い形」と結びつきやすい。この傾向は第 6 章でまとめた本研究の現代語調査の結果と一致している。現代語に見られる〔大〕と〔小〕の使用は言語の歴史的な習慣と無関係ではない。

更に、〔大〕〔小〕の「い形」と「な形」の選択傾向を『女性』と『太陽』の両コーパス間で比較した結果、〔大〕も〔小〕も、「い形」は『女性』に多く、「な形」は『太陽』に多いということが明らかになった。つまり、『女性』では「い形」が好まれ、『太陽』では「な形」が好まれる、コーパスが異なれば「い形」と「な形」の選択傾向が異なる。このことから、近代語における〔大〕と〔小〕の使用傾向もレジスターによる違いが存在していたと言える。

以上、近代語において、①〔大〕と〔小〕の使用は異なり、〔大〕は「な形」と結びつきやすく、〔小〕は「い形」と結びつきやすい、②〔大〕〔小〕の「い形」と「な形」の使用はレジスターの変異によって異なる、という特徴は、第 6 章でまとめた現代語にお

ける「い形」と「な形」の使用傾向の特徴と一致している。これらのことから、近代コーパスに見られる〔大〕と〔小〕の使用傾向は現代まで確実に継続され、現代語の使用に影響を与えていると推測される。〔大〕〔小〕の相違は、現代では気づかれなくなっているが、言語使用の過去の規範は現代の言語使用に影響を与えていると言える。しかし、言語は変化するものであり、近代から現代に至り、これからも変化していくため、いつの日か、相違がなくなる可能性があることも否定はできない。

第8章 終章

本研究は、連体修飾用法における「X い」と「X な」のペア、すなわち [オオキい・オオキな] [チイさい・チイサな] [オカしい・オカシな] [アタタかい・アタタカナ] [コマかい・コマカナ] [ヤワラかい・ヤワラカナ] の6組の語を対象に、共時的アプローチ及び通時的アプローチを取り、現代日本語及び近代日本語の大規模コーパスから得られた「X い」と「X な」が含まれる連体修飾の実例（総計 14,188 例）を、被修飾名詞の性質、「X い」と「X な」の文中での文法的機能、「X い」と「X な」の意味的差異、レジスターの変異、「X い」と「X な」の歴史的変化、という5つの面から観察し考察を行ってきた。

第2章においては、現代語における「X い」と「X な」の使い分けに関する先行研究を検討し、第3章では、本研究で利用するコーパス及び用例の抽出作業を紹介した。第4章と第5章では、6組の語の現代語における使い分けに関して、文内要素の形態統語的及び意味的性質（第4章）、レジスターの違い（第5章）についてコーパス調査に基づく分析を行った。第6章では、現代語における「X い」と「X な」の使い分けの観察をまとめ、「い形」と「な形」の使い分けのモデルを提案した。第7章では、なぜこのような現状になっているのかを明らかにするために、近代から現代にかけての日本語の変動期における「大」と「小」の2組の歴史的変化について考察を行った。

まず、第2章では、「X い」と「X な」の使い分けについて、先行研究は説明が不十分であることを指摘した。次に、第3章にて大規模コーパスを利用した本研究の研究手法を確認した。また、第4章～第6章においては、取り上げた6組の語について、「X い」と「X な」の文法的機能、レジスターの改まり度、被修飾名詞の性質、「主語付き」修飾節の主語助詞、被修飾名詞の語種など、多様な要因によって、「い形」と「な形」が使い分けられていることを示した。更に、第7章で扱った近代語における「X い」と「X な」の歴史的な使用変化から、現代語に見られる「い形」と「な形」の使用の相違は、言語の歴史的な習慣と密接に関わり、その歴史的な規範に影響されている可能性がある、という結論を導き出した。

8.1 結論

本節では、本研究の結論を、1.2 で挙げた本研究の研究課題に答える形で記述する。

➤研究課題①： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、文内要素の形態統語的性質によるのか（被修飾名詞の性質・「X い」と「X な」の文法的機能）

- 1) 被修飾名詞の分類に見られる「X い」「X な」の 6 組の語に共通した特徴は、「い形」は形式名詞に接続しやすいという点である。形式名詞を修飾する場合、「い形」を取ることが多い。
- 2) 先行研究が指摘している、抽象名詞には「な形」を用いるのが普通である、という観察は、「オオキ」と「チイサ」の 2 組には言えるが、「X い」「X な」全般には一般化できない。「オオキ」と「チイサ」以外の「い形」と「な形」は、具象名詞と抽象名詞をほぼ同等の比率で修飾している。
- 3) 連体修飾用法を「主語付き」と「非主語付き」の 2 種類に分類して検討した結果、「主語付き」構造における「い形」と「な形」の使用傾向は「非主語付き」構造の場合と大きく異なる。連体修飾節で「X い」と「X な」が述語として使われている場合には「い形」が選ばれやすい。
- 4) 「主語付き」連体修飾節の主語助詞に「の」が用いられる場合は、「な形」が使われやすい。すなわち、「な形」は「の」に接続しやすい。
- 5) 被修飾名詞を語種の観点から分析した結果、和語の場合は「い形」との結び付きが強く、漢語の場合は「な形」との結び付きが強いことが分かった。

したがって、「X い」と「X な」の使い分けは、文内要素の形態統語的性質に影響されていると言える。形式名詞には「い形」が係りやすいこと、連体修飾節で「X い」と「X な」が述語として使われている場合は「い形」が選ばれやすいこと、「な形」は連体節の主語助詞「の」に接続しやすいこと、和語は「い形」と結びつきやすく漢語は「な形」と結びつきやすいこと、以上 4 点は「X い」「X な」全般に言える重要な要因である。

➤研究課題②： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、「い形」と「な形」の意味的差異によるのか

- 1) 「オオキ」：慣用表現では、[オオキな]の使用が多く見られたが、それ以外の場合は、[オオキい]と[オオキな]の間に意味的な使い分けは見られない。抽象名詞にも具象名詞にも[オオキな]が多用されている。
- 2) 「チイサ」：[チイサな]は具象名詞の方に多く使われており、具象名詞との結び付きが強い。同一の名詞を修飾する[チイサイ]と[チイサな]の使用を観察しても意味的な差は見られない。
- 3) 「オカシ」：抽象名詞にも具象名詞にも[オカシな]が多く使われている。[オカシい]と[オカシな]の間に意味的な差が見られ、[オカシい]だけが＜面白い＞の意味を持つ。
- 4) 「アタタカ」：抽象名詞にも具象名詞にも[アタタカイ]が多く使われている。[アタタカイ]と[アタタカナ]には使い分けや意味の違いが見られない。

- 5) 「コマカ」：抽象名詞であれ、具象名詞であれ、[コマカイ] が圧倒的に多く使われている。[コマカイ] と [コマカナ] の使い分けの意味的基準は見当たらない。
- 6) 「ヤワラカ」：[ヤワラカイ] と [ヤワラカナ] の使い分けの意味的傾向を掴むことは困難である。

よって、慣用句的表現及び「オカシ」以外は、「い形」と「な形」の意味的差異による使い分けはないと言える。むしろ、「い形」と「な形」の選択の傾向は、「X い」と「X な」の語彙項目（つまり「X」の種類自体）によって異なる。柴田(1982:144)は、「チイサ」と「オオキ」以外の「い形」・「な形」のペアの語に関して、「チイサイ・チイサナ、オオキイ・オオキナの意味の違いに並行するものだろう」と述べているが、本研究の分析結果から、研究対象 6 組の語の「い形」と「な形」の意味的違いはほぼ見られないと言える。

➤研究課題③： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、社会言語学的なレジスターの変異に基づくのか

性質の異なる 6 つのコーパスから抽出した実例に基づいて「X い」「X な」の使用傾向をレジスター変異の観点から検討した結果、改まり度の高いレジスターでは「な形」が「い形」より好まれ、改まり度の低いレジスターでは「い形」の方が好まれることが明らかになった。このレジスターによる使い分けは、6 組の語に共通して当てはまり、現代語にも近代語にも見られる。

➤研究課題④： 連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けは、言語の歴史的变化にどのように影響されているのか

近代における[大][小]の各語形の年次別使用割合を比較した結果、「大なる」「大いなる」、「小さき」「小き」「小なる」は減少する一方、「大きい」「大きな」、「小さい」「小さな」は増加していくという推移が『女性』と『太陽』との両コーパスに共通して見られた。1895 年から 1925 年までの、文語体が減り言文一致の書き言葉（口語）文体が確立していく 30 年間で、「大なる」「大いなる」「大きな」の「なる」が「大きな」と「大きい」とに、「小さき」「小き」「小なる」が「小さい」と「小さな」とに分化したと考えられる。

また、近代日本語では、[大][小]の「い形」と「な形」の選択傾向が異なり、[大]は「な形」と結びつきやすく、[小]は「い形」と結びつきやすい。この傾向は現代語調査の結果とも一致している。現代語に見られる[オオキ]と[チイサ]の使用特徴は言語の歴史的な習慣に影響されていると言える。[オオキ][チイサ]の相違は、現代

では気づかれなくなっているが、言語の歴史的変化が現代の言語使用に影響を与えていると考えられる。

以上見てきたように、「い形」と「な形」の使い分けを一つの基準で捉えることは困難であり、「い形」と「な形」の選択には実に多様な要因が混在している。それは言語の歴史的変化に影響されてきた可能性があると考えられる。

本研究は、計量的分析によって明らかにされた「い形」と「な形」の使い分けの基準に基づき、名詞を修飾する「い形」と「な形」の使い分けモデルを、下の表 6.1 (p.122 より再掲) のように提案した。表 6.1 に示した個々の条件は絶対的なものではなく、それぞれ個別で独立していると思われる。すなわち、「い形」が好まれる条件が文の中に多ければ多いほど「い形」が使われやすく、「な形」が好まれる条件が多ければ多いほど「な形」が使われやすいと考えられる。また、「い形」と「な形」の使い分けは、何らかの条件の下では「言える」・「言えない」、あるいは「い形」と「な形」の一方が「使える」・「使えない」、という問題ではなく、その条件が出現する場合に「い形」か「な形」が「好まれる」「選択されやすい」というものである。すなわち、その条件が出現すると、「い形」か「な形」の選択が促進される。

表 6.1 名詞を修飾する「い形」と「な形」の使い分けモデル (再掲)

	要因	い形が好まれる条件	な形が好まれる条件
共通基準	「X い」「X な」の文法的機能	述語用法	連体用法
	レジスターの改まり度	改まり度が低い	改まり度が高い
	被修飾名詞の性質	形式名詞	実質名詞
	「主語付き」修飾節の主語助詞	助詞「が」	助詞「の」
	被修飾名詞の語種	和語	漢語
個別基準	「X い」「X な」ペアの種類	形容詞 vs. 形容動詞ペア	形容詞 vs. 連体詞ペア
	語彙項目	「チイサ」	「オオキ」
	「オカシ」の意味的差異	<面白い> <笑いそうな>	<不審な> <不可解な>
	慣用句的表現	「小さいとき・ころ」 「小さな親切」	「大きなお世話」 「柔らかな頭」

8.2 日本語学への貢献

本研究における計量的記述の成果は、表 6.1 の「い形」と「な形」の使い分けモデルに集約されている。このモデルによって、曖昧であった「X い」と「X な」の使い分けの有様がより明示的になったと言える。

「い形」と「な形」の使い分けは内省では一般化が難しい。本研究の方法論的示唆は、大規模コーパスより得られたデータを計量的分析・記述することによって、このような内省の一般化が難しい言語の特徴を明らかにできるという事実である。本研究では多様なコーパスを利用した。また、扱った用例は 14,188 例にのぼる。キーワードの前後 10 文字が重複する文はその中に含まれていない。9 種類のコーパスと 14,188 の例文に基づいた記述は内省や偏りのあるコーパスのみに基づいた議論に比べて、信頼性がより高いと考えられる。また、本研究の記述は、大規模で多種類のコーパスから得た用例を、被修飾名詞の性質や対象語句の文中での機能をデータベースに整理するという方法に基づいて徹底的に質的分析を行うことと、コーパス間の比較分析によって可能になったものである。どの分析も、コーパスの存在なくしては実践が困難なものである。こうした方法を採用することによって、従来の研究では達することの難しい新しい研究領域が開けていくと考えられる。

8.3 今後の課題

本研究では、連体修飾用法における「X い」と「X な」の使い分けについて、「X い」「X な」の文法的機能、レジスターの改まり度、被修飾名詞の性質、「主語付き」修飾節の主語助詞、被修飾名詞の語種、などの側面に注目して分析した結果、「い形」と「な形」の使い分けは一つの基準に従うのではなく、表 6.1 にまとめられたような多様な要因に影響されることを明らかにすることができた。しかし、個々の要因がどの程度「い形」と「な形」の選択に影響を与えているのかという疑問が残っている。今後、判別分析や主成分分析等の多変量解析の統計手法を用いて考察を進めていきたい。

また、言語研究に求められるコーパスとは、単なるデータの蓄積による量の多さだけではなく、質の高さも重要であると考ええる。本研究では、話し言葉の調査に、『名大』と『BTSJ』の 2 つのコーパスを利用し、書き言葉の調査に、BCCWJ、『新潮』、『太陽』、『女性』の 4 つのコーパスを利用した。これらのコーパスは現時点で利用できるコーパスとして非常に有意義な存在であるが、使用に際し、限界も感じられた。使用したコーパス、特にウェブコーパスの制約についての検討も今後の研究課題としたい。

引用文献

- Backhouse, Anthony Edgar (1984) Have all the adjectives gone?. *Lingua* 62: 169-186.
- Biber, Douglas (1991) *Variation across speech and writing*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Biber, Douglas (1995) *Dimensions of register variation: A cross-linguistic comparison*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Biber, Douglas, Susan Conrad and Randi Reppen (2000) *Corpus linguistics: Investigating language structure and use*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Dixon, R.M.W. (1982) *Where have all the adjectives gone? and other essays in semantics and syntax*. Berlin: Mouton.
- Halliday, M.A.K. (1978) *Language as social semiotic: The social interpretation of language and meaning*. London: Edward Arnold.
- Martin, Samuel Elmo (1975) *A reference grammar of Japanese*. New Haven: Yale University Press.
- Matsumoto, Yoshiko (1997) *Noun-modifying constructions in Japanese: A frame-semantic approach*. Amsterdam: John Benjamins.
- 井上和子 (1976a) 『変形文法と日本語（上）—統語構造を中心に—』東京：大修館書店.
- 井上和子 (1976b) 『変形文法と日本語（下）—意味解釈を中心に—』東京：大修館書店.
- 岩波書店辞典編集部 (1999) 『逆引き広辞苑—第五版対応—』東京：岩波書店.
- 上原聡 (2002) 「日本語における語彙のカテゴリー化—形容詞と形容動詞の差について—」大堀壽夫（編）『認知言語学Ⅱ—カテゴリー化—』：81-103. 東京：東京大学出版会.
- 荻野綱男 (2006) 「形容動詞連体形における『な／の』選択について—田野村氏の結果をWWWで調べる—」『計量国語学』 25(7): 309-318.
- 奥津敬一郎 (1974) 『生成日本文法論』東京：大修館書店.
- 奥津敬一郎 (2004) 「連体修飾とは何か」『日本語学』 23(3): 6-16.
- 亀井孝・河野六郎・千野栄一 (1996) 『言語学大辞典 第6巻 術語編』東京：三省堂.
- 川端善明 (1958) 「形容詞文」『國語國文』 27(12): 1-11.
- 川端善明 (1959) 「連体（一）」『國語國文』 28(10): 31-48.
- 川端善明 (1960) 「連体（二）」『國語國文』 29(8): 15-26.
- 木下りか (2005) 「色彩を表す名詞の連体修飾用法—『赤のN』と『赤いN』—」『大手前大学人文科学部論集』 6: 29-39.
- 久野暉 (1973) 『日本文法研究』東京：大修館書店.

- 小池生夫（編）（2003）『応用言語学事典』東京：研究社.
- 国立国語研究所（編）（2004）『分類語彙表（増補改訂版）』東京：国立国語研究所.
- 国立国語研究所（編）（2011）『現代日本語書き言葉均衡コーパス 利用の手引 第 1.0 版』東京：国立国語研究所.
- 後藤斉（2003）「言語理論と言語資料—コーパスとコーパス以外のデーター」『日本語学』 22(5): 6-15.
- 小林みち子（1987）「『大きな』『小さな』『おかしな』の成立要因について」『山口国文』 10: 17-31.
- 齊藤俊雄(他) 共訳（2003）『コーパス言語学—言語構造と用法の研究—』 Biber, Douglas and Susan Conrad, Randi Reppen [著] 東京：南雲堂.
- 三枝令子（1996）「『小さな旅』と『小さい旅』」『言語文化』 33: 97-108.
- 佐々木文彦（2002）「『大きい声』と『大きな声』」『明海日本語』 7: 137-145.
- 沢田奈保子（1992）「名詞の指定性と形容詞の限定性、描写性について—色彩名詞と色彩形容詞の使い分け要因の分析から—」『言語研究』 102: 1-16.
- 柴田武（1982）「チイサイ・チイサナ、オオキイ・オオキナ」國廣哲彌・柴田武・長嶋善郎・山田進・浅野百合子（編）『ことばの意味 3 辞書に書いてないこと』：138-145. 東京：平凡社.
- 新村出（編）（1998）『広辞苑 第五版』東京：岩波書店.
- 鈴木一彦・林巨樹（編）（1973）『品詞別日本文法講座 4 形容詞・形容動詞』東京：明治書院.
- 高橋太郎（1963）「動詞の連体修飾法」国立国語研究所（編）『ことばの研究』：169-182. 東京：秀英出版.
- 高橋太郎（1965）「動詞の連体修飾法(2)」国立国語研究所（編）『ことばの研究 第 2 集』：39-62. 東京：秀英出版.
- 滝沢直宏（2006）「コーパス利用のためのコンピュータ・リテラシー」『日本語教育』 130: 22-31.
- 田中牧郎（2005）「言語資料としての雑誌『太陽』の考察と『太陽コーパス』の設計」国立国語研究所（編）『雑誌『太陽』による確立期現代語の研究—『太陽コーパス』研究論文集—』：1-48. 東京：博文館新社.
- 田中牧郎（2006）「『近代女性雑誌コーパス』の概要」『日本学術振興会科学研究費補助金研究成果報告書 基盤研究(B) 『20 世紀初期総合雑誌コーパス』の構築による確立期現代語の高精度な記述』：55-62. 東京：国立国語研究所.
- 田野村忠温（2002）「形容動詞連体形における『な／の』選択の一要因—『有名な』と『無名の』—」『計量国語学』 23(4): 207-213.
- 丹保健一（2011a）「名詞を修飾する『小さい』『小さな』について」『三重大学教育学部研究紀要』 62: 49-60.

- 丹保健一 (2011b) 「名詞を修飾する『大きい』『大きな』について」『国語学研究』 50: 1-14.
- 寺村秀夫 (1975-78) 「連体修飾のシンタクスと意味—その 1～その 4—」『寺村秀夫論文集 I—日本語文法編—』くろしお出版 (1992) 所収 157-320. 東京：くろしお出版.
- 時枝誠記 (1950) 『日本文法 口語篇』東京：岩波書店.
- 西尾寅弥 (1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』東京：秀英出版.
- 西原鈴子・川村よし子・杉浦由紀子 (1988) 『形容詞—外国人のための日本語例文・問題シリーズ 5—』東京：荒竹出版.
- 橋本進吉 (1934) 『国語法要説』 (『国語法研究』岩波書店(1948)所収) 東京：明治書院.
- 蜂矢真郷 (1992) 「多少と大小」古井巖 (編) 『記紀萬葉論叢』 : 321-344. 東京：塙書房.
- 蜂矢真郷 (2003) 「語幹を共通する形容詞と形容動詞」国語語彙史研究会 (編) 『国語語彙史の研究』 22: 207-224. 東京：和泉書院.
- 樋口文彦 (1996) 「形容詞の分類—状態形容詞と質形容詞—」言語学研究会 (編) 『ことばの科学』 7: 39-60. 東京：むぎ書房.
- 飛田良文・浅田秀子 (1991) 『現代形容詞用法辞典』東京：東京堂出版.
- 飛田良文・遠藤好英・加藤正信・佐藤武義・蜂谷清人・前田富祺 (編) (2007) 『日本語学研究事典』東京：明治書院.
- 藤村逸子 (2003) 「色彩名詞と色彩形容詞の対立—新聞と文学のコーパスからわかること—」大曾美恵子 (編) 『日本語学習辞書編纂に向けた電子化コーパス利用によるコロケーション研究 中間報告論文集』 : 25-48.
- 藤村逸子 (2009) 「他動性再考—『被動作主』を表示する『が』と『を』の交替—」Asian and African Studies. Ⅷ(1): 73-103.
- 森田良行 (1977) 『基礎日本語辞典』角田小辞典 7 東京：角川書店.
- 山内洋一郎 (1999) 「『おほ』(大・多)の変遷—『大きなり』『多し』『多かり』『大きい』をつないで—」国語語彙史研究会 (編) 『国語語彙史の研究』 18: 1-9. 東京：和泉書院.
- 山口明穂・秋本守英 (編) (2001) 『日本語文法大辞典』東京：明治書院.
- 山田孝雄 (1908) 『日本文法論』東京：宝文館.
- 李在鎬 (2013) 「形状詞の『ナ』共起と『ノ』共起のコーパス基盤調査」『計量国語学』 29(3): 77-95.

参考文献

- Backhouse, Anthony Edgar (2004) Inflected and uninflected adjectives in Japanese. In: R.M.W. Dixon and Alexandra Y. Aikhenvald (eds.) *Adjective classes: A cross-linguistic typology*, 50-73. Oxford: Oxford University Press.
- Baker, Paul (2010) *Sociolinguistics and corpus linguistics*. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- Bybee, Joan and Paul Hopper (eds.) (2001) *Frequency and the emergence of linguistic structure*. Amsterdam: John Benjamins Publishing Company.
- Conrad, Susan and Douglas Biber (eds.) (2001) *Variation in English: Multi-dimensional studies*. Harlow; Tokyo: Longman.
- Dixon, R.M.W. (2004) Adjective classes in typological perspective. In: R.M.W. Dixon and Alexandra Y. Aikhenvald (eds.) *Adjective classes: A cross-linguistic typology*, 1-49. Oxford: Oxford University Press.
- Dixon, R.M.W. and Alexandra Y. Aikhenvald (eds.) (2004) *Adjective classes: A cross-linguistic typology*. Oxford: Oxford University Press.
- Fujimura, Itsuko, Shoji Chiba and Mieko Ohso (2012) Lexical and grammatical features of spoken and written Japanese in contrast: Exploring a lexical profiling approach to comparing spoken and written corpora. *Proceedings of the VIIth GSCP international conference: Speech and corpora*, 393-398.
- Gries, Stefan Th. (2012) Frequencies, probabilities, and association measures in usage-/exemplar-based linguistics. *Studies in language* 36(3): 477-510.
- Hunston, Susan (2002) *Corpora in applied linguistics*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kjellmer, Göran (1991) A mint of phrases. In: Karin, Aijmer and Bengt Altenberg (eds.) *English corpus linguistics: Studies in honour of Jan Svartvik*, 111-127. London: Longman.
- Kreyer, Rolf (2003) Genitive and of-construction in modern written English: Processability and human involvement. *International journal of corpus linguistics* 18(2): 169-207.
- McEnery, Tony, Richard Xiao and Yukio Tono (2006) *Corpus-based language studies: An advanced resource book*. London: Routledge.
- Murphy, Bróna (2010) *Corpus and sociolinguistics: Investigating age and gender in female talk*. Amsterdam: John Benjamins.
- Nishiyama, Kunio (1999) Adjectives and copulas in Japanese. *Journal of East Asian linguistics* 8: 183-222.
- Seretan, Violeta (2011) *Syntax-based collocation extraction*. New York: Springer-Verlag New York Inc.

- Wierzbicka, Anna (1986) What's in a noun? (Or: How do nouns differ in meaning from adjectives?) *Studies in language* 10(2): 353-389.
- 相原林司 (1983) 「形容詞分類の一試案—派生語形成の可否による—」『文藝言語研究 言語篇』 8: 129-144.
- 浅見徹 (1965) 「連体修飾」森岡健二[他] (編) 『口語文法講座 2 各論研究編』 : 165-187. 東京：明治書院.
- 東照二 (2009) 『社会言語学入門—生きた言葉のおもしろさにせまる—』 東京：研究社出版.
- 阿部泰明 (1994) 「連体修飾の諸問題」田窪行則 (編) 『日本語の名詞修飾表現』 : 153-171. 東京：くろしお出版.
- 荒正子 (1989) 「形容詞の意味的なタイプ」言語学研究会 (編) 『ことばの科学』 3(奥田靖雄古稀記念) : 147-162. 東京：むぎ書房.
- 安藤まや・関根聡 (2005) 「新聞記事コーパスに基づいた上位語・下位語を含む連体修飾表現の分析」『計量国語学』 24(8): 365-381.
- 飯田晴巳 (1984) 「形容詞研究の歴史」鈴木一彦・林巨樹 (編) 『研究資料日本文法 ③』 : 47-107. 東京：明治書院.
- 宇佐美まゆみ・中俣尚己 (2013) 「『BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版』の設計と特性について」『第3回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』 : 217-228. 東京：国立国語研究所.
- 宇野義方 (1957) 「話しことばの文法」『言語生活』 66: 28-35.
- 宇野義方 (1965) 「話しことばと書きことばの文法的特質」森岡健二[他] (編) 『口語文法講座 5 表現と文法』 : 24-45. 東京：明治書院.
- 大石初太郎 (1956) 「話しことばとその研究」『國語學』 24: 13-24.
- 大木一夫 (2013) 『ガイドブック日本語史』 東京：ひつじ書房.
- 大島資生 (1991) 「連体修飾構造に現れる『という』の機能について」『人文学報』 225: 27-58.
- 大島資生 (1995) 「『は』と連体修飾節構造」益岡隆志・野田尚史・沼田善子 (編) 『日本語の主題と取り立て』 : 109-138. 東京：くろしお出版.
- 大島資生 (1998) 「現代日本語における『X の』の諸相」『東京大学留学センター紀要』 8: 43-69.
- 大島資生 (2003) 「連体修飾の構造」北原保雄 (編) 『朝倉日本語講座 5』 : 90-108. 東京：朝倉書店.
- 大島資生 (2010) 『日本語連体修飾節構造の研究』 東京：ひつじ書房.
- 岡村和江 (1970) 「連体形と連体詞」『月刊文法』 2(6): 47-52.
- 小木曾智信・近藤明日子 (2007) 「日本語研究のための XML タグ付けプログラム—その開発と活用例—」『日本語科学』 22: 147-159.

- 奥津敬一郎 (2007) 『連体即連用？—日本語の基本構造と諸相—』 東京：ひつじ書房.
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』 日本語研究叢書第2期第4巻 東京：ひつじ書房.
- 春日和男 (1970) 「形容動詞は一品詞か」 『月刊文法』 2(6): 24-32.
- 加藤重広 (2003) 『日本語修飾構造の語用論的研究』 東京：ひつじ書房.
- 加藤重広 (2008) 「日本語の品詞体系の通言語的課題」 『Asian and African Languages and Linguistics』 3: 5-28.
- 加藤重広 (2009) 「日本語形容詞再考」 『北海道大学文学研究科紀要』 129: 63-89.
- 加藤万里 (2005) 「日本語の制限・非制限修飾に関する一考察」 『日本語文法』 5(1): 3-19.
- 川端善明 (1983) 「文の構造と種類—形容詞文—」 『日本語学』 2(5): 128-134.
- 川村よし子 (1994) 「上級クラスにおける表現の指導—『改まり度』に応じたことばの使い分け—」 『講座日本語教育』 29: 120-133.
- 菊池浩三・伊東幸宏 (1996) 「形容詞を含む連体修飾の係り受け特性」 『情報処理学会研究報告 自然言語処理研究会報告』 96(114): 43-48.
- 菊池浩三・伊東幸宏 (1999a) 「連体形イ・ナ形容詞に先行する格助詞句の係りに関するルールの抽出」 『自然言語処理 = Journal of natural language processing』 6(3): 75-99.
- 菊池浩三・伊東幸宏 (1999b) 「連体形形容詞に先行する格助詞『が』『の』格の係りに関する体系的分析」 『自然言語処理 = Journal of natural language processing』 6(7): 109-123.
- 木下りか (2004) 「形容詞の装定用法をめぐる一考察—『遠い』『多い』の場合—」 『大手前大学人文科学部論集』 5: 25-35.
- 木下りか (2006) 「形状を表す名詞と形容詞の対立をめぐる」 『大手前大学人文科学部論集』 7: 49-59.
- 北原保雄 (2002) 『日本国語大辞典 第二版』 東京：小学館.
- 北原保雄 (2010) 『日本語の形容詞』 東京：大修館書店.
- 北原保雄 (2011) 『明鏡国語辞典 第二版』 東京：大修館書店.
- 金銀珠 (2005) 「連体詞の成立—形容詞, adjective との交渉—」 『国語国文学』 96: 53-68.
- 金銀珠 (2006) 「近代文法学における『形容詞』『連体詞』概念の形成について— Adjective から形容詞・連体詞へ—」 『日本語の研究』 2(2): 123-137.
- 金銀珠 (2009) 「形容詞の二つの統語機能—言語学テキストの解釈的観点から—」 『テキスト布置の解釈学的研究と教育』 3(2): 85-102.
- 金春女 (2009) 「連体修飾の接続形式『ような』の意味機能」 『言葉と文化』 10: 11-23.
- 金水敏 (1994) 「連体修飾の『～タ』について」 田窪行則 (編) 『日本語の名詞修飾表現』 : 29-65. 東京：くろしお出版.
- 計量国語学会 (2010) 『計量国語学事典』 東京：朝倉書店.

- 国立国語研究所（編）（2005）『雑誌『太陽』による確立期現代語の研究—『太陽コーパス』研究論文集—』東京：博文館新社。
- 小林賢次・梅林博人（2005）『日本語史探求法』シリーズ<日本語探求法>8 東京：朝倉書店。
- 小林摩耶（2005）「形容動詞と形容詞の統語的相違」『日本語文法』 5(2): 145-160.
- 小松英雄（1999）『日本語はなぜ変化するか—母語としての日本語の歴史—』東京：笠間書院。
- 斎藤倫明（1992）「形容詞語幹をめぐって」『現代日本語の語構成論的研究—語における形と意味—』：77-174. 東京：ひつじ書房。
- 阪倉篤義（1977）『日本語講座第六巻 日本語の歴史』東京：大修館書店。
- 篠崎大司（2005）「二形態の連体修飾用法を持つ形容詞—形容詞「遠い」における「遠い+N」と「遠くの+N」—」『国語国文学』 46: 1-20.
- 新屋照子（2009）「形容詞述語と名詞述語—その近くて遠い関係—」『国文学：解釈と鑑賞（特集 日本語の形容詞とその周辺—意味・機能から—）』 74(7): 30-40.
- 鈴木一彦・林巨樹（編）（1984）『研究資料日本文法 第3巻 用言編(二) 形容詞・形容動詞』東京：明治書院。
- 鈴木一彦・林巨樹（編）（1984）『研究資料日本文法 第4巻 修飾句・独立句編 副詞・連体詞・接続詞・感動詞』東京：明治書院。
- 高橋太郎（1979）「連体動詞句と名詞のかかわりあいについての序説」言語学研究会（編）『言語の研究』：75-172. 東京：むぎ書房。
- 高橋美奈子（2009）「『ような』の介在する名詞修飾表現『X ような Y』について」『四天王寺大学紀要』 47: 285-297.
- 田窪行則（編）（1994）『日本語の名詞修飾表現—言語学、日本語教育、機械翻訳の接点—』東京：くろしお出版。
- 田中克彦・かめいたかし訳（1981）『エウジェニオ・コセリウ—うつりゆくこそことばなれ—』東京：クロノス。
- 田中穂積・荻野孝野（1980）「形容詞もしくは形容動詞の修飾先の名詞を決める原則について」『計量国語学』 12(5): 191-203.
- 田中牧郎（2013）「『明六雑誌コーパス』『太陽コーパス』から見る近代語彙」『国語研究プロジェクトレビュー』 4(1): 18-27.
- 田野村忠温（2010）「日本語コーパスとコロケーション—辞書記述への応用の可能性—」『言語研究』 138: 1-23.
- 田野村忠温（2012）「BCCWJに収められた新種の言語資料の特性について—データ重複の諸相とコーパス使用上の注意点—」『待兼山論叢』 46: 59-82.
- 田野村忠温（編）（2014）「BCCWJの資料的特性—コーパス理解の重要性—」『講座日本語コーパス6 コーパスと日本語学』第6章 東京：朝倉書店。

- 田林洋一 (2012) 「スペイン語の動詞と構文が持つ他動性に関する認知言語学的考察一文法形式と意味との乖離を巡って一」『慶應義塾大学日吉紀要 人文科学』 27: 151-174.
- 田村泰男 (2008) 「常用辞書における連体詞の認定について」『広島大学留学生教育』 12: 43-50.
- 千葉庄寿 (2008) 「コリゲーションの抽出における形態統語情報の役割」『言語処理学会第14回年次大会 発表論文集』: 861-864.
- 趙乃音 (2011) 「非母語話者日本語教師の文法教育能力改善の試みについて」『国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科日本語教育実践領域実習報告論文集』 2: 75-95.
- 塚原鉄雄 (1964) 「『暖かい』と『暖かだ』」森岡健二[他](編)『口語文法講座3 ゆれている文法』: 23-33. 東京: 明治書院.
- 角田三枝 (2007) 「形容詞(イ形容詞とナ形容詞)の活用とダの活用」『立正大学國語國文』 46: 横 12-24.
- 津留崎由紀子 (2003) 「形容詞の中止形を用いた複文における先行句節と従属句節の関係」『日本語科学』 13: 7-32.
- 寺村秀夫 (1991) 『日本語のシンタクスと意味Ⅲ』東京: くろしお出版.
- 戸村佳代 (1990) 「名詞修飾における『トイウ』の機能(1)統語的位置付け」『明治大学教養論集』 232: 443-452.
- 戸村佳代 (1991) 「名詞修飾における『トイウ』の機能(2)『トイウ』の意味的機能」『明治大学教養論集』 242: 215-231.
- 永澤済 (2010) 「変化パターンからみる近現代漢語の品詞用法」『東京大学言語学論集』 30: 115-168.
- 永澤済 (2011) 「漢語『一な』型形容詞の伸張—日本語への同化—」『東京大学言語学論集』 31: 135-164.
- 中須賀德行 (2002) 「日本語における連体修飾節」『岐阜大学留学生センター紀要』: 13-21.
- 永野賢 (1951) 「言語過程説における形容詞の取り扱いについて」『國語學』 6: 54-64.
- 名柄迪・広田紀子・中西家栄子 (1978) 『形式名詞—外国人のための日本語例文・問題シリーズ2—』東京: 荒竹出版.
- 南部智史 (2007) 「定量的分析に基づく『が／の』交替再考」『言語研究』 131: 115-149.
- 西尾寅弥・宮島達夫 (1971) 『動詞・形容詞問題語用例集』東京: 秀英出版.
- 西山佑司 (2007) 『日本語名詞句の意味論と語用論—指示的名詞句と非指示的名詞句—』東京: ひつじ書房.
- 仁田義雄 (1998) 「日本語文法における形容詞」『月刊言語』 27(3): 26-35.
- 仁田義雄(他)著 (2000) 『文の骨格』東京: 岩波書店.

- 野田尚史 (2007) 「文法的なコロケーションと意味的なコロケーション」『日本語学』 26(10): 18-27.
- 野村剛史 (2011) 『話し言葉の日本史』東京：吉川弘文館.
- 野村剛史 (2013) 『日本語スタンダードの歴史』東京：岩波書店.
- 橋本和佳 (2007) 「名詞とそれを修飾する形容詞の関係」『日本語学』 26(10): 38-46.
- 橋本進吉 (1935) 「国語の形容動詞について」『藤岡博士功績記念 言語学論文集』：389-421. 東京：岩波書店.
- 橋本三奈子・青山文啓 (1992) 「形容詞の三つの用法—終止、連体、連用—」『計量国語学』 18(5): 201-214.
- 蜂矢真郷 (2001) 「形容詞の形容動詞化と形容動詞の形容詞化」『語文』 75・76: 12-19.
- 蜂矢真郷 (2002) 「ク活用形容詞語幹を後項に持つ形容動詞語幹」国語語彙史研究会 (編) 『国語語彙史の研究』 21: 141-158. 東京：和泉書院.
- 蜂矢真郷 (2004) 「語基を共通する形容詞と形容動詞」国語語彙史研究会 (編) 『国語語彙史の研究』 23: 243-260. 東京：和泉書院.
- 早瀬尚子 (2008) 「形容詞か副詞か？副詞としての形容詞形とその叙述性」『認知言語学論考』 8: 125-155.
- 飛田良文 (1998) 「国語辞書における形容詞の意味記述」『月刊言語』 27(3): 64-70.
- 廣野元久・林俊克 (2008) 『JMP による多変量データ活用術』東京：海文堂出版.
- 許夏玲 (2004) 「連体詞『おおきな』『ちいさな』の意味用法—形容詞『おおき』『ちいさい』との比較を通して—」記念論文集編集委員会 (編) 『平井勝利教授退官記念 中国学・日本語学論文集』：492-504. 東京：白帝社.
- 畢曉燕 (2010) 「感情形容詞による連体修飾に関して—感情形容詞と名詞との意味的關係を中心に—」『日中言語研究と日本語教育』 3: 67-77. 東京：好文出版.
- 細川英雄 (1989) 「現代日本語の形容詞分類について」『國語學』 158: 91-103.
- 細野公男 (2000) 「概念間の関係に関する一考案—全体-部分關係を中心に—」『情報知識学会誌』 10(1): 28-39, 48.
- 前川喜久雄 (2004) 「『日本語話し言葉コーパス』の概要」『日本語科学』 15: 111-133.
- 前川喜久雄 (2007) 「コーパス日本語学の可能性—大規模均衡コーパスがもたらすもの—」『日本語科学』 22: 13-28.
- 益岡隆志 (1987) 『命題の文法—日本語文法序説—』東京：くろしお出版.
- 益岡隆志 (1994) 「名詞修飾節の接続形式—内容節と中心に—」田窪行則 (編) 『日本語の名詞修飾表現』：5-27. 東京：くろしお出版.
- 益岡隆志 (1995) 「連体節の表現と主名詞の主題性」益岡隆志・野田尚史・沼田善子 (編) 『日本語の主題と取り立て』：139-154. 東京：くろしお出版.
- 益岡隆志 (1997) 『新日本語文法選書 2 複文』東京：くろしお出版.
- 益岡隆志・田窪行則 (1992) 『基礎日本語文法—改訂版—』東京：くろしお出版.

- 町田健 (1997) 「形容詞の意味について」『北海道大学文学部紀要』 45(3): 247-272.
- 松本正恵 (2000) 「連体修飾節のとらえ方一序説一」『早稲田日本語研究』 8: 1-9.
- 松原幸子 (2009) 「日本語の連体詞は少ないか」『国文学：解釈と鑑賞（特集 日本語の形容詞とその周辺一意味・機能から一）』 74(7): 113-123.
- 松本善子 (1993) 「日本語名詞句構造の語用論的考察」『日本語学』 12(11): 101-114.
- 松本善子 (1994) 「意味から見た連体修飾のいろいろ」『月刊言語』 23(9): 124-127.
- 三尾砂 (2003) 「話しことばにおける形容詞」『三尾砂著作集〈2〉』 : 99-120. 東京：ひつじ書房.
- 三上章 (1989) 『象は鼻が長い』東京：くろしお出版.
- 水谷修[他] (編) (2005) 『新版日本語教育事典』日本語教育学会 東京：大修館書店.
- 南不二男 (1974) 『現代日本語の構造』東京：大修館書店.
- 宮島達夫 (1965) 「いくつかの文法的類義表現について」『国立国語研究所論集 2 ことばの研究 第2集』 : 75-106. 東京：秀英出版.
- 宮島達夫 (1993) 「形容詞の語形と用法」『計量国語学』 19(2): 94-104.
- 村木新次郎 (2007) 「コロケーションとは何か」『日本語学』 26(10): 4-17.
- 村木新次郎 (2009) 「日本語の形容詞—その機能と範囲—」『国文学：解釈と鑑賞（特集 日本語の形容詞とその周辺一意味・機能から一）』 74(7): 6-19.
- 村田菜穂子 (2003) 「古代語形容詞の語構造分析についての一考察」国語語彙史研究会 (編) 『国語語彙史の研究』 22: 171-190. 東京：和泉書院.
- 村田菜穂子 (2005) 『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』東京：和泉書院.
- 望月郁子 (1965) 「形容動詞と形容詞の語形の変遷について」『日本文学誌要』 13: 52-63.
- 森重敏 (1958) 「連體詞の新概念」『國語國文』 27(8): 26-46.
- 森田良行 (1980) 「日本語の形容詞について」『講座日本語教育』 16: 108-124.
- 八亀裕美 (2008) 『日本語形容詞の記述的研究—類型論的視点から—』東京：明治書院.
- 八亀裕美 (2009) 「形容詞述語文をとらえるために—分析に必要な視点—」『国文学—解釈と鑑賞—（特集 日本語の形容詞とその周辺一意味・機能から一）』 74(7): 20-29.
- 山口昌也 (2005) 「構造化テキストに対応した全文検索システム『ひまわり』」国立国語研究所 (編) 『雑誌『太陽』による確立期現代語の研究—『太陽コーパス』研究論文集一』 : 49-82. 東京：博文館新社.
- 山口昌也 (2013) 「全文検索システム『ひまわり』」前川喜久雄監修『コーパス入門』 : 170-176. 東京：朝倉書店.
- 山田進 (2007) 「コロケーションの記述と名詞の意味分類」『日本語学』 26(10): 48-57.

- 山田敏弘 (1995) 「赤クテ大キイ本と赤ク大キイ本と赤イ大キイ本—装定用法の形容詞が並置された際の前項の形態—」 宮島達夫・仁田義雄 (編) 『日本語類義表現の文法 (下) 複文・連文編』 : 399-407. 東京 : くろしお出版.
- 山橋幸子 (2009) 「和語における『形容詞』と『形容動詞』の区別—形式と意味との関りを中心に—」 『比較文化論叢—札幌大学文化学部紀要—』 23: 162(1)-149(14).
- 山本俊英 (1955) 「形容詞ク活用・シク活用の意味上の相違について」 『國語學』 23: 71-75.
- 山本雅子・大西五郎 (2003) 「話し言葉と書き言葉の相互関係—日本語教育のために—」 『言語と文化』 8: 73-90.
- 湯沢幸吉郎 (1969) 『文語文法詳説』 東京 : 右文書店.
- 吉川武時 (編) (2003) 『形式名詞がこれでわかる』 東京 : ひつじ書房.
- 羅蓮萍 (2009) 「『ナ形容詞』と『ノ形容詞』のイメージ—日本語母語話者の使用意識—」 『山口国文』 32: 120-110.
- 劉善鈺 (2013) 「コーパスに基づく日本語の文法形式の使用傾向の記述—『大きい・な』『小さい・な』の使い分けについて—」 『ことばの科学』 26: 95-110.

関連 URL ⁴¹

- 宇佐美まゆみ監修(2011)『BTSJ による日本語話し言葉コーパス（トランスクリプト・音声）2011 年版』について

http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj_corpus_explanation.htm

- 国立国語研究所（2006）『近代女性雑誌コーパス』（Web 上でダウンロード）

http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/cmj/woman-mag/

- 言語データベースとソフトウェア

<http://www2.ninjal.ac.jp/lrc/index.php?%B8%C0%B8%EC%A5%C7%A1%BC%A5%BF%A5%D9%A1%BC%A5%B9%A4%C8%A5%BD%A5%D5%A5%C8%A5%A6%A5%A7%A5%A2>

- 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)

http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/

- 全文検索システム『ひまわり』

http://www.ninjal.ac.jp/publication/catalogue/kokken_mado/24/03/

- 国立国語研究所（2005）『太陽コーパス—雑誌「太陽」日本語データベース—CD-ROM』（博文館新社）

http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/cmj/taiyou/

- 『名大会話コーパス』

<https://dbms.ninjal.ac.jp/nuc/index.php?mode=viewnuc>

⁴¹ 最終アクセス日は 2014 年 12 月 10 日である。

謝 辞

この博士論文を執筆するにあたり、これまでお世話になった方々への謝辞を申し上げます。

2007年4月に、私を指導生として引き受けてくださった主指導教員である名古屋大学大学院国際開発研究科教授・藤村逸子先生には、研究面はもちろん、生活面も含めて大変お世話になりました。修士課程から博士課程修了まで、長年にわたりご指導を賜り、研究姿勢から論文論述の細部に至るまで、叱咤激励を賜りました。藤村先生のご指導とご助言がなければ、この博士論文を完成させることができませんでした。研究者としての先生のお姿に多くの刺激をいただき、また深い薫陶を賜りました。ここに、心より深くお礼申し上げます。

副指導教員である同研究科教授・木下徹先生には、修士課程からゼミに参加させていただき、本研究に関して定期的にご指導をいただきました。木下先生のゼミで研究報告をさせていただくことで、一步一步研究を進めることができました。木下先生からいただいた親切なご指導、ご助言に深く感謝いたします。

副指導教員である同研究科准教授・加藤高志先生には、修士論文の査読もしていただきました。拙論の内容や方向性に深い理解を示してくださりながら、本研究を進めるに当たってご指導とご助言をくださり、励ましてくださいました。加藤先生のご指導、温かいお言葉に深謝いたします。

深く思い返せば、元副指導教員であった立命館大学・大学院言語教育情報研究科・教授滝沢直宏先生からも、有益なご教示を賜りました。また、私が所属している名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻の諸先生方には様々な面でお世話になりました。この場を借りて、お礼を申し上げます。

かつて日本語学校で教わった梶川克哉先生は、いつも私の博士論文の進行を見守ってください、温かく励ましてくださいました。心より、お礼を申し上げます。また、山本裕美子先生には日本語のネイティブチェックをしていただきました。ここに感謝の意を表します。

名古屋大学大学院国際開発研究科に入学して以来、同じゼミの先輩や仲間とは、お互いの研究を素直に批判し合い、共に成長することができました。特に、新實葉子さんには、博士論文のデータベースにおける分析ミスのチェック及び博士論文の日本語の最終校閲という大変時間と労力を要する作業をお引き受けいただきました。郭世豪さんにも、データ収集から論文の方向性や研究に関する助言など、さまざまな面でご協力いただきました。また、行き詰まったとき、同じ博論執筆に励んでいる金栄一さん、研究室の隣席の島津侑希さん、先輩の陳曦さん、後輩の蔣媛さんはいつも優しく、相談に乗ってくださいました。ここに、皆様に心からお礼申し上げます。更に、論文作成の過程で温かい声援をく

れたゼミ、研究室の各位にも感謝いたします。みなさんの応援がなければ、この論文が完成に至ることも困難であったことでしょう。

中国の所属先である中国・広西大学にも感謝の意を表したいと思います。3年間休職を許していただいたからこそ、就職に不安なく研究に専念することができました。

最後に、家族への感謝を述べたいと思います。休職し、家族を離れて日本で博士号を取りたいという私のわがまを許し、いつも私の可能性を信じ、支えてくれた夫に心より感謝いたします。また、あらゆる面で私を温かく見守り続け、心強い励ましを送り続けてくれた父と母、そして妹と弟に、心から感謝いたします。

ここにお礼を申し上げられなかった方々も含め、皆様方のご協力がなければ本論文が完成に至ることは到底なく、個々に深くお礼を申し上げます。

2014 年 12 月

付 録

付録Ⅰ： 『中納言』を利用した予備検索の検索条件設定

- ・【短単位検索】
- ・【検索対象】を「すべて」に設定
- ・【キー】（以下1～5に沿って実行する）

1. (語彙素読み =" ("い形") " AND 活用形 LIKE "連体形%")

「形容詞-一般」と分析される語：オオキイ、チイサイ、コマカイ、アタタカイ、ヤワラカイ、オカシイ、ハバヒロイ、マッシロイ、シカクイ、キメコマカイ、マックロイ、イジワルイ、チャイロイ、テガルイ、メデタイ、アサグロイ、ヒヨワイ、テアライ、マヂカイ、マンマルイ、アマカライ、ハラグロイ、ナウイ

→「い形」23語を入力し、23回検索を実行

2. (語彙素読み ="オオキナ・チイサナ・オカシナ")

→「連体詞」と分析される3語を入力し、3回検索を実行

3. (語彙素読み ="アタタカ・コマカ・ヤワラカ・マッシロ・マックロ・アマカラ・マヂカ・テアラ・テガル・ヒヨワ・ハバヒロ・キメコマカ・アサグロ・ナウ・チャイロ・メデタ・マンマル・ハラグロ" AND 後方共起: 書字形出現形 ="な")

→「形状詞-一般」と分析される13語：アタタカ・コマカ・ヤワラカ・マッシロ・マックロ・アマカラ・マヂカ・テアラ・テガル・ヒヨワ・ハバヒロ・キメコマカ・アサグロ

→「名詞-普通名詞-一般」と分析される3語：ナウ・チャイロ・メデタ

→「名詞-普通名詞-形状詞可能」と分析される2語：マンマル・ハラグロ

→以上18語を入力し、18回検索を実行

4. (語彙素読み ="シカク" AND 品詞 ="名詞-普通名詞-形状詞可能" AND 後方共起: 書字形出現形 ="な")

→1回検索を実行

5. (語彙素読み ="ワル" AND 前方共起: 語彙素読み ="イジ" AND 後方共起: 書字形出現形 ="な")

→1回検索を実行

付録Ⅱ： 『BTSJ』 から除外した日本語学習者の会話データ一覧

(60 会話分)

NO	ファイル名	NO	ファイル名
1	117-7-NNS01-BM01-1	31	147-10-TF06-JF06
2	118-7-NNS02-BM01-1	32	148-10-TF07-JF07
3	119-7-NNS01-BM01-2	33	149-10-TF08-JF08
4	120-7-NNS02-BM01-2	34	150-10-TF09-JF09
5	121-8-NSM04-NNSM04	35	151-10-TF10-JF10
6	122-8-NSM05-NNSM05	36	152-11-BA01-NNM
7	123-8-NSM06-NNSM06	37	153-11-BA01-NUU
8	124-8-NSM07-NNSM07	38	154-11-BA01-NS
9	125-8-NSM08-NNSM08	39	155-11-BA02-NNM
10	126-8-NSF05-NNSF05	40	156-11-BA02-NUU
11	127-8-NSF06-NNSF06	41	157-11-BA02-NS
12	128-8-NSF07-NNSF07	42	158-11-BA03-NNM
13	129-8-NSF08-NNSF08	43	159-11-BA03-NUU
14	130-9-NNSBF01-NSOF01	44	160-11-BA03-NS
15	131-9-NNSBF01-NSSF01	45	161-12-JBF01-NNA01
16	132-9-NNSBF02-NSOF01	46	162-12-JBF01-NNB01
17	133-9-NNSBF02-NSSF01	47	164-12-JBF02-NNA01
18	134-9-NNSBF03-NSOF01	48	165-12-JBF02-NNB01
19	135-9-NNSBF03-NSSF01	49	167-12-JBF03-NNA01
20	136-9-NNSBF04-NSOF01	50	168-12-JBF03-NNB01
21	137-9-NNSBF04-NSSF01	51	170-12-JBF04-NNA02
22	138-9-NNSBM02-NSOM01	52	171-12-JBF04-NNB02
23	139-9-NNSBM02-NSSM01	53	255-20-J1-L1
24	140-9-NNSBM03-NSOM01	54	256-20-J1-L2
25	141-9-NNSBM03-NSSM01	55	257-20-J2-L1
26	142-10-TF01-JF01	56	258-20-J2-L2
27	143-10-TF02-JF02	57	259-20-J2-L3
28	144-10-TF03-JF03	58	260-20-J3-L1
29	145-10-TF04-JF04	59	261-20-J3-L2
30	146-10-TF05-JF05	60	262-20-J4-L4

付録Ⅲ： 『新潮』の43作品の作品名一覧

(作者名の五十音順)

1 赤川次郎『女社長に乾杯!』	23 高野悦子『二十歳の原点』
2 阿川弘之『山本五十六』	24 立原正秋『冬の旅』
3 安部公房『砂の女』	25 田辺聖子『新源氏物語』
4 有吉佐和子『華岡青洲の妻』	26 筒井康隆『エディプスの恋人』
5 池波正太郎『剣客商売』	27 壺井栄『二十四の瞳』
6 石川淳『焼跡のイエス／処女懐胎』	28 新田次郎『孤高の人』
7 石川達三『青春の蹉跌』	29 野坂昭如 『アメリカひじき／火垂るの墓』
8 五木寛之『風に吹かれて』	30 福永武彦『草の花』
9 井上ひさし『ブンとフン』	31 藤原正彦『若き数学者のアメリカ』
10 井上靖『あすなろ物語』	32 星新一『人民は弱し官吏は強し』
11 井伏鱒二『黒い雨』	33 松本清張『点と線』
12 遠藤周作『沈黙』	34 三浦綾子『塩狩峠』
13 大江健三郎『死者の奢り／飼育』	35 三浦哲郎『忍ぶ川』
14 大岡昇平『野火』	36 三島由紀夫『金閣寺』
15 開高健『パニック／裸の王様』	37 水上勉『雁の寺／越前竹人形』
16 北杜夫『楡家の人びと』	38 宮本輝『錦繡』
17 倉橋由美子『聖少女』	39 村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』
18 沢木耕太郎『一瞬の夏』	40 山本周五郎『さぶ』
19 塩野七生 『コンスタンティノーブルの陥落』	41 吉村昭『戦艦武蔵』
20 椎名誠『新橋烏森口青春篇』	42 吉行淳之介『砂の上の植物群』
21 司馬遼太郎『国盗り物語』	43 渡辺淳一『花埋み』
22 曾野綾子『太郎物語』	

付録Ⅳ： 具象名詞に分類した語

(述べ語数：2,065 語、異なり語数：7,030 語)

日、月、火、水、子、金、土、2人、3人、6角形、CD、HDD、TV、Tシャツ、USBメモリ、アーチ、アイコン、アイナメ、アクセルペダル、アサリ、あずきあん、アトリエ、アナゴ、アパート、アブラメ、アリ・蟻、アンティーク、アンプ、イクラ、イタズラ電話、いびき・鼾、イボ、イヤリング、イラスト、インテーク、インテリ、ヴァイオリン、ヴァガボンド、ウィング、ウィンドウ、ウーロン茶、ウエア、ウエットティッシュ、うさぎ、ウニ、うねり、ウンチ、えくぼ、エネルギー、エビ・海老、エプロン、エレベーター、エンジン、おかず、おしぼり、おたまじゃくし、おっさん、おっばい、おにぎり、オーバーコート、おばあさん、おばさん、オフィス、おもちゃ、オレンジ色、おろし金、お稲荷さん、お家、お姉さん、お子さん、お子様、お寺、お重、お針子、お茶、お通し、お腹、お母さん、ガーゼ、カーディガン、カーテン、カード、カーフ、カール、カギ・鍵、かけら、かさぶた、カス、カットワーク、カップ、カニ・蟹、かばん・鞆、カフェ、カフェオレ、かまくら、カメラ、ガラス、ガラス器、カラビナ、カンテラ、キー、キーボード、キス（鱧）、キズ・傷・疵、キスリング、キッチン、キット、キッド、ギヤ、キャベツ、ギャラリー、キャンドル、キャンバス、キューブ、クーラー、くさめ、くしゃみ、クジラ・鯨、クッション、グッズ、クモ・蜘蛛、クラゲ、クラス、グラス、グラスルーフ、グラタン、クラブ、クリーム、グリーン、クリスマスツリー、クリニック、グリル、グレート・デン、クレヨン、クローバー、グローブ、クロワッサン、ケーキ、ケーキ屋、ケース、コート、コーヒー、コーヒー屋、コオロギ・蟋蟀、ゴキブリ、ココア、コサージュ、コットン系、コップ、コネクター、ごはん・御飯、コピー屋、こぶし・拳、ゴマ粒、ゴミ、ゴミバケツ、ゴミ箱、ゴム部分、コンデンサ、コンビニ、コンピュータ、コンロ、サーキット、サアベル、サイコロ・賽、サクラマス、サスペンション、サドル、サラダ、サラミ、サロン、さん（人）、サンルーム、シート、ジーンズ、シェル、ジグ、しこり、シチュー、シミ、ジム、ジャガイモ、ジャケット、シャフト、シャベル、シャワー、ジャンク、ジャンプ台、シュークリーム、シューズ、シュガー、ショップ、ジョロ、シルエット、しるこ、シンク、シンボルツリー、スイカ、スイス、スイッチ、スウェット、スーツケース、スーパー、スープ、スエード、スカート、スカーフ、スキン、スクリーン、スコーン、スタジアム、スタジオ、すだれ、スティック、ステーキ、ステージ、ステッカー、ステツキ、ストア、ストーブ、ストラップ、ストレイナー、スナック、スナップ、スニーカー、スノーボード、スピーカー、スプーン、スプレー、スポンジ、セーター、せせらぎ、セッター、ゼリー、センター、ゼンマイ、ソーセージ、そば、ターゲット、ターコイズ、タービン、タイヤ、ダイヤ・ダイヤモンド、タオル、タコ、たこ、ダック、タッパー、タパス、ダム、タモ、タラップ、タルト、だるま、タンク、タンコブ、タンポポ、チ

ヌ、チャーシュー、チャーム、チャペル、チョコ、チョコレート、ちり、チンコ、チンチン、つつじ、ツノ、つぼみ、つゆ、ツリー、ティーバッグ、ディスカウントショップ、ディレイ、テーブル、できもの、デジタルカメラ、デスク、デッキ、デパート、てるてる坊主、テレビ、ドア、ドイツ人、トイレ、とうもろこし、トースター、トゲ、どじょう、ドット、トマト、どよめき、トラック、トランク、トランス、トレーラー、トロコ、ドンコ、トンネル、トンボ、ナイフ、ナイロン、ナス、ナット、ナツパ、ニキビ、ニット、ニット帽、ぬいぐるみ、ネオン、ネジ、ネズミ、ネット、ねむ、ノート、ノズル、バー、パーカ、パーゴラ、パーツ、パーツ屋、ハードディスク、パール、パール、バイク、パイプ、ハウス、パウダー、バクチ場、バケツ、はさみ・鋏、バス、バス、バスケット、バステル、パズル、パソコン、パチンコ屋、はち丈じき、バッグ、バック、バックル、パッケージ、バッジ、バッテリー、バット、パテ、バナナ、バネ、パネル、バラ、バン、パン、ハンガー、ハンカチ、ハンザケ、パンツ、パンティー、パンプス、ハンマー、パン屋、ピアス、ピアノ、ビーズ、ビストロ、ピストン、ビデオ、ヒビ・皸、ヒューズ、ビル、ヒレ、ピンクベージュ、ファー、ファイル、ファクトリー、ファミリー、フィギュア、フィルター、フィルム、ブーケ、ブース、プール、フェイス、フェルト、フェンダーアーチ、フケ、ふしど、プツプツ・ブツブツ、ブライドメイド、フライパン、ブラシ、フラッグ、フラッシュメーター、ブランコ、プランター、プリーツ、ブリーフ、フリル、ブル、プレイヤー、フレック、プレート、フレーム、フレンチフライ、ブローチ、プロダクション、ブロック、ベージュピンク、ベッド、ペニス、ベビーフード、ベランダ、ベルト、ペンタ部、ベンチ、ペン字、ホイール、ボウル、ポーチ、ボート、ホームセンター、ホール、ボール、ボクサー、ホクロ・黒子、ポケット、ほこら・祠、ポスター、ぽたぽた焼き、ボタン、ホツク、ボックス、ポット、ホットプレート、ボディー、ホテル、ボトル、ポリープ、ポンプ、ボンベ、マグロ、マリオネット、マンション、みこし、ミス、ミニカー、ミラー、ミルク、ムカデ、メーカー、メダル、メッシュ、メモ、モーター、もぐら、モチーフ、モニター、やどかり、ヤニ、ユーザー、ゆず・ユズ、ライト、ライブハウス、ラウンジソファ、ラジオ、ラック、ラッパ、ラメ、ランプ、リード、リール、リビング、リボン、リムジン、リュックサック、リング、ルアー、ルーム、ルーレット、ルピナス、レヨン、レザー、レストラン、レタス、レバー、レンズ、レンタカー屋、レンチ、ロータリーエンジン、ローラー、ロゴアイテム、ロフト、ロボット、ワイパー、わが家、ワッフル、わな、ワニ、ワンルーム、阿弥陀さん、悪戯小僧、握り飯、鰻、鮓、鮓糸、綾錦、庵、闇、位牌、囲炉裏、椅子、胃、胃の腑、衣、衣服、医院、医療機関、井戸、一の枕、一軒家・一軒屋、一枝、一人、一箱、一匹、一枚板、芋、印、印形、印刷屋、印刷機、印刷物、引き出し、飲み屋、飲み物、陰影、烏・鴉、烏賊、羽、羽音、羽子、羽子板、羽虫、雨、雨滴、鰻、鰻の子、運河、運動場、雲、営業マン、嬰兒、影・陰、映画館、曳船、液体、駅、円、円丘、円柱、延棒、炎・焰、炎症、煙、煙管、煙草屋、煙突、猿、鉛板、鉛筆、塩水、甥、甥姪、押し花、横顔、王家、王国、鷗、黄色、黄土、黄頰蛇、屋形

船、屋根、屋敷、臆病者、桶、牡丹、音、音声、下宿、下女、下水、下駄、下駄屋、下着、下婢、化粧水、嫁、家、家屋、家屋敷、家々、家具、家具屋、家族、家畜、家畜商、家庭、家電、果、果樹園、果肉、歌手、河口、河川、火の塊、火の玉、火の粉、火花、火器、火口湖、火山、火種、火柱、火鉢、花、花びら、花蛇、花屋、花嫁、花火、花芽、花環、花束、花瓶、花卉、花輪、荷物、菓子、菓子屋、菓子舗、貨車、貨物船、蚊帳、牙、画架、画材屋、画集、画像、画布、画面、芽、蛾、餓鬼、会社、会場、塊・固、廻廊、懷石屋、懷中電灯、海、海苔、海鳥、海老、灰、皆、皆さん、絵・畫、蟹、開口、階段、貝殻、貝殻、外車、外套、咳、害毒、蓋、街、骸、格子、格納庫、核果、殻、角、角笛、革、学校、学生、学問所、楽器屋、額、額（ぶち）、顎、顎肢、掛布、割石、活字、滑車、靴、蒲団、釜、鎌、茅の輪、茅屋、官学、官舎、幹、換気扇、棺、歓声、汗、甘み、甘藍、看板、管、缶、艦、艦隊、観客、観葉植物、観覧車、間、丸、玩具、癌、眼鏡、眼窩、岩、岩窟、岩戸、顔、顔立ち、企業、企業家、器、器官、器具、基地、机、旗、機械、機船、機体、気嚢、気泡、汽車、汽船、汽艇、貴女、輝き、亀、亀の子、戯曲家、蟻塚、客、脚部、丘、丘陵、休み場、宮、宮殿、球根、球場、給湯器、牛、牛革、牛乳、牛乳屋、居間、居酒屋、巨人、巨体、鋸、漁船、漁村、魚、魚屋、競争者、競馬場、共和国、教育者、教会、教師、教室、教場、橋、橋梁、胸、胸像、蕎麦、鏡、鏡面、響き、業者、局、極上品、玉・球、玉砂利、琴、筋、筋腫、筋肉、襟、金閣、金庫、金持、金属、金属粉、金属片、金融機關、金鈴、銀、銀貨、銀行、銀行券、銀色、銀片、銀簪、句碑、空、空気、空港、空地、空中線、偶像、串盛り、窟穴、靴、靴・履、靴屋、靴下、窪地、熊笹、栗、勲章、君、軍艦、軍艦商船、刑務所、兄、兄弟、携帯(電話)、景色、溪流、経師屋、茎、蛍、蛍光灯、警戒者、警察署、軽気球、鶏、芸術家、芸能人、劇場、穴・孔、結び文、結晶、血液、血管、血溜まり、剣客、剣山、建造物、建築物、建物、犬、研究科、研修者、絹ごし（豆腐）、肩、軒、原っぱ、原動機、弦、玄関、個室、個体群、古墳、古裂、呼吸、戸、枯木、湖、湖沼、湖水、胡籐、虎、呉服屋、御札、御殿、御里御所、鯉、交差点、交通船、光、公園、口、口元、口腔、向日葵、坑、工場、工房、広間、広小路、広場、杭、港、港町、溝、糠袋、紅茶、綱、行列、講義所、講堂、鉦区、香り、香炉、高級車、高窓、壕、国、国旗、国道、国民、黒んぼう、黒人、黒星、黒板、腰掛け、骨、骨董屋、骨壺、昆虫、根、紺緋、砂、砂岩、砂金、砂地、砂漠、砂浜、砂埃、鎖・鏈、座卓、座布団、座敷、債権者、妻、採石場、災害、細工、細工物、菜花、材木、材料、財布、坂、作業靴、桜、鮭、笹藪、刷毛、擦過傷、札、雑貨屋、雑巾、雑誌、雑草、鯖、皿、三角形、三輪車、傘、傘・笠、山、山影、山沓、山師、山寺、山川、山東菜、山羊、栈橋、刺繍、四斗樽、姉、姉さん、姿見、子宮筋腫、子供、子猫、子葉、市、市街、市場、市町村、市長、市電、指、指輪、支店、支流、施設、枝、私、糸巻き、紙、紙切れ、紙入れ、紙幣、紙片、脂肪滴、詩人、試験管、資産家、資本家、歯、歯牙、歯車、事業所、事務所、字、寺、寺院、持仏堂、時計、次男、磁石、耳、耳垢、耳朵、自己、自治体、自転車屋、自動車、自動販売機、自分、七輪、室、室内履き、湿疹、湿布、

実、芝、芝生、縞、写真、煮奴、社、車、車体、車両、車輪、蛇、借家、若君、若者、若葉、若様、取っ手、手、手桶、手球、手鏡、手首、手洗い、手槍、手袋、手帳、手提げ、手風琴、手毬、手焙り、手籠、種、種子、腫れ、腫物、酒、酒場、酒藏、首、首筋、首都、寿司屋、樹蔭、樹皮、樹木、樹林、収納、宗派、洲、舟・船、集団、集落、住まい、住宅、充電器、十字架、汁物、獣、宿、宿場、塾、出眼、出血、出入口、出版社、峻坂、巡洋艦、巡洋戦艦、巡禮寺、書斎、書卓、書店、書類、女、女の子、女王、女性、女童、商家、商館、商社、商人、商店、商店街、商品、小屋、小学校、小学生、小指、小人、小石、小川、小僧、小男、小豆、小道具、小坊主、小路、小兒、少女、少年、床、床の間、掌、松、松かげ、松明、沼、沼沢、消しゴム、焼け焦げ、焼穴、焼肉屋、硝子、笑顔、紹興酒、肖像、衝立、象、賞牌、醤油さし、鐘、鐘楼、障子、上司、上臈、乗り物、城、城館、城壁、状袋、畳、畳紙、蒸器、蒸気、錠剤、飾り、飾棚、植物、植木、植木鉢、色、食べ物、食卓、食品、食料、食料品、尻、唇、寝顔、寝床、審判官、心臓、森、森林、真珠、神社、薪割り、親、親御、診療所、身震い、身体、進水台、針、針穴、震え、人、人影、人間、人形、人形屋、人参、人々、人望家、塵、須弥壇、図、図体、厨房、垂片、垂木、水たまり、水ぶくれ、水桶、水玉、水車、水槽、水族館、水着、水滴、水筒、水瓶、水泡、水雷艇、水疱、錘、雛、世界、勢力家、成長、政治家、政党、星、星形、清浄機、生き物、生産者、生地、生徒、生物、生簀、声、製造所、製造場、製品、西瓜、西洋館、青、青ジミ、青空、青縞商、青痰、石、石ころ、石核、石像、石段、石塔、石臺、責、赤ちゃん、赤ん坊、赤子、切株、折り鶴、節穴、雪、雪片、雪橇、舌、仙人掌、先生、川・河、戦艦、戦場、扇、扇子、扇風機、泉水、洗面器、染め粉、潜り戸、煎茶、線描、腺、船渠、船室、船台、船着き場、船舶、選手、閃光、前掛、前歯、膳、素材、組織、鼠、倉庫、捜査班、巢、痩せ、相手、窓、窓口、草、草庵、草原、草地、草履、草鞋、藻の葉、装飾、装置、送信機、像、臓器、臓物、贈り物、造形物、息、息子、束髪、足、足音、足跡、足袋、卒都婆、袖、孫、村、村居、村社、村内、村落、太鼓、太陽、唾、打者、舵、体・軀、体・軀・軀、体育館、体軀、堆陵、帯、胎児、袋、袋小路、貸出口、鯛、鯛焼き、台、台座、台車、台所、台風、大画、大学、大広間、大根、大陸、滝、滝口、卓、卓子、沢、茸、夙、棚、谷、狸、鱈、樽、単葉機、嘆声、炭、炭火、端切れ、箆、綻び、団子、団扇、団体、団地、断層、暖簾、暖炉、檀家、段ボール、男、男の子、男根、男子、男性、値、値札、地球儀、地図、池、蜘蛛、築山、竹筒、竹番線、茶、茶臼、茶屋、茶荘、茶筒、茶入、茶碗、着物、中学生、中古車屋、中庭、仲間、柱、柱時計、注射器、虫、虫けら、虫歯、鋳物、駐車場、貯水池、帳、張り紙、彫刻品、朝顔、潮、町、町村、腸骨、蝶、調色板、調度、調和者、銚子、長火鉢、鳥、鳥、鳥影、鳥居、鳥口、鳥打帽、鳥籠、津波、椎茸、槌、鎚、通り、通風器、榧・櫟、紬、爪切り、停車場、堤防、定規、定紋、底流、庭、庭園、庭石、弟、弟妹、抵抗者、提灯、提籃、邸、邸宅、釘、釘抜き、泥、泥棒、敵、滴、滴粒、鎬矢、哲学者、鉄、鉄管、鉄材、鉄山、鉄槌、鉄板、鉄瓶、鉄砲、鉄砲玉、鉄棒、鉄門、天使、天水桶、天体、天幕、店、店屋、店舗、田舎、田

圃、電気屋、電気釜、電気器、電球、電車、電池、電柱、電灯、電燈、電動機、電流、吐息、塗箱、渡場、登山者、都会、都市、砥石、土塊、土間、土産、土手、土地、土鍋、土瓶、土塀、土藏、土饅頭、冬晴れ、刀、刀物、唐紙、塔、島、島国、島々、東屋、湯、湯気、湯殿、湯呑、灯、灯籠、筒、藤棚、豆、豆腐、踏切、頭、頭巾、動物、同士、洞窟、洞穴、瞳、胴衣、胴乱、道、道具、道具立て、道場、道路、銅線、峠、毒蛇、突起、突起物、突風、内火艇、内海、鍋、鍋蓋、縄、楠・樟、二の腕、二階家、二人、二人組、肉、肉体、肉団子、肉片、肉類、虹彩、日差し・陽射し、日本人、日本島、乳、乳首、乳房、入り口、入れ物、入江、妊婦、猫、猫目、熱、粘土、粘土層、粘膜、能面、脳、脳みそ、農家、蚤、把手、波、波止場、馬、馬車、馬鈴薯、廃屋、排泄物、背、背中、梅干、煤、売場、秤盤、博物館、白綾、白瓜、白玉、白菜、白鷺、白鳥、薄様、爆音、爆撃機、爆発音、爆発弾、麦茶、箱、箱庭、肌、畑・畠、八字髭、鉢、鉢植え、発信機、発電機、発動所、髪、判、反り耳、帆、帆船、帆前船、帆立貝、斑、斑点、板、板屋根、飯（めし）、飯櫃、番傘、盤木、彼、彼氏、彼女、扉、批評家、皮・革、皮庫、皮膚、秘書、被害者、被写体、被膜、被毛、避難所、飛脚、飛行機、飛行船、飛沫、尾翼、微粒、美術館、美肌、美容院、鼻、鼻糞、髭、膝、膝頭、菱餅、筆、姫、姫君、氷、瓢箪、表札・標札、表示部、病院、病人、苗代、苗木、鰭、品物、浜、瓶、不幸、不動産屋、婦人、富者、布、布団、布片、敷地、敷物、斧、浮き島、浮氷、腐食、腐敗、芙蓉、負傷、武士、舞衣、舞台面、部屋、部品、部落、封筒、風、風車、風船、風呂、風呂敷、伏籠、服、腹、腹部、仏像、仏壇、仏堂、物音、物質、物体、鮎、分家、噴火口、噴火筒、噴水、焚火、粉、粉瘤、文机、文具屋、文字、文字盤、文箱、文様、兵、兵營、兵舎、平屋、平地、柄、米粒、壁、編み目、便、便利屋、弁当、弁当チェーン、弁当箱、圃、捕獲艇、墓、墓苑、墓碑、母、母屋、母親、包み、包帯、包丁、宝石、峯岳、庖刀、放送局、方、泡・沫、泡だて器、砲、蜂、訪問者、坊様と嬢様、帽子、忘れ形見、房、暴風雨、望遠鏡、頬、僕、墨袋、牧場、堀、幌、本、本屋、本店、本堂、本箱、盆、盆栽、盆地、麻袋、妹、幕、枕、鱒、榊形、岬、蜜、民家、民船、民族、無人島、霧、娘、名刺、明かり、明るみ、姪、綿束、綿入れ、面、麵、茂み、毛、毛穴、毛糸、毛色、毛布、網、木・樹、木の実、木の葉、木魚、木札、木刀、木箱、木判、木片、木々、木履、木篋、目・眼、餅、問屋、紋、紋付、門、門構へ、門松、門標、野、野原、野菜、野猪、野兔、野良犬、矢、薬、薬屋、薬局、薬籠、薬罐、柳、油絵、油紙、油虫、油田、油入れ、輸送機、友達、誘拐者、遊覧船、郵便局、夕日・夕陽、予備軍、幼児、幼稚園、幼虫、妖精、容器、洋館、洋傘、洋服、洋服屋、溶鉱炉、溶炉、窯、羊革、葉、葉っぱ、葉影、葉茶屋、要具箱、陽、陽の目、陽光、浴場、浴槽、翼、淀み、裸、裸足、雷、落葉、卵、嵐、梨、裏長屋、陸橋、陸軍、陸地、流し、流し台、粒、粒子、粒状、粒々、隆起、旅館、旅行社、両脚、両国民、両手、両替商、料亭、料理、料理屋、料理茶屋、梁、領収書、領地、緑、緑茶、林、林家、林檎、輪、鱗、涙、令嬢、冷温器、冷蔵庫、礼拝所、鈴、暦、列島、恋人、簾、連中、炉、路、露、露臺、漏斗、老躯、老人、老婆、蠟、蠟紙、蠟燭、和紙、和船、脇腹、

鷺、椀、湾、碗、腕、腕時計、井、傳馬、兀鷹、冰、刃物、勳章、嘴、囁き、圓筒器、圓盤、圪塆、埃、壯士、壺、屏風、巫女、帷、幟、廡、檜、梭、楔、檻、櫂、藁、毬、濾圧器、渚水、炬火、炬燵、烟管、燒岩、燒石、燠、痣、瘡口、癍痕、瘤、盥、眞空球、祠、竈、笊、篝火、籠・籃、翅、舍利玉、臙、苞、苔、藥瓶、蚯蚓、蛆、蝮、蠅、墓股、墓口、觀察渠、證券、赧ら顔、蹠、鉤、鉈、隧道、靱帶、顴骨、饅頭、駱駝、髹、麥藁帽、麥稈帽、鼬。

付録V： 抽象名詞に分類した語

(述べ語数：1,545 語、異なり語数：4,630 語)

日曜日、(金)額、“窓”、「プロバビリティー」、『モヤ』、2面、3日間、Sサイズ、UP、Vカット、アーク、あいさつ、アイディア、アクセント、アドバイス、アドバンテージ、あれ、アレンジ、アレンジメント、イザコザ、いたずら、いばりかた、イベント、イメージ、イメージチェンジ、インセンティブ、インパクト、ウェート、ウェート、ヴォリューム、うそ・嘘、うねり、うわさ、えぐり、エゴイスト、オーダー、オーバル型、おくれ、オブジェ、お世話、カーブ、かた、がた、かたち・形、ギザギザ、キス、きっかけ、ギャップ、キャリー、きらめき、グラウンド、クラッシュ、ぐりぐり、グループ、クレーム、クレバス、ケース、ゲーム、ゲップ、コーナー、コスト、コスモス、こだわり、こづきあい、こなし、コマ送り、コミュニティ、コメント、コンセンサス、サービス、サイズ、サイト、サイドカーブ、サッカー、サポート、サムシング、ざわめき、シェア、システム、ジャンル、ショック、シリーズ第23作、シンプルさ、スウィング、スキャンダル、すき間、スクープ、スケール、スケジュール、スケッチ、スタイル、ステップ、ストライプ、ストレス、スペース、ズレ、すれ違い、スローガン、セッティング、センセーション、それ、ゾンビ、ターニングポイント、タイプ、タイヤ径、ダウンフォース、たくらみ、タッチ、ダメージ、ため息、チェック、チェックポイント、チェンジ、チャンス、ツケ、つぶやき、つまずき、ディテール、データ、テーマ、テク・テクニック、テクスチャー、デザイン、デモ、トグロ、トップ、トピック、トラブル、トランジスタ、トルク、トレード、トレンド、なり、ニュアンス、ニュース、ニュードロイド、ねじり、ネック、ネットワーク、ねらい、バージョン、パーティー、ハート、パートナー、ハードル、パーマ、はき心地、ハゲ、はじらい、パスワード、パターン、パワー、パンク、パンチ、ハンディキャップ、ピーク、ビジネス、ビジョン、ヒット、ひらがな、ピン、ヒント、ファイアリング、ファイトマネー、ファイル、ファンド、フォルム、フォント、フック、プラス、フラットスポット、プリント、ぶれ、フレア、プレー、ブレイクスルー、フレーズ、プレサブルホール、プレゼント、プレッシャー、プログラム、プロジェクト、プロッチ、プロバイダ、ページ、ベース、ベクトル、ヘッド、ヘルプ、ポイント、ホーム、ホームページ、ボカシ、ポジション、ホラ、ボリューム、マーク、マーケット、マイナス、まとまり、まなざし、メッセージ、メディア、メモリー、メリット、メロディ、モーション、もてなし、モノグラム、もめ事、やせ我慢、やりがい、ゆがみ、ユニット、ヨセ、ライン、リアクション、リーダーシップ、リスク、リフォーム、ルール、レギュレーター、レベル、ロール、ロス、ロマン、愛、愛敬、愛情、愛国心、悪、悪魔、圧迫、圧力、或物、安心、安心感、安全、安息感、安堵、案、案件、位置、位置づけ、威厳、威力、意義、意思、意地、意地悪、意味、意味合い、意欲、意気込み、意気精神、慰め、慰藉、異常、異変、異

論、移動、移民、違い、違反、違和感、遺憾、遺言、遺漏、一つ、一塊、一間、一見異相、一事、一石、一切れ、一日、一番摺、一部門、一步、一枚、一面、一覽表、一輪、印象、引っ越し便、引力、宇宙、渦、渦巻き、渦紋、運命、営業、影響、影響力、泳ぎ、英断、益、駅前、円み、円運動、円形、延性、怨み、演奏会、縁、艶、遠慮、汚れ、汚点、凹凸、奥行き、応援、応援バット、応対、恩恵、恩典、温もり、温度、音楽、音響、音色、音量、何か、価値、加工、可能性、嫁取り婿取り、家事、河口、火事、禍、禍根、箇条書、花形、花柄、華、課題、過ち、過失、過渡期、我、我が国、芽生え、会、会釈、解放感、回転、回答、塊・固、快樂、快感、怪我、改革、改善、改造、改良、開き、開口、開口部、開発、階級、階調、外ハネ、外郭、外見、咳払い、害、害毒、格好、格差、獲物、覚悟、角、隔たり、革新、革命、学科、学閥、学問、楽しみ、樂觀、額、割合、喝采、括り、括れ、活況、活動力、活躍、葛藤、株、勘違い、完全、感、感じ、感化、感慨、感覚、感謝、感傷、感情、感触、感想、感動、感銘、環、環境圏、管理、観点、觀念、還流、間違い、間隙、関わり、関係、関心、関心事、関門、含み、顔立ち、願望、企画、危害、危機、危機感、危険、危惧、危険性、喜び、基準、基礎、基盤、奇蹟、嬉しさ、寄與、岐路、希望、期待、期待感、機会、機会損失、機械システム、機関、機種、機能、帰趣、気遣い、気持ち、気性、氣息抜き、気配、気配り、気分、規格、規定、規模、規約、記事、起伏、軌道、亀裂、技、技術、技能、犠牲、疑い、疑念、疑問、疑惑、義愛、義務、義理、議論、客観性、逆転、吸血鬼、急湍、救い、灸、拠所、拠点性、虚栄、虚栄心、虚飾、距離、競馬、共通点、凶兆、叫び、強み、強盗、怯え、恐慌、恐怖、教育、教訓、胸裡、脅威、興味、驚き、業績、曲、曲線、極度、金額、区画、区切り、苦しみ、苦手、苦情、苦心、苦痛、苦闘、苦悩、苦勞、具合、具体例、空間、空襲、空所、空洞、屈辱、窪み・くぼみ、群れ、軍事行動、軍備、傾き、傾向、型、契約、形、形體、径、径庭、景色、経緯、経験、繋がり、計画、芸、芸術、激励、傑作、欠け、欠陥・缺陷、欠伸、欠点・缺點、欠落、決まり、決め手、決心、決断、結び目、結果、結合、結晶、結論、喧嘩、嫌がらせ、建築、懸隔、権威、権能、権利、権力、犬種、見せ場、見どころ、見出し、見積もり、見損ない、見通し、賢明さ、軒先、原因、原資、原則、原動力、減少、減速、現実、現象、言い方、言葉、言葉使い、個所、個人主義、個性、古今世界、呼吸、弧、戸惑い、故障、誇り、鼓動、午後、娯楽、後ろ姿、後退、御歌、御誓、御面相、誤り、誤解、誤見、誤錯、誤算、誤認、誤謬、交響楽、交渉、光栄、光輝、光景、光沢、光沢感、公務、功、功業、功績、功勞、効、効果、効能、効用、効力、勾配、口径、口振り、口数、口調、好奇心、好尚、好望、工程表、工夫、幸せ、幸運、幸福、広がり、広告、抗議、抗張強、抗力、攻撃、構え、構造、溝壑、考、考え、考え違い、考え方、行きがかり、行為、行事、行政、行動、貢献、購買力、鉡脈、降り口、項目、香り、合併、刻み、国益、国家、国家主義、国土、国内、黒字、此身、今日、困難、困難支障、困厄、根拠、根柢、混乱、魂、差、差異・差違、差支、砂傾れ、挫折、債、債務、催し物、祭、細工、罪、罪惡、財源、財産、作、作り、作り方、作業、作戦、作品、作用、策

謀、錯誤、擦れ、雑用、三人展、三番摺、参考、山系、山行、山場、山壁、賛助、残り
火、残忍さ、仕掛け、仕事、仕切り、仕組み、仕様、仕様決定、使い方、使命、刺激、刺
激剤、刺衝、四角、姿、市場、志、思いやり、思い出、思想、思念、指示、指摘、指導、
支え、支援、支持、支出、支障、施策、施用量、死角、死様、私人、糸口、視点、視野、
試金石、試験、試合、試練、資格、資金、資本、歯止め、歯並、歯並み、事業、事件、事
故、事項、事情、事柄、事変、事務、事実、寺域、慈善、慈悲、持ち物、時間、時期、時
季、時代、磁場、自家撞着、自治、自信、自然、自負、自慢、自由、辞め方、辞典、式、
失政、失態、失敗、失望、嫉妬、湿り気、疾患、質感、質問、質量、実績、実用、実力、
芝居、縞、縞柄、社会、邪魔、借り、借款、借金、尺度、寂しみ、弱点、主義、取りき
め、取引、手、手がかり、手形、手術、手順、手助け、手拭、手触り、手振り、手段、手
抜き、手抜き、手本、種類、腫瘍、趣向、趣味、酒造業、需用、需要、収まり、収益、
収益源、収穫、収入、収納、周囲、宗教、修正舵、修理、秋、習慣、集まり、集会、集合
体、充実、縦じま、重み、重圧、重荷、重量、宿題、祝盃、出費、出来事、準備、純益、
順、処遇、所作、所得減税、書、書き方、書籍、助け、助勢、助力、除け、傷口、傷跡、
勝因、勝負、勝利、商売、小説、消費、消耗、焦げ付、焦点、笑い、笑み、衝撃、衝突、
証拠、賞、障害、障害物、障碍、障壁、上品さ、城址、場所、常識、情、情事、情勢、情
熱、情報、条件、状況、状態、植民地、職場、色合い、色再現、色使い、色調、色味、食
い違い、食感、食事、伸び、信義、信用、信頼、信頼感、寝言、心、心遣い、心残り、心
得違い、心配、心配り、心理、振動、新国粹、新思想、新販路、申し入れ、神、神意、神
経、診断、診療、身ごなし、身振り、身震い、身体作り、辛苦、辛味、進化、進展、進
歩、震え、人格、人間関係、人権、人口、人情、人身事故、人生、人物、人柄、尽力、
図、図版、推挙、推進力、水力電気、数、数字、数値、数量、摺り合わせ、寸法、世の
中、世界、世界観、世帯、制限、制裁、制度、勢い、勢力、性格、性質、成果、成功、成
功例、成績、政府、晴れ舞台、正方形、生活、生産力、生命、精神、精神界、精神力、聖
書、声援、声価、声量、積み重ね、責任、責任感、赤み、赤字、跡・痕・踪、切れ込み、
切開、接触面、折、設定、節目、節約、説得力、説明、雪質、絶望、千鳥格子、専攻、
戦、戦果、戦禍、戦勝、戦争、戦闘、戦略、戦力、洗練、潜在力、潜勢力、旋律、線、船
体、選挙区、閃き、前進、善行、素因、素材感、素子、組合、組織、喪失、奏功、層、想
い、想像、操作、争い、争点、相違、相手、相聞歌、窓越し、走り、騒ぎ、増加、造形、
側面、息づかい、束、速さ、速度、存在、存在感、尊敬、損、損害、損失、損失金、損
傷、損得、他山の石、打感、打球感、打撃、打算、体格、体付き、対応、対象、態、態
度、袋タイプ、代償、代理出産、大会、大義、大和魂、大和心、第一步、題目、脱毛、単
位、単語、嘆息、短所、胆、団塊、弾み、断案、断片、段差、値、値段、値動き、値幅、
知恵、知識、地、地位、地球、地震、地崩れ、地面、地理、地裂帯、恥辱、着心地、忠、
忠孝、昼寝、注意、注意書き、注文、注目、著述、朝、町歩、調べ、調査、調子、調整、
超能力、長所、沈黙、痛み、痛手、定義、定紋、帝国、抵抗、程度、敵愾心、天球、天

恵、展覧会、転回、転換、転換点、転機、転倒、点、点・點、点々、電壓、徒労、賭け、賭博、努力、土質、怒り、投資、盗み、頭脳、働き、動き、動き方、動作、動揺、同情、洞、得失、得点、流聖、特色、特徴、内閣、内患、内助、内訳、内容、謎、難関、難儀、難事、匂い、日だまり、日向、日蝕、日本語、入力、任務、熱源、熱度、燃料系、悩み、能力、脳力、波、波頭、波動、派閥、破れ、破綻、破片、破裂、馬鹿、排気量、敗因、背景、背徳、配置、配慮、倍率、媒体、買い物、売り上げ、拍手、爆発、爆発力、発見、発言、発言権、発作、発達、発展、発表、発明、髪質、判決、判断、半圓拱、反感、反響、反省、反省材料、反省点、反対、反動、反米スト、版画、犯罪、繁栄、範囲、晩、番狂はせ、番号、悲しみ、悲劇、悲鳴、悲壯美、批判、比重、比率、疲れ、秘密、被害、費用、飛石、飛躍、微笑み、美、美しさ、美点、必要、謬見、標準、表、表現、表情、表面、評価損、描画、描写、病、病氣、不安、不可、不覚、不謹慎、不具者、不景気、不合理、不祥、不祥事、不正、不足、不都合、不平、不便、不便利不利益、不満、不愉快、不利、不利益、不満、婦人科、富、富貴、浮き沈み、負い目、負け、負の数、負荷、負債、負担、武器、武装勢力、武力、舞台、部署、部分、部類、封疆、風景、風合い、風情、副産物、副脈、復讐、物議、物語、物腰、分かれ目、分け方、分岐点、分子、分析、分析や表現、分別、分野、分量、噴火、憤激、奮發、雰囲気、文化圏、文学、文芸、文字列、文章、平和、弊害、弊習、柄ゆき、僻事、僻説、僻論、壁、壁画、別天地、変わり目、変化、変革、変更、変更点、変体、変動、片手落ち、編集、返事、便宜、保護、保障、補益、暮らし、包容力、報酬、宝庫、宝物、抱負、放送局、方形、方向、方向性、方針、方法、法則、縫い、褒美、妨げ、妨害、忘れ物、暴挙、暴動、望み、冒険、膨らみ、貿易国、磨き、魔、満足、味わい、味方、未来、魅力、民日、務め、夢、無駄遣い、矛盾、名、名称、名前、名望、名誉、命、命題、迷見、迷夢、迷惑、面、面積、面倒、模様、妄想、網の目、儲、黙示、目安、目玉、目的、目標、目録、問題、問題意識、問題点、悶え、紋、門戸開放、夜気、野心、野望、厄災、役、役割、役目、約束、約束事、躍進、輸出超過、勇気、憂慮、誘因、誘惑、遊び心、遊戯、融資、夕方、予定、余震、余弊、余裕、預金、妖魔、容積、容量、揺れ、様子、用意、要因、要求、要請、要素、陽気、抑圧、裸地、頼み、乱れ、欄、利、利益、利害、利権、利点、利便、履歴、理、理想、理由、裏話、立場、流れ、流行、粒、粒子、旅、旅行、了簡違、糧、量、領国、領土、力、倫理法、輪、輪郭、励まし、励み、歴史、列、廉耻、恋、練習曲、連敗、連邦制、炉端、露出補正、労働争議、労力、朗報、論議、論点、論文、論理的頭脳、話、話しかた、話題、脇役、枠、枠組み、湾内、傳説、偽り、僥倖、決心、壺形、冤、幫助、弾力性、恫喝、痒み、痙攣、眞理、眷遇、絆、缺點、脉、膽玉、蛭蛭、讓歩、賚、蹉跎、騙し手、騷擾、齟齬。

付録Ⅵ： データ編

以下に、3.7 節で述べた「データ判別に対する日本語母語者チェック」を受けた 1,418 例の全容を掲げる。この 1,418 例は、本研究の分析対象データ（全 14,188 例）からランダムに選択された 10% のデータである。

「結果」列に「*」が付いている用例は、日本語母語話者 2 名が一致して誤分析と判断したもの（5 例）であり、「?」が付いている用例は、「どちらでも良い」または「どちらとも判断できない」というもの（11 例）である。

なお、紙面の都合上、分析に直接関与しない「逆前文脈」「話者」「著者」などの列や、筆者の「メモ」列を省略する。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1		非主語付き	直接修飾	スープ	すーぷ	外来語	具象名詞	アタタカ	い	い形	知恵	過ぎてしまいそうな時は食事を食べる前に	あったかい	スープや飲み物をたべる(お腹が落ち着きま
2		非主語付き	直接修飾	流行	りゅうこう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	きものの柄には、	おおきな	流行がないので、いいですよ！
3		非主語付き	直接修飾	郵便局	ゆうびんきょく	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	町の	おおきな	郵便局に行けば、時間外窓口があります。
4		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	い	い形	知恵	これはやはり、	おかしい	ことなのでしょう？
5		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	い	い形	知恵	プしてしまうので、遠巻きながら今の状態が	おかしい	事を伝えた方がいいと思います。
6		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	オカシ	い	い形	知恵	に届き再入札する時とか、サイトの表示が	オカシイ	時にその理由がサイトにあるのか私に取り
7		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	い	い形	知恵	ど、冷静に見たらその人のやってることって	おかしい	ことでしょ？
8		非主語付き	直接修飾	民族	みんぞく	漢語	具象名詞	オカシ	い	い形	知恵	をされたのにペコペコしてます。日本人は、	おかしい	民族です？
9		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	い	い形	知恵		おかしい	ことはおかしいと言いましょう。
10		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	な	な形	知恵	い、考えてみればある意味でこれは非常に	おかしな	事なのです。
11		非主語付き	直接修飾	話	はなし	和語	抽象名詞	オカシ	な	な形	知恵	そもそも戸別訪問程度の微罪で現逮なんて	おかしな	話。多分この記事大間違いだぞ。
12		主語付き	主語付き	人	ひと	和語	具象名詞	オカシ	な	な形	知恵	でもたぶん ああゆう少し頭の	おかしな	人って一部じゃん？
13		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	オカシ	な	な形	知恵	正直、	おかしな	会社だと思えます。
14		非主語付き	直接修飾	単語	たんご	漢語	抽象名詞	オカシ	な	な形	知恵	読んでても、「	おかしな	単語はないか…」といつ左ページを確認して
15		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	ん。この友達は確信犯でしょうか？だって、	こまかい	のなかったら「おつりある？」って聞いて大き
16		主語付き	主語付き	バラ	ばら	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	本300円のひまわりと、バラ2本、つぼみの	ちいさな	バラが5つっているもの1本、かすみ草少
17		非主語付き	直接修飾	ジャンプ台	じゃんぷだい	混種語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	目はゲレンデ内にあるコブやみんなで作った	ちっちゃい	ジャンプ台などで練習してました。
18		非主語付き	直接修飾	人	ひと	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	よっと…。だいたひかるはかわいい。北陽の	ちっちゃい	人も。青木さやかもキャラでそう見えなけど、
19		非主語付き	直接修飾	ワニ	わに	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	しかもそれが	ちっちゃい	ワニとか、考えただけでも気絶しそうです。
20		非主語付き	直接修飾	おっさん	おっさん	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	実際見ると結構	ちっちゃい	おっさんですよ。
21		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	の人と同じことになるでしょうが、「ああ、また	ちっちゃい	子供が何か叫んでるわ。
22		非主語付き	直接修飾	ブーケ	ぶーけ	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	を贈れば喜ばれると思いますか？娘からは	ちっちゃな	ブーケ(400円程度)をプレゼントさせようと
23		主語付き	主語付き	シューズ	しゅーず	外来語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	北屋でバイトしていた頃は、男性には靴底の	やわらかい	クロストレーニング用の室内シューズか、よ
24		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	味噌煮込みに限っては、お母さんの作る少し	やわらかい	ののほうがすき！！
25		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	基本はそれでプラスチックのおかずで	やわらかい	ものがあれば食べさせてました。
26		非主語付き	直接修飾	頭	あたま	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	いに 驚かされました しかし 優しい心と	やわらかい	頭が あれば 共通常識が 形成されますオ
27		非主語付き	直接修飾	レバー	ればー	外来語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	焼き鳥屋さんで	やわらかい	レバーとは別に少し硬い肝がありますがそ
28		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵		やわらかい	ところを摘んで、揚げます。
29		非主語付き	直接修飾	言葉	ことば	和語	抽象名詞	アタタカ	い	い形	知恵	こと君に謝りたい。ごめんね。」って、そんな	温かい	言葉だけをかけてあげることができるのなら
30		非主語付き	直接修飾	煎茶	せんちゃ	漢語	具象名詞	アタタカ	い	い形	知恵	は冷たいお茶を飲み、食事が終わった頃に	温かい	煎茶を飲んでいます。
31		非主語付き	直接修飾	そば	そば	和語	具象名詞	アタタカ	い	い形	知恵	年越しそばは、	温かい	そばとして食べるのと、冷たいそばとして食
32		非主語付き	直接修飾	おしぼり	おしぼり	和語	具象名詞	アタタカ	い	い形	知恵	鼻水も、	温かい	おしぼりをしばらく顔に当てて呼吸をさせて
33		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	アタタカ	い	い形	知恵	両方とも	温かい	もので、すこしこってりした感じなので、さっ
34		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	アタタカ	い	い形	知恵	冷たいの	温かい	の両方使えるし。
35		非主語付き	間接修飾	豆腐	とうふ	漢語	具象名詞	アタタカ	い	い形	知恵		温かい	できたてのお豆腐にシロップをかけて食べる
36		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	(まあ	細かい	ところは突っ込まずに・・・^^:)
37		非主語付き	直接修飾	技術	ぎじゅつ	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	用鋳型をつくり滑らかな金属面を形成したり	細かい	技術の積み上げだけで160PS(iS)→220
38		非主語付き	直接修飾	手順	てじゅん	混種語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	ズケーキを作る機会がなくてすっかり配合や	細かい	手順がうる覚えになってしまいました；
39		非主語付き	直接修飾	設定	せってい	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	エクセルの方が図表も入れられるし、	細かい	設定も出来るので、エクセルでテキストファ
40		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	金も一緒にするのに貯めているのでよっと	細かい	所あるのかも知れません。
41		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	これまでは、	細かい	ことを気にせずに、焼けば食えるだろうって、
42		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	したがって	細かい	ことは分かっておりますね。
43		非主語付き	直接修飾	ギザギザ	ぎざぎざ	和語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	できるだけ	細かい	ギザギザのついたパン用のナイフでできれば
44		非主語付き	直接修飾	キズ・傷・疵	きず	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	でもいつもつけているので	細かい	傷がたくさんついてきてます。
45		非主語付き	直接修飾	違い	ちがひ	和語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	ほかに	細かい	違いがいくつかありますが、主に以下の通り
46		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	ミルク代とか	細かい	のも含めて。
47		非主語付き	直接修飾	質問	しつもん	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	もちろん	細かい	質問にも具体的に答えてくれます。
48		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	元ネタをしっかりと覚えていれば、	細かい	ところまで笑えます。
49		非主語付き	直接修飾	キズ・傷・疵	きず	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	最近、ディスクの	細かい	傷を取る道具が何種類か発売されています

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
50		非主語付き	直接修飾	振動	しんどう	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	最近のホンダは高級車でも	細かい	振動を伝えやすくごつごつ感が有る。
51		非主語付き	直接修飾	飴糸	あめいと	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	手首を細かくふると	細かい	飴糸ができます。
52		非主語付き	直接修飾	砂埃	すなぼこり	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	洗いでも機械洗いでも まず軽く水を掛けて	細かい	砂埃等は流してからじゃないと砂埃等によ
53		非主語付き	直接修飾	定義	ていぎ	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	知恵	色々	細かい	定義はあるようですが、わかりやすく説明し
54		非主語付き	直接修飾	字	じ	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	先日トラックの後ろに	細かい	字で何かが書いてあるので近づいて読んで
55		非主語付き	間接修飾	金	かね	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	いざ清算の時が来たら その中の一人が「	細かい	お金がないから 立て替えておいて」と私に
56		非主語付き	直接修飾	ゴミ	ごみ	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	掃除はしているのですが、	細かい	ごみ等がお尻に着いて困っています。
57		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	大体クレームをつけてくるお客さんは	細かい	どこに目をつけてくるのでしない方が無難で
58		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	同じレベルの	細かい	ことをいえばリパーゼは熱すぎても冷たすぎ
59		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	Web制作会社で働き始めるのですが、今日	細かい	事を会社に電話したところ「ラフな格好で良
60		非主語付き	直接修飾	泡・沫	あわ	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	知恵	油で揚げている時に、水分を含んだような	細かい	泡が出てきたらすぐに油からあげます。
61		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵	型でシルバー☆あの鏡だととっても見やすく	細かい	所の化粧がしやすいんですっ☆ 鏡の事を「
62		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	知恵		細かい	こと、具体的なことは、その学校しか分かり
63		非主語付き	直接修飾	対応	たいおう	漢語	抽象名詞	コマカ	な	な形	知恵	個人塾なので	細かな	対応をしてもらえるのも利点だと思います。
64		非主語付き	直接修飾	キズ・傷・疵	きず	和語	具象名詞	コマカ	な	な形	知恵	多分、洗うときにタワシ類で	細かな	傷を付けてしまったんですね。
65		非主語付き	直接修飾	感じ	かんじ	混種語	抽象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	りボディークリームを使っていますが、もう少し	柔らかい	感じの香りが良いかな…と思っています。
66		非主語付き	直接修飾	肉	にく	漢語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	柔らかくなることはありますが、本来	柔らかい	肉とは全然食感が違います。
67		非主語付き	直接修飾	生地	きじ	混種語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	生地を半分にして、作ったら、同じように	柔らかい	生地になってもいいと思います。
68		非主語付き	直接修飾	毛	け	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	りですが前髪の分け目部分3年前くらいから	柔らかい	毛の白髪ですが20本前後…もっとあるかも
69		非主語付き	直接修飾	部分	ぶぶん	漢語	抽象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵	葉ニンニク又はニンニクの芽の比較的	柔らかい	部分を加えてみましょう。美味しいですよ
70		非主語付き	直接修飾	言葉使い	ことばづかい	和語	抽象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵		柔らかい	言葉使いや本離れしてる人に薦めるのに良
71		非主語付き	直接修飾	ごはん・御飯	ごはん	漢語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	知恵		柔らかい	ご飯にもどす裏技をご存知の方いらっしゃ
72		非主語付き	直接修飾	印象	いんしょう	漢語	抽象名詞	ヤワラカ	な	な形	知恵	インク部分がすこしぼけて、	柔らかな	印象になりますよ。
73		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	「お前は	小さい	頃、大きくなったらたいやきくんになると豪語
74		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	泳の後、水着を持って帰るのを忘れていた・	小さい	頃のトラウマで水に入れない・水を浴びると
75		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	ったシーンがありましたよね？なんか前世は	小さい	子どものとき死んだとか…。
76		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	あとは夕食がハンバーグの日は弁当用に	小さい	のも作って冷凍しています。
77		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	アパートの駐車場で	小さい	子供と親がボールや自転車で遊んでるのを
78		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	アメリカは	小さい	頃から家族と映画館にしょっちゅう行くような
79		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	は)、東北出身の私としては、実家では冬に	小さい	子を外に出すのは無謀という気もしますが、
80		非主語付き	直接修飾	娘	むすめ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	こんな	小さい	娘に当たっても仕方ないのに。
81		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	すごく寝起きが悪いんです(> <)	小さい	時はこんなじゃなかったのに今では2、3日
82		非主語付き	直接修飾	質問	しつもん	漢語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵	そこですごい	小さい	質問なのですが…
83		非主語付き	直接修飾	サイズ	さいず	外来語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵	そのままの大きさでも、	小さい	サイズに作り変えてもいいかと思ひます。
84		非主語付き	直接修飾	武装勢力	ぶそうせいりよく	漢語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵	きたのでしょうか？簡単に説明してください。	小さい	武装勢力がいっぱいあるから
85		非主語付き	直接修飾	娘	むすめ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	それだけならまだしも、	小さい	娘に、力付けるとかまとわりつくとか、嫌っ
86		非主語付き	間接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	るので、アパレルのデザイナーに固執せず、	小さい	企画会社などでもやりがいの一に考えてくだ
87		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	たしかほかのキャラの	小さい	ころは普通と同じ声優さんだったけどネジは
88		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	ちなみに	小さい	頃、兄弟で遊んでいた時首を痛め、ずっと
89		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	でも、私の父母は	小さい	頃左利きで、昔だから直されたらしく、今は
90		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	でもね、自分より	小さい	子が周りにいて自分がすごく巨人に思えちゃ
91		非主語付き	間接修飾	枠	わく	和語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵	メニューバーの部分にジャンプして「はじめに」が	小さい	メニューバー枠へ。どうすれば通常枠へジャン
92		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	よりソニーのがいいよと言われソニーの一番	小さい	のにしました。
93		主語付き	主語付き	まま	まま	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	ブラウザ(IE)が毎回	小さい	まま(右端約5ミリ上端数ミリ)起動します。と
94		非主語付き	直接修飾	文字	もじ	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	また、ひらがなの「ん」は「あいいう…」のよう	小さい	文字は打てないのでしょうか？
95		主語付き	主語付き	うち	うち	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	？？…水疱瘡(薬ですぐ治る)や、おたふく(小さい	うちは軽い事が多い)インフルエンザ(これも
96		非主語付き	直接修飾	穴・孔	あな	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	もしくは下から	小さい	穴を開けて入れた方がいいのでしょうか？
97		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	めやや安定性にかけるからです(三角形が	小さい	ため)。
98		非主語付き	間接修飾	菓子	かし	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	型におやつがないのはさみしいので、せめて	小さい	お菓子を1つ位は許してほしいですね～

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
99		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	下に	小さい	子がいる時は預けてくるように。
100		主語付き	主語付き	ほう	ほう	漢語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	火力の	小さい	方のバーナー(あげルックつきの方)は専用
101		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	我が家は、これで	小さい	子どもたちも手伝ってくれました。
102		非主語付き	間接修飾	走り	はしり	和語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵	か？ちなみに二階です。蜘蛛は、5ミリほど	小さい	早い走りです。毒蜘蛛(日本には余りいない
103		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵	休み前は竿が布団に占領されるので、	小さい	ものは極力夜のうちにして、半乾きくらいにこ
104		主語付き	主語付き	イメージ	いめーじ	外来語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵	巨乳の人は乳首が	小さい	イメージなんです、バストと乳首の大きさ
105		非主語付き	直接修飾	毛	け	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	矯正用のドリルのような	小さい	毛のブラシがあるんですが(歯医者とかで買
106		主語付き	主語付き	人	ひと	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	胸が	小さい	人は着用しないで胸が大きい人は形が崩れ
107		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	い女の人をどう思いますか？…男の4割は	小さい	のが好きですよ。
108		非主語付き	直接修飾	フィギュア	ふいぎゅあ	外来語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	携帯の	小さい	フィギアが売り出されたそうですけどどこに
109		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	個人的に	小さい	のが私は好きですけどね。
110		主語付き	主語付き	はず	はず	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	大きさの広告を新しい携帯で見たら、すぐ	小さい	はずなのに、同じ比率で見えます。
111		非主語付き	間接修飾	瓶	びん	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	混合だとミルクの量が少なめなので、	小さい	哺乳瓶も結構使うんですけどね。
112		非主語付き	直接修飾	アリ・蟻	あり	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	最近、	小さい	アリを家の中で見かけるようになりました。
113		非主語付き	直接修飾	鉄板	てつばん	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	最近、私のブームが、	小さい	鉄板でみんなであつついて食べる『もんじゃ
114		非主語付き	直接修飾	ナス	なす	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	細長く	小さい	なすです。
115		主語付き	主語付き	うち	うち	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	子供が	小さい	内は日焼け止めをつけていませんでした。
116		主語付き	主語付き	うち	うち	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	子供が小さいのですが、感性を育てるために	小さい	うちから本物の音楽や舞台に触れられよう
117		主語付き	主語付き	うち	うち	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	兄妹から女の子の服をもらい着せてますが	小さい	うちは何をきせてもいいと思いませんか？
118		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	私と彼は	小さい	頃からの友達です。
119		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	息子は、ぶたれたり叩かれたりしますが、「	小さい	子にはやさしくしてあげるの」といつも面倒を
120		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	私は、	小さい	時その川で妹と遊び、水もガブガブ飲みまし
121		主語付き	主語付き	男性	だんせい	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	私は、体の	小さい	男性、大好きです！！
122		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	私は高校生なんですけど、	小さい	頃から頬に吹き出物があって悩んでいます
123		非主語付き	直接修飾	塊・固	かたまり	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	私は昆布(細く切って)しょうが(小さい	固まりのまま数個)飲み残しのビール・ニン
124		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	女の子って	小さい	時はかわいくて、小学校高学年くらいからし
125		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	って、庶民とは違うのでしょうか。…ホストは	小さい	頃からブルジョワ生活に慣れ親しんできた
126		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	先生がおっしゃるにはやはり	小さい	頃から人の多いところに出かけている子は、
127		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	たときも、”お肉も入れる？”と言ってました。	小さい	子供も連れて行ってますし、その手前もあつ
128		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	りするときは一口分のご飯を残さない。」と	小さい	ころしつけられました。
129		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	ので、自分は一応北海道の大都市ではなく、	小さい	町です。
130		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵	同年齢の子と比べて身長も少し	小さい	こともあって、周りの人からは、2歳過ぎて
131		非主語付き	直接修飾	人間	にんげん	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	はプラス思考なのですが、ある事で自分が	小さい	人間だなあ…と痛感してしまい、引きずって
132		非主語付き	直接修飾	塊・固	かたまり	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	目の端に溜まる感じではなくて、白っぽい	小さい	かたまりが目のキワ？
133		非主語付き	間接修飾	芸能人	げいのうじん	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵	矢口と言い安達と言い	小さい	女性芸能人は毒を含んでから佐紀ちゃん
134		非主語付き	直接修飾	世界	せかい	漢語	抽象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	世界だと思っていたら、空に浮かぶ島で、そ
135		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	会社だから適当で聞けばいいやって思って
136		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	頃から人の輪に入っていけない性格で、何
137		非主語付き	直接修飾	お子さん	おこさん	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	お子さをお持ちで、深夜のパートをされてい
138		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	子供がいるのですが働かなくてはなりません
139		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	会社に勤めています。
140		非主語付き	直接修飾	車	くるま	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	車だと普通に走ってるのに車間距離を詰た
141		非主語付き	直接修飾	お子さん	おこさん	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	お子さん3人じゃ大変ですね。
142		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	頃に気に入って遊んでいた物なので、供養
143		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	子供もいるので最近毎日の夕食を作る・考
144		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	子がいる専業主婦なのでお弁当やご飯作り
145		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	ころから周りに
146		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	時だからこそ正しい日本語を教えるべきだと
147		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	子供さんがいる家ではいつ掃除機をかけて

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
148		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	子供がいる主婦なかたで内職経験者がいら
149		非主語付き	直接修飾	お子様	おこさま	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	お子様がいて、80万で痛いとおっしゃるなら
150		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	子であればやめたほうがいいです。
151		非主語付き	直接修飾	お子さん	おこさん	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	お子さんをお持ちの方はみなさんどうされて
152		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	知恵		小さい	子供を住宅街の車道で遊ばせる事について
153	?	非主語付き	間接修飾	放送局	ほうそうきょく	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	放送局に関わることができません)日本だと	小さな	地域向けのFM放送局は、コミュニティFM局
154		非主語付き	間接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	チイサ	な	な形	知恵	子ですが、後頭部(首とのつなぎ目くらい)に	小さな	クリクリしたものが手に当たります。
155		非主語付き	直接修飾	人形	にんぎょう	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	目だと、ひなあられとかも食べられませんし、	小さな	人形類は口に入れたりしてよくないかもしれ
156		非主語付き	間接修飾	容量	ようりょう	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	ファイルなら圧縮してJPGファイルにすると	小さな	ファイル容量になります。
157		非主語付き	直接修飾	注意書き	ちゅういがき	混種語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	logy.jp/Movie/nettransport.htmlの	小さな	注意書きを読みすぎました。
158		非主語付き	直接修飾	携帯(電話)	けいたい	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	で、段々小さくなるように開発されて、一旦は	小さな	携帯がとても売れました。
159		非主語付き	直接修飾	画面	がめん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	PCを操作中、突然、ウイルスセキュリティの	小さな	画面が表示され「個人情報を送信しますか
160		非主語付き	直接修飾	車	くるま	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	車にキャリアをつけているのを見かけません	小さな	車にキャリアをつけているのを見かけません
161		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	うちの会社の社長は(小さな	会社です)よく「〇〇さん(一私)いつションベ
162		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	うちの子(一歳一ヵ月・男)は夜泣きするし、	小さな	音でも起きるし、かわいい寝顔に触れると起
163		非主語付き	直接修飾	鏡	かがみ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	カメラ付き携帯のレンズの横についている	小さな	鏡のことだと思いますよ。
164		非主語付き	直接修飾	事故	じこ	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	このような	小さな	事故は、今出ないとい記事になりません。
165		非主語付き	直接修飾	文字	もじ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	そのとき曲数は約* *曲と書いてあるけど	小さな	文字で注記でビッドレットが書いてあるけど
166		非主語付き	直接修飾	文字	もじ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	それを掛けるとうして	小さな	文字まで見えるのでしょうか？
167		非主語付き	直接修飾	訪問者	ほうもんしゃ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	いので、わかりません。ワンコインDVDの「	小さな	訪問者」は買いました。他のワンコインDVD
168		非主語付き	直接修飾	メダル	めだる	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	時間越えます。やるなら、攻略サイトなどで、	小さな	メダルの場所を確認しながらやってね。
169		非主語付き	直接修飾	舟・船	ふね	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	ミサイル艇・魚雷艇のような	小さな	船には つめないけど。
170		非主語付き	間接修飾	バス	ばす	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	育児用語としての沐浴とは、	小さな	ベビーバスに入れることを言います。
171		非主語付き	直接修飾	画面	がめん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	右クリックを押すと 白くて	小さな	画面が出ますよね？
172		非主語付き	直接修飾	事務所	じむしょ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	家族でやってる	小さな	事務所で、気を使ってくださったんだと思い
173		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	海外では人が集まる場所で	小さな	子供が大声で泣きわめいているのを聞いた
174		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	契約社員や派遣でしたら	小さな	子供がいても働かせてもらえるのでしょうか
175		非主語付き	直接修飾	政府	せいふ	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	現政権が言う	小さな	政府とはそういうことです。
176		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	チイサ	な	な形	知恵	後から考えると、何でこんな	小さな	事で、すぐカッとなってしまっただろう？
177		非主語付き	直接修飾	大和魂	やまとだまし	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	にそっくりのアグレッシブなものであるため「	小さな	大和魂」(エンセンが体の小さなKIDをそう名
178		非主語付き	直接修飾	命	いのち	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	産みたいんですよ？お腹に宿った	小さな	命。ぜひとも産んであげて欲しいです
179		非主語付き	直接修飾	塊・固	かたまり	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	ずりっプライナーを使用するのですが、時々	小さな	固まりになってしまいます。
180		非主語付き	間接修飾	クモ・蜘蛛	くも	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	の塀や門に小さな1mmに満たないくらいの	小さな	赤い蜘蛛が沢山歩き回っています。
181		非主語付き	直接修飾	画面	がめん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	コントラストがはっきりしていて、携帯の様な	小さな	画面で見て綺麗ですね。
182		非主語付き	直接修飾	パズル	ぱずる	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	チ袋に これまた可愛いシール(女の子)や	小さな	パズル(迷路みたいになっていて玉をコロコ
183		非主語付き	直接修飾	歯車	はぐるま	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	歯車で「何やってんだろう」ってよくいまし	小さな	歯車で「何やってんだろう」ってよくいまし
184		非主語付き	直接修飾	ニキビ	にきび	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	少し前から、おでこと首にだけ、白い	小さな	ニキビが一面にできました。
185		非主語付き	直接修飾	世界	せかい	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵	大人になると何でそんな	小さな	世界にビビってたんだらうって思う。
186		非主語付き	直接修飾	台	だい	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	電気シェーバーも洗面台横の壁に	小さな	台を取り付け置いてあります。
187		非主語付き	直接修飾	女の子	おんなのこ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵	同じアパートに30代の女性と	小さな	女の子が引っ越してきました。
188		非主語付き	直接修飾	手がかり	てがかり	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵		小さな	手がかりでも、すぐに探していたものの情報
189		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵		小さな	病院でADSLルータに5台のPCをつないで
190		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵		小さな	子供がいてもきれいにしています。
191		非主語付き	直接修飾	質問	しつもん	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵		小さな	質問ですが、よろしく願います。
192		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵		小さな	子を抱えての兼業主婦はかなりキツイです。
193		非主語付き	直接修飾	すれ違い	すれちがい	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	知恵		小さな	すれ違いが重なって傷つけあうばかりの関
194		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	知恵		小さな	子がいると なかなかですよね
195		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	(但し、あまりサイズの	大きい	物(90位より上)を買うと置き場に困ると思
196		主語付き	主語付き	車	くるま	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	エンジンの	大きい	車だと、気にならないでしょう。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
197		主語付き	主語付き	方	かた	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	お客さんの前ではいつもニコニコ、態度の	大きい	方やクリームにも精一杯対応していますが、
198		非主語付き	直接修飾	ほう	ほう	漢語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	お土産をたくさん買われるなら	大きい	方がいいと思いますよ。
199		非主語付き	直接修飾	作り	つくり	和語	抽象名詞	オオキ	い	い形	知恵	このシューズは足入れが若干	大きい	作りになっています。
200		主語付き	主語付き	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	ユールの季節になりましたが、足がぼてっと	大きい	のが気になってしまいます。。。
201		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	しろとのこと・くー買ったばかり、容量の	大きい	ものを選んだのに・・・。
202		主語付き	主語付き	ばあい	ばあい	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	それ以上	大きい	場合は、メール以外で送るしかありません。
203		非主語付き	間接修飾	パーツ屋	ぱーつや	混種語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	タダヘルってどこで売ってる？・・・あと、	大きい	バイクのパーツ屋でも売ってるところあるよ・
204		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	ディスプレイは奥に	大きい	もの、手前に小さいものを。
205		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	が、サイズが小さすぎるとファイルサイズの	大きい	物を扱う場合、管理する手間が増えパフォー
206		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	どこまで	大きい	の乗れますか？
207		非主語付き	直接修飾	本店	ほんてん	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	店だったらわかりませんが私は都内屈指の	大きい	本店にいました。でも大きいだけにノルマは
208		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	セド一病は比較的ありふれた疾患ですので	大きい	病院ならたいていどこでも診断がつけられる
209		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	ハワイ4泊だったら、小さいスーツケースと	大きい	(お土産を入れる)のとどちらを持ちますか？
210		主語付き	主語付き	ほう	ほう	漢語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	ピストンの径が	大きい	方が、同ストロークでの押し出すオイルの量
211		非主語付き	直接修飾	本屋	ほんや	混種語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	ミナミで一番	大きい	本屋さんはどこでしょう？
212		非主語付き	直接修飾	サイズ	さいず	外来語	抽象名詞	オオキ	い	い形	知恵	すぐ卒業式や入学式の季節ですが、どこか	大きい	サイズ(17号～19号)の素敵なスーツを売
213		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	モーター音は小さいのが普通なので、	大きい	音がなるのは故障しているといってもよいの
214		非主語付き	直接修飾	自転車屋	じてんしゃや	混種語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	ロフトとかハンズとか	大きい	自転車屋とか。
215		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	は血圧が低下しショック状態になる危険性が	大きい	ため、胸腔ドレーンを留置して脱気します。
216		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	案外バイクは	大きい	ものですよ。
217		非主語付き	直接修飾	花	はな	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	一般的な	大きい	花をつけるバラだと1200円くらいかな？
218		非主語付き	直接修飾	車	くるま	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	家内と二人だけで乗るのでそれほど	大きい	車でなくてもいいのですが、リッターカーでは
219		主語付き	主語付き	人	ひと	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	顔の	大きい	人は前髪を横に流したりおでこを出す髪形。
220		非主語付き	直接修飾	バックル	ばっくる	外来語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	は除くっていわれたけど。。ウエスタンブーツ	大きい	バックルのベルトスウェードのバックとかあ
221		主語付き	主語付き	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	大きいって 2年も付き合ったら指が少し	大きい	の 彼は知ってるんじゃない？
222		非主語付き	直接修飾	飴	あめ	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	るんだか見当もつかないんですが、ゴロンと	大きい	飴みたいな指輪っておしゃれなんじゃないか
223		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	私は頭が	大きい	ためか首がすごく凝ります。
224		主語付き	主語付き	サイト	さいと	外来語	抽象名詞	オオキ	い	い形	知恵	写真が多いので他の容量の	大きい	無料HPサイトに変わろうと考えています。
225		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	写真などデータ量の	大きい	ものほどプリンターに情報が届くのにかかる時間
226		非主語付き	直接修飾	消しゴム	けしごむ	混種語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	は小さいので、Tシャツにプリントできるくらい	大きい	消しゴムが欲しいのですが、どのような場所
227		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	植木が大きくなったんで鉢も	大きい	のに植え替えました。
228		非主語付き	直接修飾	不都合	ふつごう	漢語	抽象名詞	オオキ	い	い形	知恵	ますので、双子で学年がずれてしまうなどの	大きい	不都合がない限り、出生時間を動かすとい
229		主語付き	主語付き	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	足が	大きい	のが悩みなんです、足が小さくなるマッサ
230		非主語付き	直接修飾	虫	むし	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	大きい蜘蛛は	大きい	虫、小さい蜘蛛は小さい虫を、取ってくれま
231		非主語付き	直接修飾	雑巾	ぞうきん	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	あいてて、ふちがプレスリーみたいになった	大きい	雑巾がたたんでおいてありました。
232		主語付き	主語付き	車	くるま	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵	摩擦抵抗など全ての面で同条件)、排気量の	大きい	車の方がやはり燃料消費は大きくなるので
233		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵	いホームページならいいんですが、ちょっと	大きい	ものになると大変なことになってしまいます。
234		非主語付き	直接修飾	事故	じこ	漢語	抽象名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	事故があったからですかね・・・？
235		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	会社内のものは「部門」と捉えたほうがイメ
236		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	会社だから・・・とかの理由ですか？
237		非主語付き	直接修飾	大会	たいかい	漢語	抽象名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	大会は長水路で行われますから、経験と思
238		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	物なら、1尾は鯛めしにして、残りの2尾で鯛
239		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	声に対しては、数多くの声で対抗してみませ
240		非主語付き	直接修飾	サイズ	さいず	外来語	抽象名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	サイズの靴やサンダルを取り扱っている通
241		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	知恵		大きい	病院で人気の先生が、開業した小児科で、
242		非主語付き	直接修飾	画材屋	がざいや	混種語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	(大きな	画材屋さんにも染色専用のものもあるかもしれ
243		非主語付き	間接修飾	時計	とけい	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	「	大きな	古時計」を歌っているイノシシに似た方は誰
244		非主語付き	間接修飾	サイズ	さいず	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	1/1. 8と	大きな	CCDサイズに適切な画素数。
245		非主語付き	直接修飾	違い	ちがい	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	2次キャッシュの違いが	大きな	違いです。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
246		非主語付き	直接修飾	魅力	みりよく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	がこの2台の比較だとオデッセイに新しさと	大きな	魅力を感じます。
247		非主語付き	直接修飾	サロン	さろん	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	4階建ての割と	大きな	サロンです。
248		非主語付き	直接修飾	画像	がぞう	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	auのPCサイトビューアーって	大きな	画像は小さく表示されるのですか？
249		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	知恵	YAMAHAとか	大きな	所なら、指導している方も居るので、初心者
250		非主語付き	直接修飾	関心事	かんしんごと	混種語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ンとラクスの婚約はブラント国民にとっては	大きな	関心ごとです。
251		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	あまり	大きな	声では言えませんが私も回避策でWinMX
252		非主語付き	間接修飾	政府	せいふ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	な連邦政府(減税)…○リベラル(民主党)・	大きな	連邦政府(増税)
253		非主語付き	直接修飾	歯	は	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	療に通うぐらい元気な歯です^^;すきっぱは	大きな	歯が生える印。
254		非主語付き	直接修飾	箱	はこ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	笑りたいのですがそれを更に入れられるような	大きな	箱や袋がない場合どうやって保護して送った
255		非主語付き	直接修飾	病気	びょうき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ガンとか	大きな	病気になってそうで怖いデス……。
256		非主語付き	直接修飾	弧	こ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	さまざまな自衛隊機が	大きな	弧を描きながら飛んでいます。
257		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	因的な要素も関係し、歯磨き等の場合には	大きな	原因と考えられています。
258		非主語付き	直接修飾	筋肉	きんにく	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ストレッチ、up15分、ベンチカスクワットの	大きな	筋肉をふくめたウェイトを1時間 軽めのトレ
259		非主語付き	直接修飾	蛾	が	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	そこに虫(カメムシ、	大きな	蛾、白羽あり…)が沢山集まり、外から入る
260		非主語付き	直接修飾	マイナス	まいなす	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	行為をしていることが、自分自身のためにも	大きな	マイナスであることが、わかっていないから
261		非主語付き	直接修飾	価値	かち	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	その一部に	大きな	価値を感じる人が交換します。
262		非主語付き	直接修飾	注射器	ちゅうしやき	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	いわれる場合は最近ホームセンターなどで	大きな	注射器みたいな、ドレンホースの中を吸引て
263		非主語付き	直接修飾	役目	やくめ	混種語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	にはもっと大事な、今後の政局を面白くする	大きな	役目があるじゃないですか、
264		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	知恵	それをふせぐために	大きな	ものが直接入り込まないよう、嘔吐中枢への
265		非主語付き	直接修飾	間違い	まちがい	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ばいいって思ってる方がいるようですけど、	大きな	間違いですよ。
266		主語付き	主語付き	ゲーム	げーむ	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	り大変さもあることながら、常時動き、負荷の	大きな	ゲームの処理に耐えうるサーバを24時間運
267		非主語付き	直接修飾	メーカー	めーかー	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ちなみにエスベリアは、	大きな	メーカーなのですが、あたりはずれがあり、
268		非主語付き	間接修飾	負担	ふたん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	つまり、中国や韓国に	大きな	経済負担を負わせることになり、日本が怒る
269		非主語付き	直接修飾	数字	すうじ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	い(シャッタースピードが速くなる)ように一番	大きな	数字を設定しているのですが、逆にデメリッ
270		非主語付き	間接修飾	売場	うりば	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	デパートなどに入っている	大きな	文具売場でないと売っていないかもしれませ
271		非主語付き	直接修飾	地震	じしん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	でも、もし明日	大きな	地震がきて死んでしまったら、あなたは後悔
272		非主語付き	直接修飾	キズ・傷・疵	きず	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	でも、借主に過失がある	大きな	傷・汚れなどは借主が負担するのが常識と
273		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	判価学会員はそこらじゅうにいるので、あまり	大きな	声で悪口は言えない……
274		非主語付き	直接修飾	文字	もじ	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	トラックの	大きな	文字や絵などもシールの物が主流に成って
275		非主語付き	直接修飾	車	くるま	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	なぜ小さい車だといじめられて、	大きな	車だとなんでも無いんでしょうか？
276		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ボールの劣化によることが	大きな	原因だと思います。
277		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	知恵	まず、	大きな	ことはおこらないと思いますが、やめておい
278		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	また、最初期型には	大きな	問題があると聞いたことが有るのですが、ど
279		非主語付き	直接修飾	ホテル	ほてる	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	もうすぐ結婚式と	大きな	ホテルする予定です。
280		非主語付き	直接修飾	魅力	みりよく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	生懸命何かに打ち込むのも男性から見ると	大きな	魅力です。で、習い事や勉強を始めるのも
281		非主語付き	直接修飾	紙	かみ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	みたいな奴で水引きにはさむタイプだから、	大きな	紙に仮止めてから印刷することになるのよ
282		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	下の米系機関投資家の動きは昔から相場に	大きな	影響を与えています。
283		非主語付き	間接修飾	金	かね	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	育を終え、高校入学時または大学進学時の	大きな	お金が必要になる時に使うだろうと思いま
284		非主語付き	直接修飾	罪	つみ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	神の前では、泥棒、殺人、偶像礼拝と同列の	大きな	罪です。
285		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	が近くにあるし 救急指定や急患などに強い	大きな	病院が 近くににあります。
286		非主語付き	直接修飾	効果	こうか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	経済制裁は	大きな	効果があります。
287		非主語付き	間接修飾	店	みせ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ットフード、ペット用品の充実している又は、	大きな	お店を教えてくださいませんか？
288		非主語付き	直接修飾	UP	あっぷ	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	ペイロードは26t前後とC-130に比べても	大きな	UPは予定されていません。
289		非主語付き	直接修飾	ホクロ・黒子	ほくろ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	口の横に2〜3cmくらいの	大きな	ホクロです。
290		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	口の中なら、	大きな	病院なら口腔外科というのもあります。
291		非主語付き	直接修飾	力	ちから	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	知恵	広島大学教育学部は確かに教育界では	大きな	力があります。
292		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	生剤を飲みきっても小さくならないようなら、	大きな	病院で詳しく調べた方がいいでしょう。
293		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	酷くて高度な医療が必要なら、	大きな	病院へ紹介されたでしょうから。
294		非主語付き	直接修飾	ゴキブリ	ごきぶり	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	知恵	黒くて	大きな	ゴキブリなので精神的に辛くなってきました。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
344		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	うな形でなかったということも、これは非常に	大きな	問題だろうと思います。
345		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	会議	こうしたことの経済的、心理的負担は実に	大きな	ものがあります。
346		非主語付き	直接修飾	自然	しぜん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	ることでありました。そのたらい回し先で大変	大きな	自然に対する環境問題が起きているわけ
347		非主語付き	直接修飾	痛手	いたで	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	がさらに下落をしまして、生産農家にとって	大きな	痛手となることが懸念されるのではないかと
348		非主語付き	直接修飾	原動力	げんどうりょく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	これが私は一番	大きな	原動力じゃないのかなというふうに思うんで
349		非主語付き	直接修飾	財産	ざいさん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	これを集積することは日本の	大きな	財産になり、また国際的バーゲニングパワー
350		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	ましい進展は、人類社会にはかり知れない	大きな	影響を与えようとしています。
351		非主語付き	直接修飾	打撃	だげき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	って、責任が全くない生産者や業者、本当に	大きな	打撃を受けていますよ。
352		非主語付き	直接修飾	債務	さいむ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	をつくっているんじゃないで、四十兆円という	大きな	国民のための債務を抱えたところは、もう少
353		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	しかし、私は、あの国鉄を破綻させた一つの	大きな	原因に、政治の過度な関与というものがある
354	?	非主語付き	間接修飾	負債	ふさい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	したがって、そこには	大きな	負の、負債というか、地球環境というものを
355		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	会議	六十前後に起こる節目というのはほとんど	大きな	ものとしてとらえてないんですね。
356		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	会議	当でないかもしれないけれども、責任が極めて	大きな	ことではないかと思えます。
357		非主語付き	直接修飾	夢	ゆめ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	都市に東京をするという、東京の人々自身が	大きな	夢を持って東京を新しい町にするんだという
358		非主語付き	間接修飾	要因	よういん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	お話しのように、将来に対する不安、これが	大きな	一つの要因になっておる、これはそのとおり
359		非主語付き	直接修飾	地震	じしん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	が、今、議員がおっしゃいましたが、やっぱり	大きな	地震が起きたら困らないような、都民に安心
360		非主語付き	直接修飾	所得減税	しょとくげんぜい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	ておりますけれども、現在、平成十一年度の	大きな	所得減税はそのま現在行われておるわけ
361		非主語付き	直接修飾	成功例	せいこうれい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	それからもう一つ、やはり	大きな	成功例はEUのブッセルでございます。
362		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	めることは当然でありますけれども、もう一つ	大きな	問題として、消費者対策、これが非常に大事
363		非主語付き	直接修飾	失政	しっせい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	ったというようなことは、これは具体的な形で	大きな	失政であったというふうに考えます。
364		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	会議	て、これを行うことによる財政効果は極めて	大きな	ものだと思っています。
365		非主語付き	直接修飾	違い	ちがい	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	では、将来の展望が開けるか開けないかで	大きな	違いが出てくる。
366		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	ですとかカボチャ、ゴボウについても非常に	大きな	影響を受けておりますから、それらについて
367		非主語付き	直接修飾	分け方	わけかた	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	四省庁統合しましたから、今までは、例えば	大きな	分け方をしますと、運輸省と建設省の施策と
368		非主語付き	直接修飾	疑問	ぎもん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	、肝心なところが映っていないという非常に	大きな	疑問が残るビデオであるということだけ申し
369		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	に詰め込んでという形で、一部の新聞には、	大きな	問題で、まだ最終的な決着はしていないと。
370		非主語付き	直接修飾	課題	かだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	課題、本当に我が厚生労働省にとっても大変	大きな	課題でございます。今環境大臣もお越して
371		非主語付き	直接修飾	変化	へんか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	警署の活動状況及び構成の変化など情勢に	大きな	変化を及ぼし得る事象があった場合には、
372		非主語付き	直接修飾	進歩	しんぽ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	意味ではこれも一つの捜査のやり方としては	大きな	進歩があったなど、特に向こう側の協力があ
373		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	会議	いたしますと、東京の発展は物すごく効果が	大きな	ものになるだろうと考えております。
374		非主語付き	直接修飾	打撃	だげき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	急増により価格が下落し、我が国の農家は	大きな	打撃を受けているわけがあります。
375		非主語付き	直接修飾	改革	かいかく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	改革というものは、この件に限らず、すべて	大きな	改革、本物の改革というものは、改革案が多
376		非主語付き	直接修飾	要因	よういん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	な形が望ましいんじゃないか、こんなふうな	大きな	要因を挙げられて、道路審議会でそうした御
377		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	会議	ます毎年の公共事業に比べましても決して	大きな	ものではないと思います。
378		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	れども、現在のところはそちらの方が非常に	大きな	影響を受けているんじゃないかと、そんなふう
379		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	交付税の見直しの中で一番	大きな	問題は段階補正の問題と事業費補正の問題
380		非主語付き	直接修飾	キズ・傷・疵	きず	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	会議	国会の、国の責任で被害を受けて、	大きな	傷を負って、それだけじゃありません。
381		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	今回、災害対策等々に関して一番	大きな	問題があるんじゃないかというふうに考えて
382		非主語付き	直接修飾	リスク	りすく	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	いうことではなくて、それによってどれだけの	大きな	リスクが入るのか入らないかということに分
383		非主語付き	間接修飾	調整	ちょうせい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	うのが今の現状でございますし、また翌年	大きな	生産調整がかかってくるんじゃないかと、
384		非主語付き	直接修飾	ウエート	うえーと	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	政府予算案の中で	大きな	ウエートを占める人件費の問題について質
385		非主語付き	直接修飾	額	がく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	違うでありましょうけれども、私は税金として	大きな	額だろうと思うんですね。
386		非主語付き	間接修飾	変化	へんか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	て、海水を浄化する微生物が死んでしまう、	大きな	環境変化が起こる。これは大変恐ろしいこと
387		非主語付き	直接修飾	原則	げんそく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	資金への損失を最小化すると、これが大変	大きな	原則になっていることは御指摘のとおりで
388		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	い跡が産廃処分場となっていることが地元の	大きな	問題となっております。
389		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	のかと、危機管理意識の希薄さということに	大きな	問題を感じました。
390		非主語付き	直接修飾	利益	りえき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	とは、その選択肢に目をつぶり、得べかりし	大きな	利益を国民のために得ようとしな、それこ
391		非主語付き	直接修飾	プロジェクト	ぷろじえくと	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	会議	、農家、そして上尾道路とか圏央道路という	大きな	プロジェクト、そして宅地開発、さらには河川
392		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	雑誌	そこが一番	おかしい	ところです。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
393		非主語付き	直接修飾	チャンピオンズリーグ	ちんぴおんずりー	外来語	固有名詞	オカシ	な	な形	雑誌	だがあれば非常に	おかしな	チャンピオンズリーグだった
394		非主語付き	間接修飾	話	はなし	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	『くまのがっこうジャッキーの	ちいさな	おはなし』あいほろゆき／文 1155円
395		非主語付き	直接修飾	部屋	へや	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		ちいさな	部屋に縦にも横にもかい私が入ると、そこ
396		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	でもアメリカの文化では、口では言うけど、	ちっちゃい	ときから寝室も別だし、おふろもいっしょに入
397		非主語付き	直接修飾	ターコイズ	ターこいず	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		←	ターコイズとカットワークがポイント。
398		非主語付き	直接修飾	素材	そざい	漢語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	また	やわらかい	素材にレザーを合わせ、甘辛のバランスを
399	?	非主語付き	間接修飾	スタイル	すたいる	外来語	抽象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	なイメージが強かったけれど、今回みたいな	やわらかい	ウェーブ感のあるスタイルなら女のこらしくな
400		非主語付き	直接修飾	手触り	てざわり	和語	抽象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌		↑	手ざわりにうっとり♡ 流行のケーブは色えら
401	?	非主語付き	直接修飾	階調	かいちょう	漢語	抽象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌	再現でポートレート向きですが、風景などの	やわらかな	階調表現にも応用できます。
402		非主語付き	直接修飾	ピンクページ	ぴんくページ	外来語	具象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌	ハロウィン(右)は	やわらかな	ピンクページで、優しいシルエット。きれい
403		非主語付き	間接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌		やわらかな	お顔、流麗な衣文の十一面観音像に出会う
404		非主語付き	直接修飾	石	いし	和語	具象名詞	アタタカ	い	い形	雑誌	POHAKUという	温かい	石を使うのもあり。
405		非主語付き	直接修飾	人柄	ひとがら	和語	抽象名詞	アタタカ	い	い形	雑誌	エステの王道を極めた手技と	温かい	人柄に包まれて、極楽気分。
406		非主語付き	直接修飾	応対	おうたい	漢語	抽象名詞	アタタカ	い	い形	雑誌	さらに特別なものになっているのは、スタッフの	温かい	応対と笑顔。
407		非主語付き	直接修飾	心遣い	こころづかい	和語	抽象名詞	アタタカ	い	い形	雑誌	その心地よさと石崎さんの	温かい	心遣いが、どんな疲れも吹き飛ばす。
408		非主語付き	直接修飾	飲み物	のみのもの	和語	具象名詞	アタタカ	い	い形	雑誌	それと、	温かい	飲み物を飲むようにしたり。
409		主語付き	主語付き	うち	うち	和語	形式名詞	アタタカ	い	い形	雑誌	容器)の内側をさっと水でぬらし、寒天液が	温かい	うちに流し入れる。
410		非主語付き	直接修飾	ごはん・御飯	ごはん	漢語	具象名詞	アタタカ	い	い形	雑誌		温かい	ごはん 米3合分
411		非主語付き	直接修飾	ファミリー	ふぁみりー	外来語	具象名詞	アタタカ	い	い形	雑誌		温かい	ファミリーのライフスタイルをテーマに、メン
412	?	非主語付き	直接修飾	仕様決定	しょうけってい	混種語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	材、圧着カと、それぞれのエンジンに合った	細かい	仕様決定がなされている。一見同じようだが
413		非主語付き	直接修飾	距離	きょり	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	ロングアイアンと違い、137ヤードなどという	細かい	距離を狙って打つショートアイアン。
414		非主語付き	直接修飾	違い	ちがひ	和語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	の採用、シフト回りのデザイン変更といった	細かい	違いはあるものの、基本的には147と同じ
415		非主語付き	直接修飾	神経	しんけい	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	だったので、半絞りとか三分の一絞りとかいう	細かい	神経世界に入らずにすんで、非常にしあわ
416		非主語付き	直接修飾	部分	ぶぶん	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	こんな	細かい	部分まで真由美さんの希望が反映されてい
417		非主語付き	直接修飾	設定	せってい	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	を初心者でも簡単に作成でき、上級者には	細かい	設定で画質やファイルサイズを徹底的に追
418		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	雑誌	だから、そんな	細かい	ことに頼着したらだめよ。
419		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	雑誌	ホントのこと言うと、あまりに自然すぎて、	細かい	こと、覚えてていくくらい。
420		非主語付き	直接修飾	気配り	きくばり	混種語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	一の見やすさや作動感触、作動音などにも	細かい	気配りがなされた「大人のカメラ」的な印象を
421		非主語付き	直接修飾	格子	こうし	漢語	具象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	罫りの中でも最高級の結城紬を選びました。	細かい	格子が交差する結城ならではの緻密で贅沢
422		非主語付き	直接修飾	ラメ	らめ	外来語	具象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	春はキレイ色や	細かい	ラメの、マットすぎないクリアー感のあるネイ
423		非主語付き	直接修飾	こだわり	こだわり	和語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌	のカッティング、ディテールのあしらいなど、	細かい	こだわりを見せてくれました。
424		非主語付き	間接修飾	ラメ	らめ	外来語	具象名詞	コマカ	い	い形	雑誌		細かい	シルバーラメ入り。
425		非主語付き	直接修飾	柄ゆき	がらゆき	和語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌		細かい	柄ゆきや複雑なものであれば、手括りする
426		非主語付き	直接修飾	事情	じじょう	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	雑誌		細かい	事情は様々であろうが、私には、読売が抱
427		非主語付き	直接修飾	ビーズ	びーず	外来語	具象名詞	コマカ	な	な形	雑誌	モチーフはすべて	細かな	ビーズが手で縫い込まれている 右: キッチ
428		非主語付き	直接修飾	オーダー	おーだー	外来語	抽象名詞	コマカ	な	な形	雑誌	使う人のサイズや、暮らしに合わせた	細かな	オーダーにも対応します。
429		非主語付き	直接修飾	線	せん	漢語	抽象名詞	コマカ	な	な形	雑誌	のストロークの圧力と時間(早さ)が重要だ。	細かな	線を、いくつもいくつも引いていく。やり直し
430		非主語付き	直接修飾	ディテール	ていてーる	外来語	抽象名詞	コマカ	な	な形	雑誌		細かな	ディテールまで描写できるようISO50の低感
431		非主語付き	直接修飾	縞	しま	和語	抽象名詞	コマカ	な	な形	雑誌		細かな	縞で行います。
432		非主語付き	間接修飾	ショック	しょくく	外来語	抽象名詞	コマカ	な	な形	雑誌		細かな	路面のショックを伝えずフラットな印象だ。
433		非主語付き	直接修飾	葉	は	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	●中心の	柔らかい	葉なら生で かぶや大根は、周囲の黄ばん
434		非主語付き	間接修飾	尻	しり	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	プリンとして	柔らかい	“赤ちゃんのお尻”にも近づけるアイテム。
435		非主語付き	直接修飾	印象	いんしょう	漢語	抽象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	た食感はあるが、前の二つに比べるとやや	柔らかい	印象を受ける。
436		非主語付き	直接修飾	膨らみ	ふくらみ	和語	抽象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	に壘山の股間にまで届いていて、熱を持った	柔らかい	膨らみに遊んでいた。
437		非主語付き	直接修飾	布	ぬの	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	むい方は簡単、フロントガラスにスプレーして	柔らかい	布で拭くワイパーで拭き取るだけ。
438		非主語付き	直接修飾	色使い	いろづかい	和語	抽象名詞	ヤワラカ	い	い形	雑誌	緊張感を和らげてくれます。新病棟の廊下、	柔らかい	色使いの看護婦さん用カート。さすがドイツ
439		非主語付き	直接修飾	スカート	すかーと	外来語	具象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌	* a シルエットで選ぶ	柔らかな	スカート
440		非主語付き	直接修飾	ストラップ	すとらっぷ	外来語	具象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌	Side	柔らかな	ストラップは手や肩の負担にならない。
441		非主語付き	直接修飾	ニット	にっと	外来語	具象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌	な印象を持つアイテムにモヘアや天竺など	柔らかな	ニットのコーディネートが全体のハードな

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
442		非主語付き	直接修飾	部分	ぶぶん	漢語	抽象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌	心の	柔らかな	部分をチクリと刺されるような痛みをとまなう
443		非主語付き	直接修飾	カーブ	かーぶ	外来語	抽象名詞	ヤワラカ	な	な形	雑誌	越が嬉しそうな顔でガラス管に手を伸ばし、	柔らかな	カーブをなでた。
444		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	「	小さい	子供に道具は関係ない。
445		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	頃からよく行っていた江の島水族館が今年	小さい	頃からの憧れ。声だけでなにかを伝えること
446		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	●放送局は	小さい	頃からの憧れ。声だけでなにかを伝えること
447		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	コンパクトデジカメは、本体のサイズが	小さい	ため、小型のSDメモリーカードおよびxDピク
448		非主語付き	直接修飾	スノーボード	すのーぼーど	外来語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	スケートボードの下に、	小さい	スノーボードを合体させた。
449		非主語付き	直接修飾	ブース	ぶーす	外来語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	いるようだ。久藤が立つ位置の正反対には、	小さい	ブースも見える。店内は窓口があるエリアと
450		非主語付き	直接修飾	炭	すみ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	そこで	小さい	炭や砕いた粒状の白炭を、不織布に詰めて
451		非主語付き	間接修飾	皿	さら	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	その頭のとっぺんを見ると、	小さい	お皿のようなものが載っていて、鈍く光って
452		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	ただし、いちよう切りなど、	小さい	ものは下茹で不要。
453		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	もっとも	小さい	のが3781の156となる。
454		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	扱う画像データが	小さい	ため、連写性能はS40を上回り約3コマ/秒
455		主語付き	主語付き	母親	ははおや	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	骨盤が	小さい	母親の赤ちゃんは、その骨盤を通れる大き
456		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	でこの犬種を飼育されている方がいますが、	小さい	時に他人を咬んだことがあり、その時に厳し
457		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	私の両親は	小さい	頃から不仲でいつも言い争っていて、二年
458		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	私は	小さい	頃、彼女の生の姿を一度だけ目にしたこと
459		非主語付き	直接修飾	ベース	ベーす	外来語	抽象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	とんでもない大きさになってしまいますから、	小さい	ベース上にシーンを凝縮する、というのは逆
460		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	車の中年夫婦の夫は	小さい	会社の経営者、高級アパートに住み高級車
461		非主語付き	直接修飾	ボウル	ぼうる	外来語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	ふり入れてふやかす。…直径10cmほどの	小さい	ボウル4個にそれぞれグラスを入れて傾け
462		非主語付き	直接修飾	サイズ	さいず	外来語	抽象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	同デザインで	小さい	サイズもあり。
463		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	雑誌	娘が	小さい	頃、父母会に行くとき「意地悪な邦子が来た」
464		非主語付き	直接修飾	生き物	いきもの	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	林や水辺があり、	小さい	生き物たちが共存している当たり前の風景
465		主語付き	主語付き	株	かぶ	和語	抽象名詞	チイサ	い	い形	雑誌	例えば、日本の新興市場にある資本金の	小さい	小型の株に投資して長期的に大儲けを目指
466		非主語付き	直接修飾	玉・球	たま	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	ろう、この心地良さは)腋の裏で赤や黄色の	小さな	玉が、不規則に回転し、瞬いては消えてい
467		非主語付き	直接修飾	穴・孔	あな	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	↑クッキー缶に似たフィルムの側面に3つの	小さな	穴が開いている。
468		非主語付き	直接修飾	穴・孔	あな	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	と身麻酔でおへその下と腹部2〜3か所に	小さな	穴を開けて、もう腫を取り出したり、癒着を
469		非主語付き	直接修飾	輪	わ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	天神祭だ。PRグッズの中に、ヨシで編んだ	小さな	輪があった。それはなんですかと尋ねると、
470		非主語付き	直接修飾	ゴールドムンド社	ゴールドムんどし	混種語	固有名詞	チイサ	な	な形	雑誌	77年に設立された	小さな	ゴールドムンド社に将来性を感じ、80年にI
471		非主語付き	直接修飾	島	しま	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	り世界から孤立し、手が届きそうで届かない	小さな	島は、南米に何かを思い出させた。
472		非主語付き	直接修飾	スニーカー	すにーかー	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	あたしのものでない	小さな	スニーカーの他にもうひとつ、ビンヒールの
473		非主語付き	直接修飾	男の子	おとこのこ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	又点を渡り、タクシーに手をあげているとき、	小さな	男の子の手を引いた若い母親が桶を何気な
474		非主語付き	直接修飾	ピストン	びすとん	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	インナーダンパー内部ではさらに	小さな	ピストンが上下に動いている
475		非主語付き	直接修飾	水着	みずぎ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	グラビア撮影は驚きの連続でしたね。こんな	小さな	水着、今まで着たこともなかったし。
476		非主語付き	間接修飾	花	はな	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	青い色の葉の間から、角笛みたいな形をした	小さな	青い花が次々と顔をのぞかせます。
477		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	スペインではどんな	小さな	町にも、バルと呼ばれる居酒屋と喫茶店を
478		非主語付き	直接修飾	商店街	しょうてんがい	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	その	小さな	商店街をあとという間に通り抜けて、十分あ
479		非主語付き	間接修飾	ルビナス	るびなす	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	その脇には、はぜたような	小さな	青いルビナスを、ひゅるんと伸びた長い茎も
480		非主語付き	直接修飾	丸	まる	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	がない。…あなたの身近なハビフヘホにも、	小さな	丸のついたその日から、ベジミズムの言霊
481		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	町に近いフランスのヴォージュ山中にある	小さな	町ブルイェルの五月は、黄、赤、紫の花が満
482		非主語付き	直接修飾	遠慮	えんりょ	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	の息が不規則に乱れ、ふとした身じろぎにも	小さな	遠慮があった。
483		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	花が、お母さん(お父さんかな?)に寄り添う	小さな	子どもみたいでかわいらしい。子どものほう
484		非主語付き	間接修飾	プログラム	ぷろぐらむ	外来語	抽象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	まだ『びあ』もない頃で、名画座に置いてある	小さな	上映プログラムが頼みの綱。
485		非主語付き	直接修飾	犬	いぬ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	さんから3人の前に連れてこれた真っ白な	小さな	犬を見て3人の口から「可愛い！
486		非主語付き	間接修飾	ピストロ	びすとろ	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	気取りのまったくくない	小さな	ベルギー料理ピストロは、実はユマ・サーマ
487		非主語付き	間接修飾	風呂	ふろ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	客室が全部離れになっていて、それぞれに	小さな	露天風呂がついている」
488		非主語付き	直接修飾	値段	ねだん	混種語	抽象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	えを見せなかった高価格コスメブームの中、	小さな	値段で大きな活躍のリップグロスとして可愛
489		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	最初の一団は、白衣の虚無僧の格好をした	小さな	子どもを真ん中に、両側は緋の着物、鉢巻、
490		非主語付き	直接修飾	泥棒	どろぼう	混種語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	ずっと目を凝らして見ていたので、自分が“	小さな	泥棒”になった気分だったの一。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
491		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	がったハートフォードシャーのトリングという	小さな	町に、世界有数の動物、魚類、昆虫コレクション
492		非主語付き	直接修飾	猫	ねこ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	ひげ、クリクリの白い毛、レインボウ模様の	小さな	猫たち。ちょっとした工夫でいろいろな模様が
493		非主語付き	直接修飾	端切れ	はぎれ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	糸くずのように	小さな	端切れを詰めたガラスのビンが窓辺に置か
494		非主語付き	直接修飾	駅	えき	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	自動販売機しかない	小さな	駅だが、銘酒ありとの噂に惹かれてバスに
495		非主語付き	直接修飾	椅子	いす	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	収納に場所をとらない、積み重ねできる	小さな	椅子(幅39×奥行40×総高60×座面高
496		非主語付き	間接修飾	菓子	かし	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	初めてのバリで私が特に惹かれたのが	小さな	小さなお菓子。
497		非主語付き	直接修飾	バー	ばー	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	と退社し地元、コザへ戻る。 そんなある日、	小さな	バーで尚友は幼馴染みの栄門健、照屋仁美
498		非主語付き	直接修飾	青	あお	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	庭で摘んだ	小さな	青をたっぷりの緑とふたつつながりのバケツ
499		非主語付き	直接修飾	はさみ・鋏	はさみ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	の中の一本をつまむと赤い化粧ポーチから	小さな	ハサミを取り出して枝毛をちゃんと切った。
500		非主語付き	直接修飾	穴・孔	あな	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	崩れてごろごろ転がっている石に、ひとつ	小さな	穴があいているのを見つけたんです。
501		非主語付き	直接修飾	引き出し	ひきだし	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	夜間の緊急時に備えて、枕元の飾り棚に	小さな	引き出しを設置し、眼鏡や懐中電灯を準備。
502		非主語付き	直接修飾	形	かたち	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	雑誌	和菓子の魅力は、その	小さな	形の中に、伝統、季節感、上品さ、美しさ、
503		非主語付き	直接修飾	日だまり	ひだまり	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		小さな	陽だまりにみつけた花、ひっそりと咲いて季
504		非主語付き	直接修飾	笑み	えみ	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		小さな	笑みが、清明の紅い唇の端に点った。
505		非主語付き	直接修飾	手	て	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		小さな	手には指が六本あった。
506		非主語付き	間接修飾	容器	ようき	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		小さな	ガラス容器にハーブティーのティーバッグと
507		非主語付き	直接修飾	タンポポ	たんぽぽ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		小さな	タンポポのようです
508		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	雑誌		小さな	子どもから遠ざけたい包丁やハサミは、ラー
509		非主語付き	直接修飾	特徴	とくちょう	漢語	抽象名詞	オオキ	い	い形	雑誌	月しているのが、歌舞伎という独特の文化の	大きい	特徴かもしれない。
510		主語付き	主語付き	男性	だんせい	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	雑誌	“鼻が	大きい	男性はあそこ大きい”とはよく聞けれど、
511		主語付き	主語付き	ばあい	ばあい	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	雑誌	この傷が	大きい	場合には、血管壁に穴が開いて出血が起
512		非主語付き	直接修飾	選手	せんしゅ	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	雑誌	り技術はない選手ですけど、120kgもある	大きい	選手で体格差があるし、海外、バーリトゥー
513		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	雑誌	以上にL2キャッシュ増量による性能向上が	大きい	ことを意味している。
514		非主語付き	直接修飾	タイプ	たいぶ	外来語	抽象名詞	オオキ	い	い形	雑誌	もうちょっと	大きい	タイプですけど。
515		主語付き	主語付き	ノズル	のずる	外来語	具象名詞	オオキ	い	い形	雑誌	穴が	大きい	ノズルへの交換が必要となります。
516		主語付き	主語付き	ばあい	ばあい	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	雑誌	小房が	大きい	場合は、茎から切り分ける。
517		主語付き	主語付き	ほど	ほど	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	雑誌	数字が	大きい	ほどきれいな画質が。
518		非主語付き	直接修飾	差	さ	漢語	抽象名詞	オオキ	い	い形	雑誌	青果物のせりの割合に、市場によって	大きい	差のあることがわかった。
519		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	雑誌	、開いた時は運転席から見やすく、ボタンも	大きい	ため、非常に楽に使える。
520		主語付き	主語付き	部分	ぶぶん	漢語	抽象名詞	オオキ	い	い形	雑誌	して再資源化には自動車メーカーの負担が	大きい	部分もあるが、法律の整備に伴いリサイク
521		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	雑誌	ときは大きいときでちゃんとゲストDJを呼ぶ	大きい	ときは大きいときでちゃんとゲストDJを呼ぶ
522	?	非主語付き	間接修飾	襟	えり	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	雑誌		大きい	ダブル襟ジャケット(外の襟、ボタンがベロア
523		非主語付き	直接修飾	ダメージ	だめーじ	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	出たことで、現実問題、作家としての名声に	大きな	ダメージを受けたわ。
524		非主語付き	直接修飾	間違い	まちがい	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	迷惑だから、イジメでもいいなんていうのは	大きな	間違い。
525		非主語付き	直接修飾	箱	はこ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	は東京から、こちらは神奈川から。こっちは	大きな	箱は大阪からです」「日本全国からですか。
526		非主語付き	直接修飾	うねり	うねり	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	「シトロエンのハイドロサスは、高速道路の	大きな	うねりを乗り越える時、うねりのない平坦路
527		非主語付き	直接修飾	相手	あいて	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	月刊「大相撲」記者 長山 聡 軽量ながら	大きな	相手にも常に真っ向勝負。
528		非主語付き	直接修飾	魅力	みりょく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	港の若い人の間では、東京のファッションは	大きな	魅力なの。
529		非主語付き	直接修飾	藤棚	ふじだな	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	、藤の寺としても知られている。境内にある	大きな	藤棚は樹齢200年。地に届くほどに見事な
530		非主語付き	直接修飾	ワンルーム	わんるーむ	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	●使い道を制約されない、	大きな	ワンルームの空間が欲しい
531		非主語付き	直接修飾	花	はな	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	2年後、『愛を乞うひと』でさらに	大きな	花を咲かせ、『OUT』でもどっしりと存在感を
532		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	Q7 為替の動きが、株式市場に	大きな	影響を与えることがしばしば起こります。
533		非主語付き	直接修飾	看板	かんばん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	アパート群の壁面に	大きな	看板のセットを組み、少年たちのサッカー遊
534		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	アメリカでは同性愛者の権利が	大きな	問題になっていますが、同性愛者の権利が
535		非主語付き	直接修飾	広がり	ひろがり	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	度的に普及していると思ったが、西海岸でも	大きな	広がりをを見せていたのである。
536		非主語付き	直接修飾	トランス	とらんす	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	アンプのように	大きな	トランスやヒートシンクが必要ではないんで
537		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	」といい、生活習慣病として起こる糖尿病の	大きな	原因になっています。
538		非主語付き	直接修飾	テーマ	てーま	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	こは、風土とそこに生きる人間との関わりが	大きな	テーマになってくる。
539		非主語付き	間接修飾	イヤリング	いやりんぐ	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	こは、鮮やかなピンクのジャケットを羽織り、	大きな	シルバーのイヤリングとネックレスを身につ

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
540		非主語付き	間接修飾	グリル	ぐりる	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	を収納し、オープンスタイルになったコペン。	大きな	フロントグリルとセンター2本出しのマフラー
541		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	この順延は対戦に	大きな	影響を与えた。
542		非主語付き	直接修飾	進歩	しんぽ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	これだけでも、	大きな	進歩です
543		非主語付き	直接修飾	メリット	めりっと	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	フユニットの取り外しが、迅速に行えるのは	大きな	メリットといえる。
544		非主語付き	直接修飾	要因	よういん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	きつける話題に事欠かなかったことが、その	大きな	要因だったと指摘されている。
545		非主語付き	直接修飾	お世話	おせわ	混種語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	これは、惜しくも第1回の試験に落ちた(大きな	お世話)お天気キャスターの森田正光氏が
546		非主語付き	直接修飾	欠点・缺點	けってん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	これまでのFRプラットフォームの	大きな	欠点であった、リアのサスペンション取り付け
547		非主語付き	間接修飾	ゼリー	ぜりー	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	炭酸ソーダをベースにフルーツを閉じ込めた	大きな	角切りゼリーがグラスにどっさり!
548		非主語付き	直接修飾	山	やま	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	すぐに降参し、	大きな	山をムルガンに取られ、自身は小さいほうの
549		非主語付き	直接修飾	変化	へんか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	スペック的には*ist Dから	大きな	変化はないが、CFカードからSDメモリーカ
550		非主語付き	直接修飾	血管	けっかん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	血管はそのままの状態で、その横に自力で	大きな	血管ができていたのだ。
551		非主語付き	直接修飾	メリット	めりっと	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	セル生産の	大きな	メリットは生産の柔軟性である。
552		非主語付き	直接修飾	額(ぶち)	かく	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ルの三階で、ごく普通のスナックだが、壁の	大きな	額に入った、山頭火の句を書いた雄渾な書
553		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	そこで、戦後の日本に	大きな	影響をもたらしたサンフランシスコ条約体制
554		非主語付き	直接修飾	自信	じしん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	そして、それは角田の心に	大きな	自信を生み、人生観にまで影響を与えてい
555		非主語付き	直接修飾	脳	のう	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ある餌を食べる同じサイズの種にくらべて、	大きな	脳を持つのだそうです。
556		非主語付き	直接修飾	武器	ぶき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	トを打つことができ、それが速いコートでは	大きな	武器となる。
557		非主語付き	直接修飾	期待感	きたいかん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	その結果、高速インターネットへの	大きな	期待感と、これ以上負担を増やしたくないと
558		非主語付き	直接修飾	成果	せいか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	当を任せられ、98・99年のル・マン24時間で	大きな	成果を挙げることになる。
559		非主語付き	直接修飾	収納	しゅうのう	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ベースをとらず、家具も最低限におさえた。	大きな	収納がこの場合役立った
560		非主語付き	直接修飾	違い	ちがい	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	それが、AMDのFab25やIntelのFabとの	大きな	違いだと言う。
561		非主語付き	間接修飾	社会	しゃかい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	個人をケアしていますが、田口さんはもっと	大きな	今の病んだ社会全体をケアしていて、積極
562		非主語付き	直接修飾	要因	よういん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	それは、車体が中央付近で“折れる”ことが	大きな	要因。
563		主語付き	主語付き	公務	こうむ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	の園遊会、21日からの沖縄訪問と、負担の	大きな	公務が続く予定だった。
564		非主語付き	直接修飾	トランス	とらんす	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	大きなアンプの場合、パワー競争のあけく	大きな	トランスやコンデンサーを使いがちです。
565		非主語付き	直接修飾	理由	りゆう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	い、腹膜透析を長期間できないということが	大きな	理由ではないかと思います。
566		非主語付き	直接修飾	視点	してん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	テニスの強化と普及をもっと	大きな	視点で捉えると、テニスを文化として定着さ
567		非主語付き	直接修飾	勘違い	かんちがい	混種語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	は、一年前の、あの自信に満ちた俺は、実は	大きな	勘違いの産物だったのではないか。
568		非主語付き	直接修飾	センセーション	せんせーしょん	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	る衝撃的な新説が近年になって提示され、	大きな	センセーションを巻き起こした。
569	?	主語付き	主語付き	シリーズ第23作	だい23さく	混種語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ぞ!ドラえもん3本立てPOINT スケールの	大きな	シリーズ第23作。人間とロボットが共存する
570		非主語付き	直接修飾	痛手	いたで	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	り優勝争いの再浮上を狙うG大阪にとっては	大きな	痛手だ。
571		非主語付き	直接修飾	夢	ゆめ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	パパもママも、「	大きな	夢を持ちなさい。
572		非主語付き	直接修飾	肉片	にくへん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	入れて何度も焼け石を交換すると、数時間で	大きな	肉片に充分に火が通る、とあります。
573		非主語付き	直接修飾	要素	ようそ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	プロは体幹部の強さというのは非常に	大きな	要素になりますからね。
574		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ホンマに国を盗むくらい	大きな	ことをやってな
575		非主語付き	直接修飾	糧	かて	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ったといえるでしょう。それが、自分の成長	大きな	糧になったと実感しています。
576		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	まず一番	大きな	問題として言葉の問題が出てくる。
577		非主語付き	直接修飾	改革	かいかく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	性を賭けるのではなく、本業の延長線上に	大きな	改革を求め、「人」に重点を置いた投資をし
578		非主語付き	直接修飾	グリル	ぐりる	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	もしかしたらフロントの	大きな	グリルが、昔ながらのクルマをイメージさせ
579		非主語付き	直接修飾	チャンス	ちゃんす	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	覚え、英語にも慣れた頃、RUMIKOさんに	大きな	チャンスがめぐってきた。
580		非主語付き	直接修飾	岐路	きろ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	サッカーをやっている学校に進むかというのが	大きな	岐路だった。
581		非主語付き	直接修飾	ルーレット	るーれっと	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	リビング空間では、	大きな	ルーレットがポイント。
582		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	右手と左手が合わさったときはどちらの掌が	大きな	音を出しているのかななどと考えながらセリ
583		非主語付き	間接修飾	駐車場	ちゅうしゃじょう	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	駅前広場には	大きな	青空駐車場があり、数十台のクルマが停ま
584		非主語付き	直接修飾	変化	へんか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	り支持率については、全体としてはそれ程の	大きな	変化はみられない。
585		非主語付き	直接修飾	プラス	ぷらす	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	は、本人にとってだけでなく、会社にとっても	大きな	プラスなのである。
586		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	街乗りオンリーと言った手前、	大きな	声では言えないけれど、さらにペースを上げ
587		非主語付き	直接修飾	成果	せいか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	段階的に削減していくことに合意し、条約は	大きな	成果をあげてきた。
588		非主語付き	直接修飾	目標	もくひょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	歴史に残る世紀の幕開け」(センシ会長)を	大きな	目標に上げている。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
589		非主語付き	直接修飾	特徴	とくちょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	撮影中でも締め増しを可能にしているのが	大きな	特徴。
590		非主語付き	直接修飾	誤り	あやまり	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	が米軍のファルージャ攻撃に追従したのが	大きな	誤りだった。
591		非主語付き	直接修飾	影響力	えいきょうりよく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	、森政権の政権運営についても節目節目で	大きな	影響力を行使してきた。
592		非主語付き	直接修飾	トレンド	とれんど	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	論でしかない”ということを肝に銘じておき、	大きな	トレンドで投資判断をしていくことが大切で
593		非主語付き	直接修飾	変更点	へんこうてん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	見た目、性能面においてのノーマルからの	大きな	変更点は、エクステリアの変更だ。
594		非主語付き	直接修飾	利点	りてん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	じょうように使えるが、それに加えて純正品には	大きな	利点がある。
595		非主語付き	直接修飾	駐車場	ちゅうしゃじょう	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	在板橋区と八王子の2店舗があり、どちらも	大きな	駐車場を備えた大規模店だ。
596		非主語付き	直接修飾	富	とみ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	れている。物理学を修める者は誰よりも早く	大きな	富を得ることができる。
597		非主語付き	直接修飾	花	はな	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	に渡してきたものの、胸の中にはそれ以上に	大きな	花が咲いたようである。
598		非主語付き	直接修飾	仕事	しごと	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	老化についての正しい知識の普及も同様の	大きな	仕事の1つである。
599		非主語付き	直接修飾	分岐点	ぶんきてん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	策も、日銀が量的緩和を維持するか否かが	大きな	分岐点となる
600		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	の質(QOL)を低下させ、さらに生命予後に	大きな	影響を及ぼす。
601		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ませんが、性能同一性障害の人の数は少なく、	大きな	声になるかどうか…。
602		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	季節的な生育相(形態形成)は、この変動に	大きな	影響を受けているものと思われる。
603		非主語付き	直接修飾	転機	てんき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	決定は、戦後日本の安全保障政策にとって、	大きな	転機となった。
604		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	状態を「廃用症候群」といい、寝たきりになる	大きな	原因の一つだという。
605		非主語付き	直接修飾	開口	かいこう	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	四隅の	大きな	開口から風景をいけどる端正でシンプルなF
606		非主語付き	直接修飾	被写体	ひしゃたい	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	思い切り広く	大きな	被写体を、思い切って小さなフィルムに縮小
607		非主語付き	直接修飾	枝	えだ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	私たち取材陣のために、	大きな	枝を惜しげなく切り、リビングのテーブルに飾
608		非主語付き	間接修飾	時計	とけい	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	勝 あースゴイッ！(一橋大学)3位 ラブ☆	大きな	古時計Z(専修大学)
609		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	雑誌	そしてもともと手にしていた幸福がどれほど	大きな	ものだったかを。
610		非主語付き	間接修飾	厄災	やくさい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	もできず、何も決められなかった瑠美子が、	大きな	いくつもの厄災をくぐり抜け、たくましい家長
611		非主語付き	直接修飾	話題	わだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	レムに2列シートを配したメガガンマを発表。	大きな	話題を呼んだ。翌七十九年には三菱が東京
612		非主語付き	直接修飾	理由	りゆう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	日本に「積極的護憲論」が生まれにくかった	大きな	理由は、根強い「消極的護憲論」の存在であ
613		非主語付き	直接修飾	支持	しじ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	手元が見えづらくなった世代に	大きな	支持を受けた。
614		非主語付き	直接修飾	ピーク	ピーク	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	作付面積は減少傾向にある。生育は良好も	大きな	ピークはない模様。
615		非主語付き	直接修飾	幸せ	しあわせ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	傷心を踏み台に	大きな	幸せゲット。
616		非主語付き	直接修飾	柱	はしら	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	健康的な自然素材でまとめられ、室内には	大きな	柱や梁の構造がどーんと頼もしい姿を披露
617		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	消されていく絵を見ながら緩子は	大きな	声で笑った。
618		非主語付き	直接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	まで行くと、ぼうっと灯りのついた二階建ての	大きな	家があり、あまり目立たないがホテルの看板
619		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	雑誌	しく整然と並べた人工の石造道路で、石は	大きな	もので縦3メートル、横4・5メートル、厚さは
620		非主語付き	直接修飾	縞柄	しまがら	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	先染めした糸で織ったあと、	大きな	縞柄をばかし染めたものです。
621		非主語付き	直接修飾	戦争	せんそう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	戦後日本と当時のフランスはいずれも、	大きな	戦争で深刻な被害を蒙ったのちに生まれた
622		非主語付き	直接修飾	目標	もくひょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	全勝優勝は、優勝よりも	大きな	目標だった。
623		非主語付き	間接修飾	空間	くうかん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	美子さんは、土間からロフトまで一体となった	大きな	吹き抜け空間を提案しました。
624		非主語付き	間接修飾	ロゴアイテム	ろごあいてむ	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	and the CITY』の中でも着用されていて	大きな	ピンクのロゴアイテムが印象的でした。
625		非主語付き	直接修飾	岩	いわ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	が噴き出す趣向。露天岩風呂が外に続く。…	大きな	岩の露天風呂といえば、ユルイの宿恵山も
626		非主語付き	直接修飾	期待	きたい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	の破壊や汚染をくい止めるのに、蜜蜂には	大きな	期待が寄せられ、蜜蜂は『神の遣い』とも言
627		非主語付き	間接修飾	袋	ふくろ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	朝、家を出て会社に向かう途中、	大きな	ごみ袋を近所の収集ステーションに出す。
628		非主語付き	直接修飾	弧	こ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	手でロックを外し、空中ブランコ状態を体験。	大きな	“弧”を描きながら急降下と急上昇を繰り返
629		非主語付き	直接修飾	スキャンダル	すきやんだる	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	は、吉本興業でも島田紳助暴行事件という	大きな	スキャンダルが起きている。
630		非主語付き	直接修飾	効果	こうか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	同じ投資ならより	大きな	効果が見込める土地に造るべきだ」
631		非主語付き	直接修飾	特徴	とくちょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	名詞ともなったダストリダクションシステムも	大きな	特徴となる
632		非主語付き	直接修飾	ヒント	ひんと	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	日ごろの生活実感が	大きな	ヒントになる
633		非主語付き	直接修飾	痛み	いたみ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	けて動きだした。だが、その前途は多難だ。	大きな	痛みも伴う。兼松の例もある。三菱東京流の
634		非主語付き	直接修飾	意味	いみ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	大きな影響力を持つと思われていただけに	大きな	意味を持つコメントだ。
635		非主語付き	直接修飾	支持	しじ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	楽、演劇と、ジャンルを超えた活動は国内で	大きな	支持を得ている。
636		非主語付き	直接修飾	目的	もくてき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	文章を書くこと自体をより	大きな	目的にしてしまうから、書くことに苦しんだり
637		非主語付き	直接修飾	夢	ゆめ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	ば作るほど収入が増えたとし、なにより農業に	大きな	夢をもつことができました。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
638		非主語付き	直接修飾	リスク	りすく	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	で、株の大暴落や大地震など予測を超える	大きな	リスクに対する支払い余力を表しています。
639		非主語付き	直接修飾	腫瘍	しゅよう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	保護活動開始当時の、お腹に	大きな	腫瘍のできていたラブラドル(右写真・写真)
640		非主語付き	直接修飾	意味	いみ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	事件は、普通の犯罪とは全然違う社会的な	大きな	意味を持っています。
641		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌	留守宅の妹が寝ている間に	大きな	声を立て、しきりともがくので、母親が一方の
642		非主語付き	直接修飾	瞳	ひとみ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌		大きな	瞳からこぼれる大粒の涙に感心。☆私がM
643		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌		大きな	音を出すとシャッターが切れる「パーティモー
644		非主語付き	直接修飾	スプーン	すぶーン	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	雑誌		大きな	スプーンですくうのも楽しいし、冷蔵庫の中
645		非主語付き	間接修飾	プロジェクト	ぶろじえくと	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	雑誌		大きな	開発プロジェクトには弱気にならない人が必
646		非主語付き	直接修飾	風	かぜ	和語	具象名詞	アタタカ	な	な形	雑誌	札幌の日曜日、短い夏の訪れを感じさせる	暖かい	風に乗って、ハンディーズの軽やかな歌声を持
647		非主語付き	直接修飾	所作	しよさ	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	新聞	そして打順が来てボックスに歩み寄るまでの	細かい	所作とその順序、それに間合いが、常に一
648		非主語付き	直接修飾	体・軀・体	からだ	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	新聞	「あの	柔かい	体の使い方はできない」「ものが違う」と称賛
649		非主語付き	直接修飾	政府	せいふ	漢語	抽象名詞	チイサ	い	い形	新聞	キニョネス氏が「	小さい	政府、家族の価値を大切にしたい」と訴え
650		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新聞	市民、とりわけ子どもたちに、	小さい	ときから環境問題や自然の循環に関心を持
651		非主語付き	直接修飾	規模	きぼ	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新聞	「スモールスクール」のような、	小さな	規模で食教育も含め全人的な教育を目指す
652		非主語付き	直接修飾	門松	かどまつ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新聞	も、1人暮らしの部屋を楽しくしてくれそう	小さな	門松や紅白の鶴の置物がお正月気分を盛り
653		非主語付き	直接修飾	裸地	らち	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新聞	は鮮やかな紅葉も楽しめます。玄関回りの	小さな	裸地などにびったりです。雑草は除草剤など
654		非主語付き	直接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新聞	田さんの推薦本はこのほかに「クリスマスの	小さな	木(光村教育図書)、「しろいうさぎとくろい
655		非主語付き	直接修飾	体・軀・体	からだ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新聞		小さな	体で必死にジャンプ。
656		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	新聞	ようにメンバーの力は底上げされ、「遺産」は	大きい	ものがある。
657		非主語付き	直接修飾	役割	やくわり	混種語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	旬から3月上旬にかけての円高修正局面で	大きな	役割を果たした。
658		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	取引などから破たん、日本での発電計画も	大きな	影響を受けた。
659		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	政府および国民の心に暗い影を落としている	大きな	問題が残っている。
660		非主語付き	直接修飾	舞台	ぶたい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	「レスティカーナ」「タンホイザー」として続けに	大きな	舞台で実力を発揮した。
661		非主語付き	直接修飾	注目	ちゅうもく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	ネット企業がアメリカのIT(情報技術)業界で	大きな	注目を集めている。
662		非主語付き	直接修飾	特徴	とくちょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	また、保湿性が高いのも、	大きな	特徴です。
663		非主語付き	直接修飾	被害	ひがい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	が近くに上陸したが、戦闘が南で展開されて	大きな	被害に遭わず、戦後は沖縄唯一の遊園地と
664		非主語付き	直接修飾	節目	ふしめ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	在住トライアスリートとして十回目の参加を	大きな	節目とし、精いっぱい頑張ります。
665		非主語付き	直接修飾	愛	あい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	子どもに接し、子どもを育てることも	大きな	愛の行為に違いない。
666		非主語付き	直接修飾	推進力	すいしんりょく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	援を受けられるため、同省は「合併に向けた	大きな	推進力になる」と指定の拡大を歓迎している
667		非主語付き	直接修飾	影響	えいきょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	員会の井口雅一委員長は「打ち上げ再開に	大きな	影響はない」とした。
668		非主語付き	直接修飾	力	ちから	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	立支援法の成立は、この流れを進める際の	大きな	力として期待されている。
669		非主語付き	直接修飾	夢	ゆめ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	篠田には日本代表という	大きな	夢がある。
670		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	わせて電気を供給するが、それを前に早くも	大きな	問題が浮上している。
671		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新聞	大野小三年生の渡辺拓朗君は「	大きな	音にびっくり。
672		非主語付き	直接修飾	損害	そんがい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	の諸国の人々に植民地支配と侵略によって	大きな	損害と苦痛を与えた」と認め、「率直な反省、
673		非主語付き	間接修飾	キズ・傷・疵	きず	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新聞	イバルを破った際に、俄で腹を打ってできた	大きな	すり傷はまだ残る。
674		非主語付き	直接修飾	励み	はげみ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	められるということの証でもある。全生徒の	大きな	励みにもなる」と喜びを語った。
675		非主語付き	直接修飾	理由	りゆう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	日米の「同盟」関係重視が	大きな	理由である。
676		非主語付き	直接修飾	話題	わだい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	、原爆投下をめぐる歴史論争が起きるなど	大きな	話題となり、予定を延長して九八年まで展示
677		非主語付き	直接修飾	洞	うろ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞	と呼ばれるそのクヌギの幹には、煙突状の	大きな	洞(うろ)が口を開けている。洞ではフクロウ
678		非主語付き	直接修飾	前進	ぜんしん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新聞		大きな	前進か、小さな一歩に過ぎないか、踏み出し
679		非主語付き	直接修飾	日	ひ	和語	具象名詞	アタタカ	い	い形	新聞	三月に入って	暖かい	日が続き、スピード練習もこなしている。
680		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	アタタカ	い	い形	BTSJ	うーん、そうねー、	あったかい	所に就職したいなー。
681		主語付き	主語付き	わけ	わけ	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	BTSJ	、あの動物にしろ(はい)この表記はそもそも	おかしい	わけないじゃない?。
682		非主語付き	直接修飾	サイズ	さいず	外来語	抽象名詞	オオキ	い	い形	BTSJ	が、えーと、紙コップで	おっきい	サイズのが見つかからないから…。
683		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	BTSJ	んー、	おっきい	会社4月の終わり、5月頭、(あ)ですかね、内
684		非主語付き	間接修飾	金	かね	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	BTSJ	こう絶対なくならないし(うん)、とかね、こう、	おっきい	お金を動かすんだよ、とか話を聞くんじゃない、
685		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	、自分の母親が、専業主婦で、(うん)ずっと	ちいさい	頃から一緒にいてくれて(うん)。
686		非主語付き	直接修飾	駅前	えきまえ	混種語	抽象名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	“こんな	ちっちゃい	駅前なのになんでこんなに飲み屋さんある

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
687		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	いやですね、い、いま、今日も	ちっちゃい	の連れて来たんですけども(はい)、ちよっと
688		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	うーん、なんかね、(うん)	ちっちゃい	頃、(うん)よく物を分解して、(うん)変形させて
689		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	なんですよね、あのう、前から何番目って、	ちっちゃい	子だったんです。
690		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	実際なんか、私、が	ちっちゃい	ころに、はたらい、お母さん働いてはないん
691		非主語付き	間接修飾	作業	さぎょう	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	BTSJ	”で、文献とか、データの	細かい	地味な作業とかやっていると、もうなんか全然
692		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	=あんまり、	小さい	ころのことあんまり覚えてないんですけど(う
693		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	うんー、	小さい	ころは、よく遊んだ。
694		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	そのね、	小さい	とき育ってー、そうだよー(うーん)。
695		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	でも、その大きい	小さい	子だったら、大きい小さい子って変な、ん……
696		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	う、待遇がよくなってったり、そういうなんか	小さい	とこで、そうおも、そうなっちゃうのかなくて。
697		主語付き	主語付き	ころ	ころ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ	まあ、	小さい	ころは、毎日、怪我しますよねー。
698		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	BTSJ		小さい	時からね、やっぱり、習得しなかったらしいわ
699		非主語付き	直接修飾	門	もん	漢語	具象名詞	オオキ	い	い形	BTSJ	て(うん)、こう正門、正門じゃないけど、一番	大きい	門から(うん)入ってきて、一番奥まで一本の
700		非主語付き	直接修飾	鳥・鴉	からす	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	BTSJ	で、	大きい	鴉って言うときは大鴉‘おおがらす’になる。
701		非主語付き	直接修飾	道	みち	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	BTSJ		大きい	道がワ一つとあって、ダーつと並木道があつ
702		非主語付き	直接修飾	バケツ	ばけつ	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	BTSJ		大きな	バケツをいくつか用意して(うん)、洗剤の入
703		主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	小	い	い形	女性	居城の規模で、城壕も石垣も断片的のやうな	小さい	もの、これも對幕府の策略でせうか、これ
704		非主語付き	直接修飾	坊様と嬢様	うさまとじょうさ	混種語	具象名詞	小	い	い形	女性	した、頓でおづ〜と奥様の傍に一人二人	小さい	坊様と嬢様が立ち乍ら此方を見詰めらるゝ
705		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	小	い	い形	女性	とにも女といふものは、わからないものだ。	小さい	時から、内気で、温和くて、女学校も東京
706		非主語付き	直接修飾	下婢	げひ	漢語	具象名詞	小	い	い形	女性	氣持が惡う御座います。 と仰しやるとき	小さい	下婢が『奥様もう宜しう御座います』と大き
707		非主語付き	直接修飾	男	おとこ	和語	具象名詞	小	い	い形	女性	ふざながら歩きます、花智は是は又人一倍	小さい	男でおまけにピツコときておますそれが昔
708		非主語付き	間接修飾	椅子	いす	漢語	具象名詞	小	い	い形	女性	エランダでした。藤製の安樂椅子が三脚、	小さい	二人並びの子供椅子が一つ、そして中央
709		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	小	い	い形	女性	ひ死をしてしまったんでね、その小娘には	小さい	時からそのお袋の狂疾を受けついである氣
710		非主語付き	直接修飾	手	て	和語	具象名詞	小	き	い形	女性	るべき、弱き兎の臥床となり、濺が乙女の	小さな	手に折られ、棘の中に身を寄する百合の花
711	*	非主語付き	直接修飾	山羊	やぎ	和語	具象名詞	小	な	な形	女性	に斑點を打ち、遙か彼方に日光の輝く處に	小さな	山羊の崖また崖へ攀登る様に眼を注ぎ升た
712		非主語付き	直接修飾	誇り	ほこり	和語	抽象名詞	小	な	な形	女性	て、お氣の毒で仕方がない。これは、私の	小さな	誇りと、心の奥にひそむ謙讓との闘ひなの
713		非主語付き	直接修飾	手	て	和語	具象名詞	小	な	な形	女性	でと云ふと、目を細くして白い洋服の裾を	小さな	手で一寸つまみ上げながら、よたよたある
714		非主語付き	直接修飾	借家	しゃくや	混種語	具象名詞	小	な	な形	女性	家も無ければ財産などあらう筈もない、私は	小さな	借家に居て、臺所しても氣樂の方がよいと
715		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	小	な	な形	女性	私の郷里は喜入と言つて戸數二千戸許の	小さな	町で、其の中に私共の方眼がある。
716		非主語付き	直接修飾	腺	せん	漢語	具象名詞	小	な	な形	女性	と機關である、其の内部の粘膜には澤山の	小さな	腺があつて、食物が入つて來ると直ぐにそ
717		非主語付き	直接修飾	虚飾	きょしよく	漢語	抽象名詞	小	な	な形	女性	にも小さな虚飾に違ひありませんが、此の	小さな	虚飾が又た女の身嗜みにもなり、生活の喜
718		非主語付き	直接修飾	娘	むすめ	和語	具象名詞	小	な	な形	女性	ながら、『何にしてもあの時の、あの眞黒な	小さな	娘が、今見るやうな綺麗な女にならうとあ
719		非主語付き	直接修飾	馬鈴薯	ばれいしょ	漢語	具象名詞	小	なる	な形	女性	as browned. フレンチフライドポテト	小なる	馬鈴薯を洗ひ、皮をむき、縦に八切にして
720		非主語付き	直接修飾	關係	かんけい	漢語	抽象名詞	大	い	い形	女性	り細な點は兎に角、鐵道開通の遲速などは	大きい	關係で、此爲めに文明の度の深淺も自ら分
721		非主語付き	直接修飾	利益	りえき	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	が爲めに、彼の美田、彼の金錢、は彼に	大きい	利益あらずやと思ふ。
722		非主語付き	直接修飾	ほど	ほど	和語	形式名詞	大	い	い形	女性	を振るなど、風呂敷の擴げかた大きければ	大きい	ほど鼠の囁る孔も小さからぬよう見受けら
723		非主語付き	直接修飾	白鷺	しらさぎ	和語	具象名詞	大	い	い形	女性	すが大分古くからある様です、まづ二羽の	大きい	白鷺が居りましてそれが主にまふのであり
724		非主語付き	直接修飾	女	おんな	和語	具象名詞	大	い	い形	女性	すが花嫁花智の道中で花嫁といふは殊の外	大きい	女で顔は二の町どころか三の町四の町位の
725		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	い	い形	女性	坐つて居る。『お新ちゃん。』 安藤さんが	大きい	聲を出したので、信田さんも奥様も驚いた、
726		非主語付き	直接修飾	本箱	ほんばこ	混種語	具象名詞	大	い	い形	女性	突と起ち上がつて、壁に取りつけてあつた	大きい	本箱の一つのころへ歩み寄つて、その一
727		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	大	い	い形	女性	詰めれば極めて小さな事で全世界の如く	大きい	時があるものです。
728		主語付き	主語付き	の	の	和語	形式名詞	大	い	い形	女性	、自ら大きなるものです。 ◇又た、目の	大きい	のを細く見せるに就いて—— 一體、目は湧
729		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	くれ、友さんが死ぬ、はやく来ておくれ」と	大キナ	聲を出しましたから其人が飛んで来て友さん
730		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	小僧が本の上に雫を落したと云つて亭主が	大きな	聲でよなつて居る。
731		非主語付き	直接修飾	人物	じんぶつ	漢語	抽象名詞	大	な	な形	女性	まれる所はやはり出来る立派な出来る丈	大きな	人物に育てあげやうといふのである。
732		非主語付き	間接修飾	目・眼	め	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	きあつて腰かけに奈津子がちよい〜〜あの	大きな	まるい眼で睨む様な顔をする。
733		非主語付き	直接修飾	鳥	とり	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	きな沼でね、その時分鵠の鳥つて鶴に似た	大きな	鳥が澤山おりてね、それで鵠沼といふんで
734		非主語付き	直接修飾	谷	たに	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	來たり致しましたので、地面内の南の方に	大きな	谷がありましたのを大工事を起してつぶして
735		非主語付き	直接修飾	沼	ぬま	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	片瀬川の邊でゞもあつたのよ。昔はこゝらは	大きな	沼でね、その時分鵠の鳥つて鶴に似た大き

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
736		非主語付き	間接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	御衿の邊に當て置く。『オイ三枝!』つて	大きな	御聲が耳元でひびくからビツクリして振り向く
737		非主語付き	間接修飾	紙入れ	かみいれ	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	もはひつてゐるぜ。』と、吉川はかくしから	大きな	赤皮の紙入れを取り出して渡すのだった。
738		非主語付き	直接修飾	札	さつ	漢語	具象名詞	大	な	な形	女性	『三疊敷』差『敷物ぢやアあるめえしそんな	大きな	札があるか、十圓札とか百圓札とかいふん
739		非主語付き	直接修飾	植木	うえき	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	そして、彼を取巻くやうにして、部屋の隅の	大きな	植木の蔭の、大理石の圓卓子に案内した。
740		非主語付き	直接修飾	鼻	はな	和語	具象名詞	大	な	な形	女性	『もいゝから言つて見て下さい。』安藤は、	大きな	鼻の頭に皺を寄せて、にこ〜笑つた。
741		非主語付き	直接修飾	別天地	べってんち	漢語	抽象名詞	大	な	な形	女性	氣を養はれますには、誠に適しい山間の	大きな	別天地でございます。
742		非主語付き	直接修飾	心得違い	こころえちがい	和語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	界の事も知らでよしと言ふ如きに至りては、	大なる	心得違いいふべし………今の世に於ける婦
743		非主語付き	直接修飾	感情	かんじよう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	ひとの聖愛より沈黙を守り玉へり。大聲は	大なる	感情より發し無聲は無限の感情より来る。
744		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	女性	前途の方針なり。是れ教育に於ける秘決の	大なる	ものなり。
745		非主語付き	直接修飾	写真	しゃしん	漢語	具象名詞	大	なる	な形	女性	右方の石階を上り行けば、廊下に西洋画の	大なる	寫眞を數多く掛け連ねたり。
746		非主語付き	直接修飾	名誉	めいよ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	て長大強壯長命に漸進することを得んか此	大なる	名譽は亦悉く姉妹諸君の上に歸すべきなり
747		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	女性	自殺にあらずや。此般の自殺、すべて仁の	大なる	ものとせば、丁氏の自殺は、即ち亦た大
748		非主語付き	直接修飾	鉄門	てつもん	漢語	具象名詞	大	なる	な形	女性	れ馳せの旅人に注意するなり。斯てのち、	大なる	鐵門固く鎖され、門番は、其傍らなる小き
749		非主語付き	直接修飾	主義	しゅぎ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	まり。此時に於て、女子教育者たるものゝ、	大なる	主義と、非凡の覺悟を以て、之を歓迎せん
750		非主語付き	間接修飾	冤	えん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	るにマダムは不愉快を感じ遂に恩ある嬢に	大なる	意外の冤を與へ交を絶てり。
751		非主語付き	直接修飾	誤り	あやまり	和語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	奴に、今代に於ても隆んなるべしと信ずるは	大なる	誤りなり。
752		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	女性	らしければ膏藥など容るゝ器に用ゝ、また其	大なる	ものは基石に製す、蛤蜊は蛤と同類なり介
753		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	にはいろ〜原因がありませうが、其最も	大なる	原因は即ち國民が生産的に能く働いて居る
754		非主語付き	直接修飾	輪	りん	漢語	具象名詞	大	なる	な形	女性	へ高きを手につけて、接吻するよと見れば、	大なる	輪は半ばかり顔を隠して、眉のあたりもほ
755		非主語付き	直接修飾	基礎	きそ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	殊に夫人の性格、嗜好、及び抱負などが	大なる	基礎となつて居ると云ふ事である。
756		非主語付き	間接修飾	碗	わん	漢語	具象名詞	大	なる	な形	女性	づゝ膳ありて其上に飯及び肴を載す、飯は	大なる	眞鍮の碗に盛りて手に採ることなく膳の上
757		非主語付き	直接修飾	光輝	こうき	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	して二種の發光器を具へ、それより非常	大なる	光輝を放つ、土人はこれを用ゐて提灯に代
758		非主語付き	直接修飾	影響	えいきよう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	るに科學的の智識に依ると否とは其結果に	大なる	影響あることいふまでもなし本書は子供の
759		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	女性	可したの、女は地上の天使で候の、責任の	大なる	ものがありて男子も女子も人に變りはない
760		非主語付き	直接修飾	嫁取り婿取り	よめとりむことり	和語	抽象名詞	大	なる	な形	女性	誰れにも直ぐ見えるが、形なき心を見抜くは	大なる	嫁取り婿取りも、修養を要する。
761		非主語付き	直接修飾	感じ	かんじ	混種語	抽象名詞	アタタカ	い	い形	名大		あつたかい	感じがする。
762		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	名大	ハ、うち帰つてきて1個電気つけるとぼーんと	おっきい	のつちやうし、(うん)かといって、ろうそく1
763		非主語付き	直接修飾	弟	おとうと	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	名大	04: 何? 巨人がいるっていう。M034: いや、	おっきい	弟がとにかくいるわけ、まず。
764		非主語付き	直接修飾	道	みち	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	名大	OK、で、どっかで右に曲がって、その	おっきい	道に入るんだ。(はーあ)
765		主語付き	主語付き	人	ひと	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	名大	あー、じゃ、目が	おっきい	人好きなんだ。
766		非主語付き	直接修飾	やつ	やつ	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	名大	を抜いて、(うん)型抜きして、(うん)で、結構	おっきい	やつ、(うん)わりと大きめの(大きめのを)を
767		非主語付き	直接修飾	トマト	とまと	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	名大	ずいぶん	おっきな	トマト(あ、そう)でしたよね。
768		非主語付き	間接修飾	メリット	めりっと	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	名大	本からお金を、がでてるっていうのがすごく	おっきな	(うん)あの一、メリットじゃない。(うん)
769		主語付き	主語付き	人	ひと	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	名大	太ってて、口がさー、	ちいちゃい	、ちいちゃい人とか好き? じゃあ。
770		非主語付き	直接修飾	発表	はつびよう	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	名大	ま木曜日の方は一、ち、	ちっさな	発表だから大丈夫だけど、(うん)J先生のは
771		主語付き	主語付き	くらい・ぐらい	くらい・ぐらい	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	名大	きたときは、もうちよつと、これよりもうちよつと	ちっちゃい	ぐらい、こんなふうだった。
772		非主語付き	直接修飾	女の子	おんなのこ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	名大	族と一緒に、(うん)そのお姉さんっていうのは	ちっちゃい	女の子がいるんだけど、(うん)3歳か4歳ぐ
773		非主語付き	直接修飾	フィギュア	ふいぎゅあ	外来語	具象名詞	チイサ	い	い形	名大	ア、シャア専用ザクのね、あのこんぐらいの	ちっちゃい	フィギュアだったら500円で買える。
774		主語付き	主語付き	くらい・ぐらい	くらい・ぐらい	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	名大	よりもちよつと	ちっちゃい	ぐらいかな。
775		非主語付き	直接修飾	エビ・海老	えび	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	名大		ちっちゃい	エビとかし扱ったことがないもんね。
776		主語付き	主語付き	眼鏡	めがね	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	名大	なんでこのごろ、あの、レンズの	ちっちゃな	眼鏡がはやってるの?
777		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	名大	んがね、お父さんを選んだのは、お父さんが	細かい	ことをうるさく言わなくて、何でも食べたもの
778		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	名大	開発なんで、そこまで厳密に、ねえ、法律の	細かい	ところうんぬんというよりは。
779		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	コマカ	い	い形	名大	いうの、日本人の、その、先進文化のこま、	細かい	ところみたいなん、なんというの、自分に聞か
780		非主語付き	直接修飾	やつ	やつ	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	名大	(うん)あんまり	小さい	やつはないと思うけどー、(うんうんうんうん
781		非主語付き	直接修飾	コミュニティー	こみゅにてー	外来語	抽象名詞	チイサ	い	い形	名大	ど、農村開発ってゆって、(あつ)まあ、その	小さい	コミュニティーとかがうまく機能して、まあ自
782		非主語付き	直接修飾	ブラッツ	ぶらっつ	外来語	固有名詞	チイサ	い	い形	名大	、小さいじゃんね、(小さいねー)すごい。	小さい	、ブラッツ並みじゃんねー。(うんうん)ブラッ
783		非主語付き	直接修飾	子猫	こねこ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	名大	でもその、こんなに	小さい	子猫だと、ほんーと、かわいいみたいよね。
784		非主語付き	直接修飾	空港	くうこう	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	名大		小さい	空港だったわよ。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
785		主語付き	主語付き	話	はなし	和語	抽象名詞	チイサ	な	名形	名大	人とか好き？じゃあ。 EOSF001: 何で口の	小さな	話になんの？ EOSF093: いや、私、何かね
786		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	名形	名大	(うん)	大きい	のも、あんまりよくないよ。
787		非主語付き	直接修飾	病気	びょうき	漢語	抽象名詞	オオキ	い	名形	名大	まんつとに。…でもね、病気はしてないんだ。	大きい	病気は。(ふーん)けがばっかり。いつも。
788		非主語付き	直接修飾	映画館	えいがかん	漢語	具象名詞	オオキ	い	名形	名大	え、	大きい	映画館でやってる？
789		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	オオキ	い	名形	名大	ってだからきちきちしているところだったら、	大きい	とことかだったらできないじゃないですか。(
790		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	い	名形	名大	そばで聞いて	大きい	声じゃないのね。
791		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	名形	名大	からちよっと大きめって言ったもんで(すごい	大きい	の作ったの?) Lちゃんが入ってみいて、(
792		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	オオキ	い	名形	名大	でね、崎戸炭鉱ってね、ほら(うん)	大きい	会社だから、(うんうん)いい舞台持ってんの
793		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	オオキ	い	名形	名大	なんか、竹島の問題、韓国ではものすごい	大きい	問題になって、小学生もみんな知ってるのに
794		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	名形	名大		大きい	のは押せない。
795		非主語付き	直接修飾	写真	しゃしん	漢語	具象名詞	オオキ	な	名形	名大	(ふーん)何か、恥ずかしいよね、自分の	大きな	写真って。
796		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	オオキ	な	名形	名大	っていうか。ほら、2児の母だもん。こんな	大きな	子のある。
797		非主語付き	間接修飾	車	くるま	和語	具象名詞	オオキ	な	名形	名大	うど、通路のところ、駐車場の、そこに、何か	大きな	黒い車が止まってて、で、前の、ライトが割
798		非主語付き	間接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞	オオキ	な	名形	名大	うちの、Q大は	大きな	いちようの木がだーっと並んでて、(うん)中
799		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	オオキ	な	名形	名大	かなりね、	大きな	ところで、(うん)あの一、女の子が多い
800		非主語付き	直接修飾	迷惑	めいわく	漢語	抽象名詞	オオキ	な	名形	名大	よけいなお世話以上だよ。	大きな	迷惑だよ。(そう、そう)え、でもきつとさ、そ
801		非主語付き	間接修飾	ルーム	るむ	外来語	具象名詞	オオキ	な	名形	名大	地下にね、すごい	大きな	(* * *)カラオケルームがあってね。
802		非主語付き	直接修飾	湯気	ゆげ	和語	具象名詞	アタタカ	い	名形	新潮	し粒もまたひからびて、こびりついて、とても	あたたかい	湯気の立ちそうなけはいはなかった。
803		非主語付き	直接修飾	ごはん・御飯	ごはん	漢語	具象名詞	アタタカ	い	名形	新潮	いたとき、ひさはこう言った。「わたしは昔は	あたたかい	御飯を頂いたことは一度もないよ。そのくら
804		非主語付き	直接修飾	太陽	たいよう	漢語	具象名詞	アタタカ	い	名形	新潮	葉をしっかりとつけているはずだった。私は	あたたかい	太陽の光と緑の芝生の匂いと秋の最初の風
805		非主語付き	直接修飾	気持ち	きもち	混種語	抽象名詞	アタタカ	い	名形	新潮	ると、かの女はひとりわらえてきた。こんな、	あたたかい	きもちで出かけていった松江であった。松江
806		非主語付き	間接修飾	光	ひかり	和語	具象名詞	アタタカ	い	名形	新潮	てしまった僕の筋肉と心をほぐし、僕の目に	あたたかい	なつかしい光を与えてくれた。
807		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オカシ	い	名形	新潮	。私は母親ですよってのに。それにしても	おかしい	のは、私のときは成功やったのに、なんでま
808		主語付き	主語付き	二人組	ふたりぐみ	和語	具象名詞	オカシ	い	名形	新潮	トも持っていないことに気づいた。あの頭の	おかしい	二人組が私の所有していたまともな洋服を
809		非主語付き	直接修飾	発言	はつげん	漢語	抽象名詞	オカシ	い	名形	新潮	社長秘書にしては	おかしい	発言である。
810		非主語付き	直接修飾	ほど	ほど	和語	形式名詞	オカシ	い	名形	新潮	んをどうしても好きになれなくて、本村さんは	おかしい	ほど式を急いで、式はどこで、新婚旅行は
811		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	オカシ	い	名形	新潮	を引くと、ちょうど四万二千円になる。どこか	おかしい	ところはあるかい？」
812		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	な	名形	新潮	「	おかしな	ことを云うようだが、笑わずに聞いてくれ」と
813		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オカシ	な	名形	新潮	農に出て美濃ではちゃんと人も怖れるから、	おかしな	ものだ。」
814		非主語付き	直接修飾	印	いん	漢語	具象名詞	オカシ	な	名形	新潮	「上総介殿はちかごろ	おかしな	印を用いられているそうだな」
815		非主語付き	直接修飾	小男	こおとこ	和語	具象名詞	オカシ	な	名形	新潮	け、不可解な顔に馬鹿笑いを浮べている、	おかしな	小男の集まりで、眼の構造が特殊なため、
816		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オカシ	な	名形	新潮	ストのことを考えています。人間という者は、	おかしな	ものですね。
817		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	な	名形	新潮	対して責任をとった」ように見えるが、それは	おかしな	ことなのである。筋を通す、などということは
818		非主語付き	直接修飾	物体	ぶつたい	漢語	具象名詞	オカシ	な	名形	新潮	そこに毛が生えている。自分とは関係のない	おかしな	物体のように見える。一体そこに何本毛が生
819		非主語付き	直接修飾	考え方	かんがえかた	和語	抽象名詞	オカシ	な	名形	新潮	へ行って、口座を開き、金を下ろして(これも	おかしな	考え方だということがすぐにわかった。必要
820		非主語付き	直接修飾	話	はなし	和語	抽象名詞	オカシ	な	名形	新潮	きるまで安田が一度も来なかったのは、少し	おかしな	話である。
821	*	非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	オカシ	な	名形	新潮	庫をもって出とるちゅう話で……」「文庫を。	おかしな	こっちゃな。持鉢も袈裟も入れてかね」「どう
822		非主語付き	直接修飾	男	おとこ	和語	具象名詞	オカシ	な	名形	新潮	は、ニコチンの味がうまいんだ、と言ってい	おかしな	男が、いつか父の所へ出入りしていたことが
823		非主語付き	直接修飾	身振り	みぶり	和語	抽象名詞	オカシ	な	名形	新潮	番組は歌謡曲放送である。頓狂な声をあげ、	おかしな	身ぶりで歌う歌手に、彼等は共感をおぼえる
824		非主語付き	直接修飾	き	き	漢語	形式名詞	オカシ	な	名形	新潮	善者！ 裏切者！ と呼ぶことも、不思議な	おかしな	気がしないでもない。
825		非主語付き	直接修飾	肌	はだ	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	名形	新潮	まうが似合うみたい。オパールの色とつやが	やわらかい	肌にとてもよく合うわ。あら、そのネックレス、
826		非主語付き	直接修飾	首筋	くびすじ	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	名形	新潮	吸い、それから力いっぱい抱き緊めながら、	やわらかい	首筋を吸った。
827		非主語付き	間接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	名形	新潮	という	やわらかい	呻き声で、答えた。
828		非主語付き	直接修飾	土	つち	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	名形	新潮	私たちの体重は	やわらかい	土のなかにしひのびこみ、あらゆる方向から受
829		非主語付き	直接修飾	装飾	そうしょく	漢語	具象名詞	ヤワラカ	い	名形	新潮	品格がある。黒い鷲毛を解きほぐしたような	やわらかい	装飾が隆起をおおってその場所を荘厳し、そ
830		非主語付き	間接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	アタタカ	い	名形	新潮	った。指で私に合図していた。打って変った	温かい	潤みのある声が、英語でこう言った。
831		非主語付き	直接修飾	握り飯	にぎりめし	和語	具象名詞	アタタカ	い	名形	新潮	に吊って仮睡をとることができた。焚出しの	温かい	握り飯も持ってきてくれた。
832		非主語付き	間接修飾	玉砂利	たまじやり	和語	具象名詞	コマカ	い	名形	新潮	影を作って行った。洗い込まれた白や褐色の	細かい	清らかな玉砂利も、仕上げを待って水盤の
833		非主語付き	直接修飾	雨	あめ	和語	具象名詞	コマカ	い	名形	新潮	隙もなく空を覆っていて、そこから間断なく	細かい	雨が降りつづけていた。私は朝刊を買って

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
834		非主語付き	直接修飾	条件	じょうけん	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	新潮	その際、崔からかなり	細かい	条件が提示された。試合は六月九日に大邱
835		非主語付き	直接修飾	勝負	しょうぶ	漢語	抽象名詞	コマカ	い	い形	新潮	見て、いささかうんざりしたようだった。小さな	細かい	勝負になると思ったのだろう。無理もなかつ
836		非主語付き	直接修飾	煤	すす	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	新潮	葉を思い出そうとしていらっしやいましたが、	細かい	煤に覆われた眼鏡のレンズを拭こうとせす
837		非主語付き	直接修飾	雨	あめ	和語	具象名詞	コマカ	い	い形	新潮	地上には雨が降っていた。針のような	細かい	雨だが、地面や木はぐっしょりと濡れていた
838		非主語付き	直接修飾	雨	あめ	和語	具象名詞	コマカ	な	な形	新潮	降っているのかいないのかわからないような	細かな	雨だった。しかし雨はたしかに降っているの
839		非主語付き	直接修飾	掌	てのひら	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	新潮	を脱ぐために屈めていた腰をのばした。弟の	柔かい	掌が僕の腰をしっかりと押しつけていた。僕は
840		非主語付き	直接修飾	腕	うで	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	新潮	暫くして、弟の	柔かい	腕が僕の肘に静かにふれた。僕は黙って眼
841		非主語付き	直接修飾	肉	にく	漢語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	新潮	うだろうが、太郎は原始的な石の弾丸が、	柔らかい	肉に当り、それに吸いこまれて行くのが、ま
842		非主語付き	直接修飾	芽	め	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	新潮	ない。黒人兵よりも、不安や恐怖、そして	柔らかい	希望の芽におかされやすい敏感な情念をも
843		非主語付き	間接修飾	肌	はだ	和語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	新潮	決心がつかなかった。夢の中に出てくるあの	柔らかい	女の肌が、現実のものとなることに、やはり
844		非主語付き	間接修飾	肉	にく	漢語	具象名詞	ヤワラカ	い	い形	新潮	リの上で手を揉み合わせながら語った。その	柔らかい	掌の肉が摺れ合う音は、初冬の朝の空気の
845		主語付き	主語付き	女	おんな	和語	具象名詞	ヤワラカ	な	な形	新潮	(自分も、こんな素直な、心の	柔らかな	女と愛し合いたい)
846		非主語付き	直接修飾	肉体	にくたい	漢語	具象名詞	ヤワラカ	な	な形	新潮	いのだ。夜ごと愛しあったあの頃のあな	柔らかな	肉体が今も欲しいのだ。わたしは卑しい欲望
847		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	ね。でもあなたとさんの場合は、主として、	小さい	ときからいつもながめあいさわりあってくらし
848		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	「そうよ。わたしは	小さい	時から教会へ行行ってたんですもの」
849		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	「だってお父さん、僕の	小さい	時、スポーツやれて言ったじゃないか」
850		非主語付き	直接修飾	舟・船	ふね	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	「海賊の舟ではないか。	小さい	舟が飛ぶようにくる」
851		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	いた。それはまことにふしぎな言葉であった。	小さい	時信夫はよく祖母のトセに言われたものであ
852		非主語付き	直接修飾	震え	ふるえ	和語	抽象名詞	チイサ	い	い形	新潮	のように硬くて安定した《物》だと僕は考え、	小さい	震えのような感動が肘を走るのを感じた。
853		非主語付き	直接修飾	窓口	まどぐち	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	う英語までおそわって来たかいもなく、この	小さい	窓口ではあっさり鼻のさきに硝子戸をたてき
854		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	り若宮は、そなたによく似ている。……尤も、	小さい	ときは、みな、同じようにみえるのかもしな
855		非主語付き	直接修飾	ため息	ためいき	和語	抽象名詞	チイサ	い	い形	新潮		小さい	ためいきをつかれた。
856		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮		小さい	子供が尋ねた。
857		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	の日の気分にかえりそうであるが、今日は、	小さい	子供を引きつれ、人の親として、養い親たる
858		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	マコトはほかんとしていた。かの女は	小さい	ときなくなった姉のことなどおぼえていなか
859		非主語付き	間接修飾	包み	つつみ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	もない。このとき、わたしの手にあるものは、	小さい	風呂敷包、包の中の一枚の紙だけであった
860		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	花子はとうとう	小さい	声を出して笑った。笑ってからその声が、文
861		非主語付き	直接修飾	事件	じけん	漢語	抽象名詞	チイサ	い	い形	新潮	起し、会場から連れ出して行ったので、この	小さい	事件は、その周囲の極く少数の人にか、知
862		非主語付き	直接修飾	姫君	ひめぎみ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	源氏はそれを見て、いよいよ、あやしいまで	小さい	姫君が心にかかり、早く会いたくてたまらな
863		非主語付き	直接修飾	明かり	あかり	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	刃りに、丁度提灯の光かと思われるくらい	小さい	明りが、数珠繋ぎに何十か並んで見えた。
864		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	り世にあることはもともと信夫も感じている。	小さい	時から神棚と仏壇に手を合わすことを、何の
865		非主語付き	直接修飾	鐘楼	しょうろう	漢語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	雪枝は	小さい	鐘楼の石組に背を凭たせ、子供たちの掃除
866		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	可もしないで、こまめに動いている十数人の	小さい	子供たちの間をゆつくりと歩きながら、それ
867		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	組み方が	小さい	ため、注目する人は少なかったかも知れない
868		非主語付き	直接修飾	かばん・鞆	かばん	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	ていた。その腰かけた石のそばに、貞子は	小さい	鞆を置いて、無心に垂らした手のうちに、い
869		非主語付き	直接修飾	かばん・鞆	かばん	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	人とも、やや薄汚れたアノラックを着て、手に	小さい	カバンを一つ持っていただけだったからであ
870		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	藤は微かに口元をほころばせ、いつかね、と	小さい	声で応じた。
871		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	筆者は、浪華の東郊、小阪という	小さい	町に住んでいる。東に田園がひろがっている
872		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	チイサ	い	い形	新潮	風呂場から少し離れて、	小さい	のや大きなや、古いのや新しいのや、あま
873		非主語付き	直接修飾	身震い	みぶるい	和語	抽象名詞	チイサ	い	い形	新潮	ごしに女子学生は見つめ、それから敏捷に	小さい	身震いをした。
874		非主語付き	直接修飾	丘	おか	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	れた村の女の死者が炎の明るみのなかで、	小さい	丘のように腫れた裸の腹をあおむけ、哀しみ
875		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮	友子は改めてぎんを見た。	小さい	顔の中の大きな眼が燃えるように輝いてい
876		非主語付き	直接修飾	姫君	ひめぎみ	和語	具象名詞	チイサ	い	い形	新潮		小さい	姫君の部屋に源氏がいつてみると、女童や
877		非主語付き	直接修飾	女の子	おんなのこ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	「	小さな	女の子を行方不明にしたと中将がふびんが
878		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	子だって、小さい時から、足が悪いばかりに	小さな	子からもいじめられたり、今だって、さげすむ
879		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	チイサ	な	な形	新潮	はそこにひとつ残らず描きこんでくれ。どんな	小さな	ことでまだ」
880		非主語付き	直接修飾	診療所	しんりょうじょ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	料というものはその規模がむずかしいのだ。	小さな	診療所ならこれは成立つ。大病院ならむろ
881		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	「これはいけない。こんな	小さな	子をひとりにしておけない。今日明日にでも
882		非主語付き	直接修飾	店	みせ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	「どうなるんだろうと思ったんだ。うまいって	小さな	店を持てるかどうかという程度でしょ。小金

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
883		非主語付き	直接修飾	企業	きぎよう	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	そうじゃなくて、どうしてジムみたいにこんな	小さな	企業を維持できる？」
884		非主語付き	直接修飾	引き出し	ひきだし	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	り、僕、服なんか、丸っきり持っていないから。	小さな	引出し一つに、全部入っちゃう」
885	?	非主語付き	間接修飾	除け	よけ	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	「それは大丈夫よ。非常の場合のための	小さな	やみくろよけがひとつあるの。たいして威力
886		非主語付き	直接修飾	虫	むし	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	「たいしたことはないんだよ。	小さな	虫だしな。噛まずに呑みこむと、胃の中でバ
887		非主語付き	直接修飾	ボート	ぼーと	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	ひろがった湾内に目ざす瑞鶴の姿がある。	小さな	ボートに乗ってそこに辿り着こうとすると、見
888		非主語付き	間接修飾	店	てん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	ぶたつに前足を折った、そんな状態やな」。	小さな	喫茶店の椅子に坐るなり、父はそう言いまし
889		非主語付き	直接修飾	手	て	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と無抵抗もある筈だが、娘はその小肥りした	小さな	手の上に、昼寝の体にたかる蟻のように、和
890		非主語付き	直接修飾	虫	むし	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	る。しかも、すこしの嫉妬もまじえずに、その	小さな	虫たちを、菓子型のようにだと思ったりする。身
891		非主語付き	直接修飾	テーブル	てーぶる	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	朝、遅くに目を醒ますと、令子は台所にある	小さな	テーブルの上に紙を何枚も拡げて、何か書い
892		非主語付き	直接修飾	木片	もくへん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	舟を追うガルベの黒い頭がやがて力尽きて	小さな	木片のように漂っていた海。その小舟から垂
893		非主語付き	直接修飾	草庵	そうあん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	上岐頼芸が、鷹狩りに出たとき、町はずれに	小さな	草庵があり、屋外に竹が立っていた。
894		非主語付き	間接修飾	村	むら	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	あんな	小さな	岬の村から出たことし徴兵適齢の五人の男
895		非主語付き	直接修飾	八津	やつ	和語	固有名詞	チイサ	な	な形	新潮	提寺にお坊さんもないことをくやんだが、	小さな	八津は坊さんのことなどかんがえたこともな
896		非主語付き	直接修飾	像	ぞう	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	お堂には法華経の本尊である釈迦牟尼仏の	小さな	像がおさめられている。
897		非主語付き	間接修飾	器具	きぐ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	所へいって、各課長の机のうえにおかれた、	小さな	、みすぼらしい器具を見た。
898		非主語付き	間接修飾	包み	づつみ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	しかし、こものなかみは、	小さな	新聞紙の包みと、きつく木の栓をした四合瓶
899		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	という言葉はそのままだに捨ておけなかった。	小さな	声でこう言った。
900		非主語付き	間接修飾	店	てん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	か。――僕その他には一人の客もない薄暗い	小さな	喫茶店のテーブルに凭れ、一本のビールを
901		非主語付き	直接修飾	好奇心	こうきしん	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	されることをおそれて、あるいは彼女たちの	小さな	好奇心から、そして殊に、今までの習慣から
902		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	するとガルベは	小さな	声で笑いました。私の心にも船で汚物の中
903		非主語付き	直接修飾	待子	まちこ	和語	固有名詞	チイサ	な	な形	新潮	そういつてから信夫は、こんな	小さな	待子が自分のためにお人形もいらなしと祈
904		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	分の子と比べてあまりにも目鼻立ちの整った	小さな	顔を覗きこんだ。赤子のほうは、少しびくり
905		非主語付き	間接修飾	影・陰	かげ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と。周二は声をかけようとした。だが足の短く	小さな	その影は、火の粉をまじえた烈風の中を見
906		非主語付き	間接修飾	村	むら	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	にがいパンをたべたことだけはいいだった。	小さな	大吉の村からもいかにかの少年航空兵が
907		非主語付き	直接修飾	こと	こと	和語	形式名詞	チイサ	な	な形	新潮	めた。星をおとしいれようとする目が、どんな	小さな	ことも見のがすまいと、どこでにらんでいるか
908		非主語付き	直接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	場らしい建物も雰囲気もなく、木立と空地と	小さな	家とがひっそりと、大治郎の前に在るのみ
909		非主語付き	間接修飾	ビル	びる	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	それは、	小さな	三階建てのビルの地階だった。二十六・五
910		非主語付き	直接修飾	花	はな	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	かった。チューリップも、芍薬も、エニシダも、	小さな	花も大きな花も、押し花にしてふじ子に送っ
911		非主語付き	直接修飾	額(ぶち)	がく	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	に床の間を指さした。そこには、はがき型の	小さな	額ぶちに入れた一本松の写真が、木ぼりの
912		非主語付き	間接修飾	ランプ	らんぷ	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	テーブルの上の	小さな	赤いランプには、すでに灯がともされている
913		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と	小さな	声で言った。それから、落ち着き悪く、
914		非主語付き	直接修飾	決断	けつだん	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と、	小さな	決断をこめていった。
915		非主語付き	直接修飾	目・眼	め	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と、ベエさんはすこしねむたげにも見える	小さな	目を軽く何度かしばたきながら言った。ぼ
916		非主語付き	直接修飾	勝負	しょうぶ	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	どのくらい遊んだらうか。	小さな	勝負しかなかったが、それでも負けに負け
917		非主語付き	直接修飾	会社	かいしゃ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と伸子は笑った。「こんな	小さな	会社、TVなんかで取り上げられるわけない
918		非主語付き	直接修飾	手	て	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と信夫の手をひっぱった。そのふっくらとした	小さな	手の感触が、妙にくすぐったくころよかった
919		非主語付き	直接修飾	ねむ	ねむ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	の、平和な、忘却の眠りを眠るだろう。その	小さな	ねむの眺めが、僕の心を悲しくした。
920		非主語付き	直接修飾	怯え	おびえ	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	く視線が僕にむけられているのに気がつき	小さな	おびえにとらえられた。教員はあきらかに僕
921		非主語付き	直接修飾	光	ひかり	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	もそれほど強いものではなかった。ただその	小さな	光が頭骨の上に来るまで満天の星のように浮
922		非主語付き	直接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	や離れて、宿の主人の家族の住むらしい	小さな	家がある。閉てきた硝子戸がラジオの音
923		非主語付き	直接修飾	息子	むすこ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	石先生をも人なみのいたでと苦痛のすえに、	小さな	むすこにいたわられながら、このへんぴな村
924		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	ミシガンに帰ると言う。ホワイトビジョンという	小さな	町に家族が待っていると云ったが、それほと
925		非主語付き	直接修飾	中庭	なかにわ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	った。部屋の障子を少しあげた。石ばかりの	小さな	中庭は雨waterに溢れ、水は石から石へ黒いつ
926		非主語付き	直接修飾	女	おんな	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	りのもんべすがたのひとりのやせて年とった	小さな	女をのせて、岬の村の方へすすんでいった
927		非主語付き	直接修飾	花火	はなび	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	りやぞり、外国風の栗色の眼が怒りと酔いに	小さな	花火のようなきらめきを湧きたたせるのを見
928		非主語付き	間接修飾	風呂	ふろ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	を羽織る。それから彼は入浴に出かける。	小さな	家族風呂にはない。
929		非主語付き	直接修飾	島	しま	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	。朝の海だけが綺麗でした。海は幾つかの	小さな	島をその沖あいに点在させて、うす陽をうけ
930		非主語付き	間接修飾	手	て	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と、彼女の手をじっと握りしめる。ふっくらした	小さな	白い手である。黒髪をかきわけて白い頬や
931		非主語付き	直接修飾	宿場	しゆくば	混種語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	は庄野へ泊る。庄野は、まるで村落のような	小さな	宿場であるから、東海道を行く旅人も、めつ

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
932		非主語付き	直接修飾	体・軀・軀	からだ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	こなったばかりのかの女は、おさない頭脳と	小さな	からだで、むりやり一家の主婦の役を受け持
933		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	御簾のむこうで、手代の杉丸が、	小さな	声でこたえた。
934		非主語付き	直接修飾	浴槽	よくそう	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	っている。院長先生ただ一人のための湯だ。	小さな	浴槽ではない。
935		非主語付き	直接修飾	疑い	うたがい	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	か。……しかしまた、ずっと前に彼が感じた	小さな	疑いが、記憶の片隅から浮ひあがつて来た
936		非主語付き	直接修飾	椅子	いす	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	き一台きりしか載っていない粗末な机の横の	小さな	椅子に腰を掛けた。小学校からはかすかに
937		非主語付き	直接修飾	大名	だいまよう	漢語	固有名詞	チイサ	な	な形	新潮	丹羽、羽柴、滝川、明智がそれぞれの長で、	小さな	大名はそのどこかの軍団に属していた。こ
938		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	私の体の奥深いところで、	小さな	音を立て、何かが発火したようだった。
939		非主語付き	直接修飾	宿	やど	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	水浴御旅館由良館という看板のある駅前の	小さな	宿に泊ろうと思いついた。玄関の磨硝子を
940		非主語付き	直接修飾	金属片	きんぞくへん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	私は爪切りをまた	小さな	金属片に変えて、彼女に返した。彼女は自
941		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	上においた。ネズミは小さきみにふるえつつ	小さな	顔をおしつけて砂の匂いをかいだ。早くも恐
942		非主語付き	直接修飾	建物	たてももの	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	の足長屋、女置場、病人置場、その他の	小さな	建物、矢来などをみなうち壊し押し流し、南
943		非主語付き	直接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	した小路を通り、坂塀がこわれかかっている	小さな	家へ着くのである。聖子を訪ねるとき、婆や
944		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	誰れて男の方へと歩き出しながらバフィーは	小さな	声で、しかし短くきっぱりとそう言った。胸の
945		非主語付き	間接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	車一台の玄米を買いこんでいたからである。	小さな	私立病院の院長がしかつめらしく言うのを
946		非主語付き	間接修飾	写真	しゃしん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	れば相撲取りの大きな色刷写真、外れれば	小さな	安っぽいプロマイド写真が貰える。みんなは
947		非主語付き	直接修飾	口	くち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	城木は我知らず、その	小さな	口のうえに自分の口を重ねた。唇の感触は
948		非主語付き	間接修飾	影・陰	かげ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	た。そしてじっと目をこらしているときどき	小さな	黒いかげが海底をすばやく動いて消えた。
949		非主語付き	直接修飾	火	ひ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	々は又、歌を歌い出した。坂の一番後から、	小さな	赤い煙草の火になって、藤原が下りて来る
950		非主語付き	直接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	破れかかった木造のぐり戸で、平家の古い	小さな	家だ。京橋に七階建ての本社を持つ隆盛な
951		非主語付き	直接修飾	成功	せいこう	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	青洲は次々と人のできない	小さな	成功を積み重ねてきている。
952		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	村の	小さな	子供たちが毎日のように遊びに来た。空地
953		非主語付き	直接修飾	一切れ	ひときれ	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	ンドイッチの皿から、素早く酢漬けの胡瓜の	小さな	一切れをかつ払って口に入れた。
954		非主語付き	直接修飾	雪櫃	ゆきざり	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	者と、四人の女夫とであった。女夫は二つの	小さな	雪櫃を曳いていた。凍死者の体を収容する
955		非主語付き	直接修飾	太鼓	たいこ	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	試してみたが、音はまるで出てこなかった。	小さな	太鼓をいくつか並べたものもあった。
956		非主語付き	直接修飾	座布団	ざぶとん	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	中へ招じ入れ、せまいたたみの縁台に	小さな	座ぶとんを出してすすめたりした。しかし話
957		非主語付き	間接修飾	包み	つつみ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	と橋を渡りかけた。そのとき東からこちへ、	小さな	風呂敷包みを抱えた女が橋を渡って来て、
958		非主語付き	直接修飾	タンポポ	たんぽぽ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	オゾンみなぎる早春の浜、足下に見つけた	小さな	タンポポ、誰もいない冬の渚、時には流木を
959		非主語付き	直接修飾	花	はな	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	あちこちで雑草が芽をふいていた。なかには	小さな	花をつけているのもあった。それは、枯れず
960		非主語付き	直接修飾	足音	あしおと	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	とたたないうちに、とつぜん身近の暗がりを	小さな	足音が走った。それは非常な速度で砂を蹴
961		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	登美子は江藤のそばに肩を寄せてくると、	小さな	声で、
962		非主語付き	直接修飾	店	みせ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	私って、残った部分でホッケーの用品を売る	小さな	店をはじめることにしたのよ」
963		非主語付き	直接修飾	渦	うず	和語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	。その爆発で渦がわれたらしく、巨大な渦は	小さな	渦の群れに分散して、波立つ海面に人の頭
964		非主語付き	直接修飾	背徳	はいとく	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	柏木と結びつくとき、いつもまず私には、	小さな	背徳や小さな流聖や小さな悪がもたらされ、
965		非主語付き	直接修飾	悪	あく	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	つもまず私には、小さな背徳や小さな流聖や	小さな	悪がもたらされ、それがきまって私を快活に
966		非主語付き	直接修飾	骨董屋	こつとうや	混種語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	柏木の導くまに、われわれは寒々とした	小さな	骨董屋へ入って尺八を売った。四百円にし
967		非主語付き	直接修飾	足跡	あしあと	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	かれ、糞がいくつもころがっていた。砂には	小さな	足跡があらめんについていったが、居住者の
968		非主語付き	間接修飾	住宅	じゅうたく	漢語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	の家はたしかに図書館のすぐ近くにあった。	小さな	建売り住宅だったが、それでも一軒家だった
969		非主語付き	直接修飾	道	みち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	いていれば見逃してしまいそうなほどの細い	小さな	道だ。
970		非主語付き	間接修飾	粒	つぶ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	くぶん弱まってきたようだ。横手のほうから、	小さな	赤い粒が敵機に追いつがってゆくのは味方
971		非主語付き	直接修飾	人影	ひとかげ	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	つけたことに、またも玄関の前にひとつの	小さな	人影が現われたのである。
972		非主語付き	間接修飾	斧	おの	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	ーブルの上に並んだ刃物の中からいちばん	小さな	手斧を選んで手にとり、空中で軽く何度か振
973		非主語付き	直接修飾	街	まち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	名も知らぬどこか遠くの	小さな	街に。
974		非主語付き	直接修飾	道	みち	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	を歩いて東橋を過ぎたあたりに右に折れる	小さな	道があった。
975		非主語付き	直接修飾	骨壺	こつぽぼ	混種語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	たのは、菖蒲池の畔にある華岡家の墓地に	小さな	骨壺が埋められてからである。それまで四
976		非主語付き	直接修飾	鯛	たい	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	友会の代議士でもあったからだ。もっともこ	小さな	鯛で、若い書生たちは鯛でも食うように骨
977		非主語付き	直接修飾	頭	あたま	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮	うなことが繰返されたのち、どうやら周二の	小さな	頭にもお金というものが必要であることが認
978		非主語付き	直接修飾	結晶	けっしょう	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮	も必ずその一部分には、明敏な理智の青い	小さな	結晶、青空の薄片が見えていた。海は見え
979		非主語付き	間接修飾	手術	しゅじゅつ	漢語	抽象名詞	チイサ	な	な形	新潮		小さな	切開手術のための痛み止めの発明、正確な
980		非主語付き	間接修飾	ストーブ	すーとーぶ	外来語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮		小さな	電気ストーブが置いてあり、何かしら寒々と

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
981		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮		小さな	子供たちはくすくすと笑った。殊に桃子は莫
982		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	チイサ	な	な形	新潮		小さな	子どもらは、うらやましうにそれをながめて
983		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	新潮	「ここを歩くといつも感じるのですが、全く	大きい	ものですね」
984		非主語付き	直接修飾	目・眼	め	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	ら血をしたたせ呻きながら驚愕のあらわな	大きい	眼でかれを見つめ踏みこたえた。その下腹
985		非主語付き	間接修飾	柱	はしら	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	の折れて行くつい向うに、茂みを区切って、	大きい	木の柱が二本立っていた。そこが農園の入
986		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	新潮	ちょっとした種があって、十銭玉に穴の少し	大きい	のと少し小さいのとがあるので、
987		非主語付き	間接修飾	飾棚	かざりだな	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	中にたった一つ、壁際に唐様の浮彫のある	大きい	紫檀の飾棚、それに倚りかかるようにして、
988		非主語付き	直接修飾	子	こ	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	木かげにあそんでいたのはコトエよりすこし	大きい	子や、小さい子ばかりだった。だれにともな
989		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	いるだけあって、ほかにも客のいる店さきで	大きい	声を出すという無作法を避けて、ひそひそ
990		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	いって来たのが、向うの席を占めると、すぐ	大きい	声でしゃべり出した。ああ、何をしゃべるの
991		主語付き	主語付き	はず	はず	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	新潮	かった。彼は「神」だろうか。いや、神はもっと	大きい	はずであった。
992		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	新潮	れは判らなかつたが、自分に今までに一番	大きい	ものを与えてくれた二人の人間が、同時に、
993		主語付き	主語付き	の	の	和語	形式名詞	オオキ	い	い形	新潮	自分より図体の	大きい	のが多いが、どうせ喧嘩は弱いに違いない
994		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	監督しながら、鮎太が思わず顔を見るほどの	大きい	声で、どこかの高等学校の寮歌を唄った。口
995		非主語付き	直接修飾	掌	てのひら	和語	具象名詞	オオキ	い	い形	新潮	のを見、手伝ってやった。女子学生は柔かく	大きい	掌をしていた。
996		非主語付き	直接修飾	障壁	しょうがい	漢語	抽象名詞	オオキ	い	い形	新潮	問題はそれだけではない。そのどれよりも	大きい	障壁は、官立の学校はもとより、私塾といえ
997		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	新潮	いかねえ……釣り落した魚は、いつだって	大きな	ものさ。)
998		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	い叫び声から、耳をふさごうとして、やたらに	大きな	音でテレビをかけたり、せつせと片道切符の
999		非主語付き	直接修飾	お世話	おせわ	混種語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	「	大きな	お世話だ。羨しいか」と安田と同じ中隊の若
1000		非主語付き	直接修飾	欠陥・缺陷	けっかん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	れわれが持っている現在の文明には、まだ	大きな	欠陥があるという教訓が。このような取扱い
1001		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	「オイ、あんまり	大きな	声出すな。宮さんがいるんだ」
1002		非主語付き	直接修飾	川・河	かわ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	「こんな	大きな	川でもウナギやフナの通る道はちゃんととき
1003		非主語付き	直接修飾	火事	かじ	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	のようだけれど」と或るときさぶが呟いた、「	大きな	火事でもあってくれたら、少しは息がつける
1004		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	らよと自分でもくたびれてしまいそうな程の	大きな	声で言った。横内兄のいうヤホーヘーという
1005		非主語付き	直接修飾	遺言	ゆいごん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	よ、遺言状よりも何よりも、ほくにとつてずと	大きな	遺言ですよ」
1006		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	水で、頭も顔も洗ってから、何だか勇ましい	大きな	声で歌をうたいはじめたのです。その顔が
1007		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	い世間は、御所へ参内もせぬ者が私用には	大きな	顔で出歩くなどひがごとを言いふらします
1008		非主語付き	直接修飾	目・眼	め	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	したな」茶碗を持ったまま、好奇心のこもった	大きな	眼で司祭を見つめながら、「所用あって平戸
1009		非主語付き	直接修飾	目標	もくひょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	「諸君の今年の目標は、数年後のさらに	大きな	目標のために活かされねばならない」
1010		非主語付き	直接修飾	パテ	ばて	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	「大きなテーブルのまん中に、寺院のように	大きな	パテがそびえ、その回りを、北側は仔牛の
1011		非主語付き	直接修飾	鉢区	こうく	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	り、立ちすくむ姿勢を堅持すること。現実が	大きな	鉢区を買取った。アメリカとの戦争にそなえ
1012		非主語付き	直接修飾	含み	ふくみ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	「復命書には、言葉になっていない	大きな	含みがある」
1013		非主語付き	直接修飾	川・河	かわ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	『一つの	大きな	河が行くてをささげる。われらは一つの小舟
1014		非主語付き	直接修飾	こぶし・拳	こぶし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	いく度かそう思いながら、吉川は	大きな	拳で涙をぐいと拭った。
1015		非主語付き	間接修飾	ジャンク	じゃんく	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	リニャーノ神父のおかげで我々とはともかく、	大きな	一隻のジャンクは手に入れられそうです。と
1016		非主語付き	直接修飾	未来	みらい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	んな安っぽい命ではない。おれには無限に	大きな	未来がある。おれは多くの人たちから将来
1017		非主語付き	直接修飾	石	いし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	たさまざまな大木と、びっしり苔に覆われた	大きな	石が、見事な調和を見せている立派なお庭
1018		非主語付き	直接修飾	愛情	あいじょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	長いこと心変りせず面倒を見てくれる源氏の	大きな	愛情に甘えて、安心してた。昔はあんなに
1019		非主語付き	間接修飾	流れ	ながれ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	中からかれらはのびていった。じぶんたちが	大きな	歴史のながれの中におかれていたともかん
1020		非主語付き	直接修飾	ーニングポイント	ーにんぐぽいん	外来語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	り、立ちすくむ姿勢を堅持すること。現実が	大きな	ターニング・ポイントにさしかかっている時に
1021		非主語付き	直接修飾	石	いし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	日の午後、行助は、耕しているうちにかなり	大きな	石を掘りあててしまい、それを除けようとして
1022		非主語付き	直接修飾	力	ちから	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	しかし、それにもまして	大きな	力は、大正三年の夏に勃発したヨーロッパ
1023		非主語付き	間接修飾	愛情	あいじょう	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	さった亡き桐壺院のおもかげであつた。院の	大きな	暖かい愛情が、今更のように切なく宮には
1024		非主語付き	直接修飾	穴・孔	あな	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	た。最も重要な点は、艦の安定性であつた。	大きな	穴があらわれているので、積載物がないと
1025		非主語付き	直接修飾	謎	なぞ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	そして、これに関連する	大きな	謎の一つは、外務省の「九七式欧文印字機
1026		非主語付き	直接修飾	罪	つみ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	そしてその上に、更に	大きな	罪が重石のように全人生を圧して、青年
1027		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	新潮	とちに、船の上からも、はっきりと見えるほど	大きな	ものであつた。
1028		非主語付き	直接修飾	農家	のうか	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	が庭の樹に水をやっていた。この地方の少し	大きな	農家では庭を綺麗にしつらえ、畠以上に手
1029		非主語付き	直接修飾	ホクロ・黒子	ほくろ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	平は、実によく喋った。彼の左顔の下にある	大きな	黒子が間断なく上下に動き続けるのを加恵

母語話者チェック済みデータ(1,418例)

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1030		非主語付き	直接修飾	体・軀・軀	からだ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	りに、熊さんの家を覗いた。髯面の熊さんの	大きな	軀の向うで、内儀さんの小さな軀が、こまめ
1031		非主語付き	直接修飾	足	あし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	地階だった。二十六・五糎もある、太郎の	大きな	足では、階段の幅は、やっと踵の部分が引
1032		非主語付き	直接修飾	男根	だんこん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	は、信長の浴衣の背だった。背に、極彩色の	大きな	男根がえがかれているのである。
1033		非主語付き	間接修飾	鯨	あじ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	がらねばならぬ時間なのだ。一昨日、峻一は	大きな	平あじを一匹釣った。それを三分の二食べ
1034		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	だが、精神科は血を見なくて済むというのも	大きな	原因の一つである。学生時代、峻一はつま
1035		非主語付き	直接修飾	誤り	あやまり	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	たのは誤認であるし、「戦果撃墜六」は特に	大きな	誤りである。
1036		非主語付き	直接修飾	目・眼	め	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	良みが、母親と妹に向けられていた。青洲の	大きな	眼に非難がましく見据えられると、於繼は先
1037		非主語付き	直接修飾	紋	もん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	どういものか拳ほどもある	大きな	紋を白抜きにしてあるのが、直道が大男で
1038		非主語付き	直接修飾	料亭	りょうてい	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	その朋輩といっしょにいるはという佐世保の	大きな	料亭に呼んで、小太郎たちには踊らせ、自
1039		非主語付き	間接修飾	屋根	やね	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	つくっていたのかと思うと、いっそうこの暗い	大きな	藁屋根の下に住む父子二代の竹工に尊敬
1040		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	と言って、	大きな	声で笑った。
1041		非主語付き	間接修飾	転回	てんかい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	のようにみえながら、このときのやりとりが、	大きな	運命の転回をまねくことになるうとは、どうし
1042		非主語付き	直接修飾	影・陰	かげ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	いたヤマブキである。そうして、さらにさらに	大きな	かげでつつんでしまうのは、いつのまにか重
1043		非主語付き	直接修飾	騙し手	だまして	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	してどんどん増えたところで、誰かがどっと	大きな	騙し手で上ると、座の空気は完全に殺気を
1044		非主語付き	間接修飾	価値	かち	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	ための、不沈の航空母艦、潜水母艦として、	大きな	利用価値を認めている内南洋の島々も実際
1045		非主語付き	直接修飾	ラッパ	らっぱ	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	度には友達にオルゴールを鳴らしてきかせた。	大きな	ラッパのついた蓄音機もあったけれど、これ
1046		非主語付き	直接修飾	舞衣	まいぎぬ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	温であった。能舞台にみられる衣裳のような	大きな	舞衣を着ていた。それらは一切新竹の皮を
1047		非主語付き	間接修飾	悲しみ	かなしみ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	た。私は、お嬢さんは女性としてきつと何か	大きな	深い哀しみを味わった方だと感じていた。そ
1048		非主語付き	直接修飾	うねり	うねり	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	の中で輪を作り、拡がり、やがて渦のような	大きな	うねりとなって返ってくる。
1049		非主語付き	直接修飾	嘴	くちばし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	鼻孔とか口とか耳とか、やわらかいところを、	大きな	嘴でつつく。
1050		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	加藤が	大きな	声でいった。いいんだよと藤沢がいても、
1051		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	加藤は	大きな	声でいった。
1052		非主語付き	直接修飾	雪片	せつぺん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	加藤は彼の袖に吹きつける湿り気の多い	大きな	雪片に眼をやったとき、やはり来るものが来
1053		非主語付き	間接修飾	店	てん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	「ソルト」の御主人に教えてもらって、梅田の	大きな	レコード店で買い求めて来たレコードでした
1054		非主語付き	間接修飾	太陽	たいよう	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	画集の次のページを開くと、	大きな	朱色の太陽が沈みかかっている絵があった
1055		非主語付き	直接修飾	飛行船	ひこうせん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	な形をした潜水艦が造られているのだとか、	大きな	飛行船のようなものを造っているのだとか、
1056		非主語付き	直接修飾	峠	とうげ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	狩峠は、天塩の国と石狩の国の国境にある	大きな	峠である。旭川から北へ約三十キロの地点
1057		非主語付き	間接修飾	胸	むね	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	が志方の体の中に埋もれた。眼の前に広く	大きな	志方の胸がある。
1058		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	教場を見廻って歩いていた影村一夫が突然	大きな	声を出した。
1059		非主語付き	間接修飾	店	てん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	続け、国民党の集会が禁じられ、集会所や	大きな	麦酒店が軍隊と警官によって固められたり
1060		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	鯨やんが	大きな	声で言った。
1061		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	新潮	なかった。だが、それが私にとってどれほど	大きな	ものだったかは、内藤の逮捕という思いも
1062		非主語付き	直接修飾	功績	こうせき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	あり、その後も織田軍団の鉄砲陣の向上に	大きな	功績をのこした。いまなお鉄砲陣のつかい
1063		非主語付き	直接修飾	椅子	いす	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	広い喫茶室、革張りの	大きな	椅子、見事な菊の花の鉢植えをならべ、華
1064		非主語付き	直接修飾	明るみ	あかるみ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	行く手に	大きな	明るみが近づき、赤土の勾配を降りると、一
1065		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	今度は	大きな	顔の中の小さな眼を思いきり開いて言った。
1066		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	のだが、男ははっきりと、「原島てめえ！」と	大きな	声で言った。
1067		非主語付き	直接修飾	箱	はこ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	だという髯面の中年男が、自転車荷台に	大きな	箱をつけて、でき上った容器をとりにくる。彼
1068		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	志田虎之助は	大きな	声で笑ってから、中学生のような質問をする
1069		非主語付き	直接修飾	ポスター	ぼすたー	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	ネシーの原野の自動車道路にそって三枚の	大きな	ポスターがたっていた。
1070		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	私は思わず	大きな	声で訊き返した。
1071		非主語付き	直接修飾	病院	びょういん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	とにそれこそ連日通って来る男がいました。	大きな	病院の経営者で五十二、三の恰幅のいい男
1072		主語付き	主語付き	子	こ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	ものを感じた。しかし、見馴れてくると、頭の	大きな	この子がいじらしくさえなってくるのは妙だっ
1073		非主語付き	直接修飾	キズ・傷・疵	きず	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	ておりました。若い伍長は火傷はなくて頭に	大きな	疵をてしていました。
1074		非主語付き	直接修飾	石	いし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	ふしぎなくらい、いつもの自分に戻っていた。	大きな	石が落ちたようなあの屋根の音は、まさしく
1075		非主語付き	間接修飾	包み	つつみ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	る。聖子を訪ねるとき、婆やはいつもかなり	大きな	風呂敷包みを携えていた。嵩ばかり大きい
1076		非主語付き	間接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	彼等は二十歳そこそこで莫大な収入があり、	大きな	洒落た家に住み、愛玩用の一頭十万円も
1077		非主語付き	直接修飾	失敗	しっばい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	小さな言葉のミスから、	大きな	失敗まで、数えあげればきりが無い。
1078		主語付き	主語付き	仁太	にんた	和語	固有名詞	オオキ	な	な形	新潮	ておくことのように思ったのだ。あのからだの	大きな	仁太のむじやきさが、それでうしなわれるとい

母語話者チェック済みデータ(1,418例)

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1079		非主語付き	直接修飾	石	いし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	庄九郎は草むらにしゃがんで	大きな	石をかかえあげた。
1080		非主語付き	間接修飾	頭	あたま	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	石膏は	大きな	坊主頭をもった、とびきり小柄な老人である
1081		非主語付き	直接修飾	はさみ・鉋	はさみ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	まわっていた。どういうわけか、二ひきとも、	大きな	はさみをかた方だけもぎとられたあわれなす
1082		非主語付き	直接修飾	打撃	だげき	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	巨大な砲を装備し、より遠くの目標物に、より	大きな	打撃を与える戦艦を持ちたいということは、
1083		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	んか。おおい、高蓋村のものはおらんか」と	大きな	声を出した。僕は担架の風上を歩くため保さ
1084		非主語付き	間接修飾	菓子	かし	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	い建物がいひめきあって、それ自体ひとつの	大きな	洋菓子のようにみえる丘の裾を、電報配達
1085		非主語付き	間接修飾	耳	みみ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	が子のおもだちに、殊に横のほうに突出した	大きな	その耳に、まぎれもない夫への近似を、いや
1086		非主語付き	直接修飾	流れ	ながれ	和語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	多くの者は、世の中の	大きな	流れにあえて逆らおうとはせず、そうかとい
1087		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	待子が	大きな	声でいった時、信夫は体に火がついたよう
1088		非主語付き	直接修飾	服	ふく	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	、その日一日きりでした。私が体に合わない	大きな	服を着て、ふろしき包みをかかえて叔父の家
1089		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	智子がわざと	大きな	声でしゃべっているのは、要するに亭主がく
1090		非主語付き	直接修飾	安息感	あんそくかん	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	い塗装用品卸業の家よりも、平吉にはいま	大きな	安息感をあたえたのである。
1091		非主語付き	直接修飾	写真	しゃしん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	登美子は部屋の壁に、額に入れた母の	大きな	写真を飾っていた。おそらくは不幸の中で死
1092		非主語付き	間接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	松のうちには日清戦争の当時まで、庭先に	大きな	ケンボナシの木が五株もあったと云われてし
1093		非主語付き	直接修飾	梅干	うめぼし	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	ば学習院にははいれない、そう思うと桃子は	大きな	梅干を種子ごと呑みこんだような気がした。
1094		非主語付き	直接修飾	変化	へんか	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	むにつれ、榆脳病科病院の経営、業務にも	大きな	変化が見られた。サイパン失陥当時、松原
1095		非主語付き	直接修飾	髷	まげ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	な感じだった。薄小豆地の明石縮を着、髪は	大きな	髷に結って、すべてが若造りである。
1096		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	見分のあとに行くと言ふ話もありあとで余り	大きな	顔させめ様覚へて居て下さい
1097		非主語付き	間接修飾	写真	しゃしん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	内藤が日本チャンピオンを奪取した直後の、	大きな	パネル写真が貼ってあった。内藤は、チャン
1098		非主語付き	直接修飾	幟	のぼり	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	ポスターが眼についた。東京行進曲と書いた	大きな	幟が立っていた。彼はなんとなく、その映画
1099		非主語付き	間接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	父は、	大きな	櫨の木を前に控えた本堂の玄関に立って案
1100		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	課員の主だった者二人を机の前に呼んで、	大きな	声でしゃべっていた。
1101		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	オオキ	な	な形	新潮	風呂場から少し離れて、小さいのや	大きな	のや、古いのや新しいのや、あまり上等とは
1102		非主語付き	直接修飾	テーブル	てーぶる	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	が出席した。そして、部屋の中央に置かれた	大きな	テーブルには、第二船台とガントリークレー
1103		非主語付き	直接修飾	火柱	ひばしら	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	と層目の窓から焼夷弾が入って燃えあがり、	大きな	火柱をあげて崩れ落ちた。京都の伏見城が
1104		非主語付き	直接修飾	写真	しゃしん	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	のデッキで、双眼鏡を胸に下げて立っている	大きな	写真が飾ってあった。
1105		非主語付き	間接修飾	皿	さら	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	母の信子は、	大きな	深皿に豚の骨つきのアバラ肉と、パイナップ
1106		非主語付き	直接修飾	イヤリング	いやりんぐ	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	りをぐるりと一周し、それから両耳につけた	大きな	イヤリングの位置をなおした。
1107		非主語付き	直接修飾	講義所	こうぎじょ	漢語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	央になり翌年の三月には湯島金助町に更に	大きな	講義所をもうけるほどの発展ぶりであつた。
1108		非主語付き	間接修飾	ストーブ	すとーぶ	外来語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	門番は	大きな	鉄のストーヴの前に座り、靴を脱いで足を温
1109		非主語付き	直接修飾	目・眼	め	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮	友子は改めてぎんを見た。小さい顔の中の	大きな	眼が燃えるように輝いている。幼い時から勝
1110		非主語付き	直接修飾	展覧会	てんらんかい	漢語	抽象名詞	オオキ	な	な形	新潮	しは、彼女に励まされて描いた絵が次つぎと	大きな	展覧会で入賞したり、高価な値で買われてし
1111		非主語付き	直接修飾	手	て	和語	具象名詞	オオキ	な	な形	新潮		大きな	手を振ると、電灯の下にただよっていた煙草
1112		非主語付き	間接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	アタタカ	い	い形	新潮	さや、暖かさががないよ。君は何とも言えない	暖かい	いいものを持っているよ」
1113		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	アタタカ	い	い形	新潮	らばぱったりと森には寄りつかなくなります。	暖かい	ときには何頭かずつグループになってやつ
1114		非主語付き	間接修飾	日差し・陽射し	ひざし	和語	具象名詞	アタタカ	い	い形	新潮	中の藤棚の下のベンチに坐って、糧やかで	暖かい	秋の陽差しを浴びながら読ませていただき
1115		非主語付き	間接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	アタタカ	い	い形	新潮	りか。あれが真実でこれが虚妄なのか。この	暖かい	、匂う、花のようなもの。なぜそれが、生きて
1116		非主語付き	直接修飾	言葉	ことば	和語	抽象名詞	アタタカ	い	い形	新潮	親の年頃と思われる皇帝の、高貴な風貌と	暖かい	言葉を思いだしながら、断わった皇帝を非難
1117		非主語付き	直接修飾	日差し・陽射し	ひざし	和語	具象名詞	アタタカ	い	い形	新潮	桜は見る限り華かに咲き誇った。	暖かい	日射を浴びて花は幾重にも花を重ね、弦音
1118		非主語付き	直接修飾	地	ち	漢語	抽象名詞	アタタカ	な	な形	新潮	毎年十二月になると寒い北部を逃れてこの	暖かな	地にやびてきて翌年の四月まで滞在すると
1119		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	小	い	い形	太陽	るざるを以て、之が機嫌を取らざるを得ず、	小さい	者は到底大いものに壓伏せらるゝを以て、
1120		非主語付き	直接修飾	石段	いしだん	混種語	具象名詞	小	い	い形	太陽	り後から建増したと思はれるものも見える、	小さい	石段を辿つて、塔の中に入る、十五六世紀
1121		非主語付き	直接修飾	露臺	ろだい	漢語	具象名詞	小	い	い形	太陽	と思つた。彼は最後に喫煙室をぬけてふと	小さい	露臺の口に立つた。
1122		非主語付き	直接修飾	瓶	びん	漢語	具象名詞	小	き	い形	太陽	せではかなはじといひつつ、かくしの中より	小さい	瓶と注射器をとりにだしぬ。
1123		非主語付き	直接修飾	点・點	てん	漢語	抽象名詞	小	き	い形	太陽	あるか片假名が不明了なれども、グの間に	小さい	点がある様にも見ゆれば、先づビーダルと
1124		非主語付き	直接修飾	花	はな	和語	具象名詞	小	き	い形	太陽	る。ツルウリクサは玄参科に屬し、紫色の	小さい	花を開き葉は茂りて美しく垂下用として好恰
1125		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	華するとかいふやうなことはない。それから	小さい	子供などの遊ぶのを見て不思議に感じたの
1126		非主語付き	直接修飾	頭	あたま	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	一安靜であるべき哺乳中に於ても——その	小さい	頭を左右に振り手足を動かす、殊に手に於
1127		非主語付き	直接修飾	声	こえ	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	でも感心する。私の隣に坐つてゐた婦人が	小さい	聲で「見事だわ」と獨語つてゐた。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1128		非主語付き	直接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	いが、一生自分のものとして長年の計画で	小さい	木など植えて、それが段々生長してゆくのか
1129		非主語付き	直接修飾	滑車	かつしゃ	漢語	具象名詞	小	い	い形	太陽	左右上下に錯綜して走る曲り角は、すべて	小さい	滑車で支えられるやうに仕組んだのである
1130		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	小さい町といつてもいい位だが、それらの	小さい	町の、路傍でアイスクリームを賣つてゐる賣
1131		非主語付き	間接修飾	テーブル	てーぶる	外来語	具象名詞	小	い	い形	太陽	あつた一つの部屋へ私を案内した。ベットと	小さい	圓テーブルの他見るべきものもないその部
1132		非主語付き	直接修飾	砂	すな	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	過ぎないのである。學理上からはこのやうな	小さい	砂で破られた道が、普通の降雨を雲の中に
1133		非主語付き	直接修飾	槌	つち	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	、蚯蚓のだす音は、時とすると乾いた葉を	小さい	槌で叩くやうに聴える とのことだ。
1134		非主語付き	間接修飾	台	だい	漢語	具象名詞	小	い	い形	太陽	、胸にのぼり、眼に集まる。彼の女の頭は	小さい	タイプ臺の上に垂れて、彼の女が睨り泣くか
1135		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	小	い	い形	太陽	義哉といふもので、五百石の旗本の次男。	小さい	時から藝事が好き、それで延壽の門に入り
1136		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	小	い	い形	太陽	づれお前を誘拐したものだ。『さうよ、妾の	小さい	時にね。
1137		非主語付き	直接修飾	塊・固	かたまり	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	、数百万圓の紙幣を焼く時には、釜の底に	小さい	塊が出来る。
1138		非主語付き	直接修飾	壺	つぼ	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	。これに秘密があるのかも知れぬえ。形は	小さい	壺ながら、忽然化けて千兩箱となる。
1139		非主語付き	直接修飾	カギ・鍵	かぎ	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	取り此鍵を！』 見ると『爺つあん』は指先に	小さい	鍵を摘まんでゐた。
1140		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	で賭博 スペインでは、殆んどすべての	小さい	町といつてもいい位だが、それらの小さい町
1141		非主語付き	直接修飾	歯	は	和語	具象名詞	小	い	い形	太陽	菜類を十分にあてがはれてゐる。 蛇には	小さい	歯が何千本もある。
1142		非主語付き	直接修飾	虫	むし	和語	具象名詞	小	き	い形	太陽	も知りぬ。妾が奇を好む此経験は、痛く此	小さき	虫を愛するの念を起して、其妾が手の上に
1143		非主語付き	直接修飾	胸	むね	和語	具象名詞	小	き	い形	太陽	せざることのみなれば、湧き来る疑ひを永く	小さき	胸に貯ふること能はずして、法々として涙の
1144		非主語付き	直接修飾	カンテラ	かんでら	外来語	具象名詞	小	き	い形	太陽	り如き穹窿状の一室に入る。室の四隅には	小さき	カンテラを燈して幽光黯淡たり。
1145		非主語付き	直接修飾	火の玉	ひのたま	外来語	具象名詞	小	き	い形	太陽	く小銃亂發の音が激しく聞え、幾干ともなき	小さき	火の玉が、絶間なく空中に其火線を書いた
1146		非主語付き	直接修飾	土手	どて	混種語	具象名詞	小	き	い形	太陽	でられしとか。道の幅半町ばかり、左右に	小さき	土手らしきものが今に残れり。
1147		非主語付き	間接修飾	土瓶	どびん	漢語	具象名詞	小	き	い形	太陽	を以て硫酸瓦斯を代用するも可なり、即ち	小さき	浅き土瓶又は粗末なる陶製の小皿に、熾盛
1148		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	小	き	い形	太陽	を上げば花漬浮て開きけり 楚山 初午や	小さき	町の人通り 紫川 初午の行燈かけし長
1149		非主語付き	直接修飾	傘・笠	かさ	和語	具象名詞	小	き	い形	太陽	、鯛、比目魚、鯉、松魚などの形に作りし	小さき	笠に、紅き緒をつけて冠たる、龍宮の使者
1150		非主語付き	直接修飾	封疆	ほうきょう	漢語	抽象名詞	小	き	い形	太陽	種の競争の大舞臺に上ることに骨折らず、	小さき	封疆に立籠りて何時までも他人行儀にて暮
1151		非主語付き	直接修飾	写真	しゃしん	漢語	具象名詞	小	き	い形	太陽	り帛を張りあり。その上に數個の額を掛く。	小さき	寫眞の上を生花にて飾りたるあり。
1152		非主語付き	直接修飾	運河	うんが	漢語	具象名詞	小	き	い形	太陽	〔奪ひ去られたものな相だ。 宮殿盡きる所、	小さき	運河に長さ三間許りの、石橋が架けられ、
1153		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	小	き	い形	太陽	左の唱歌を含唱したと云ふ。 恐らくこの時	小さき	子供達の顔にもDeutschland uber alle
1154		非主語付き	直接修飾	命	いのち	和語	抽象名詞	小	き	い形	太陽	一家の爲に……あゝ私には出来ない、私も	小さき	命と共に死なう、さう思つてさめざめと泣き
1155		非主語付き	直接修飾	牛乳屋	ぎゅうにゅうや	混種語	具象名詞	小	な	な形	太陽	が切つてあつた。東の榛の木林を外れて、	小さな	牛乳屋に、牛が五六匹、牧場の日當りのし
1156		非主語付き	直接修飾	袋	ふくろ	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	パンを食ながら、彼の傍に立止まつた肩に	小さな	袋を擔で居る兵卒に問た 僕等は田舎から
1157		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	小	な	な形	太陽	の住する此地球は大きなやうなものゝ實は	小さな	ものであり急げば之を一周するに今では四
1158		非主語付き	間接修飾	魚	さかな	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	みを暫く眺めた。網に上るのは白魚に似た	小さな	小魚であつた。
1159		非主語付き	直接修飾	谷	たに	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	へと登つて行くのであつた。村を離れると、	小さな	谷があらはれて來た。
1160		非主語付き	直接修飾	瘤	こぶ	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	の町ですな。『さうです。 有名な可愛嶽は	小さな	瘤のやうな山であつた。
1161		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	原のさびしい中に見えた。かと思ふと、ある	小さな	町の夕日を受けた家並の角に見えた。
1162		非主語付き	間接修飾	雲	くも	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	り白しか見えない。お町は少時ぼつちりした	小さな	白雲が、見る～々片端から消えて、蒼空の
1163		非主語付き	直接修飾	町	まち	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	立つてゐるところから、その衰へたさびしい	小さな	町はもういくらもなかつた。
1164		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	小	な	な形	太陽	のである。従つて日本と支那とは常に何か	小さな	問題のために利權を爭ふ事となり、支那人
1165		非主語付き	直接修飾	銀色	ぎんいろ	混種語	具象名詞	小	な	な形	太陽	の間から、音も立てず、無數に飛び出づる	小さな	銀色がある。
1166		非主語付き	直接修飾	祠	ほこら	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	憑くのではない。名もない道端や森の中の	小さな	祠の前で拜んだりすると、それを機會に狐が
1167		非主語付き	直接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	拭き乍ら帳場を抜けて奥の間へ行つた。	小さな	家の中を庭に面して二方から一つ一つ室を
1168		非主語付き	直接修飾	家	いえ	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	のを渡世にしてゐるのだが、小舎のやうな	小さな	家に住んで、年中一枚の着物で通さなけれ
1169		非主語付き	直接修飾	歴史	れきし	漢語	抽象名詞	小	な	な形	太陽	てゐる小さな町、戰國時代の小さな城址と	小さな	歴史とを持つた町が次第に曉に目覺めて來
1170		非主語付き	間接修飾	足音	あしおと	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	屋のなかをドシ～々歩き廻つてゐた。そこに	小さな	静かな足音が階段を上つて來た。
1171		非主語付き	直接修飾	波	なみ	和語	抽象名詞	小	な	な形	太陽	の耳を離れなかつた。 入江の入口に早や	小さな	波が立つて來た。
1172	?	非主語付き	間接修飾	渡場	わたりば	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	影もない。川の中心には、その少し先きの	小さな	掘立小屋の渡場から、客を一人載せて漕ぎ
1173		非主語付き	直接修飾	下宿	げしゆく	漢語	具象名詞	小	な	な形	太陽	々と洗物を片づけた。女中を使つて居ない	小さな	下宿なので、お客の應對から臺所の始末迄
1174		非主語付き	直接修飾	氣息抜き	きそくぬき	混種語	抽象名詞	小	な	な形	太陽	であらうと云ふ信頼が其れである。私はこの	小さな	氣息抜きを實は私の生活の重要な力點とし
1175		非主語付き	直接修飾	動揺	どうよう	漢語	抽象名詞	小	な	な形	太陽	つて、隣に並び繋がれて居る空船は絶えず	小さな	動揺を續けた。
1176		非主語付き	直接修飾	身体	しんたい	漢語	具象名詞	小	な	な形	太陽	を飛ばうやうにして舳へ行つた。そしてその	小さな	身體を二つに折るやうにして、暫く水の中を

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1177		非主語付き	直接修飾	彼	かれ	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	當時の苦境の話をする度に母はかう云つて	小さな	彼にその悲惨を描寫して聞かせた。
1178		非主語付き	直接修飾	石	いし	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	光る彩計の一人が、傍にある基石のやうな	小さな	石をぐつと一握りにして、それを臺の上に置
1179		非主語付き	直接修飾	地震	じしん	漢語	抽象名詞	小	な	な形	太陽	所は地震の豫知問題の研究であります、	小さな	地震については豫知し得られるかにつき全
1180		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	小	な	な形	太陽	いた。長く伸びた頭髮が額に垂れ下つて、	小さな	顔に深い影をつけてゐる。
1181		非主語付き	直接修飾	運命	うんめい	漢語	抽象名詞	小	な	な形	太陽	居のこらせてやるか、此の一日の、彼等の	小さな	運命の一つは全く彼の掌中に握られてゐる
1182		非主語付き	直接修飾	波	なみ	和語	抽象名詞	小	なる	な形	太陽	る波に取りては其一小部分に過ぎざれ共、	小なる	波に取りては實に其大部分なり、而して大
1183		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	小	なる	な形	太陽	箇所を設置し、箱崎町東岸の船渠は其最も	小なる	ものとし、永代橋下を通過し得べき小形の
1184		非主語付き	間接修飾	利害	りがい	漢語	抽象名詞	小	なる	な形	太陽	合併の爲めに害を被らず、況んや之よりも	小なる	佛獨貿易上の利害が爲めに脅嚇さるゝ所な
1185		非主語付き	間接修飾	障子	しょうじ	漢語	具象名詞	小	なる	な形	太陽	向側の室と對し、唯だ一方のみ外に面して	小なる	扉障子を設け、晝尚ほ暗くして眠を催ほし
1186		非主語付き	直接修飾	建物	たてもの	和語	具象名詞	小	なる	な形	太陽	十尺幅二百六十尺なりと云ふ。其外少しく	小なる	建物二個あり。
1187		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	小	なる	な形	太陽	金地はウソタンナイ、ペイチヤンに比すれば	小なる	ものである、採取人は主に〔カヒ堀り〕と〔流
1188		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	小	なる	な形	太陽	るが如くなれども亦預金に對して紙幣の額	小なる	ことを證明するには差支なからん、紙幣發
1189		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	小	なる	な形	太陽	板岩の破片も大なるものなく。ジャリの如く	小なる	ものである。
1190		主語付き	主語付き	日本人	にほんじん	漢語	具象名詞	小	なる	な形	太陽	算し脂肪分を減少して、歐洲人より體格の	小なる	日本人に割り當てたものである。
1191		非主語付き	直接修飾	家屋	かおく	漢語	具象名詞	小	なる	な形	太陽	費組合に貸し下げる方針をとつて居る。又	小なる	家屋は私有を認めることになつて居る。
1192		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	い	い形	太陽	り學生に就て頭圍を測つた所が、大體頭の	大い	ものが學業の成績がよくて、頭の小さいもの
1193		非主語付き	直接修飾	過ち	あやまち	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	作用といふ事に始終注意を致しまするので	大いなる	過ちを爲さなかつたので御座ります、扱
1194		非主語付き	直接修飾	志	こころざし	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	人も其積りで聊な事に小成に安んぜずして	大いなる	志を以て我が道を磨き我が徳を高うして行
1195		非主語付き	間接修飾	帰趣	きしゅ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	等は素より實用を尚ぶ、されど實用以上に	大いなる	人生の歸趣あるを信する也。
1196		主語付き	主語付き	とき	とき	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	なり、斯の如くにして輸出貿易の必要益々	大いなる	時に當りて却て偶々輸入貿易増進の傾向を
1197		非主語付き	直接修飾	網の目	あみのめ	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	唯名詞を作るに用ゐらるゝ助語なるのみ。	大いなる	網の目をアライ目、大いなる着物の縞をア
1198		非主語付き	直接修飾	徑庭	けいてい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	上の朝鮮に對する我が地位とは、其の間に	大いなる	徑庭があることは疑が無い。
1199		非主語付き	直接修飾	の	の	和語	形式名詞	大	い	い形	太陽	中で御用に成品で下品なやうだが鯛の	大きい	のが御用だから早々捨て納めるやうに致
1200		主語付き	主語付き	男	おとこ	和語	具象名詞	大	い	い形	太陽	十三四でも御座りませうが、色の蒼い眼の	大きい	漢で、羊肝色の縞のペラ〜〜羽織を着て横
1201		非主語付き	直接修飾	作	さく	漢語	抽象名詞	大	い	い形	太陽	した家の内がよく出て居る。あゝいふ調子で	大きい	作が出来るかどうかは疑問であるけれども、
1202		非主語付き	直接修飾	変革	へんかく	漢語	抽象名詞	大	い	い形	太陽	それは何れも枝葉のところだけで、根本の	大きい	變革は、まだ無い。
1203		非主語付き	直接修飾	強盜	ごうとう	漢語	抽象名詞	大	い	い形	太陽	富なことである。けれども世の中には、更に	大きい	強盜や窃盜を働いても處罰されない者があ
1204		主語付き	主語付き	の	の	和語	形式名詞	大	い	い形	太陽	けれども莖は嬰麥より遙かに小さく、花は却て	大きい	のである。
1205		非主語付き	直接修飾	生命	せいめい	漢語	抽象名詞	大	い	い形	太陽	とつて一番大事なのだ。作者を通して更に	大きい	生命が發露された藝術品だけが貴いのだ。
1206		主語付き	主語付き	臆病者	おくびょうもの	混種語	具象名詞	大	い	い形	太陽	れたやうな眼付をして、うつとりとこの頭の	大きい	脊の低い臆病者の姿をいぢらしく心のうちで
1207		非主語付き	直接修飾	子供	こども	和語	具象名詞	大	い	い形	太陽	からなかつた。『僕が見てあげよう。一番	大きい	子供が、さう言つて時間表を繰はじめた。
1208		主語付き	主語付き	ため	ため	和語	形式名詞	大	い	い形	太陽	近い處に起りましたならば、之れは規模が	大きい	爲に、十里二十里あつてもなか〜〜大きな
1209		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	大	い	い形	太陽	命馬左也君の後繼理事だけあつて確かに	大きい	ところがある。
1210		非主語付き	直接修飾	悪戯小僧	いたずらこぞう	混種語	具象名詞	大	い	い形	太陽	を噛んでる白垂前に甘つたれる、女教員が	大きい	悪戯小僧を退校時間過ぎまで學校へ引留め
1211		非主語付き	直接修飾	クジラ・鯨	くじら	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	て針程の物を棒ほどに云ひふらす惡癖あり	大きな	鯨を見た云ふよりは山の様な大なる鯨を見
1212		非主語付き	直接修飾	男	おとこ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	ない人間と信じて居つた、ところが二十五の	大きな	男が三遍教つても四遍讀んで貰つてもなか
1213		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	り付いて歩くのは止さう。お前又國様なんて	大きな	聲で怒鳴つてくれちやア困ぜ。』
1214		非主語付き	直接修飾	胴乱	どうらん	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	で立て往つたから、後で床の間を見ると、	大きな	胴亂やら荷物やら有る、彼奴を一番奪取た
1215		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	り吠へるやうな、呪咀でもするやうな、變な	大きな	聲を出して、宛も狂氣の如くに甲板の上を踏
1216		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	さる事を知つてりやア、お花の阿魔に彼様	大きな	聲は出させねえんですがね……彼阿魔がま
1217		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	存じなかつたが秋場さんや日置さんの前で	大きな	聲で『姉さんの物持の好いのも感心した、
1218		非主語付き	直接修飾	皮庫	ひこ	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	生の所には、山鹿語類と云ふものがあつて	大きな	皮庫に幾つとなく山鹿の書物がある、此謫
1219		非主語付き	直接修飾	焼け焦げ	やけこげ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	』と徳子は馴々しく火鉢の傍へ寄る。袂に	大きな	焼焦げのある被布を着て、横ざまに坐つた
1220		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	子は目を丸くして笑つて居る。骨の高い、	大きな	顔である。
1221		非主語付き	直接修飾	内海	ないかい	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	入てからの時代である。彼の地中海の如き	大きな	内海も、實に此際に陥落して出来たのであ
1222		非主語付き	直接修飾	炉	ろ	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	疊が敷いてあつて、真中に五尺四方もある	大きな	爐が切つてある。
1223		非主語付き	直接修飾	炎・焰	えん	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	らないやうな生活の中へ、燃え上つてゐる	大きな	焰の中の薪のやうに、わたくしはあなたが
1224		非主語付き	直接修飾	唐紙	からかみ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	大きな座敷の真中に毛布を敷いて、其上に	大きな	唐紙を擴げ、たつぷりと筆に墨を含ませて、
1225		非主語付き	直接修飾	矛盾	むじゅん	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	皇室の永久並に韓國の形式的獨立の上に	大きな	矛盾を生ぜぬであらうか？ 又却つて韓國

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1226		非主語付き	直接修飾	ところ	ところ	和語	形式名詞	大	な	な形	太陽	るならもう少し大きな處で怒りやす。女房	大きな	處で怒るツて何様時に怒る事なの。
1227		非主語付き	直接修飾	人	ひと	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	舞伎座を見に行つたことがあつた。其時、	大きな	人達は泣いたり笑つたりして見て居たが、
1228		非主語付き	直接修飾	勢力	せいりよく	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	我れを我れ以上の	大きな	勢力の中に委托して、我れ以上の理想の
1229		非主語付き	直接修飾	石	いし	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	跡を発見せられ、自ら其遺跡の側にあつた	大きな	石に、日本の光瑞之を発見すと云ふ意味
1230		非主語付き	直接修飾	島	しま	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	併し地理學者の反對の有無を知らぬ。	大きな	島が何時となく主陸に併吞せらるゝに反して
1231		非主語付き	直接修飾	やつ	やつ	和語	形式名詞	大	な	な形	太陽	やるには好い機會だと思つて、其中の一番	大きな	奴を追かけた。
1232		非主語付き	間接修飾	山	やま	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	で見たこともなく、また想像も出来なかつた	大きな	高い、様々の形をした山の頂が、いくつも
1233		非主語付き	直接修飾	瞳	ひとみ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	つた。何處でも、この臆病な子供の漂ふ	大きな	瞳は、何にも思つてゐなかつた人々の注意
1234		非主語付き	直接修飾	誘拐者	ゆうかいしゃ	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	し野を越し丘を越して此處に集つて來た。	大きな	誘拐者、大きな山師、かうした批評は、世
1235		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	はつ まア、田中さんの事を！ きく 叱！	大きな	聲をお出しでない。
1236		非主語付き	直接修飾	川・河	かわ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	てゐない。しかしゆるやかに靜かに流るゝ	大きな	川は、單にそれだけでも、十分に平野の春
1237		非主語付き	直接修飾	波	なみ	和語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	りと一つそこに浮んでゐるやうで、もう一つ	大きな	波でそれを浚ひ込んで了はなければ、我な
1238		非主語付き	直接修飾	寺	てら	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	を説いて、それよりも親の遺言に従つて、	大きな	寺へでも這入つて修業したら好からうと云ふ
1239		非主語付き	直接修飾	安心	あんしん	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	の領土保全を宣言したことは、私に一つの	大きな	安心を與へました。
1240		非主語付き	直接修飾	銀貨	ぎんか	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	に、腕を撓らせて、生れて初めて手にした	大きな	銀貨の威光に打たれてゐる風であつた。
1241		非主語付き	直接修飾	戦闘	せんとう	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	せられ、兵船へ乗せられて、その他人種の	大きな	戦闘のたゞ中へ運び出されようが、そんな
1242		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	後からまた附加へた。『K——市の因循の	大きな	原因と云ふものが、大體三つあると見て可
1243		非主語付き	間接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	ない。この日暮方に間近に光線を浴びて、	大きな	樺の樹は枝も鳴らさずに、さながら灰色の
1244		非主語付き	直接修飾	欠陥・缺陷	けっかん	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	まで考へて、大きな溜息を吐いた。そこに	大きな	缺陷があるやうな氣がした。
1245		非主語付き	間接修飾	口	くち	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	て投げたやうに、嵐に乗つて飛んで行く。	大きな	魔の口で吹き消されたやうに、電燈は忽然
1246		非主語付き	直接修飾	煙突	えんとつ	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	通つて行く自動車、川の向うに見えてゐる	大きな	煙突から渦きあがる煤烟、——ふと、『あ
1247		非主語付き	直接修飾	牧場	ぼくじょう	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	自太利の或る華族の未亡人が	大きな	牧場を有つてゐた。すると或時その未亡人
1248		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	な	な形	太陽	市長に依頼した。何がしろ一丈二尺もある	大きな	ものであつたから、従つて字形も大きくて
1249		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	な	な形	太陽	見えたらう。彼女が受けた感動がどれほど	大きな	ものであつたか、それを想像するのは容易
1250		非主語付き	直接修飾	木・樹	き	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	の田舎にあるつまらぬ小さい神社も、古い	大きな	樹を保存する爲に認める。
1251		非主語付き	直接修飾	木判	もくはん	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	や、役所や學校などから依頼された四角な	大きな	木判などを彫つて、僅かに仕事としてゐる
1252		非主語付き	直接修飾	資本家	しほんか	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	たものに多いので支那自國に於ては殆んど	大きな	資本家を生ずるほどの發達をして居ない。
1253		非主語付き	直接修飾	顔	かお	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	を得て氣強くなつたのか、その締りの無い	大きな	顔に薄笑ひを湛へてゐた。
1254		非主語付き	直接修飾	都会	とかい	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	ちてゐて、相變らず陰氣である。『東京が	大きな	都會である事は知つてゐますが、ことによ
1255		非主語付き	間接修飾	位牌	いはい	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	る～～と立ち上つてゐた。一だん高い所に	大きな	黒塗の位牌があつた。
1256		非主語付き	直接修飾	邸宅	ていたく	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	年間に巨萬の財産を造つた。今では東京に	大きな	邸宅を構へて、大名のやうな生計をしてゐる
1257		非主語付き	直接修飾	目・眼	め	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	地方に、其の媚るやうな艶なうるほひのある	大きな	眼を向けて、いつになく優しくあまへるやう
1258		非主語付き	直接修飾	岬	みさき	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	感じた。一時間後には、私はその神宮の	大きな	岬を控へた吹毛井といふ漁村の一族舎に癒
1259		非主語付き	直接修飾	番狂はせ	ばんくるわせ	混種語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	んとする事共を少なからず説け居り、爲に	大きな	番狂はせを吃ひ、何とも致し方無て折角成
1260		非主語付き	直接修飾	鐘	かね	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	九尺一寸、廻二丈七尺、厚さ八寸、流石に	大きな	鐘である。
1261		非主語付き	直接修飾	垂木	たるき	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	て來た時は、更に更に寺は荒れた。裏の	大きな	垂木は落ち、壁は崩れて本堂の中は透い
1262	*	非主語付き	直接修飾	炉端	ろばた	和語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	寺下でも淋しい山里のやうな田舎だつた。	大きな	爐ばたで、丘のやうな厚みのある里母の膝
1263		非主語付き	直接修飾	手ぬかり	てぬかり	和語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	方にあつた。私たちはこの事件によつて、	大きな	手ぬかりをする犯罪者の愚と、又その手ぬ
1264		非主語付き	直接修飾	発電機	はつでんき	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	路からまかなり離れた山の中の水車場へ、	大きな	発電機の部分品が運び込まれたのを見た
1265		非主語付き	直接修飾	人物	じんぶつ	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	ねるよくない手合の仕業だ。▲ズバ抜けて	大きな	人物が、一人位はもう現はれてもよい時代
1266		非主語付き	直接修飾	料理屋	りょうりや	混種語	具象名詞	大	な	な形	太陽	勇敢な態度になつて、中でも一番綺麗な、	大きな	料理屋に入つて行つた。
1267		非主語付き	直接修飾	地震	じしん	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	られるやうに取られるのであります。未だ	大きな	地震について起る可き所の勢力があれば濟
1268		非主語付き	直接修飾	豆	まめ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	と移植してゐる。それがために氏の掌には	大きな	豆やたこが出来てゐるほどであるが、日樹
1269		非主語付き	直接修飾	鎌	かま	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	骨の徽章をつけて危難除けとした。骸骨は	大きな	鎌をもつて物を刈りとる形をしてゐるが可
1270		非主語付き	間接修飾	頭	あたま	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	秋の空の下でから～～と笑ひながら、その	大きな	青い頭をつるりと撫でた。
1271		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	な	な形	太陽	比して大體形が大きい。又鯉にはさう～～	大きな	ものがないのに反し、鯉には随分飛び離れ
1272		非主語付き	直接修飾	いびき・鼾	いびき	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	晝寝をする。幾ら起しても、寝たら最後、	大きな	鼾をかいて、店先へ寝込んで了ふので手
1273		非主語付き	直接修飾	作	さく	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	す。要するに此繪は失敗でした、これだけ	大きな	作を爲すに就て作者は餘りに不用意すぎた
1274		非主語付き	直接修飾	余震	よしん	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	此頃の餘震の現れ方から致しまして幾回も	大きな	餘震が來ましたから、今度はこの割合で行

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1275		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	な	な形	太陽	若き娘』は彼の晩年の作であら大體に於て	大きな	ものであるが、それは定評どほりに彼自身
1276		非主語付き	直接修飾	願望	がんばう	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	示すものである。何となれば、彼等の最も	大きな	願望は、大部分「戦ふ」といふことにあるの
1277		非主語付き	直接修飾	枯木	こぼく	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	ングレエは曠野のごとく雑草は吹きなびき、	大きな	枯木に鴉啼くのも荒涼の氣をます。
1278		非主語付き	直接修飾	両手	りょうて	混種語	具象名詞	大	な	な形	太陽	大男が鍋を破裂さした様な高笑ひをしながら	大きな	両手を断えず開閉して語り合つて居たのも
1279		非主語付き	直接修飾	角笛	つのぶえ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	角に立つて、煙管のなりをした二間に餘る	大きな	角笛を嚙喰と吹き立てゝ居たのであつた。
1280		非主語付き	直接修飾	音	おと	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	ますと、銀行の附近へ来る毎に、發見機が	大きな	音をたてゝ鳴りだしました。
1281		非主語付き	直接修飾	不安	ふあん	漢語	抽象名詞	大	な	な形	太陽	家となり、あらゆる職業に携はり、その間に	大きな	不安が渦まいてゐることは、著者一流の筆
1282		非主語付き	間接修飾	コップ	こっぷ	外来語	具象名詞	大	な	な形	太陽	なかつた。まづ何よりも彼は渴を癒した。	大きな	水呑コップから幾杯も幾杯も清水を呑みほ
1283		非主語付き	直接修飾	管	かん	漢語	具象名詞	大	な	な形	太陽	大きな管を作ること成功したさうだ。その	大きな	管は、二キロワット半の電力に對して、一
1284		非主語付き	直接修飾	声	こゑ	和語	具象名詞	大	な	な形	太陽	だ、その途がありますか？）海外殖民は	大きな	聲で宣傳したり、内地に仕事が必要れば外
1285		非主語付き	直接修飾	人	ひと	和語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	の遺戸を引開けたるに、こは如何に、内に	大きな	人の黒みて脹れ腐れたるが臥せり、臭氣鼻
1286		非主語付き	直接修飾	害毒	がいどく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	ざる便益を與ふるも、之に比して、社會に	大なる	害毒を流すに至るは、亦已むを得ざること
1287	?	非主語付き	直接修飾	京都市	きょうとし	和語	固有名詞	大	なる	な形	太陽	れ八疊敷大の大菊花の金紋を作り、其下に	大なる	京都市の小徽章ありて、其左右に肩に當る
1288		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	るに非ずや、此世には琴よりも、花よりも	大なる	ものあるなり、兎にも角にも吾等は今日バ
1289		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	傍うて降れば閑靜清潔の地にして割烹店の	大なる	ものあり 相合橋は本川、元安川分流に兩
1290		非主語付き	直接修飾	ほう	ほう	漢語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	一面に翻しかくるなり、其上に例の延棒の	大なる	方を轉ばして玻璃板を作る。
1291		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	我仁政に服し、其の恩に感ずるや、極めて	大なる	ものあらんとす、夫れ我が食鹽の輸出が支
1292		非主語付き	直接修飾	池	いけ	和語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	は木津川宇治川を過ぎて京都に向ふ、此間	大なる	池多し、岸には柳及び高き蘆葦など雜生し
1293		非主語付き	直接修飾	誤謬	ごびゅう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	なり(十四)社交上の關係に對する儒教の	大なる	誤謬は吾人既に二章八節乃至十三節に摘
1294		非主語付き	間接修飾	材料	ざいりょう	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	云ふ可き性質の物に非ず 即ち尚ほ之よりも	大なる	同質の材料を以てしたる船艦を造築す可き
1295		非主語付き	直接修飾	変更	へんこう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	、其大跡に至りては、必らず此調査の上に	大なる	變更を要せざる可きを信ず、即ち其線路は
1296		非主語付き	直接修飾	意味	いみ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	れば已まざる可し、苟も教育なるものが、其	大なる	意味よりして云へば、實に地形地質氣候風
1297		非主語付き	直接修飾	ボタン	ぼたん	外来語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	人の、市などに行くときの様に着かざりぬ。	大なる	ぼたん付たる衣、小きヤツケツトの赤き
1298		非主語付き	直接修飾	眷遇	けんぐう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	もの、尤も贊助諸賢と讀者諸君との尚一層	大なる	眷遇を仰がずんば非ず。
1299		非主語付き	直接修飾	勝利	しょうり	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	ウガスタスの朝に至るの前、已に幾たびも	大なる	勝利を得きと雖も、嘗て大なる文學を生ぜ
1300		非主語付き	直接修飾	翅	はね	和語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	き蝶の筋肉が自己の跡に比較して斯の如く	大なる	翅を自由に運動せしむることは吾人が又驚
1301		非主語付き	直接修飾	進歩	しんぽ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	未知せる所、是れもとより劇道に取りては、	大なる	進歩の障害たり、彼等が智識の發達は、其
1302		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	朝鮮京城に於る領事は、其責任の重且つ	大なる	こと言ふを待たず、特に日本の商賣を保護
1303		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	高等旅店の外は何等の業者を問はず家屋	大なる	ものを以て宿泊に充て皆門戸に表して某官
1304		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	て曰く、日清戦争は益々甲鐵艦の効用の	大なる	ことを確證し、鐵裝せざる艦體に對し、榴
1305		非主語付き	直接修飾	不利	ふり	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	設定するに當りては其方位に注意せざれば	大なる	不利を招くの憂なしとせず 概して果園は北
1306		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	と腹の事も有之候、何に致せ戦争の効能は	大なる	者と感心仕居候、旅行の詳細記は目下認め
1307		主語付き	主語付き	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	る。我は泣言を吐くも剛腹だから、抱負の	大なる	東洋問題を滔々と論じて遣つた。
1308		非主語付き	直接修飾	勢力	せいりよく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	下手なる厭ふべし。文學が世道人心の上に	大なる	勢力を有するは何人も認むるところにして其
1309	?	非主語付き	間接修飾	名譽	めいよ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	しめたるのみならず、尚夫れよりも非常の	大なる	、日本をして世界の最も光榮ある、最も完
1310		非主語付き	直接修飾	圓筒器	えんとうき	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	し綿を以て其口を塞ぎて栓とし、更に一層	大なる	圓筒器に水を盛り之れに該壇を納れ徐々に
1311		非主語付き	直接修飾	地球	ちきゅう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	か、「コップ」の如き物が一であるか、或は	大なる	地球の如きものが一であるか、數學で一と
1312		非主語付き	直接修飾	極度	きよくど	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	單に目で限られて居るから、我々は宇宙の	大なる	極度と云ふものを知ることが出来ない、形
1313		非主語付き	間接修飾	京都	きょうと	和語	固有名詞	大	なる	な形	太陽	國は元是れ政治の區にあらざるなり 全國の	大なる	一京都を以て國の公園となし之を存するは
1314		非主語付き	直接修飾	通風器	つうふうき	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	べく、通風法も亦甚だ完全に、四個の	大なる	通風器を電氣原動機にて運轉することゝし、
1315		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	するに止まれども、商業學と比肩して其用	大なる	ものとす。
1316		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	いは、男女婚姻の方法の不完全であるのが	大なる	原因であるが一は家庭に於て妻が良人を待
1317		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	價格は先年米國桑港に於て鹽漬生皮一枚	大なる	ものにて二十弗、小なるものにて十五弗な
1318		非主語付き	直接修飾	影響	えいきよう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	此際にて政府の賣出公債の處分如何は	大なる	影響を經濟界に及ぼすものなれば其處分に
1319		非主語付き	直接修飾	誤解	ごかい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	未せば、夫れにて成長すと思考するは是れ	大なる	誤解なり。
1320		非主語付き	直接修飾	十字架	じゅうじか	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	り、樓の下部に聖像を安置し、其頂上には	大なる	十字架を掲げあり、環土蕭然、廻らずに牆
1321		非主語付き	直接修飾	切開	せっかい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	うなるものか今夜か明朝は猶一層今日より	大なる	切開を爲ねばならないと之れ全然の嘘言
1322		非主語付き	直接修飾	利益	りえき	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	出来又それと比較したなれば教育のために	大なる	利益であらうと考へますからして 此博覽會
1323		非主語付き	直接修飾	材木	ざいもく	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	る廣小路で有る、其處には多くの兵卒が、	大なる	材木や大砲なぞの間に、ごろ〜へ轉つたま

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1324		非主語付き	間接修飾	電燈	でんとう	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	中無數の電燈ありて、土俵の上部には最も	大なる	白色電燈を點ず。
1325		非主語付き	直接修飾	爆発力	ばくはつりょく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	も木炭と混ぜば、此混合物は大に迅速に且	大なる	爆発力を以て燃焼するものなり。
1326		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	家として、又操觚者として、明治年間、最も	大なる	ものゝ一人也。
1327		非主語付き	直接修飾	詩人	しじん	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	ぬ。蓋し彼れは哲學者と謂はんよりは寧ろ	大なる	詩人也、而して詩人として大いなる所以は、
1328		非主語付き	直接修飾	妨害	ぼうがい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	交通の不便なるとは、農業の繁榮を來すに	大なる	妨害となります。
1329		非主語付き	直接修飾	引力	いんりょく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	離るゝを欲せざりき。斯くも予を引付けぬる	大なる	引力は、其處に充滿ちたる清潔と平和との
1330		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	るが、此等諸工程に要する諸建物も亦頗る	大なる	ものにて、例へば鐵板が彎曲壓搾機より機
1331		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	せられしもの多々なりしと雖も、未だ効果の	大なる	ものなく、佛教の社會事業に至りては、日
1332		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	領に達せり。電氣事業に於ける銅の需用の	大なる	ことは、昨年合衆國に於て敷設せられたる
1333		非主語付き	直接修飾	疑惑	ぎわく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	るの致したる處にあらざるかとは、予輩の	大なる	疑惑とする所なり。
1334		非主語付き	直接修飾	妖魔	ようま	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	至極賛成なるが、遼東を取れば其後には	大なる	妖魔があるから、之を守るに困難なるのみ
1335		非主語付き	直接修飾	利益	りえき	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	れども若し消費する時日と金錢にして更に	大なる	利益を得るとすれば其使用は決して空費に
1336		非主語付き	直接修飾	失望	しつぼう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	崖に本年度の教育事業に對する失望の如く	大なる	失望あらんや。
1337		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	に至らば、保證會社を設立して利益甚だ	大なる	ものあらん。
1338		非主語付き	直接修飾	力	ちから	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	王朝に繪畫の風格を定むる上に於て最も	大なる	力を有せしが如し、殊に其の曾孫弘高に到
1339		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	や。余をして、今の新聞社會の弊害の最も	大なる	ものを數へしめば、孤立すること一也、言
1340		非主語付き	直接修飾	兵舎	へいしゃ	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	自己の朋友なる士官連の兵舎へと往た、	大なる	兵舎の一堂、其處には海軍士官、砲兵士
1341		非主語付き	直接修飾	事務	じむ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	セーモール街に聳ゆる鐵道交換所の如何に	大なる	事務を行ふかを見るに足れり。
1342		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	が、若し自分と同等のもの、或は自分より	大なる	者に云々せられるのならば、須く忍ぶべし
1343		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	は其結果賭博の場合と正反對にして效用の	大なる	ものを得ん爲めに效用の小さなものを賭す
1344		非主語付き	間接修飾	道路	どうろ	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	ども、北米フキラデルフキア市の如く長且つ	大なる	土瀝青道路を有するものは他に其比を見ざ
1345		非主語付き	直接修飾	誤り	あやまり	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	粵島の砂糖製産高は約八千萬斤と見做して	大なる	誤なかるべきか。
1346		非主語付き	直接修飾	舟・船	ふね	和語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	必ず兵器の一として水雷發射管ありされども	大なる	船に備ふるに單に此の如きものを以てする
1347		非主語付き	直接修飾	誤解	ごかい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	留日本人を以て、労働者のみ視するのは、	大なる	誤解に陷る。
1348		非主語付き	直接修飾	差	さ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	學の校長及び教員が受くる所の俸給額にも	大なる	差あり。
1349		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	目に見る時は支出なるものは軍事費を尤も	大なる	ものとして民政費、國債費、徵稅費の四大
1350		非主語付き	直接修飾	円	えん	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	一直線に進むに非ずして、太陽の周圍に、	大なる	圓を描いて周はる。
1351		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	事實なり。仔細は封建時代の大名の國は其	大なる	ものにて五六十萬石の地に過ぎず。
1352		非主語付き	直接修飾	注意	ちゅうい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	の利害關係を有する各國の政治家によりて	大なる	注意を以て讀まべし。
1353		非主語付き	直接修飾	權力	けんりょく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	牽制せらるゝ所なく、議會の委員等は更に	大なる	權力を集中せり。
1354		非主語付き	直接修飾	富	とみ	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	事業なり。安田氏に至りては私の人にして其	大なる	富は則ち安田氏一家の富のみ。
1355		非主語付き	直接修飾	利益	りえき	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	事なり)。されば市場の市營は實に衛生上	大なる	利益あるのみならず、財政上に於ても市の
1356		非主語付き	直接修飾	植民地	しょくみんち	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	實地に行はる可くもあらず。西班牙は尚、	大なる	植民地を有し葡萄牙は南亞米利加亞弗利カ
1357		非主語付き	直接修飾	進歩	しんぽ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	示したる精力と智力を以て實業界に於ても	大なる	進歩を爲せり。
1358		非主語付き	直接修飾	誤り	あやまり	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	在官中言ふを敢てせざりしものなりと思はゞ	大なる	誤りである。
1359		非主語付き	直接修飾	間違い	まちがい	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	表面上の圓を廻つて走つてゐると見たら、	大なる	間違いで、前代のそれとは四圍の状態も異
1360		非主語付き	直接修飾	間違い	まちがい	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	らうと思ふ人があるかも知れないが、そは	大なる	間違いで、私共も最初は西洋人といふと、
1361		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	ざるべからず。鰻又は鰻の如く産卵數の	大なる	ものに於ては、其卵が悉く孵化し、假りに此
1362		非主語付き	直接修飾	影響	えいきよう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	現象のみならず、延て兵士の訓練思想上に	大なる	影響ある事と思ふのである。
1363		非主語付き	直接修飾	同情	どうじよう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	日露戦争前の列國の態度は、日本に對して	大なる	同情を持つて居つたにも拘らず、一度戦勝
1364		非主語付き	直接修飾	予備軍	よびぐん	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	なつて居る。◎爰に驚くべき編成の一は、	大なる	豫備軍を有する事であつて、露國は世界中
1365		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	公衆の設備を實用する經驗の少なきは、	大なる	原因の一ではあるが、公園の設備完全せ
1366		非主語付き	直接修飾	人格	じんかく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	に富んで居なければならぬ。さうして初めて	大なる	人格が現はれるのである。
1367		非主語付き	直接修飾	責任	せきにん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	而も吾人の望む所は更に	大なる	責任の衝に當るにあり、故に君は現に執筆
1368		非主語付き	直接修飾	功績	こうせき	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	いふ事は、早稻田派の最も誇りとすべき、	大なる	功績だ。
1369		非主語付き	間接修飾	充實	じゅうじつ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	同情に全然頓着しないといふには、國力の	大なる	充實を要する。
1370		非主語付き	直接修飾	不愉快	ふゆかい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	、斯る事に慣れざる吾人日本人などには、	大なる	不愉快の感を與ふるのであるが、彼等國民
1371		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	の最も奇怪とし、且つ政府に對する不信の	大なる	ものなりとす、其は他に非ずして税制の改
1372		非主語付き	間接修飾	帝国	ていこく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	魂と爲るを得ば、是れ豈史學の業は直ちに	大なる	精神的帝國を建つものならずや。

No.	結果	連体構造	修飾構造	被修飾名詞	読み	語種	名詞種類	語幹	語尾	形態	コーパス	前文脈	キー	後文脈
1373		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	こよりて考へて見れば、學校騒動の原因の	大なる	ものゝ一は、教育當局者の學政上の方針
1374		主語付き	主語付き	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	會進化説や亦實に生物進化説に負ふ所の	大なる	ものあり、今少しく之を看るべし。
1375		非主語付き	直接修飾	飛石	とびいし	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	は、實に我國運發展の歴史上に於ける一の	大なる	飛石である、一の甚だ險峻なる山である、
1376	*	非主語付き	間接修飾	橋梁	きょうりよう	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	以上も震動強く、震動區域も十倍も大にして	大なる	鐵道橋梁は悉く破壊し、六「メートル」の斷所
1377		非主語付き	直接修飾	責任	せきにん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	やう學校を終へさせると云ふ事は、職員の	大なる	責任であると云はねばならぬ。
1378		非主語付き	直接修飾	罪惡	ざいあく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	りとするれば、吾輩は之を賞讃するは愚か、	大なる	罪惡として聯合國を攻むるが至當であると
1379		非主語付き	直接修飾	弱点	じゃくてん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	達ない。眞宗の強味は此點に在ると同時に	大なる	弱点もここに在り。
1380		非主語付き	直接修飾	エゴイスト	えごいすと	外来語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	し得たのかも知れないが、漱石氏自身も亦	大なる	エゴイストであつたと想像する。
1381		非主語付き	直接修飾	注意	ちゅうい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	但し大學を工業方面に發達せしむることは	大なる	注意を要すべく、工科高等學校の仕事の範
1382		非主語付き	直接修飾	断案	だんあん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	の事實をよく咀嚼し、且つ綜合して、一の	大なる	断案を構成することは、決して容易の業で
1383		非主語付き	直接修飾	差異・差違	さい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	の略一定を主眼とせるを以て現行法の如き	大なる	差異なきに至り、隨て被選人の選舉區に於
1384		主語付き	主語付き	ほど	ほど	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	程有利にして而かも之に搭載する砲は口径	大なる	程有効であると云ふことになる。
1385		非主語付き	直接修飾	困難	こんなん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	くの苦き經驗を嘗め、中にも電車では最も	大なる	困難を感じた。
1386		非主語付き	直接修飾	困難支障	こんなんししょう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	廻したので、各國とも開戦以來この方面に	大なる	困難支障を來して居ることは想像に難くない
1387		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	商人の商賣の巧拙など云ふことは、決して	大なる	問題とは成らない。
1388		非主語付き	直接修飾	疑問	ぎもん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	は聯合國の爲めに幸乎不幸乎、それすらも	大なる	疑問であると思ふのである。
1389		非主語付き	直接修飾	効果	こうか	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	さざるの時に、始めて之を賦課して、果して	大なる	効果を求むるを得べきや。
1390		非主語付き	直接修飾	学校	がっこう	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	る會合に於ては自然科学は國內の有らゆる	大なる	學校及び新古の大學に於ける入學試験の
1391		非主語付き	直接修飾	相違	そうい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	際の代價を律する標準と爲り、兩者の間に	大なる	相違を生ずることなきものとす。
1392		非主語付き	直接修飾	原因	げんいん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	少と、市民が田舎に避難する爲との二つが	大なる	原因によるので、これを以て直ちに乳児保
1393		非主語付き	直接修飾	矛盾	むじゅん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	經濟の生活を營まんとするが如き、其間に	大なる	矛盾の存することを認めざる可からず。
1394		非主語付き	直接修飾	問題	もんだい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	、誰れの内閣にしろ、日本として茲に一つ	大なる	問題に逢着しはせぬかと云ふ恐れがある
1395		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	計つた。殊に彼れの成したる事業中最も	大なる	ものとして特筆すべきは、一八六一年三月
1396		非主語付き	直接修飾	得失	とくしつ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	こよりては、無駄をせぬと云ふことの上にも	大なる	得失のあるものである、と云ふ意味に解し
1397		非主語付き	直接修飾	欠点・缺點	けってん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	育を殆んど等閑に附し居るといふ様なことも	大なる	缺點であると説き、今日はセクスピアを知
1398		非主語付き	直接修飾	脳力	のうりよく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	たいと思ふものが隠れてゐて探し出すのに	大なる	脳力を要する、馬鹿に高い所に置いてあつ
1399		非主語付き	直接修飾	誤解	ごかい	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	こえたれど、果して然らば是れ本野外相の	大なる	誤解と言はざるべからず。
1400		非主語付き	直接修飾	毒蛇	どくじゃ	漢語	具象名詞	大	なる	な形	太陽	蠍アンチバロス島に小蝮、其隣島パロスに	大なる	毒蛇有るにアナファイ島には蜥蜴のみ有て全
1401		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	に、戦時利益の必ずしも大ならず、時に其	大なる	ものあるも、當業者自ら之を掌裡に收め、
1402		非主語付き	直接修飾	危険	きけん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	随つてロシアと交際を回復するがために、	大なる	危険を感じるといふことはない。
1403		非主語付き	直接修飾	意味	いみ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	らう。それは國家の爲にも、議會の爲にも	大なる	意味の有る事では無いが、彼れの爲には
1404		非主語付き	直接修飾	不合理	ふごうり	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	立て居る我が國の小作契約は、其の間に	大なる	不合理が潜んで居ることを否む譯には行か
1405		非主語付き	直接修飾	貢獻	こうけん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	而もそれが人類の身體改造といふことに、	大なる	貢獻をもたらすことを思へば何人とも雖も、こ
1406	*	非主語付き	直接修飾	借款	しゃっかん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	ば、最初の條文に對して、第二次の、より	大なる	借款成立の默契が附帶してゐた。
1407		非主語付き	直接修飾	もの・もん	もの	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	七百五十六磅、當時金庫の扉としては最も	大なる	物であつた。
1408		主語付き	主語付き	こと	こと	和語	形式名詞	大	なる	な形	太陽	う。先づ高聲器であるが、發音の極めて	大なる	事を欲せざる場合には、受話器式の高聲器
1409		非主語付き	直接修飾	圧迫	あつぱく	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	のは事實であつて、彼等はこれがために、	大なる	壓迫と屈辱を感じて居る。
1410		非主語付き	直接修飾	誤り	あやまり	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	て直ちに重要な位置に就き得ると思ふのは	大なる	誤と言はなければならぬ。
1411		非主語付き	直接修飾	興味	きょうみ	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	調査は小生職業的見地を離れ、個人的に	大なる	興味を感じ居るのみならず、エドワード・レ
1412		非主語付き	直接修飾	影響	えいきよう	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	次の革命がイギリスやドイツの労働運動に	大なる	影響を與へたと異なるところがないのであら
1413		非主語付き	直接修飾	効果	こうか	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	じたる例は絶無にはあらざれども、反對に	大なる	効果ありし場合の方が極めて多く、これを結
1414		主語付き	主語付き	地震	じしん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	であります、併し乍ら今回のやうな規模の	大なる	地震は或は不可能でなからうと思ひます。
1415		非主語付き	直接修飾	隔たり	へだたり	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	でも彼等から金を取らうと云ふのは、其處に	大なる	隔りがあるのだ。
1416		非主語付き	直接修飾	効果	こうか	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	れんとしてつゝあつた危険な傾向を緩和するに	大なる	効果があるであらう。
1417		非主語付き	直接修飾	欠陥・缺陷	けっかん	漢語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	力と云ふ如き愛國心に至つては不幸にも、	大なる	缺陷と、従つて大なる不満とが免れない。
1418		非主語付き	直接修飾	間違い	まちがい	和語	抽象名詞	大	なる	な形	太陽	を度外して置く事は宜しくない計りでなく、又	大なる	間違へであると思ふのである。